

取扱説明書

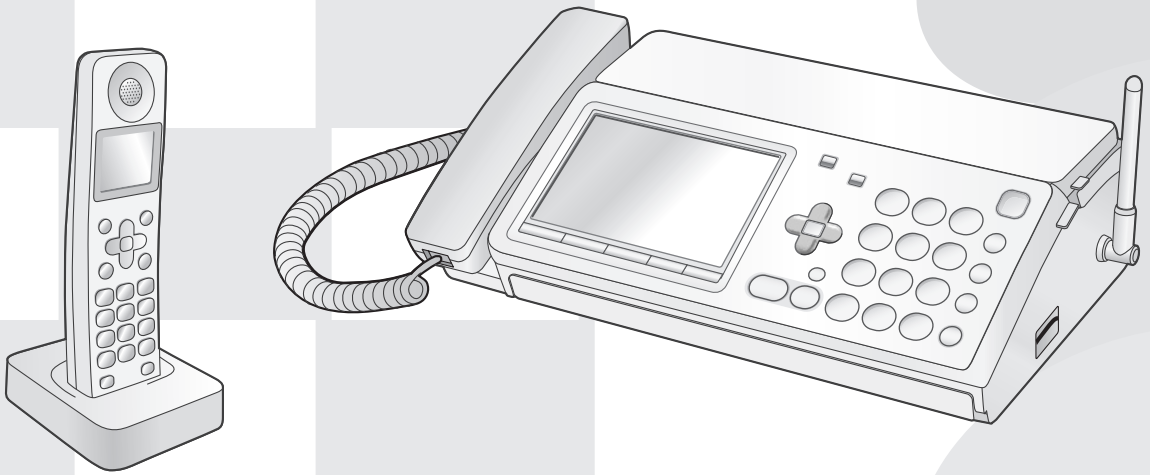
NTTFAX P-267SDw/P-267SD

NTT東日本エリア

北海道、東北、関東、甲信越地区

NTT西日本エリア

東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区



このたびは、NTTFAX P-267SDw/P-267SDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください」(P.2~11ページ)を必ずお読みください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。



携帯へは、家デンからが安い!



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ND ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

こまったときは

本商品が正しく動かないなど
お困りのときは、

202~203ページをご覧ください。



「NTTFAX P-267SDw/P-267SD」
技術基準適合認定品



もくじ

ご使用前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー
SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ






こまったときは

ご参考に
さくいん

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

注意

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 当社の電話交換局から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電話網と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、接続される通信機器によっては電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品に保存されている内容は、本商品の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申しつけください。

危険

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中や水の中に投入したり、加熱しない
 - ・ 直接はんだ付けしない
 - ・ 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなど、異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラプラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。
- 万一、内部に水やペットの尿などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- インクリボンの交換や原稿づまり、お手入れなどで、操作パネルを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグ、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグ、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を付けてください。(アース線は、付属していません。アース線をご用意のうえ接続してください。)
 - ・ アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ▷ 電源コンセントのアース端子
 - ▷ 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
 - ▷ 接地工事(第 D 種)が行われている接地端子
 - ・ 次のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ▷ ガス管
 - ▷ 避雷針
 - ▷ 水道管や蛇口
 - ▷ 電話専用アース線
- AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラプラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグ、電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 本商品や電源プラグ、電話機コード、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 親機と子機間、子機と別の子機間は約3 m以上離してご使用ください。
 - ・ 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
 - ・ 隣接する電話回線2本以上に、それぞれコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。
- 親機の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から10cm以上離してください。通風孔をふさぐと親機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

警告

- 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用をしないでください。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファアなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電池パックを外すか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものを乗せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電池パックの破損による漏液の原因となることがあります。定期交換については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 点検・清掃(お手入れ)は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。
- 歩行中に子機を絶対に操作しない(見ない)でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

⚠ 注意

お使いになる前に 設置環境

- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- キャスター付きなどの台に設置されるときは、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 親機のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。
- 本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

お使いのとき

- 長期不在時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、子機の電池パックも取り出してください。
- インクフィルムの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけたり、開閉部で手を挟むなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- 記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。
- 紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。
- 給紙ローラや記録紙ローラのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラ類を傷める原因となることがあります。

⚠ 注意

お使いのとき

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が原稿挿入口や記録紙排出口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が電池パックの交換を行わないようご注意ください。
- 年に一度くらいは内部の清掃を当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品の内部にほこりがたまったら、長い間清掃しないと火災や事故の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部清掃費用については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので押さないでください。破損・けがの原因となることがあります。

充電器の取り扱いについて

- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

SDカードの取り扱いについて

- SDカードは乳幼児の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

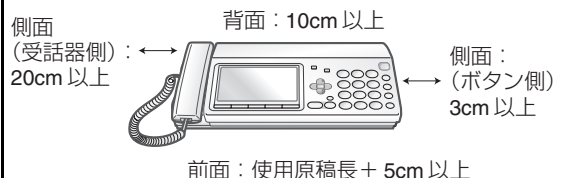
STOP お願い

置き場所について

- 温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。
- 高温、多湿、低温の場所には置かないでください。いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
 温度 5 ~ 35℃ 湿度 30 ~ 85%
 - ・ 温度が 35℃ のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 30℃ 以下でご使用ください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
 - ・ 電波が飛びにくくなります。
- 以下のようなところには置かないでください。
 - ・ クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- トラックや車、オートバイ、電車が近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く雑音が大きいつきは、親機の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは子機が使用できないことがあります。

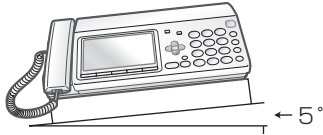
STOP お願い

- 本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
 - ・ 本商品をテレビなどから遠ざける。
 - ・ 本商品またはテレビなどの向きを変える。
- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 親機と子機間の内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 本商品を 2 セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。アンテナの状態が悪いと、電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。
 - ・ 接続などの準備のあと、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
 - ・ 子機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。
- 本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



STOP お願い

- 本商品は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

取り扱いについて

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラプラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の上に重い物をのせたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。
- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 親機および充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。

親機

- ・ 電話をかけたり受けたりすることも、ファクスを送受信することもできません。
- ・ 留守番機能や子機、ドアホンが使えません。
- ・ ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイを利用した機能が使えません。

充電器

- ・ 子機が充電できません。
- ・ 子機のクイック通話が設定されている場合は、充電中に充電器の電源プラグが外れると子機はお話し中の状態となります。
- 子機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP お願い

記録紙について

- 記録紙およびインクフィルムは当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙やインクフィルムをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- 直射日光に当たらない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 薬品・油などを付けしないでください。変色、印字消えの原因となることがあります。
- 粘着テープ、のり、接着剤などを付けしないでください。変色の原因となることがあります。
- 青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

その他

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーの禁止についてをよくお読みの上、ご使用ください（P.138 ページ）。
- 本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。
- 本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
 - ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

STOP お願い

- **キャッチホンをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。**
 - ・ ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
 - ・ また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんのでご了承願います。
 - ・ キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 通話中にキャッチホンが入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- **しわ、折れ、破れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。**
- **残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。**
- **紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずすべて取り除いてください。**

廃棄（または譲渡、返却）されるときは

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を、下記の操作で消去または変更願います。

操作等	参照ページ
子機の電話帳を消去する	81
子機の着信記録を消去する ※	192
子機の登録内容を初期化する	230
親機の登録内容を初期化する	230
インクリボンの廃棄	37

※ ナンバー・ディスプレイご利用時のみ

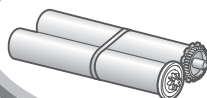
知りたいこともくじ

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは14～15ページをご覧ください。

別売品について

別売品一覧 ⇒ 229ページ

使えるインクリボンの品番は？



ファクシミリ用P型
A4インクリボン (12)

使える子機の電池パックの品番は？



電池パック-098

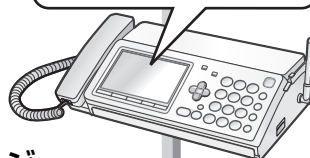
ナンバー・ディスプレイを使って

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を本商品のディスプレイに表示させるサービスです。

ナンバー・ディスプレイサービスを契約したいときは

局番なしの**116番** へお問い合わせください (有料)

0612341111



ナンバー・ディスプレイでできること ⇒ 183ページ

いろいろな設定を使いたい！

携帯電話へおトクにかけると設定をしたい！

(携帯通話設定機能)

⇒ 153ページ

ディスプレイに表示された手順に従って、かんたんに
いろいろな操作をしたい！ (使いかたガイド)

⇒ 38ページ



お使いの環境に関する質問に答えるだけで、自動的にその環境にあった

ファクスの受信方法に設定したい！ (着信設定ガイド) ⇒ 118ページ

登録設定早見表 ⇒ 240～247ページ

特別設定 ⇒ 231～236ページ

迷惑電話がかかってきたら

○かかってきた迷惑電話を切るために…

かかってきた **迷惑電話をお断り**
⇒ 61ページ



この電話は、お受けすることはできません…

○迷惑電話を受けないようにするために…

特定の番号からの電話を受けないようにしたい！（特定番号お断り）
⇒ 200ページ

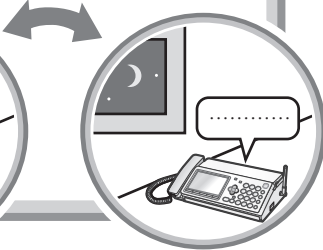


相手側

非通知の相手や**公衆電話**からの電話を受けないようにしたい！
⇒ 199ページ



おやすみ時間など、特定の時間だけ**着信音や動作音を鳴らさない**ようにしたい！（おやすみモード）
⇒ 164ページ

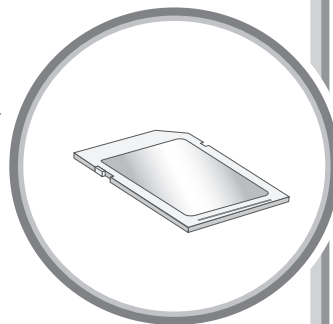


SDカードを使いたい

SDカードは同梱されていません。ご利用になりたいときは、市販のSDカードをお買い求めください（使用できるSDカードは141ページ）。

SDカードを使ってできること
⇒ 143ページ

SDカードの取り付けかた／取り外しかた
⇒ 145～146ページ



本商品の動作で困ったときは

「こまったときは」をご覧ください。
⇒ 202～203ページ



もくじ

安全に正しくお使いいただくために 必ずお読みください	2
知りたいこと もくじ	12
もくじ	14

ご使用の前に

特長	16
付属品の確認	18
ご使用の前に知っていただきたいこと	19
取扱説明書の見かた	22
親機各部のなまえ	23
子機各部のなまえ	25
液晶ディスプレイ	26
親機を接続する	28
電話回線（ダイヤル／ブッシュ） の種別を手動で設定するときは	33
インクリボンを確認する／交換する	35
使いかたガイド（操作ガイド）	38
子機を充電する／電池パックを交換する	40
日付と時刻を設定する	43
自分の番号・名前を登録する	45
音の設定を変える	48

電話・電話帳

電話をかける・受ける・かけ直す	55
迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）	61
親機と子機、子機と子機の間でお話する （内線通話）	64
電話をとりつぐ／3人で電話でお話する （3者通話）	66
電話帳の登録／修正／消去	71
親機の電話帳を音声でお知らせする （おしゃべり電話帳）	77
文字を入力する	82
電話帳で電話をかける	85
ワンタッチダイヤルを使う（親機）	89
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する	91

留守番電話

留守に設定する／解除する	93
録音されている内容を再生／消去する	96
応答メッセージを選ぶ	101
外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）	105
留守番電話の応答回数を変更する （留守時応答回数）	107

ファクス

ファクスを送る	110
ファクスの受けかた	116
質問に答えて自動的にファクスの受信方法を 設定する（着信設定ガイド）	118
電話に出たからファクスを受ける	120
電話に出ないで自動的にファクスを受ける	122
FAX 優先または FAX 専用にする	124
受信したファクスをディスプレイで見る （見てからプリント）	126
F ネット（ファクシミリ通信網サービス）を 利用する	134

印刷・コピー

記録紙のセットのしかた	135
メモリー受信したファクスを印刷する	136
コピーする	138
登録した内容を印刷する	139

SD カード

SD カードを取り付ける／取り外す	141
画像データを読み込んで SD カードに 保存する（スキャン機能）	147
SD カードに録音／ファクスデータを保存する	149
SD カードに電話帳のデータを保存する	151

便利な機能

固定電話から携帯電話への通話サービスを 利用する	153
携帯通話設定機能を利用する	154
1つの電話回線で複数の番号を使う （モデムダイヤルインサービス）	157
着信音や動作音を鳴らさないようにする （おやすみモード）	164
子機を増やす	168
伝言メモを録音する（メモ録音）	169
通話内容を録音する（今から録音）	170
通話内容をさかのぼって録音する （戻って録音）	172
録音した内容を通話中に再生する	175
親機をもっと便利に使う	176
子機をもっと便利に使う	177
ドアホンと話す（ドアホン通話）	179

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	181
ネーム・ディスプレイを利用する	184
キャッチホン/キャッチホン・ディスプレイ	185
着信を音声でお知らせする(誰からコール/ 誰あてコール/どこからコール)	186
着信記録(着信履歴)を見る	191
着信記録(着信履歴)を使って電話をかける	193
着信の種類によって着信音を変える (着信鳴り分け)	196
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を 拒否する(着信お断り)	199
特定の番号からの着信を拒否する (特定番号お断り)	200

こまったときは

こまったときは	202
電話がかかけられない	204
ファクスを送れない	206
ファクスを受けられない/着信音が鳴らない	207
相手の声が聞こえにくい	208
コピーや印刷ができない	209
印刷した画像が汚い	210
子機が使えない	211
留守モードが正しく働かない	212
SDカードが使えない	213
ナンバー・ディスプレイが使えない	214
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	216
その他 こまったときは	217
記録紙に白や黒の線が入るときは	219
お手入れのしかた	221
原稿や記録紙がつまったときは	222
エラー表示/エラー音について	225
故障かな?と思ったときは (修理依頼される前に)	228

ご参考に

別売品/消耗品	229
登録や設定・電話帳の内容を初期化する	230
特別設定について	231
区点コード一覧表	237
仕様	239
登録/設定早見表	240
用語集	248
リモート操作手順カード	249
さくいん	251

お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん(251~254ページ)をご覧くださいになると見つかる場合があります

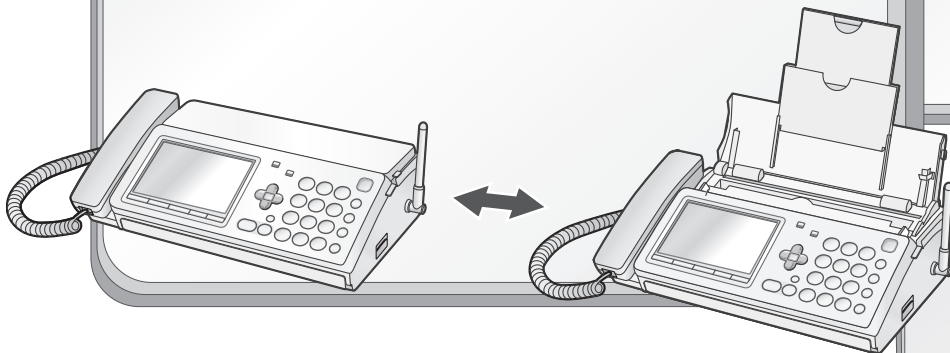
Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.
Copyright 1993-2004 Datalight, Inc., All Rights Reserved
U.S. Patent Office 5,860,082/6,260,156

● お知らせ ●

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

片手でスルッと 引き出せる **しまえるトレイ**

ファクシミリ機能を使わないときは、記録紙トレイをスッキリ収納できます。お部屋の雰囲気をこわさず、コンパクトに置けるだけでなく、ホコリが防げてお掃除もラクラクです。



迷惑電話をお断り！ **セキュリティ機能**

● 戻って録音、今から録音 (☎ 170～171、172～174ページ)

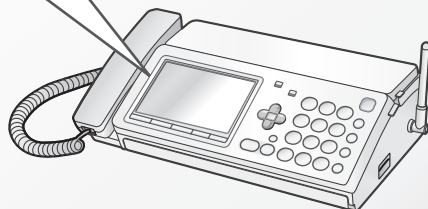
ボタンを押す前の会話を最大15分前までさかのぼって録音できる「戻って録音」
ボタンを押した後の会話を、証拠やメモ代わりに録音できる「今から録音（通話録音）」

● 迷惑電話拒否機能（3種類）

(☎ 61ページ)

- ・チャイムでお断り／メッセージでお断り／録音でお断り

この電話は、
お受けすることが
できません…



● おやすみモード (☎ 164～167ページ)

※特定の番号からの着信だけ受けるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です

特定の時間だけ、着信音を鳴らさないように設定できます。

夜間など、おやすみのときに急な電話で起こされることはありません。

特定の相手からの電話だけ受けることができるため（選んで着信 ☎ 166～167ページ）、緊急のときも安心です。

大画面だから見やすく、使いやすい 4.7型大画面液晶

- **見てからプリント** (☎126~133ページ)
受信したファクスを大きな4.7型の「くっきりホワイト液晶」で確認。必要なものだけ印刷できるので用紙代やインクリボン代を節約できます。
- **デカ文字表示**
電話帳や着信／発信時の相手の名前や電話番号などが大きな文字ではっきり確認できます。

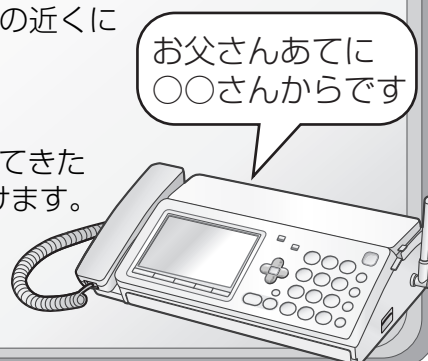
FAXも留守録もたっぷり保存できる SDカード対応 (☎141~152ページ)

受信したファクスデータや留守録などの音声データを直接SDカードに保存できます。受信ファクスなら最大150件（1件で最大99枚）、音声データなら最大500件（1件で最大60分）の保存が可能です。また、読み取った原稿をSDカードに保存したり、電話帳データをSDカードにバックアップすることもできます。

※ SDカードは付属しておりません。お使いになるときは、別途お買い求めください (☎141ページ)。

かけてきた相手が音声でわかる 新・誰からコール

- **誰からコール** (☎186~187ページ)
※ナンバー・ディスプレイの契約が必要です
かけてきた相手の名前を音声でお知らせ。電話の近くに
いなくても、相手わかるので便利です。
 - **誰あてコール** (☎188ページ)
かけてきた相手の名前と一緒に、誰あてにかかってくる
かを音声でお知らせ。電話をとりつぐ手間が省けます。
- ※ 音声お知らせ機能の音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。



付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。

親機 1台 	受話器 1個 受話器コード 1本 	子機 P-267SD: 1台 P-267SDw: 2台 	充電器 (子機用) P-267SD: 1個 P-267SDw: 2個 
電池カバー (子機用) P-267SD: 1個 P-267SDw: 2個 	電池パック (子機用) P-267SD: 1個 P-267SDw: 2個 	電話機コード (約2m) 1本 	インクリボン (33m) 1本 ●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。 
●インクリボンは、必ず当社の指定品をお使いください (☎ 229ページ)。 ■ファクシミリ用P型A4インクリボン (12) (33m×1本入り) ●SDメモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください (☎ 141ページ)。			
取扱説明書 (本書) * 1冊		保証書 1部	
NTT通信機器お取扱相談センターシール 1枚		記録紙 (A4普通紙) 10枚	

*当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

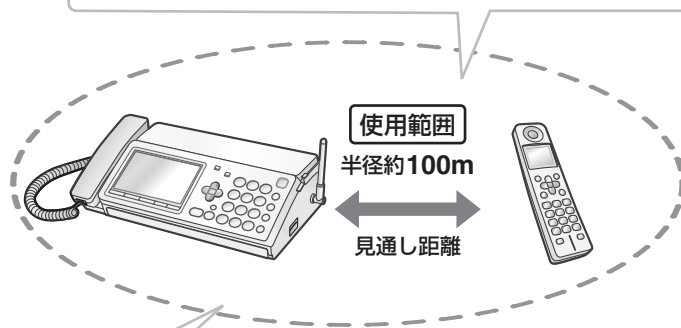
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

ご使用の前に知っていただきたいこと

本商品の取り扱いについて

■ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなる場合があります。

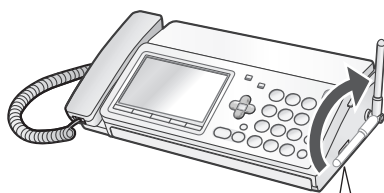


■ 子機の使用範囲を確かめる

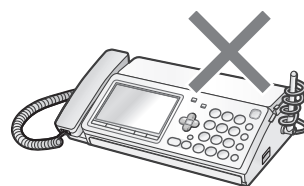
電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☎64～65ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。



まっすぐに立てる



■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

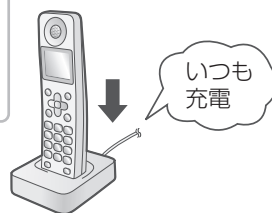
■ 本商品を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。

- 電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
 - ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
 - 鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
 - 2.4GHzコードレス電話機
- その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



■ 子機の電波について

子機は、2.4~2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避できません。

変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m

本商品には、それを示すマークが貼付されています。



本商品の使用周波数に関わるご注意

本商品の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
 - 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）
- ・本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本商品から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



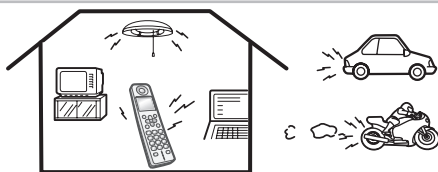
■ “傍受” にご注意ください

本商品は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■ 電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本商品を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに本商品を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。





■ 子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声かとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- アンテナの近くに、AC アダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声かとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本商品の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声かとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声かとぎれることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声かとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなるがありますが、故障ではありません。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

- 本商品にはシャープ株式会社が液晶画面で読みやすくなるように設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。



取扱説明書の見かた

タイトル

項目のおおまかな内容を表しています。

中見出し

説明している操作などの具体的な内容を表しています。

機能説明

機能の内容を説明しています。

操作手順

基本的な操作を説明しています。特に指定がない場合、待受画面の状態（何も操作をしていない状態）で、説明の通りに最初から順番にボタンを押してください。イラストは、必要なボタンの位置や、操作をしているときに表示されるディスプレイの画面例を表しています。項目の最後に「次ページへ」と書かれているときは、操作手順は次のページへ続いています。続けて、次ページをご覧ください。

補足説明

操作に関する補足事項を説明しています。

追加説明

操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ

制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

伝言メモを録音する（メモ録音）

親機でメモ録音することができます。本体メモリーを使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または最大30件まで録音できます。SDカードを本商品に取り付ける（※145ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（※145ページ）。SDカードに録音できるメモは1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大500件です（60分×500件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

親機でメモ録音をする

1 受話器を取る



2 受話器を押す



録音が開始されます。

3 録音が終わったら



4 受話器を戻す



メモを録音すると、日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

録音したメモを再生するときは

録音されたメモは、留守録メッセージと同じように再生の録音として登録されます。他の録音と同じ操作で再生してください。

親機：再生

子機：再生

① を押す

② [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶ 留守番電話
優先呼出
着信音響

③ を押し、[用件再生] が選択されていることを確認する

▶ 用件再生
留守設定切替
全消去

④ を押す

メモ録音をしているときに電話がかかってきたときは

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。


お知らせ


●メモを録音しているときは、子機で電話をかけた時、内線通話を行ったりすることはできません。

インデックス

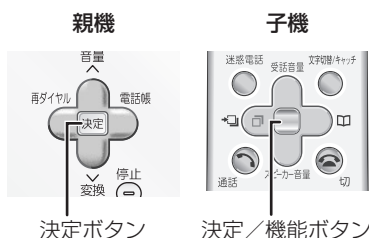
操作したい項目を簡単に検索できます。

■ 操作手順でのボタンやマークの意味



操作手順にある  の形のマークは、マルチファンクションキーを表しています。

マルチファンクションキーとは、親機や子機の真ん中にある  の形のキーです。ディスプレイの項目の選択や決定に使います。上下左右を選ぶときは、それぞれ十字キーの上下左右を、決定を選ぶときは、真ん中の決定/機能ボタンを押してください。

<マルチファンクションキーの表記について>



左図のマルチファンクションキーを使った操作は、略図で示しています。

上を押すとき： 下を押すとき：

左を押すとき： 右を押すとき：

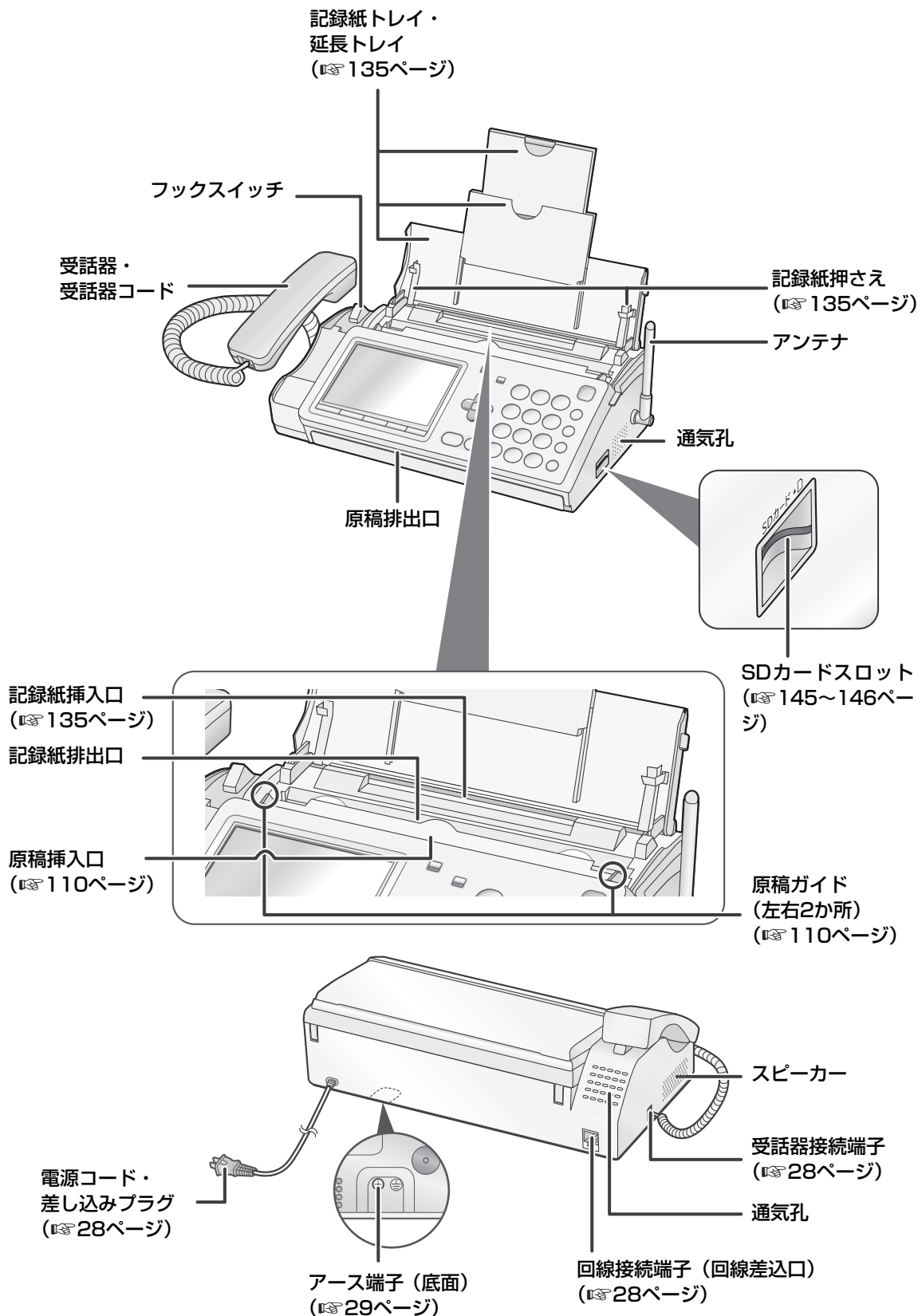
決定/機能ボタン（マルチファンクションキー中央部）を押すとき：

親機は 、子機は 

● お知らせ

- 表記されている画面例は、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 操作説明によっては、画面表示例がっていないものがあります。

親機各部のなまえ





(マルチファンクション) キー



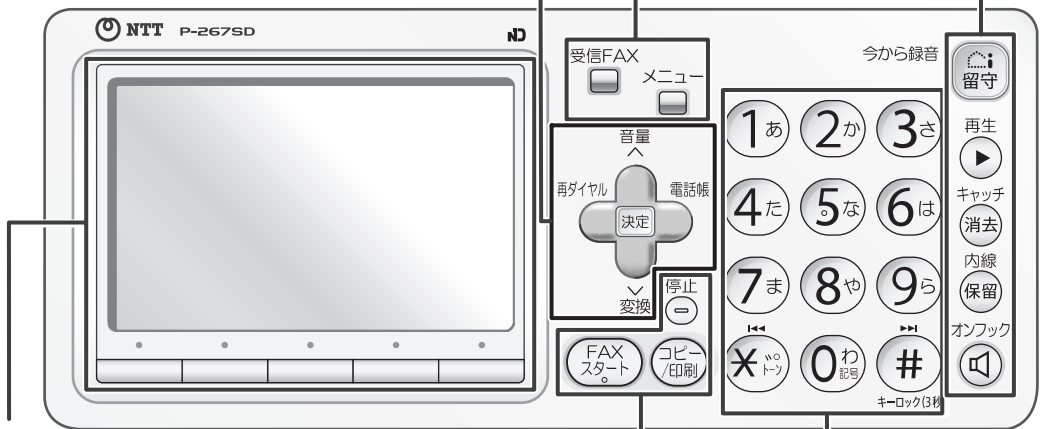
決定 (決定) ボタン

- ・ 項目の選択、決定など

	<p>上を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着信音量変更 (☎48ページ) ・ スピーカー音量変更 (☎51ページ) ・ 受話音量変更 (☎50ページ) ・ 文字変換 (☎83ページ)
	<p>下を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着信音量変更 (☎48ページ) ・ スピーカー音量変更 (☎51ページ) ・ 受話音量変更 (☎50ページ) ・ 文字変換 (☎83ページ)
	<p>右を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話帳 (☎85ページ)
	<p>左を押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再ダイヤル (☎58ページ) ・ 待ち時間 (ポーズ) の入力 (☎74ページ)
	<p>決定ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択した項目の決定 ・ 待受画面からメニュー画面の呼び出し

	<p>受信FAXボタン</p> <p>ファクスをメモリー受信すると、ランプが点滅します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見てからプリント (☎126ページ)
	<p>メニューボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メニュー画面の呼び出し

	<p>留守/今から録音ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留守の設定 (☎93ページ) ・ 留守の解除 (☎94ページ) ・ 今から録音 (☎170ページ)
	<p>再生ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 録音再生 (☎96ページ) ・ 通話中再生 (☎175ページ)
	<p>キャッチ/消去ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種消去 ・ キャッチホン (☎185ページ)
	<p>内線/保留ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内線通話 (☎64ページ) ・ 通話の保留 (☎56ページ)
	<p>オンフックボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受話器を置いたままダイヤル (☎56ページ)



液晶ディスプレイ (☎26ページ)

点灯 (点滅) するボタンは

受信FAX

の2つです。

	<p>FAXスタートボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファクスの送受信 (☎110 ~ 114、120ページ)
	<p>コピー/印刷ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリー受信したファクスをプリント (☎136ページ) ・ コピー (☎138ページ)
	<p>停止ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操作や送信の中止


ダイヤルボタン — 電話をかける/文字入力/登録操作など


	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録音を聞き直す (☎98ページ) ・ プッシュホンを利用する (☎56ページ)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の録音へとばす (☎98ページ) ・ キーロック (☎176ページ)

、 ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

子機各部のなまえ



前面

 (マルチファンクション) キー /

 (機能/決定) ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・受話音量変更 (☎54ページ)
	下を押す ・スピーカー音量変更 (☎54ページ)
	左を押す ・再ダイヤル (☎59ページ) ・着信記録 (☎192、194ページ) ・待ち時間(ポーズ)の入力 (☎80ページ)
	右を押す ・電話帳登録 (☎79~80ページ) ・電話帳検索 (☎88ページ)
	機能/決定ボタン ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼出 ・ファクスの送受信 (☎112、121ページ) ・通話中の録音再生





 キーや  ボタンは、本書では上記のように略図で示しています。

通話ボタン

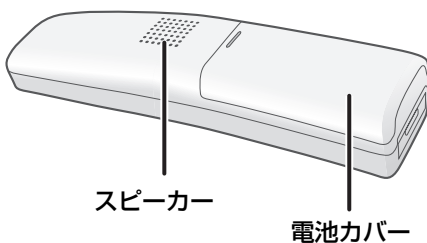
・電話をかける・受ける (☎55~57ページ)

ダイヤルボタン

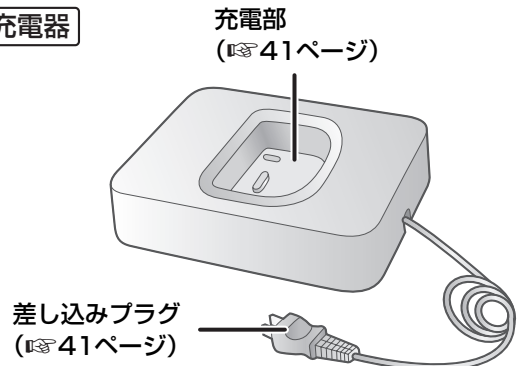
電話をかける/文字入力など

	5 な 録音を聞き直す (☎100ページ)		9 ら 録音の早聞き (☎100ページ)
	6 は 次の録音にとばす (☎100ページ)		* プッシュホンを利用する (☎56ページ)

背面

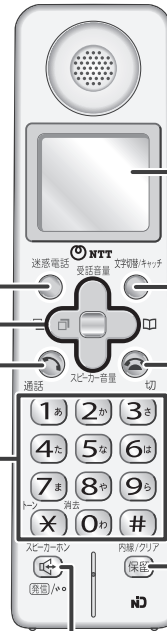


充電器



迷惑電話ボタン

- ・チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り (☎62ページ)
- ・戻って録音 (☎173ページ)
- ・今から録音 (☎170~171ページ)



液晶ディスプレイ (☎27ページ)

文字切替/キャッチボタン

- ・文字切替 (☎82、84ページ)
- ・キャッチホン (☎185ページ)

切ボタン

- ・通話の終了
- ・登録メニューの終了

保留/内線/クリアボタン

- ・保留 (☎56ページ)
- ・内線通話 (☎65ページ)
- ・文字消去 (☎84ページ)

スピーカーホンボタン

- ・スピーカーホン通話 (☎56、57ページ)
- ・受話通話 (☎56ページ)

液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再び通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。



設定状態表示

「見てからプリント」|「メモリー受信」または「記録紙受信」
ファクス受信方法の設定 (☎232ページ) を表示します。

「FAX優先」|「FAX専用」または「おやすみモード」
FAX優先や、FAX専用を設定されているときに表示します (☎124～125ページ)。
また、おやすみ機能が設定されているときに表示します (☎164～167ページ)。

「着信音」または「誰からコール」
着信音を鳴らさない設定のときや「おやすみモード」 (☎164～167ページ) を設定しているとき、または「誰からコール」が設定されているとき (☎186～189ページ) に表示します。

① **SD**
SDカードの挿入時に表示します (☎145ページ)。また、データの読み込み、書き込み中には点滅します。

保存
SD
受信ファクスや録音メッセージの保存先をSDカードに設定 (☎145ページ) しているときに表示します。

保存
メモリー
受信ファクスや録音メッセージの保存先を本体メモリーに設定 (☎145ページ) しているときに表示します。

キーロック
キーロックが設定されているときに表示します (☎176ページ)。

お断り
各種の着信お断り機能 (☎199～200ページ) が設定されているときに表示します。

① **お断り**
携帯通話設定機能 (☎154～155ページ) が設定されているときに表示します。

② **エラー／メッセージ表示** (☎225～227ページ)
各種のメッセージを表示します。

③ **日付・時刻表示**
日付・時刻を表示します。

④ **メモリー表示**
留守録音 (留守録音件数表示)
留守録音やメモ録音の件数を表示します。

④ **メモリー (メモリー受信件数表示)**
メモリー受信しているファクスの件数を表示します。

⑤ **ソフトボタン名表示／ソフトボタン**
ここでは、「操作ガイド」や「着信記録」のように、そのとき使用できる機能の名称が表示されます。表示の下のソフトボタン () を押すと、その機能を使用できます。
ソフトボタンを使った操作は、以下のように表記しています。

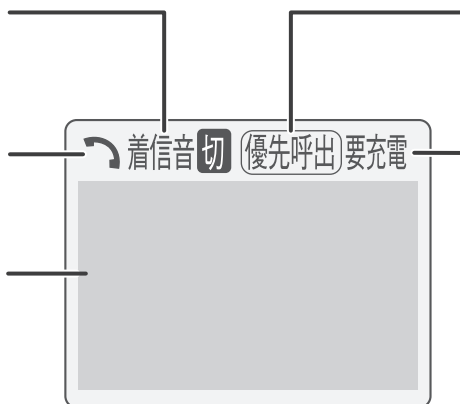
例：「操作ガイド」という画面表示の下の () を押す→ **操作ガイド**

子機

着信音を「切」に設定しているときに表示します。

通話ボタンを押すと表示します。

時刻や電話番号、子機番号や使用者名(設定したときのみ)、通話時間などを表示します。



優先呼出を設定しているときに表示します。

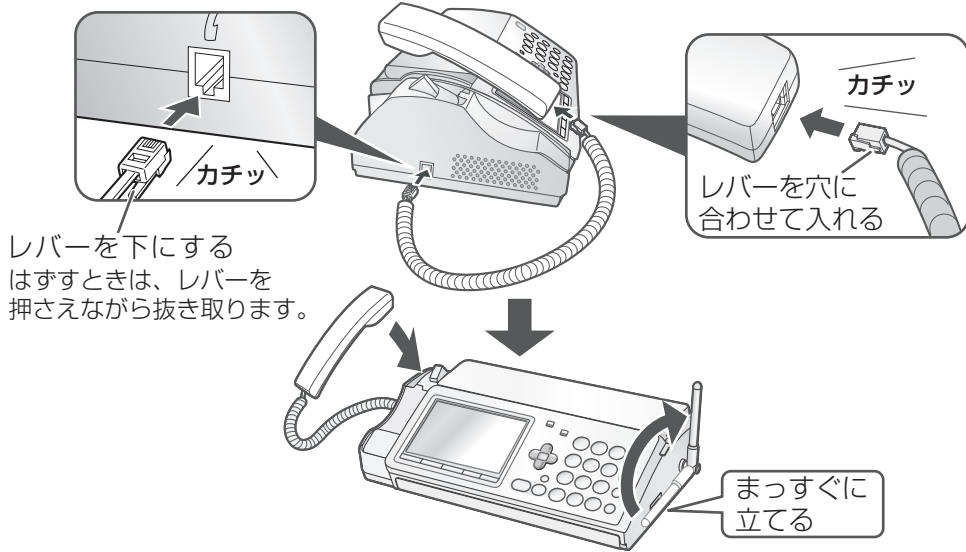
電池パックの残量が不足しているときに表示します(☎40ページ)。

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

親機を接続する

親機を接続する

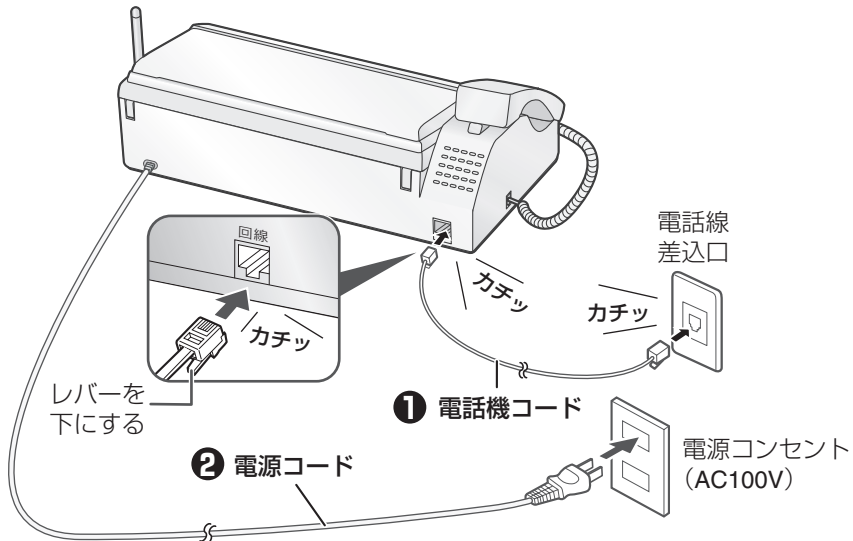
1 受話器を取り付け、アンテナを立てる



2 電話機コードを接続したあと (①)、電源コードを接続する (②)

必ず電話機コードを電源コードより先に接続してください。順序を変えると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。

- ・ 引っ越しをしたときや本商品を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線に接続するときは、回線種別を手動で設定してください (☞ 33ページ)。

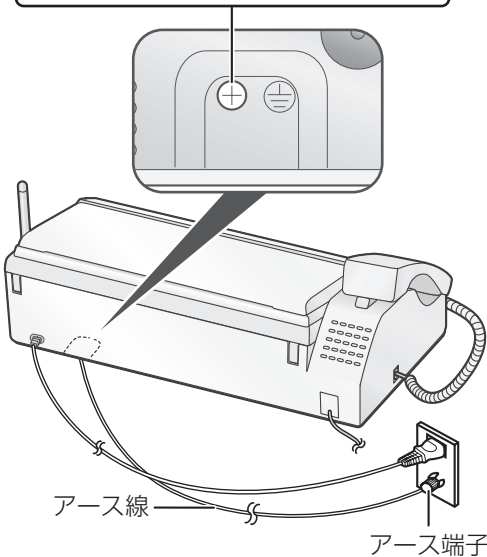


電源コードを接続すると、日付・時刻の設定画面が表示されます (☞ 30ページ)

アース端子について

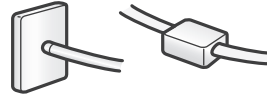
アース端子（本体の底面にあります）

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

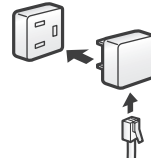


電話線コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。



また、3ピンプラグ式コンセントの場合、詳しくは当社にご相談ください。



構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などでもできる家庭用の簡易交換機です。

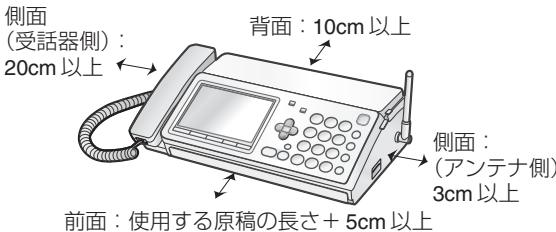
ビジネスホンとは

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を【使用しない】にしてお使いください（☎ 182ページ）。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

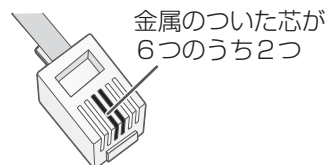
設置について

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



● お知らせ ●

- 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機ともに約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本商品を設置するときは」（☎ 19ページ）をご覧ください。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリとブランチ式（並列）に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、必ず付属のものをお使いください。



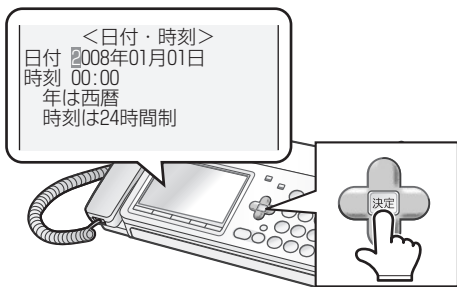
もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
ごまっただときは
ご参考に
さへいん

日付・時刻を設定する

電源コードを接続すると、右記の画面が表示されます。画面にしたがって設定してください。

日付・時刻を設定してください。[決定]で設定に入ります。

1 決定 を押す

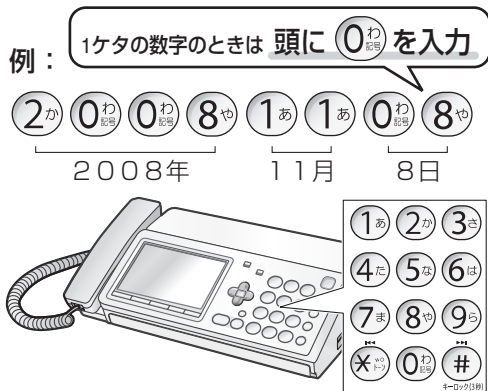


・日付・時刻の入力をキャンセルしたいときは、**中止** を押してください。**中止** を押すと、手順5の画面になります。

3 ダイヤルボタンで時刻を入力する

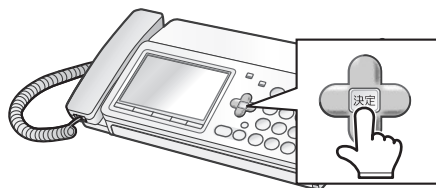


2 ダイヤルボタンで日付を入力する



・日付・時刻の入力の途中でキャンセルする停止 (⏪ を押す) と、手順5の画面になります。

4 決定 を押す



・先に子機を充電している場合、親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が設定されます(時計バックアップ 234ページ)が[使用する]に設定されているときのみ。

次ページへ

5 でひかり電話を利用しているかどうかを選ぶ



- ひかり電話をご利用のとき
[はい] を選び を押す
設定が終了し、待受画面が表示されます。
→ **6** へ
- ひかり電話をご利用にならないとき
[いいえ] を選び を押す
→ 次ページ「携帯通話設定を設定する（ひかり電話では使用できません）」へ

6 自動的に電話回線種別が設定される

・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき:

■ 日付・時刻を設定し直すときは

途中で間違えて設定してしまったり、日付、時刻を後から設定したいときは、43～44ページを参照して、あらためて設定し直してください。

● お知らせ

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。

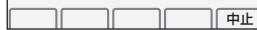
携帯通話設定を設定する（ひかり電話では使用できません）

電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルしたあと、ひかり電話の利用を「いいえ」と選択した場合、右記の画面がディスプレイに表示されます。ディスプレイの指示の通り操作すると、「携帯通話設定（☎ 153ページ）」を設定することができます。

携帯通話設定を利用しないときは、**中止** を押して設定を中止します。

NTT東日本の場合

携帯電話に電話をかける時
自動で0036（NTT東
日本）を付けてダイヤルを
します
[決定]で設定に入ります

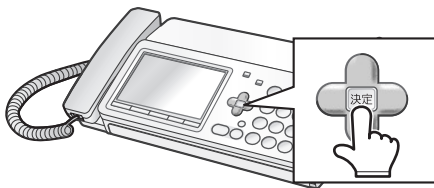


NTT西日本の場合

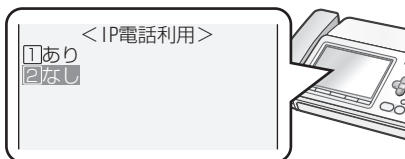
携帯電話に電話をかける時
自動で0039（NTT西
日本）を付けてダイヤルを
します
[決定]で設定に入ります



1 **決定** を押す



2 **+ (決定)** で [**<IP電話利用>**] の項目を選ぶ



○ IP電話（ひかり電話などを除く）
をご利用のとき

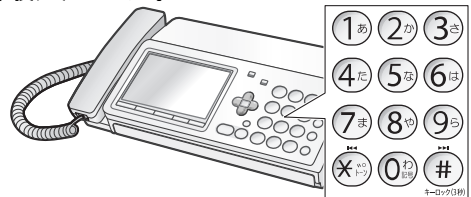
[あり] を選んで **決定** を押す
→ **3** へ

○ IP電話をご利用にならないとき

[なし] を選んで **決定** を押す
→ **5** へ

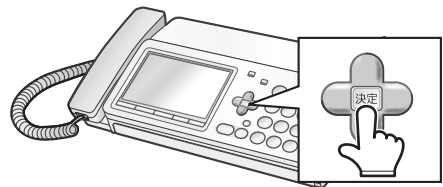
・IP電話を利用していないときは、[<IP電話
利用>] を [なし] にしてください。

3 **ダイヤルボタン** で、ご利用のIP電話の「加入電話選択番号」を入力する（最大6ケタ）



- ・「加入電話選択番号」とは、IP 電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。この番号については、IP電話の契約電話会社にお問い合わせください。
- ・最初は「0000」が入力されています。加入電話選択番号を入力するときは、「0000」を消去せず、そのまま入力してください。

4 **決定** を押す




5 自動的に電話回線種別が設定される


- ・途中でやめるとき：**停止** (⏻)
- ・1つ前に戻るとき：**戻る** (⏪) または **取消** (✖)
- ・一度設定またはキャンセルしたときは、2回目からはこの画面は表示されません。
設定しなおしたいときや解除したいときは、154～155ページをご覧ください。

電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定するときは


電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないことがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。また、10PPS回線は自動で設定されませんので、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

- ①  を押す
- ② [はじめの設定] が選択されていることを確認する


<メニュー>

①はじめの設定
②着信音と誰からコール
③電話帳の設定
④留守番電話の設定
⑤着信お断りの設定
- ③ **決定** を押し、 で [回線種別選択] を選ぶ


<はじめの設定>

①日付・時刻
②発信元番号
③発信元名
④回線種別選択
⑤液晶濃度調整
- ④ **決定** を押し、 で [20 PPS]、[トーン]、[10 PPS] から設定したい項目を選ぶ


<回線種別選択>

①20 PPS
②トーン
③10 PPS
④自動設定
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥  を押す


電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別をもう一度、自動で設定するときは

- ①  を押す
 - ② [はじめの設定] が選択されていることを確認する

<メニュー>

①はじめの設定
②着信音と誰からコール
③電話帳の設定
④留守番電話の設定
⑤着信お断りの設定
 - ③ **決定** を押し、 で [回線種別選択] を選ぶ

<はじめの設定>

①日付・時刻
②発信元番号
③発信元名
④回線種別選択
⑤液晶濃度調整
 - ④ **決定** を押し、 で [自動設定] を選ぶ

<回線種別選択>

①20 PPS
②トーン
③10 PPS
④自動設定
 - ⑤ **決定** を押す
- ・電話回線を自動で設定して待受画面に戻ります。

■ 電話回線を手動で設定しても電話がかけれないときは

「電話がかけれない」(☞204～205ページ)をご覧ください。

■ 親機の接続が完了したら…

使いかたガイド(☞38ページ)を使うと、ディスプレイ上にいろいろな操作や説明が表示されますので、さらに便利な設定を行うことができます。

インクリボンを確認する／交換する

ファクスやコピーの印刷に必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボン（ギヤつきタイプ）は、必ず当社指定品をお使いください（P.229ページ）。

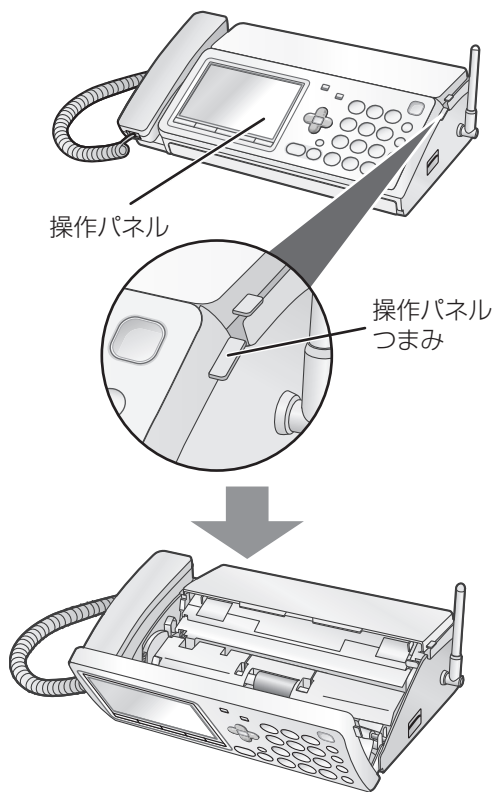
33mでA4原稿を最大で約105枚（※）印刷することができます。

※1件5枚の受信FAXデータをくり返し印刷した場合

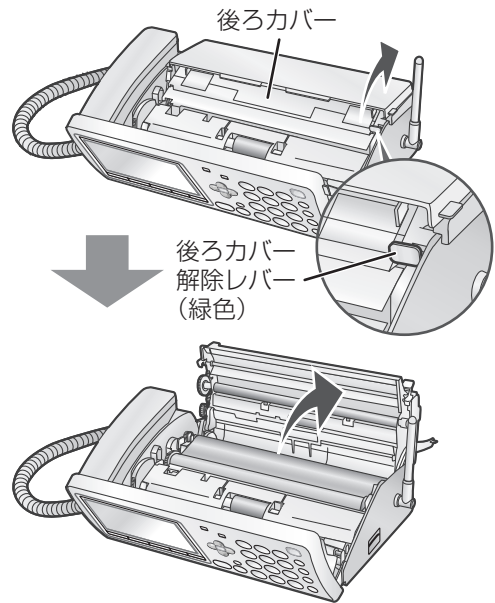
インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

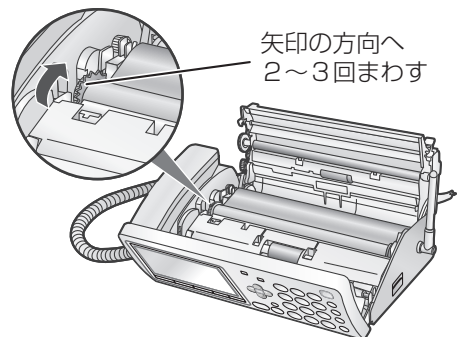
- 1** 操作パネルつまみを持って、
操作パネルを前に起こす



- 2** 後ろカバー解除レバー（緑色）を
押し上げ、後ろカバーを後ろに
起こす



- 3** インクリボンのたるみを取る



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

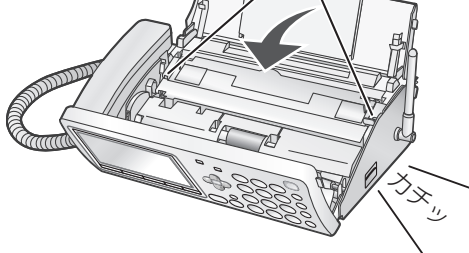
ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

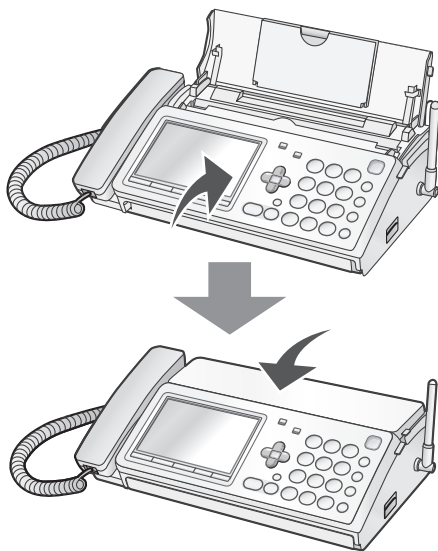
ご参考に
さへいん

4 後ろカバーを閉める

「カチッ」と鳴るまで
○○○マークをしっかりと押す



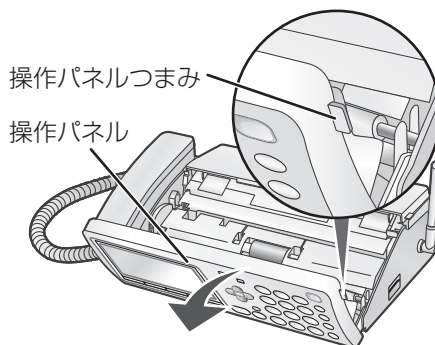
5 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



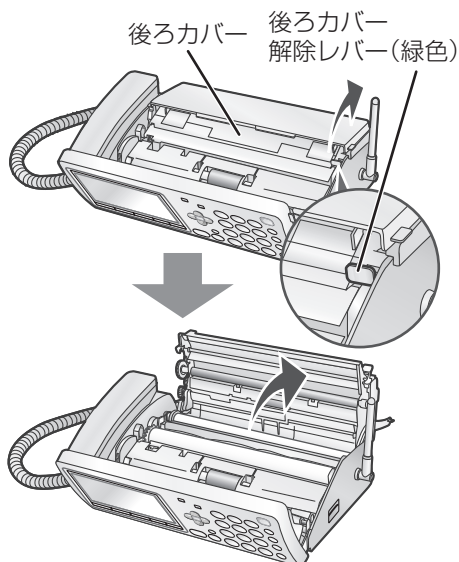
使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに「インクリボンがありません 交換してください」と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす



2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



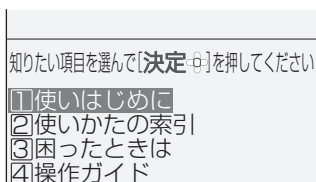
次ページへ



使いかたガイド（操作ガイド）

操作ガイド を押すと、本商品の操作方法や説明などを、ディスプレイに表示することができます（使いかたガイド）。





使いかたガイドの目次画面

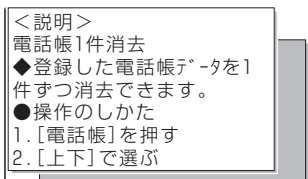


- **使いはじめに**
基本的な操作の説明を表示します。「基本的な使いかた」を選ぶと、説明にしたがって操作するだけで、基本的な設定を行うことができます。1つずつ選んで設定することもできます。
- **使いかたの索引**
操作や設定の方法のさくいんを表示します。  または  で頭文字を選択して表示します。
- **困ったときは**
本商品の操作や設定がおかしくなったときなど、トラブルの対処法の説明を表示します。
- **操作ガイド**
エラー表示の対処法など、操作にこまったときの説明を表示します。

使いかたガイドで使用するボタンについて



-  または  : 項目の選択
- 決定** : 項目の決定
- 目次へ** : 目次画面を表示
- 次ページ** : 次の画面を表示
- 前ページ** : ひとつ前の画面を表示
- 音声切替** : 操作ガイドの音声でお知らせする（音声ガイド）設定／解除を変更（操作ガイドのみ）
- 中止** : 操作ガイドを中止し、待受画面を表示

「使いかたの索引」「困ったときは」の表示について



「使いかたの索引」「困ったときは」の操作方法を探すと、上記のように操作方法が表示されます。

操作方法表示中は、以下の操作を行うことができます。

-  または  : 説明の表示画面を上下に移動
- ズーム④** : 文字の大きさを1段階上げる
- ズーム④** : 文字の大きさを1段階下げる
- 印刷** : 表示された操作方法を印刷する

・文字の大きさは4段階まで変更することができます。最初は2段階目に設定されています。

操作ガイドの目次画面

<p>+ 液晶操作ガイド</p> <p>知りたい項目を選んで「決定」を押してください</p> <p>①ファクスを送るとき</p> <p>②子機でファクスを受けるには</p> <p>③「受信FAXがあります」</p> <p>④「録音があります」</p> <p>⑤受信FAXを印刷する</p> <p>⑥コピーをする</p> <p>⑦エラー表示のとき</p> <p>⑧交換用インクリボンの型番</p>

- ①②ファクスの基本的な送受信操作
- ③⑤受信データの確認/プリント操作
- ④録音内容の再生操作
- ⑥コピーの操作
- ⑦エラー対応
- ⑧交換用インクリボンのご案内

音声ガイドについて

操作ガイドの内容を音声でお知らせします。

音声でお知らせする設定にするときは、**音声切替**を押してください（お知らせしないようにするには、もう一度 **音声切替** を押してください）。

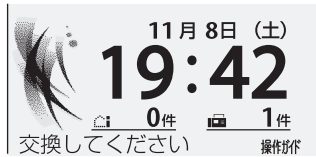
<p>+ 液晶操作ガイド</p> <p>知りたい項目を選んで「決定」を押してください</p> <p>①ファクスを送るとき</p> <p>②子機でファクスを受けるには</p>	<p>音声ガイド</p> <p>音声ガイドが設定されているときに表示されます。</p>
--	---

音声ガイドが設定されているときに表示されます。

お知らせが完了した音声ガイドをもう一度聞くときは、再生 **▶** を押してください。

・操作ガイド以外の項目では、音声ガイドは機能しません。

画面にメッセージが表示されているときは



上図のように、待受画面に操作ガイドと表示されているときに **操作ガイド** を押すと、対応を案内する操作ガイドが表示されます。

目次画面を表示したいときは **目次へ** を押してください。

メッセージが表示されていないときに **操作ガイド** を押すと、目次画面から表示します。

■ 待受画面で **FAXスタート** や **コピー印刷** を押したときは

待受画面で **FAXスタート** を押すと、操作ガイドの「ファクスを送るとき」を表示します。

また、原稿をセットしない状態で、待受画面で **コピー印刷** を押したときは、操作ガイドの「コピーをする」が表示されます。原稿をセットしているとコピーが始まりますので、ご注意ください。

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 「使いはじめに」 「操作ガイド」 の項目の内容は印刷することができません。
- 音声ガイドの音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

子機を充電する／電池パックを交換する

通話時間について

いっぱい充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で**約6時間**です。

●通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、子機のディスプレイに**要充電**が表示され“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**【電池残量がありません】**と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。登録操作中のときは、充電してください。

電池残量を確認したいときは

- ① を押す
 - ② で **【電池残量】** を選ぶ
- アラーム
電話帳転送
▶電池残量
- ③ を押す

・ディスプレイの表示と電池パックの残量については、以下の通りです。

- 残量 ■■■■ : 充分に残っています。
残量 ■■■ : 少なくなっています。
残量 ■■ : ほとんどありません。すぐに充電してください。

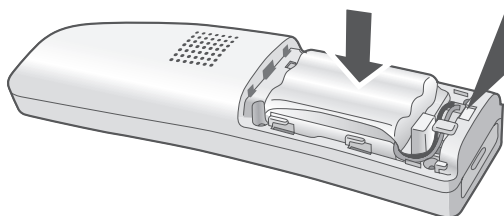
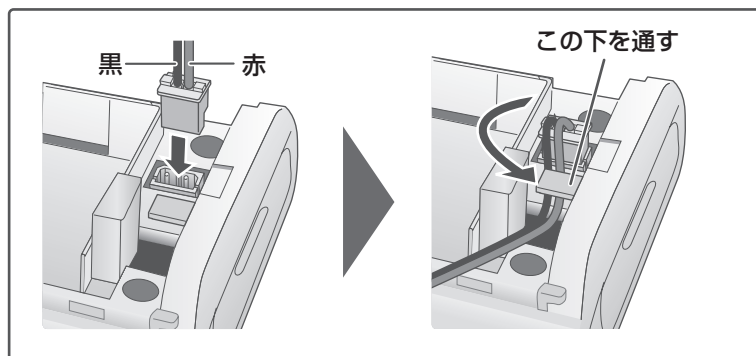
ディスプレイに**要充電**や**【電池残量がありません】**と表示されているときは、使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。

充電が完了すると**要充電**は消えます（ただし、充電が完了する前に子機を充電器から取り上げて戻したときも**要充電**は消えます）。

電池パックをセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

1 電池パックのコネクタを接続して、電池パックを子機にセットする

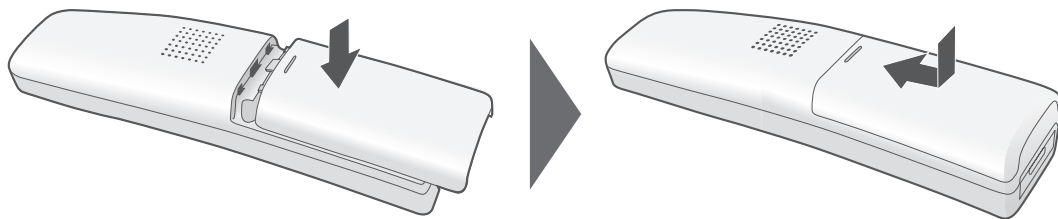


警告

電池パックのビニールカバーをはがしたり、キズを付けないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

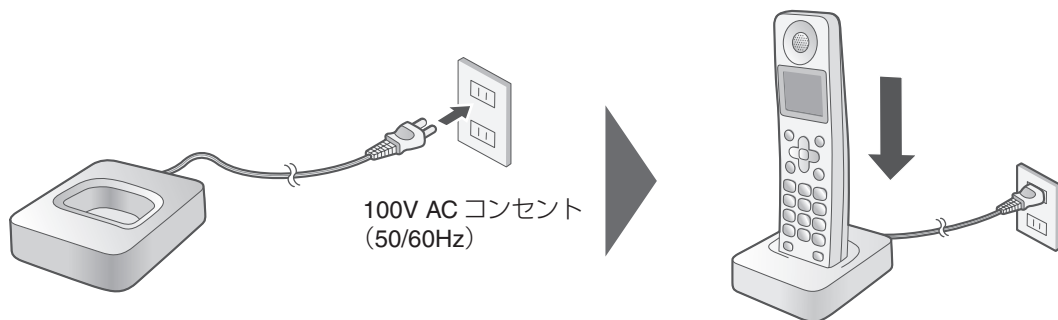
次ページへ

2 電池カバーを取り付ける



コードをはさまないようにご注意ください。

3 充電器の電源コードを接続し、子機を充電器に置いて充電する



- ・初めて使用するときは、必ず**10時間以上**充電してください。
- ・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
- ・充電中は、ディスプレイに「<充電中>」と表示されます（充分に残っている状態から充電した場合は、表示しません）。

● お知らせ ●

- P-267SDwをお使いのときや、P-267SDに子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

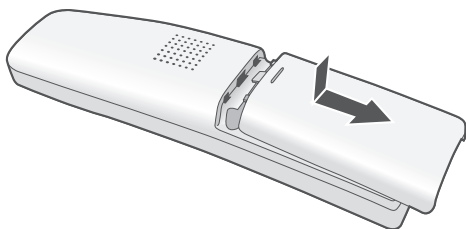
電池パックを交換する

電池パックは約2年程度で交換してください
(必ず当社指定品をお使いください 229ページ)

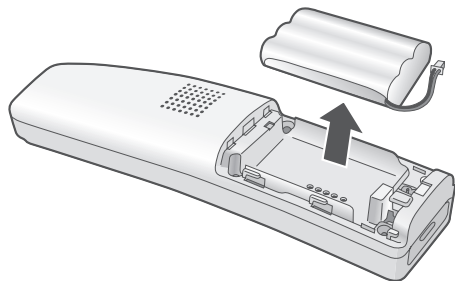
子機に内蔵している専用の電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で電池パックの容量が減少していきます。

長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときには、別売りの電池パック (229ページ) に交換してください。

1 電池カバーをはずす



2 電池パックを取り外す



3 新しい電池パックを入れる

・「電池パックをセットして子機を充電する」
(240～241ページ) の手順 **1** ～ **3** を
参考に、新しい電池パックを入れて10時間
以上充電してください。

電池パックのリサイクルご協力をお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記をお願いします。
 - 本商品またはニッケル水素電池をお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。

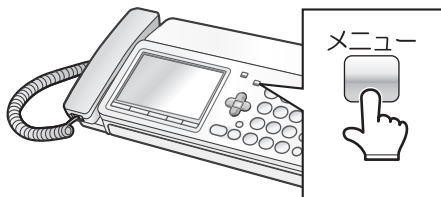
日付と時刻を設定する

設定した日時に誤差が生じたときなど、日付と時刻を設定することができます。親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機で設定した日時を転送して子機の日時を設定したり、子機で設定した日時を転送して親機の日時を設定したりすることもできます。

親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わすときは、次の操作を行います。

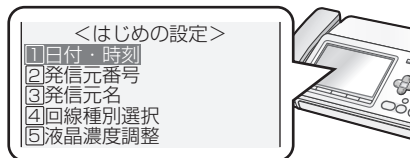
1 **メニュー** を押す



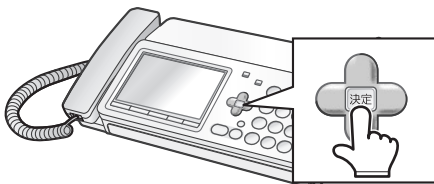
2 [はじめの設定] が選択されていることを確認する



3 **決定** を押し、[日付・時刻] が選択されていることを確認する

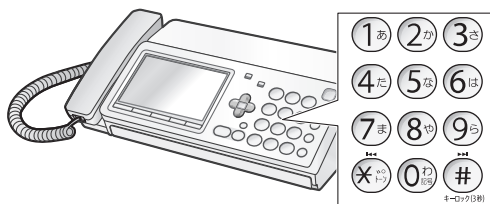


4 **決定** を押す



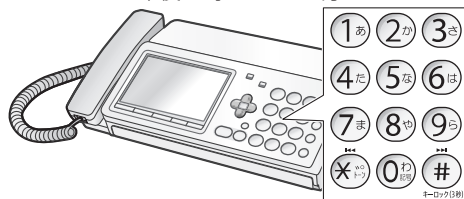
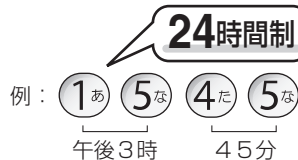
5 **ダイヤルボタン** で日付を入力する

例：



・数字を入れ間違えたときは、**取消** で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

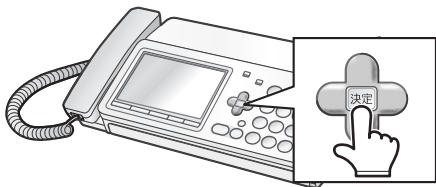
6 **ダイヤルボタン** で時刻を入力する



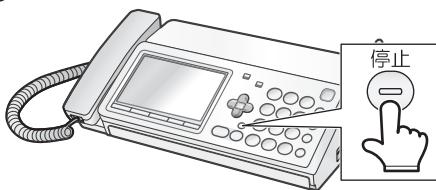
・時刻は、24時間制で入力します。
・数字を入れ間違えたときは、**取消** で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

次ページへ

7 決定 を押す



8 停止 を押す



・親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（☎234ページ）が、[使用する]に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に親機の日時設定が転送されて子機に上書きされます。

・途中でやめるとき： /

1つ前に戻るとき： または

■ 親機に登録されている日付や時刻を子機に転送したいときは（時計転送 ☎235ページ）

子機が充電切れになったときなど、子機の日時登録が消えてしまったときは、親機の日付や時刻の設定を子機に転送することができます。親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

■ 停電などで親機の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、親機の日時を登録します。

時計転送を行わないようにするには、「時計バックアップ」（☎234ページ）を「[使用しない]」に設定してください。

自動転送がうまくいかなかったときなどは、子機を親機の近くに近づけたあと、親機の操作で子機の日付や時刻を親機に転送してください（☎235ページ「子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）」）。

子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

「時計バックアップ」（☎234ページ）が「[使用する]」に設定されているときは、親機の日付と時刻を設定すると、子機にも転送されますので、子機で設定する必要はありません。また、親機から手動で日付と時刻を転送することもできます（時計転送 ☎235ページ）。

① を押す

② で [システム設定] を選ぶ

電話帳転送
電池残量
▶システム設定

③ を押し、[日時登録] が選択されていることを確認する

▶日時登録
キータッチ音出力
クイック通話

④ を押し、ダイヤルボタンで日付を入力する

西暦の
下2ケタ 1ケタの数字のときは
頭に0を入力

例：
2008年 11月 8日

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する

例：
24時間制 午後3時 45分

⑥ を押す

・途中でやめるとき： 切

・数字を入れ間違えたときは、 または で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

● お知らせ ●

● 時計の精度は、1か月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

● 子機の電池パックのコネクタが外れたり、電池パックの容量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」（☎234ページ）が「[使用する]」に設定されているとき、子機が充電されると、親機から自動的に日時が登録されます。

● 時刻だけを合わせたいときも、手順にしたがって日付から入力してください。

● 時計転送しているとき、親機のディスプレイには「子機使用中」と表示されます。

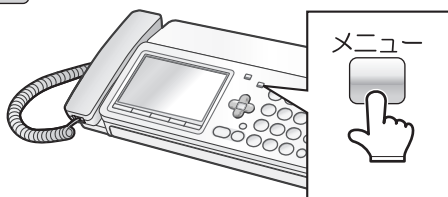
自分の番号・名前を登録する

親機には、自分の番号や名前を登録することができます。
子機には、使う人の名前を登録することができます。

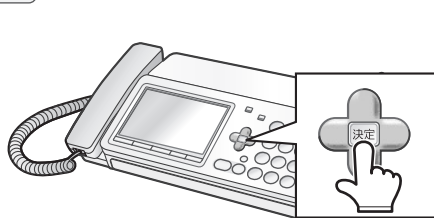
あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（親機）

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙に印刷されます。

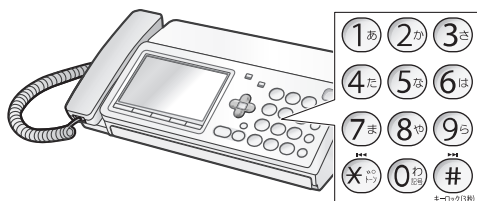
1 **メニュー** を押す



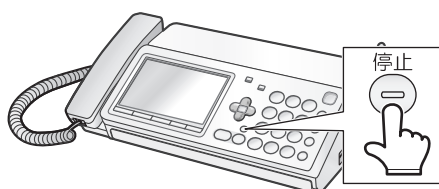
4 **決定** を押す



2 ①あ ②か ①あ と順番に押す

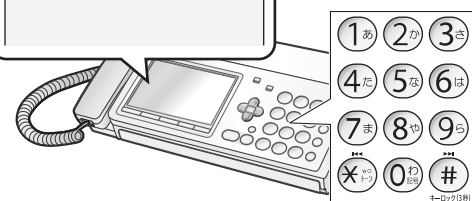


5 **停止** を押す



・登録した番号を変更したいときは、一度消去してから、あらためて登録してください。

3 **ダイヤルボタンで電話番号を入力する** **最大20ケタ**



・番号を入れ間違えたときは、**取消** で消去してから、あらためて入力します。

・途中でやめるとき：**停止** /

・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

親機に登録した番号を消去するとき

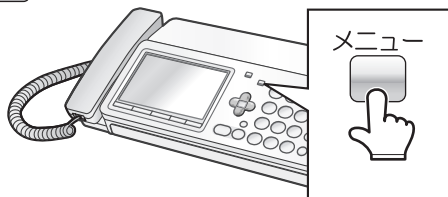
- 1 **メニュー** を押す
- 2 ①あ ②か ②か と順に押す
- 3 ②か を押す
- 4 **停止** を押す

・途中でやめるとき：**停止** / 1つ前に戻るとき：**戻る**

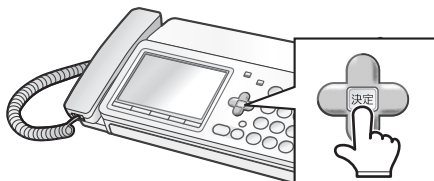
あなたの名前（発信元名）を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙に印刷されます。

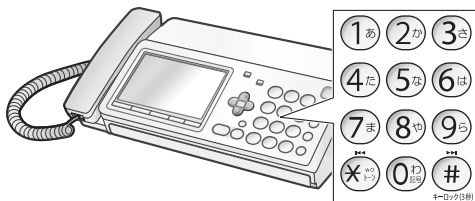
1  を押す



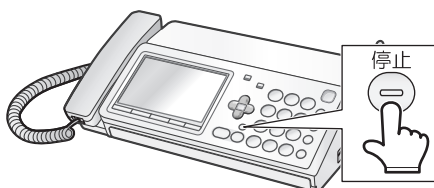
4  を押す



2 ①あ ③さ ①あ と順に押す

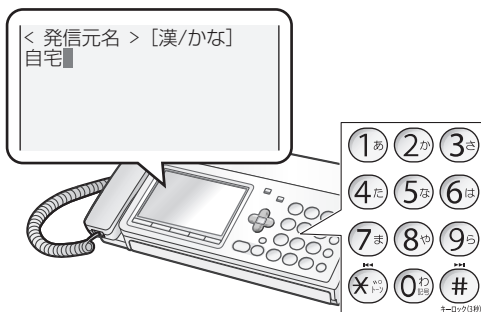



5  を押す




・登録した名前を変更したいときは、一度消してから、あらためて登録してください。

3 ダイヤルボタンで名前を入力する
(最大全角12文字／半角24文字)




・文字を入力するには (☎82~83ページ)
・文字を入れ間違えたときは、 で消去してから、あらためて入力します。

・途中でやめるとき:  /

1つ前に戻るとき:  または 

親機に登録した名前を消去するとき

①  を押す

② ①あ ③さ ②か と順に押す

③ ②か を押す

④  を押す

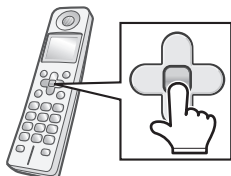
・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

使う人の名前を子機に登録する

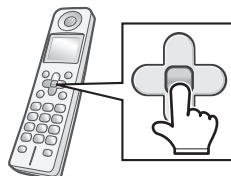
登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。


親機と子機が電波の届く範囲にない、または親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

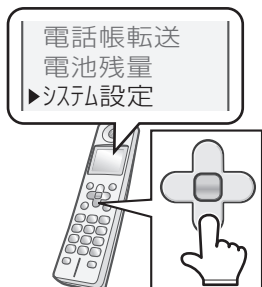
1  を押す



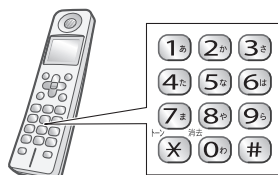
5  を押す



2  で [システム設定] を選ぶ

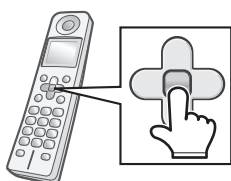


6 ダイヤルボタンで名前を入力する
(最大全角5文字／半角10文字)

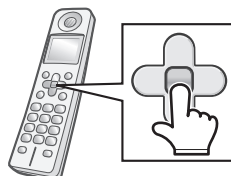


・文字を入力するには (☎82、84ページ)


3  を押す




7  を押す



・登録した名前を変更したいときは、手順**1**からやり直してください。

4  で [使用者表示] を選ぶ




・途中でやめるとき:  切

子機に登録した名前を消去するとき

①手順**1**～**5**の操作をする

②手順**6**の名前の入力画面で、入力した文字を

内線/クリア
 ですべて消す

③  を押す

音の設定を変える

親機や子機から鳴る音の音量や音色などを設定できます。


親機の着信音の大きさを変える


電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

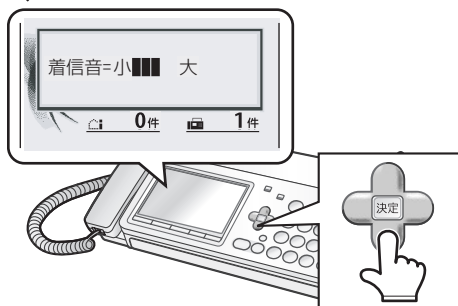
1 受話器を置いたまま

 または  を押して



音量を選ぶ  **5段階**

 を押すごとに1段階音量が上がります。

 を押すごとに1段階音量が下がります。



・はじめは「3段階目」に設定されています。

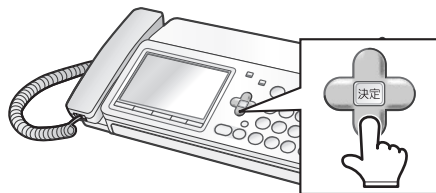
・はじめに  または  を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。



親機の着信音を鳴らさないようにする

1 受話器を置いたまま

 を押し続ける  **5秒以上**

「ピー」という音が鳴り、設定が完了します。

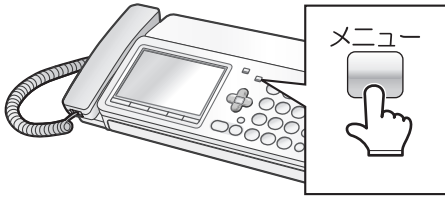


- ・着信音を鳴らさずに設定したいときは、 を押ししてください（最小の音で鳴らす設定になります）。
- ・「鳴らさない」にすると、ディスプレイに  が表示されます。
- ・着信音を鳴らさない設定にしても、他の子機からの着信音は最小の音量で鳴りません。

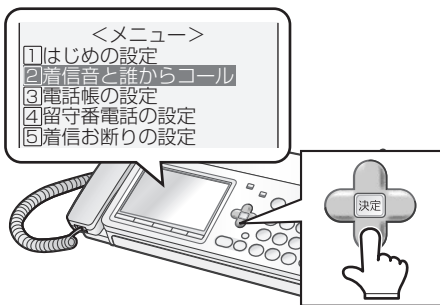
親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（9種類）。

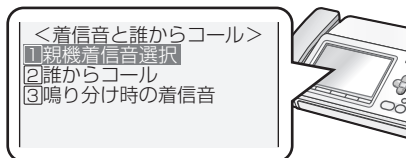
1 **メニュー** を押す



2 **決定** で [着信音と誰からコール] を選ぶ

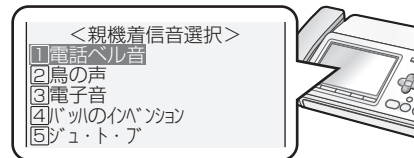


3 **決定** を押し、[親機着信音選択] が選択されていることを確認する



4 **決定** を押し、**決定** または **決定** で設定したい着信音色を選ぶ

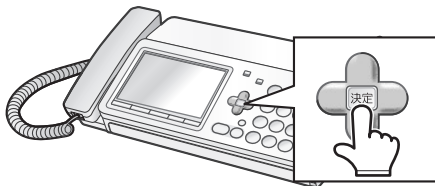
1	電話ベル音
2	鳥の声
3	電子音
4	バッハのインベンション
5	ジュ・ト・ブ
6	シンフォニー 40 番
7	はにゅうの宿
8	メヌエット
9	セレナーデ



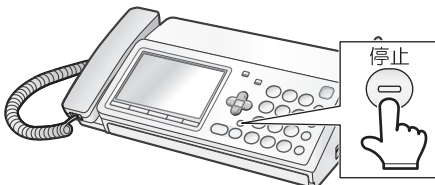
・はじめは [電話ベル音] に設定されています。

次ページへ

5 決定 を押す



6 停止 を押す



途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

設定した着信音を確認するとき


 または  を押す

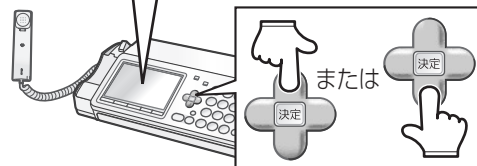
親機の受話音量を変える





通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に または を押し て音量を選ぶ **5段階**

 を押すごとに1段階音量が上がります。

 を押すごとに1段階音量が下がります。



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・はじめに  または  を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。
- ・「5段階目」に設定されているときに  を押ししたり、「1段階目」に設定されているときに  を押ししたりすると、エラー音が鳴ります。

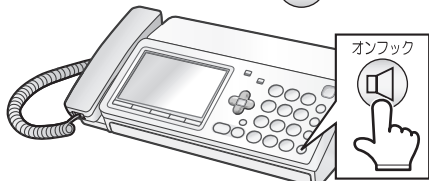
● お知らせ ●

- 「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎ 186~189ページ)を設定していると、固有の着信音が鳴ります。
- 「FAX優先」(☎ 124ページ)の設定をすると、親機の着信音は「電話ベル音」になります。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってくる時も着信音は鳴りません。

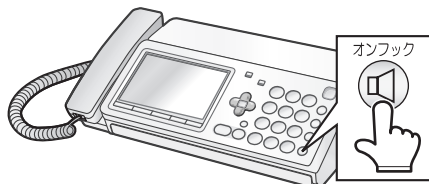
親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

1 受話器を置いたまま を押す



3 を押す



2 または を押して音量を

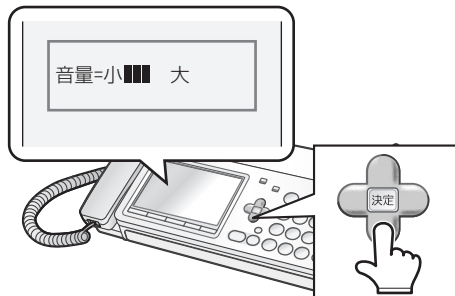
選ぶ **5段階**







を押すごとに1段階音量が上がります。



を押すごとに1段階音量下がります。



- ・はじめは「3段階目」に設定されています。
- ・はじめに  または  を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。
- ・「5段階目」に設定されているときに  を押したり、「1段階目」に設定されているときに  を押したりすると、エラー音が鳴ります。

■ 親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます(☞ 233ページ)。

■ 子機送話音量を調整する

子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます(☞ 233ページ)。

■ 子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機を受話音量が小さくなる場合があります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます(☞ 233ページ)。

■ 子機受話音質を調整する

すべての子機を受話音質を調整できます(☞ 234ページ)。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(☞ 54ページ)をご覧ください。

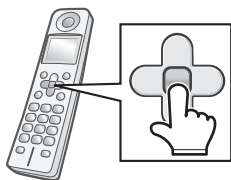
IP電話やADSL、ISDN (INSネット64) などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなる場合があります。

このようなときには、上記の「親機送話音量を調整する」「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ「小」に設定すると、通話品質が改善されることがあります。

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（10種類）。

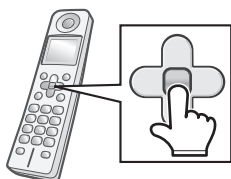
1  を押す



2  で [着信音色] を選ぶ

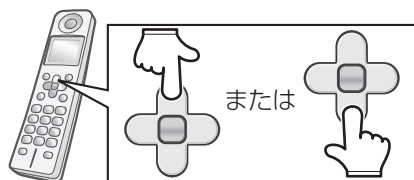


3  を押す



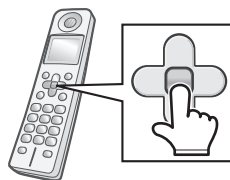
4  または  で着信音色の種類を選ぶ


1	ブルルル プルルル
2	ポロロロ ポロロロ
3	ピロン ピロン
4	ショートメロディ①
5	ショートメロディ②
6	ショートメロディ③
7	ショートメロディ④
8	ショートメロディ⑤
9	ジムノペティ
10	ジュピター



- ・曲名はディスプレイには表示されません。音を聞きながら設定してください。
- ・はじめは「ブルルル プルルル」に設定されています。

5  を押す



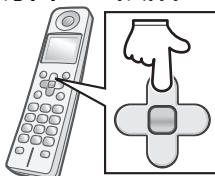
・途中でやめるとき： 切

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・聞こえにくいときは、さらに親機の設定で変更することもできます（☞233ページ「子機受話音量を調整する」）。

子機の通話音質を変える


受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替

- [高い]（高音を強調する）
- [低い]（低音を強調する）
- [標準]



- ・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。
- ・すべての子機の通話音質を変更したいときは、「子機受話音質を調整する」（☞234ページ）をご覧ください。
- ・[標準] を選ぶと、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- ・ を押したときに、[高い] [低い] [標準] が約5秒間表示されます。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

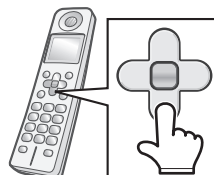
1 を押す



2 スピーカーから音が聞こえている

ときに  を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。

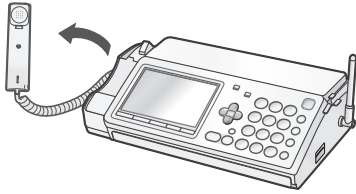
3 を押す



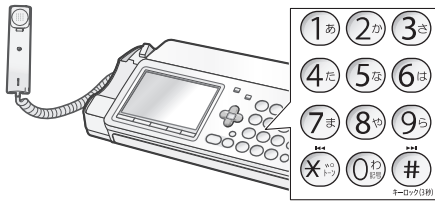
電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける

1 受話器を取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す

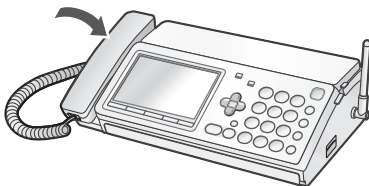


- ・まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確認したあと、ダイヤルしてください。
- ・先にダイヤルボタンで電話番号を押してから、受話器を取って電話をかけることもできます。

3 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

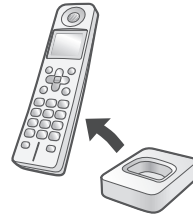
4 通話が終わったら受話器を戻す



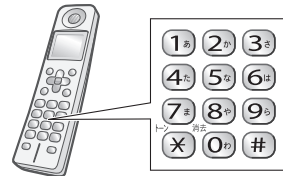
- 電話がかけれないときは
204~205ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

子機で電話をかける

1 子機を充電器から取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す



3 を押す

通話



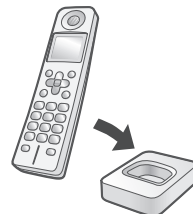
4 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら を押す




6 充電器に戻す






通話中にお待たせするときは（保留）

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

親機でお待たせする



- ① 通話中に  を押す
- ② 受話器を戻す
・再び通話するときは受話器を取る

子機でお待たせする



- ① 通話中に  を押す
- ・再び通話するときは  を押す、または  を押す

子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）

電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

- ① 子機で通話中に  を押す
- ②  で [電波サポート] を選ぶ


FAX受信
録音再生
▶電波サポート

- ③  を押す
- ・電波サポートを常に [設定] にするときは（電波サポート  177ページ）


ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御 等）を利用することができます。

親機：電話がつながっているときに、



 を押してからダイヤルボタンを押す


子機：電話がつながっているときに、

 を押してからダイヤルボタンを押す


電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。


子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）

- ① ダイヤルボタンを押す
- ②  を押す
- ③ 相手につながったら、マイクに向かって話す
- ④ 通話が終わったら  を押す


・ディスプレイに [＜SP通話中＞] と表示されます。
・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてください（ 54ページ）。

受話器を取らずに電話をかけるときは（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）


オンフック
親機： を押してからダイヤル

スピーカーホン
子機： を [＜受話通話中＞] が表示されるまで
3秒以上押してからダイヤル

スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。

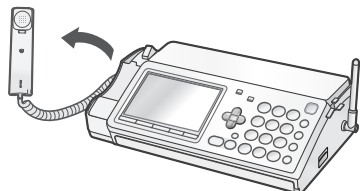
続けて通話する場合は、親機では受話器を上げて、子機では  を押してからお話しします。

●お知らせ●●●●●●●●●●

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
- 親機でコピーや印刷をしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。
- 子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがありますが、そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは、お話ししている場所を移動するか、送話音量や受話音量を下げてください（ 54、233ページ）。

親機で電話を受ける

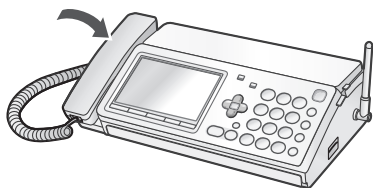
1 電話がかかってきたら受話器を取る



2 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら受話器を戻す



- 着信中に表示される文字の大きさを変更するには (デカ文字着信 176ページ)


- 着信音の大きさを変えるときは 親機の着信音の大きさを変える (48ページ) 子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする (52ページ)

- 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けるには (クイック通話 177ページ)

- 通話中にお待たせするときは(保留 56ページ)

- 子機で通話中、雑音が入るようなときは (電波サポート 56ページ)

- ナンバー・ディスプレイの契約をすると……

- 電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます (181ページ)。
- 子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、 を押し、子機の着信音を止めることができます。 親機の着信音は鳴ります。

子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

2 を押す



3 相手の方とお話する



- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら を押す



5 充電器に戻す

子機を持たずに電話を受ける (スピーカーホン通話)

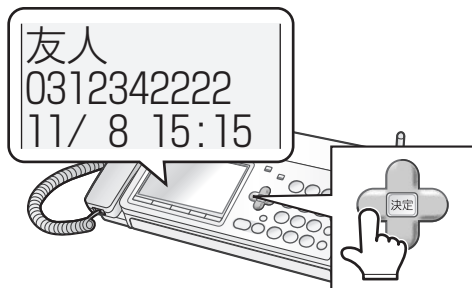
- ① 着信音が鳴ったら  を押す
- ② 相手につながったら、マイクに向かって話す
- ③ 通話が終わったら  を押す

- ・ディスプレイに [<SP通話中>] と表示されます。
- ・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
- ・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてお使いください (54ページ)。

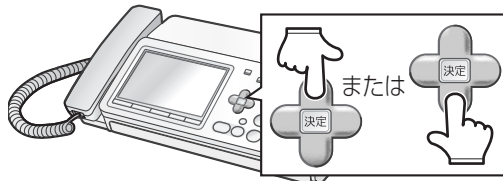
親機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記憶されます。

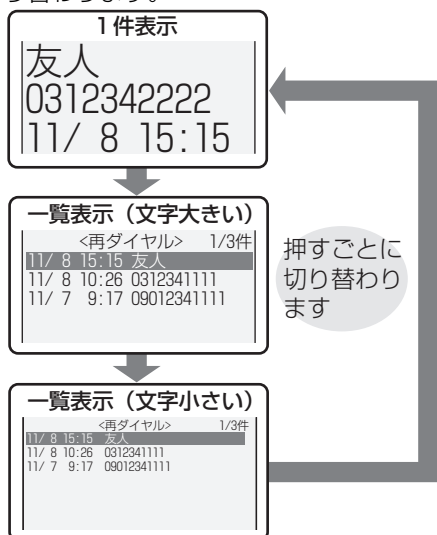
1 再ダイヤル を押す



2 または でかけ直したい番号を選ぶ

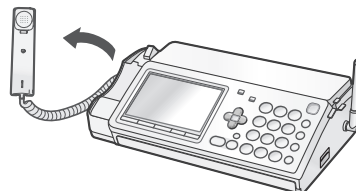


- ・親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- ・**表示切替** を押すと、1件表示と一覧表示（文字大きい）、一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。



- ・変更した表示方法は記憶され、次に再ダイヤルするときも同じ表示になります。

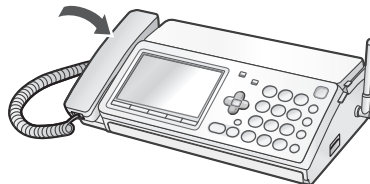
3 受話器を取る



4 相手の方とお話する


- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら受話器を戻す



受話器を取ったあと、再ダイヤルで電話をかけ直すときは

受話器を取ってから再ダイヤルを押すと、1番最後にかけた電話番号を使ってかけ直します。

- ① 受話器を取る
- ② 再ダイヤル  を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは（☎75ページ）

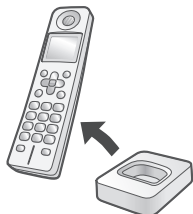
■ 親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは（☎60ページ）

■ 親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは（☎60ページ）

子機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記憶されます。

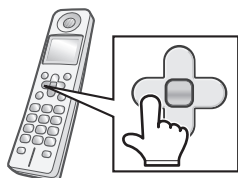
1 子機を充電器から取る



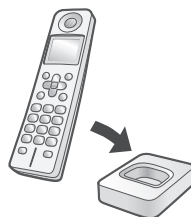
6 通話が終わったら を押す



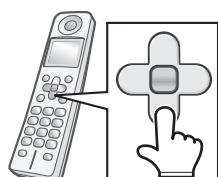
2 を押す




7 充電器に戻す



3 でかけたい番号を選ぶ



・子機で再ダイヤルできる番号は最大 32 ケタまでです。

・途中でやめるとき： 切

- 子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは (☎81ページ)
- 子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは (☎60ページ)
- 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは (☎60ページ)





4 を押す







5 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。






親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するとき

- ①  を押す
- ②  または  で消去したい番号を選ぶ
- ③ **消去** を2回押す
- ④  を押す

親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するとき





- ①  を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③ **決定** を押し、 で [再ダイヤル] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す

子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するとき

- ①  を押す
- ②  で消去したい番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [1件消去] を選ぶ
- ④  を2回押す

電話帳へ登録
▶1件消去

子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するとき

- ①  を押す
- ②  で [全消去] を選ぶ
- ③  を押し、[再ダイヤル] が選択されていることを確認する
- ④  を2回押す

電池残量
システム設定
▶全消去

▶再ダイヤル
着信記録
電話帳

●お知らせ●

- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）、通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。

迷惑電話がかかってきたら…

○チャイムでお断り

操作するとチャイム音が鳴り…

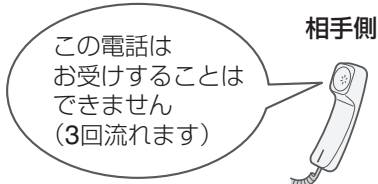


電話を切るきっかけを作ります



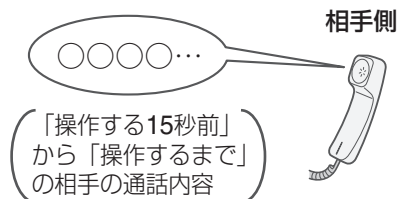
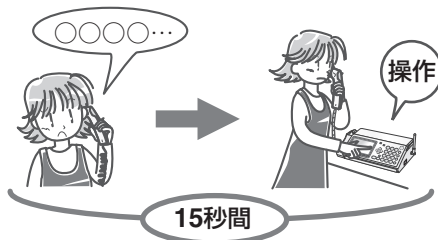
○メッセージでお断り

操作するとお断りのメッセージが流れて、自動的に電話が切れます



○録音でお断り

操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。再生終了後に自動的に電話が切れます（再生後は保存しません）。



さらに ナンバー・ディスプレイ (☎ 181ページ) の契約をしていると…

○相手の方が電話番号を通知していた場合は…

電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号 (☎ 200ページ) に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

○相手の方が非通知／公衆電話／表示圏外からの電話の場合は…

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約2時間、同じ種別の着信をお断りすることもできます (☎ 199ページ)。

設定後、相手から電話があったときは…

本商品側

着信音は鳴りません (ディスプレイは点灯します)。


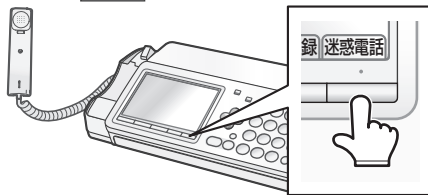



相手側

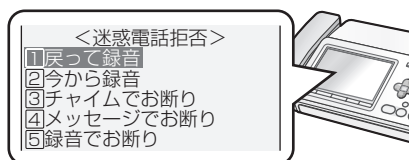
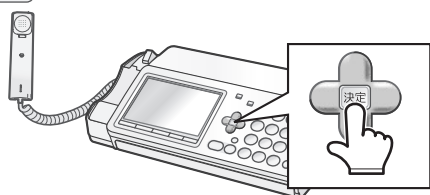
かけてきた相手の電話に合わせたお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。



親機で設定する


1 通話中に  を押す2  で使用したいお断りの種類を選ぶ

- [チャイムでお断り]
- [メッセージでお断り]
- [録音でお断り]

3  を押す

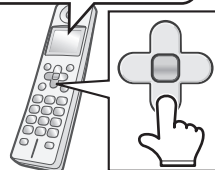
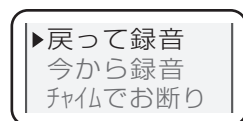
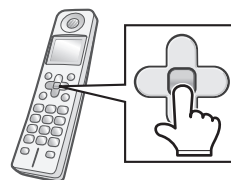
- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎200ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
- ・「録音でお断り」は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、「戻って録音」（☎172ページ）を行ってください。
- ・「録音でお断り」は、「戻って録音」（☎172ページ）を保存していても使用することができます。

子機で設定する

1 通話中に  を押す2  でお断りの種類を

- [チャイムでお断り]
- [メッセージお断り]
- [録音でお断り]


から選ぶ

3  を押す

- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎200ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。

間違えて操作したときは

「チャイムでお断り」の操作をしたとき：

親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に  を押します。このときは自動的に特定番号や非通知などのお断り設定をしません。


また、子機の場合は、途中で止めることはできません。お断り設定も自動で設定されます。

「メッセージでお断り」「録音でお断り」の操作をしたとき：

親機では、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

子機で「メッセージでお断り」を操作したときは、

 または  を押します。

子機で「録音でお断り」を操作したときは、 を押してください。

間違って相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☎201ページ）。





また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷（☎139ページ）して確認してください。

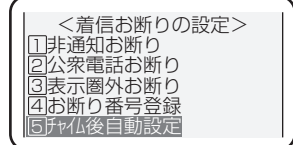
間違っって非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは





非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、[なし]に設定してください（☎199ページ）。

[チャイム後自動設定] の設定をするには


「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [する] に設定されています。

- ①  を押す
- ②  で [着信お断りの設定] を選ぶ
- ③  を押し、 で [チャイム後自動設定] を選ぶ



- ④  を押し、 で [しない]、[する] のいずれかを選ぶ
- ⑤  を押す
- ⑥  を押す

●お知らせ

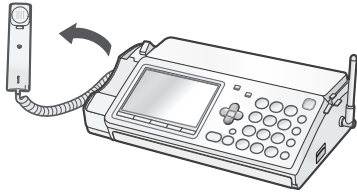
- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は動きません。
- こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- 子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。子機で操作してください。
- 子機で「録音でお断り」を再生中に  を押ししたり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

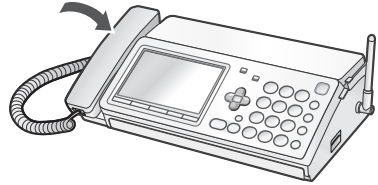
親機と子機、子機と子機の間でお話することができます。通話料はかかりません。

親機から子機を呼び出してお話する

1 受話器を取る



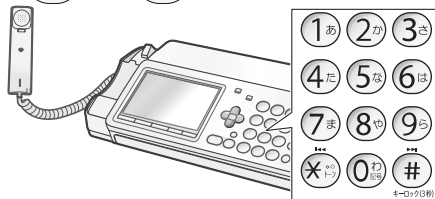
5 通話が終わったら受話器を戻す



2 内線保留を押す



3 通話したい子機の内線番号（1あ～4た）を押す



- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・登録されているすべての子機を呼び出すときは、**＊**を押してください。

4 相手の方とお話する

子機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ② **通話**を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら **切**を押す
- ⑤ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに **切**を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには

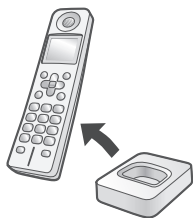
- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る

子機で話すには

- ① **切**を押す
- ② 子機の着信音が鳴ったら、**通話**を押す

子機から親機や子機を呼び出してお話しする

1 子機を充電器から取る

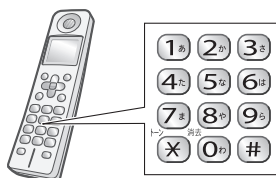


2 内線/クリア (保留) を押す



3 ○ 親機にかける：0 を押す

- 子機にかける：通話したい子機の内線番号（1あ～4た）を押す



- ・子機と子機での内線通話は、P-267SDwをお使いのとき、またはP-267SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（☞47ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号がわからないときは、通話したい子機の使用人名を で選んで を押してください。

4 相手の方とお話する

- ・子機と子機の間での内線通話は親機を通して行われますので、子機と子機が近くても、親機から離れているときは、通話できないことがあります。

5 通話が終わったら を押す



6 充電器に戻す

親機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 相手の方とお話する
- ③ 通話が終わったら、受話器を戻す

- ・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

● お知らせ ●

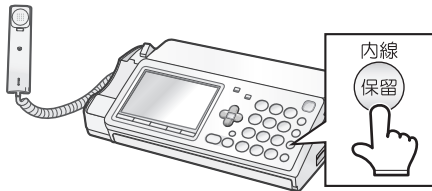
- 内線通話では、保留はできません。
- 子機では、内線通話中に を押して、スピーカーホンで通話することができます。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出る場合があります。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は [小] の音量で鳴ります。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の音量で鳴ります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話する（3者通話）

電話がかかってきたときに、親機から子機へ、または子機から親機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との3人でお話しすることもできます。

親機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に を押す

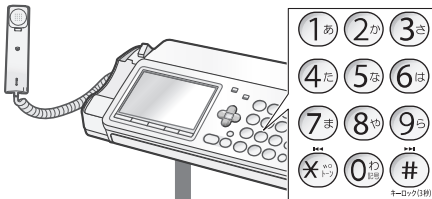


外線

相手の方は保留状態になります。



2 とりつぎ／3者通話したい子機の内線番号（ ～ ）を押す




外線（保留中）






内線



呼び出された子機の操作

呼び出し音が鳴ったら、子機を取って  を押してください。

- ・ 呼出中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、 を2回押してください。
- ・ 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- ・ 相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 登録されているすべての子機を呼び出すときは、 を押してください。
- ・ 呼び出された子機で内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

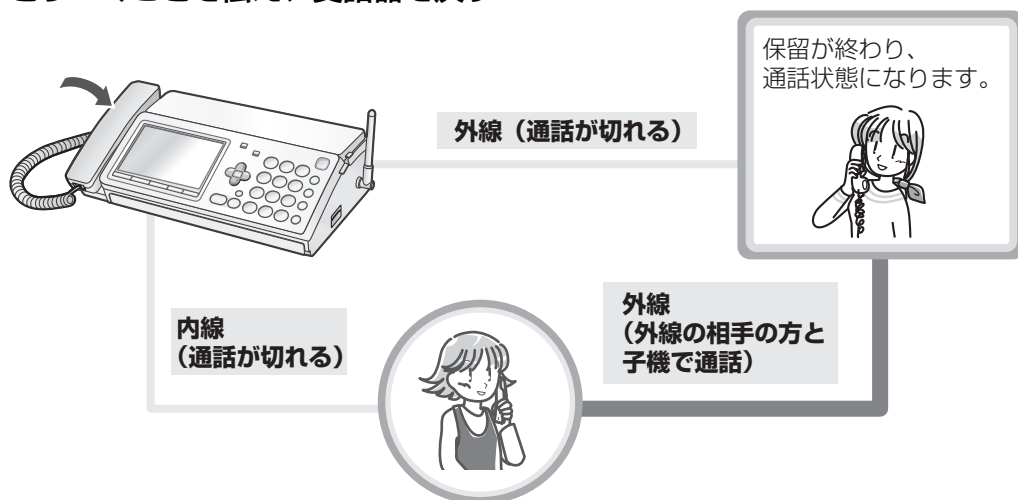
3 子機が電話に出たら、内線通話でお話する

○ 電話をとりつぐときは → **4** へ

○ 外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話） → **5** へ

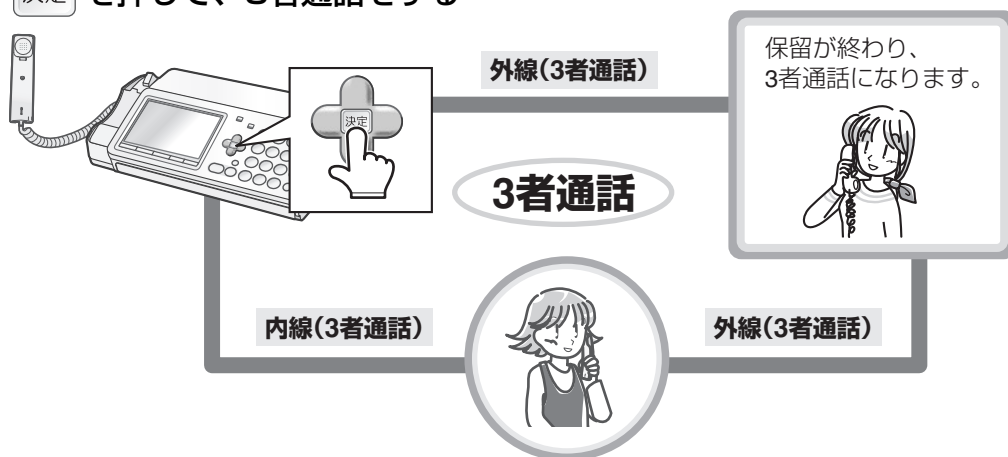
次ページへ


4 ○電話をとりつぐときは とりつぐことを伝え、受話器を戻す



5 ○外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話）

決定 を押して、3者通話をする



- ・ 呼び出された子機で  を押しても、3者通話はできません。
- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に 内線/クリア 保留 を押す

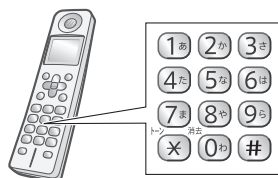


外線

相手の方は保留状態になります。



2 とりつぎ／3者通話したい相手の内線番号を押す

○ 親機にかける：**0** を押す○ 子機にかける：相手の子機の内線番号（**1**～**4**）を押す




外線 (保留中)

内線



呼び出された親機の操作

呼び出し音が鳴ったら、
受話器を取ってください。

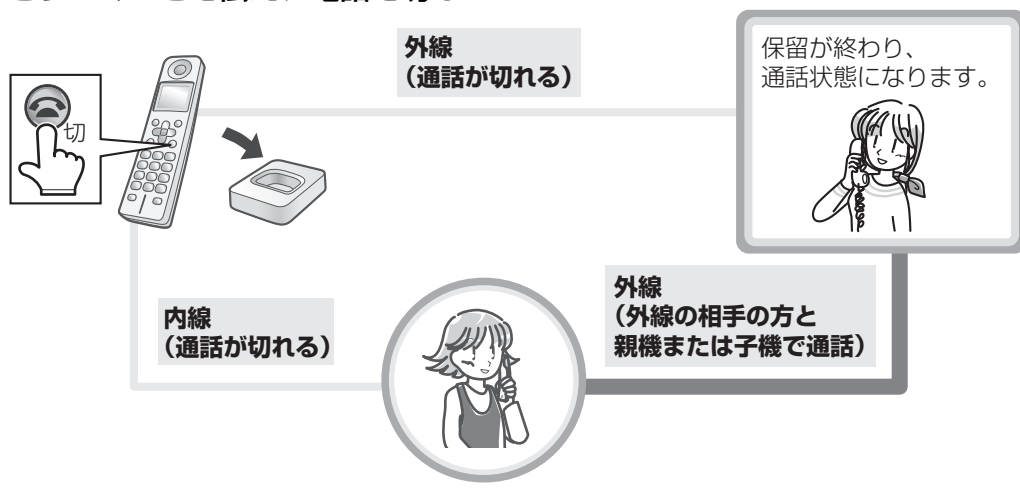
- ・ 子機と子機での内線通話は、P-267SDwをお使いのとき、またはP-267SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・ 呼出中、または通話中に外線通話に戻るときは、内線/クリア 保留 を2回押してください。または 内線/クリア 保留 を押したあと、通話 を押してください。
- ・ 相手の親機または子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機がユーザー登録（☞47ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号がわからないときは、通話したい子機の使用人名を  で選んで  を押してください。
- ・ 内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 停止  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

3 呼び出した親機または子機が電話に出たら、内線通話でお話する

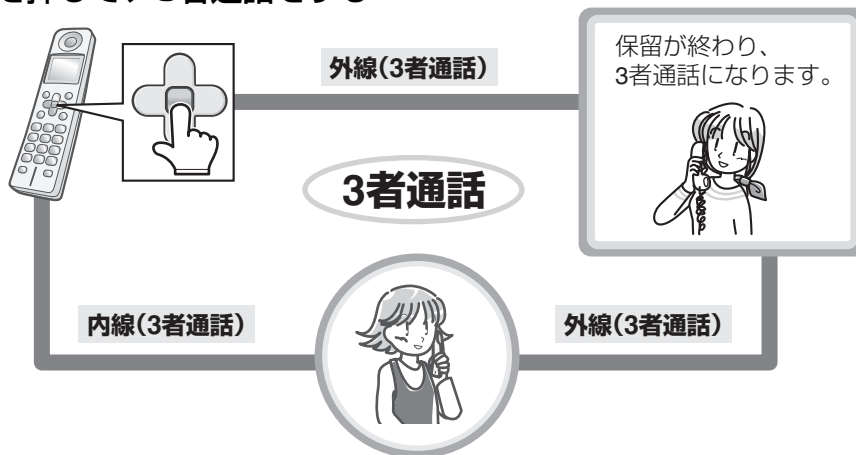
○ 電話をとりつぐときは → **4** へ○ 外の相手の方と3人でお話するときは（3者通話） → **5** へ

次ページへ

4 ○電話をとりつぐときは とりつぐことを伝え、電話を切る



5 ○外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話） ✚ を押して、3者通話をする





- ・ 呼び出された親機で **決定** を押しても、3者通話はできません。また、呼び出された子機で ✚ を押しても、3者通話はできません。
- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

電話を自分ひとりでとりつぐときは (ひとり転送)


かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。

また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。



親機から子機へ

- ① 親機で通話中に  を押す
- ② 受話器を戻す
- ③ 子機を充電器から取って  を押す
- ④ 相手の方とお話する

子機から親機へ

- ① 子機で通話中に  を押す
- ② 子機を充電器に戻す
- ③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る
- ④ 相手の方とお話する

子機から他の子機へ

- ① 子機で通話中に  を押す
- ② 子機を充電器に戻す
- ③ 他の子機を充電器から取って  を押す
- ④ 相手の方とお話する

● お知らせ ●

- 着信音を鳴らさない設定にしている場合でも、内線からの着信音は「ブルルル、ブルルル」と鳴ります。
- 子機から親機へひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「ブルルル」と鳴ります。

電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。

よくおかけになる相手の方を電話帳に登録しておくこと…

名前を選択するだけで電話をかけることができます。



※親機では、選択した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 187～188ページ）。

また、お一人の名前に2つまで番号を登録できるので…

【使いかたの例】

第1番号は自宅

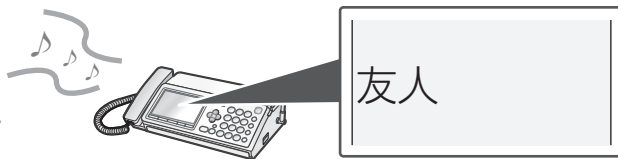
第2番号は携帯電話



さらに

ナンバー・ディスプレイ（181ページ）の契約をしていると…

電話帳に登録した相手から電話がかかってくると、登録した名前がディスプレイに表示されます（181ページ）。



誰からコールを設定していると、登録した名前を音声で読み上げます（誰からコール 186ページ）。



電話帳の登録（72ページ）で誰あてへの電話をする方なのかを設定すると、その相手の方からの電話がかかってくると、誰あてへの電話かを音声でお知らせします（誰あてコール 186ページ）。

「誰あてにかかってきたか」のめやすになります。

例：「オカアサン」から「オネエサン」あての着信



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

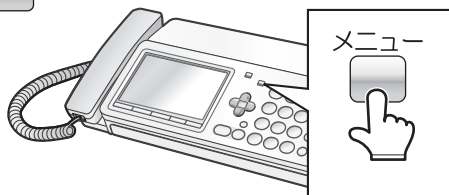
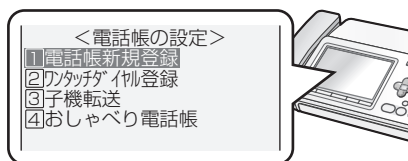
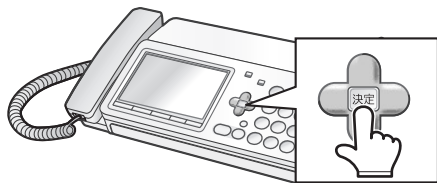
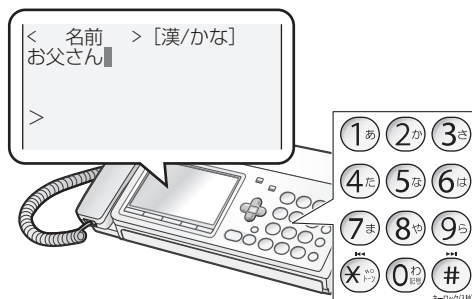
ナンバーディスプレイ

ごまいったときは

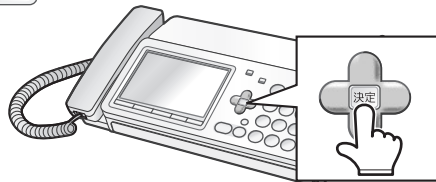
ご参考に

さくいん

親機の電話帳に登録する



1 **メニュー** を押す2 **決定** で [電話帳の設定] を選ぶ3 **決定** を押し、[電話帳新規登録] が
選択されていることを確認する4 **決定** を押す5 **ダイヤルボタン** で名前を入力する
(最大全角10文字／半角20文字)○ 名前の入力を省略するとき
何も入力しないで **6** へ

- ・文字の入力方法：☎ 82～83ページ
- ・名前を入力するとき、「姓」と「名」の間にスペースを入力しておくことをおすすめします。名前を音声で確認するとき、姓と名それぞれにアクセントを変更することができます（☎ 78ページ）。
- ・名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。

6 **決定** を押す○ 名前の入力を省略しているときは
→ **8** へ

次ページへ

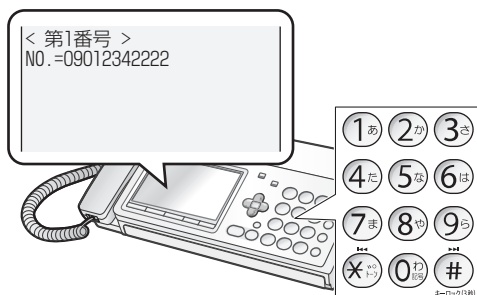
7 「読み」を確認する（最大20文字）

- 正しいときは
そのまま **決定** を押す
- 間違っているときは
 または  で修正したい文字まで移動して、**取消** で文字を消去、ダイヤルボタンで修正して

決定 を押す

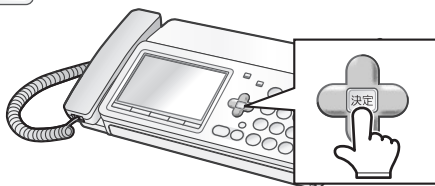
・「読み」が間違っていると、おしゃべり電話帳 (☎ 77ページ) が正しく動きません。

8 ダイヤルボタンで第1番号を入力する（最大32ケタ）

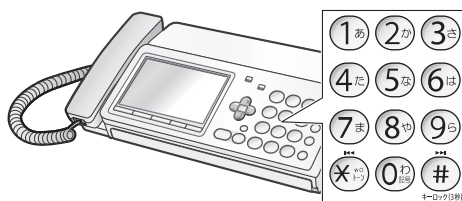


・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、着信時に電話帳の名前表示 (☎ 181ページ) や着信鳴り分け (☎ 196ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

9 **決定** を押す

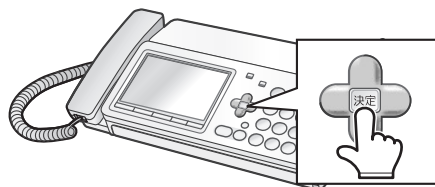


10 ダイヤルボタンで第2番号を入力する（最大32ケタ）



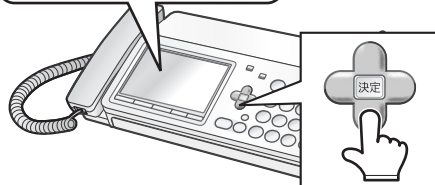
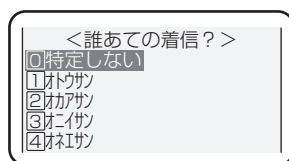
- 第2番号の入力を省略するとき何も入力しないで **11** へ

11 **決定** を押す



12 誰あてコール (☎ 186～188ページ) で、音声でお知らせする名前を で選ぶ

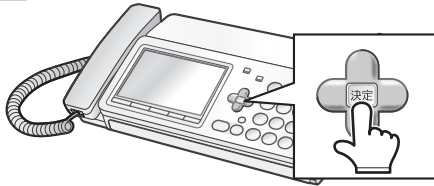
※ ナンバー・ディスプレイのご契約が必要で
す (☎ 182ページ)



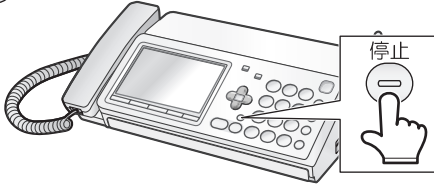
- ・誰あてコールを設定しないときは、[特定しない] を選んでください。
- ・誰あてコールでお知らせする名前を登録したいときは、188ページをご覧ください (誰あてコール設定)。

次ページへ

13 決定 を押す



14 停止 を押す



- 途中でやめるとき： /
- 1つ前に戻るとき： または **取消**
- を押してから、 を押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

親機の電話帳にポーズを入力するには

- 電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、 を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
- ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から0発信するときだけにしてください。
- それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ディスプレイには-（ハイフン）で表示されます。
- 電話帳でハイフンを表示するためにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがありますので、おすすめできません。

電話帳の表示を切り替えるときは

- を押す
- を押す

電話帳の表示方法が以下の3種類に変更されます。

- 1件表示
登録された電話帳を1件表示します。

友人	第1番号
▶0312342222	第2番号が登録されているとき表示されます
09012343333	

- 詳細表示
1件表示で を押すと、詳細表示をします。






<詳細表示>	
名前:友人	第1番号
読み:1ウツ	
番号①:0312342222	第2番号
番号②:09012343333	誰あてコールの設定
誰あて:林ウツ	


- 一覧表示
詳細表示で を押すと、一覧表示になります。
- 一覧表示で登録した相手の方を選択して を押すと、選んだ相手の方を1件表示します。

電話帳 登録 4件	残り96件	第1番号
☆父さん	09012342222	
親戚	0612342222	第2番号が登録されているとき表示されます
友人	0312342222	
)時報	117	
)天気予報	177	

- ・変更した表示方法は記憶され、次に電話帳を開いたときも前回と同じ表示になります。
- ・詳細表示をしているときは、おしゃべり電話帳のアクセントの位置を変更（☎78ページ）したり、名前の後に「さん」を付ける／はずすの設定（☎77ページ）を行うことができません。設定したいときは、1件表示または一覧表示に変更してください。
- ・一覧表示をしているときは、第2番号を使って電話をかけることができません。第2番号を使用するときは、1件表示または詳細表示に変更してからご使用ください。

親機の電話帳を修正する





- ①  を押す
 - ②  または  で修正したい相手先を選ぶ
 - ③ **修正** を押す
 - ④ ダイヤルボタンで名前を修正する
- < 名前 > [漢/かな]
友人
>
- ⑤ **決定** を押し、「読み」を修正する
 - ⑥ **決定** を押し、第1番号を修正する
 - ⑦ **決定** を押し、第2番号を修正する
 - ⑧ **決定** を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
 - ⑨ **決定** を押す
 - ⑩  を押す

・途中でやめるとき： /

1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

・修正しない項目は、修正せずにそのまま **決定** を押してください。



親機の電話帳を消去する

- ①  を押す
- ②  または  で消去したい相手先を選ぶ
- ③ **消去** を2回押す
- ④  を押す



・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：**戻る**

・電話帳消去の操作を行うと、登録した1人分の名前、第1番号、第2番号がすべて消去されます。名前、第1番号、または第2番号だけを消去したいときは、電話帳の修正で、消去したい項目だけを消去してください。

親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- ①  を押す
- ②  または  で登録したい番号を選ぶ

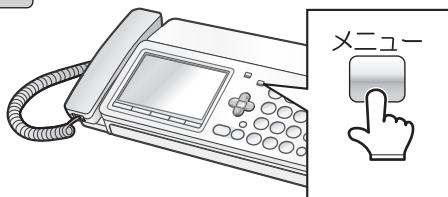
0612341111
0612341111
11/ 8 16:20

- ③ **新規登録** を押す
- ④ ダイヤルボタンで名前を入力する (☎82~83ページ)
- ⑤ **決定** を押し、読みを確認する
- ⑥ **決定** を押し、第1番号を確認する
- ⑦ **決定** を押し、第2番号を入力する (省略可)
- ⑧ **決定** を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
- ⑨ **決定** を押す
- ⑩  を押す

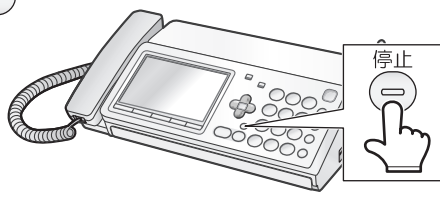
親機の電話帳を音声でお知らせする（おしゃべり電話帳）

親機の電話帳を音声でお知らせする／お知らせしないを設定できます。電話帳に登録されている「読み」にしたがってお知らせします。工場出荷時は、お知らせする設定になっています。

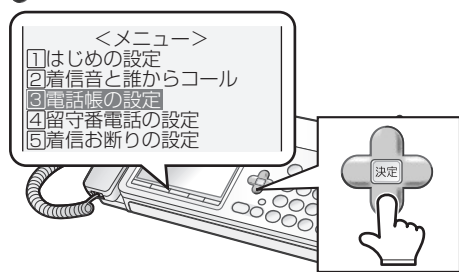
1 を押す



6 を押す

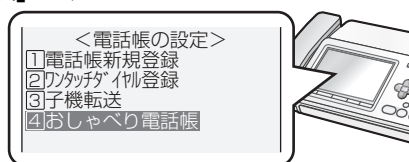


2 で [電話帳の設定] を選ぶ

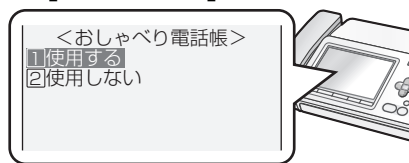


途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

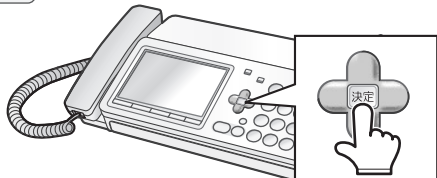
3 を押し、 で [おしゃべり電話帳] を選ぶ



4 を押し、 で [使用する] または [使用しない] のいずれかを選ぶ










5 を押す





お知らせする名前の後に「さん」を付けるには / 「さん」をはずすには

親機の電話帳を新しく登録したり、子機から親機へ電話帳を転送したときは、お知らせする名前のあとに「さん」を付ける設定になっています。会社名や愛称などに「さん」を付けるとおかしく聞こえる場合は、登録されている名前ごとに「さん」を付ける／はずすの設定ができます。

電話帳が「詳細表示」のときは設定できませんので、「1件表示」または「一覧表示」に変更してください（※74ページ）。

- ①  を押す
- ②  または  で変更したい名前を選ぶ
- ③  を押す
名前を音声でお知らせします。
- ④ もう一度  を押す
名前が「さん」なし、または「さん」付けに変更されます。
- ⑤  を押すごとに「さん」付け、「さん」なしが変更されます。
- ⑥  を押す

途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

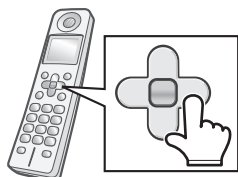
・あらかじめ登録されている [▶時報 117]、[▶天気予報 177] の2件には、「さん」を付けることはできません。

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100人分×2番号の電話番号を登録できます。

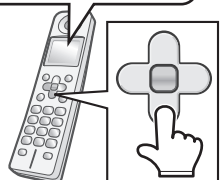
親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。親機に登録した電話帳を子機に転送して、子機の電話帳に追加することもできます（☎91～92ページ）。

1 を押す

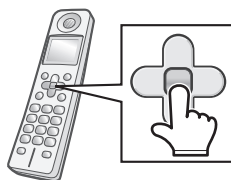


2 で [電話帳登録] を選ぶ

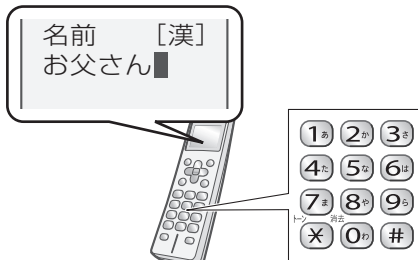
電話帳検索
▶電話帳登録



3 を押す



4 ダイヤルボタンで名前を入力する (最大全角10文字／半角20文字)

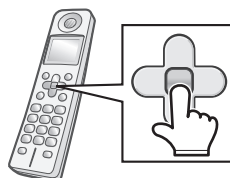


○ 名前の入力を省略するとき

何も入力せずに **5** へ

- ・文字を入力するには（☎82、84ページ）
- ・名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。

5 を押す







○ 名前の入力を省略しているときは **7** へ

6 「読み」を確認する（最大20文字）

○ 正しいときは

そのまま  を押す

○ 間違っているときは

 または  で修正したい文字まで移動して、内線/クリア  で消去、ダイヤルボタンで修正したあと  を押す


次ページへ

7 ダイヤルボタンで第1番号を入力する (最大24ケタ)

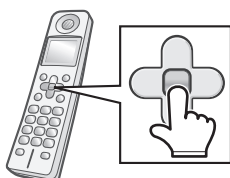


- ・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示 (☎ 181ページ) や着信鳴り分け (☎ 198ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

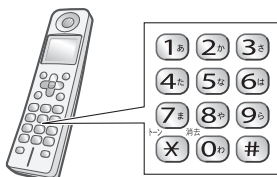
子機の電話帳にポーズを入力するには

- ・電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、 を押し、約3秒間の待ち時間 (ポーズ) ができます。
- ・ポーズを入力するのは、構内交換機 (PBX) から0発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ・ディスプレイには_ (アンダーバー) で表示されます。

8 を押す

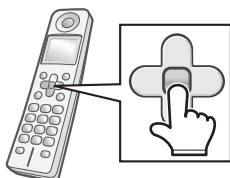


9 ダイヤルボタンで第2番号を入力する (最大24ケタ)







- 第2番号の入力を省略するとき何も入力せずに **10** へ






10 を押す






子機の電話帳を修正する

- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  で修正したい相手の番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [電話帳変更] を選ぶ

特番ダイヤル
▶ 電話帳変更
1件消去

- ④  を押し、ダイヤルボタンで名前を修正する
- ⑤  を押し、ダイヤルボタンで「読み」を修正する
- ⑥  を押し、ダイヤルボタンで第1番号を修正する
- ⑦  を押し、ダイヤルボタンで第2番号を修正する
- ⑧  を押す

- ・途中でやめるときは  を押してください。
- ・修正しない項目は、修正せずにそのまま  を押してください。

- ・途中でやめるとき:  切

子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- ① を押す
- ② で登録したい番号を選ぶ
- ③ を押し、 が選択されていることを確認する
- ④ を押し、名前を入力する (☎82、84ページ)
- ⑤ を押し、「読み」を確認する
- ⑥ を押し、第1番号を確認する
- ⑦ を押し、第2番号を入力する (省略可)
- ⑧ を押す

子機の着信記録を電話帳に登録するときは

- ① を2回押す
- ② で登録したい番号を選ぶ
- ③ を押し、 で【電話帳へ登録】を選ぶ

特ダイヤル
▶電話帳へ登録
1件消去
- ④ を押し、名前を入力する (☎82、84ページ)
- ⑤ を押し、「読み」を確認する
- ⑥ を押し、第1番号を確認する
- ⑦ を押し、第2番号を入力する (省略可)
- ⑧ を押す

子機の電話帳を選んで消去する

- ① 子機を充電器から取る
- ② または で消去したい相手の番号を選ぶ
- ③ を押し、 で【1件消去】を選ぶ

特ダイヤル
電話帳変更
▶1件消去

- ④ を2回押す

・途中でやめるときは を押してください。

子機の電話帳をすべて消去する

- ① 子機を充電器から取る
- ② を押す
- ③ で【全消去】を選ぶ

電池残量
システム設定
▶全消去

- ④ を押し、 で【電話帳】を選ぶ

再ダイヤル
着信記録
▶電話帳

- ⑤ を2回押す

・途中でやめるときは を押してください。

■ 子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは (☎92ページ)

●お知らせ

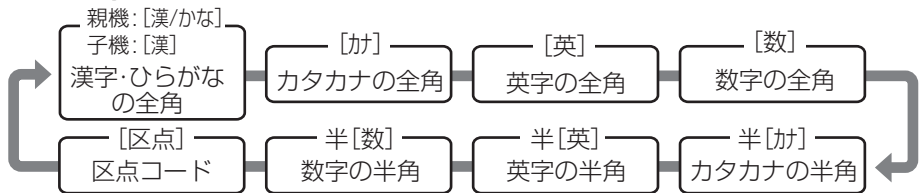
- 子機の電話帳には、あらかじめ [≫時報 117] と [≫天気予報 177] の2件の番号が登録されています。あなたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- 間違い電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、親機では[漢/かな]／[か]／[英]／[数]／半[か]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が、子機では[漢]／[か]／[英]／[数]／半[か]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が入力できます。

文字入力のしかた

- 親機： **文字切替** を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）
- 子機： **文字切替/キャッチ** を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）



2 ダイヤルボタンで文字を入力する

(入力例)

親機 [漢/かな]

ゆ う じ ん
 8^や 1^あ 3^さ *^の 0^わ
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

ひらがなのまま入力 → **採用** を押す

漢字に変換して入力 → ① **変換**、または **変換** を押す
 ② 「友人」が表示されたら **採用** を押す

子機 [漢]

ゆ う じ ん
 8^や 1^あ 3^さ *^の 0^わ
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

ひらがなのまま入力 → **変換** を押す

漢字に変換して入力 → ① **変換** または **変換** を押して選ぶ
 ② 「友人」が表示されたら **変換** を押す

[か] ュ ウ ジ ン
 半[か] 8^や 1^あ 3^さ *^の 0^わ
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

[英] S H O P
 半[英] 7^ま 4^た 6^は 7^ま
 (4回) (2回) (3回) (1回)

[数] 1 2 3
 半[数] 1^あ 2^か 3^さ

[か] ュ ウ ジ ン
 半[か] 8^や 1^あ 3^さ *^の 0^わ
 (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

[英] S H O P
 半[英] 7^ま 4^た 6^は 7^ま
 (4回) (2回) (3回) (1回)

[数] 1 2 3
 半[数] 1^あ 2^か 3^さ

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] 4^た 5^な 6^は 7^ま → 「翼」が入力されます

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] 4^た 5^な 6^は 7^ま → 「翼」が入力されます

- ・ ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では1ボタンにつき1文字）。
 例：[か]モードの 1^あ（親機） / 1^あ（子機）の場合 $\overbrace{ア \rightarrow イ \rightarrow ウ \rightarrow エ \rightarrow オ \rightarrow ア \rightarrow イ \rightarrow ウ \rightarrow エ \rightarrow オ}$
- ・ 「イエ」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、**変換**（親機） / **変換**（子機）を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。
- ・ 親機で文字を消すときは、**取消** を押します（カーソルの1つ前を消去 / カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。
- ・ 子機で文字を消すときは、**保留** を押します（カーソルの1つ前の文字を消去 / カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、**保留** を押し続けると、すべての文字が消去されます。
- ・ うまく漢字に変換できないときは、一文字ずつ入力したり、読みかたを変えて入力してください。

文字入力一覧表（親機）

表示 ボタン	漢/かな	カナ	半角カナ	英・半角英 ※1	数・ 半角数	区点
①あ	あ い う え お あ い う え お	ア イ ウ エ オ ア イ ウ エ オ		@ . / - _	1	※2
②か	か き く け こ	カ キ ク ケ コ		A B C a b c	2	
③さ	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ		D E F d e f	3	
④た	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ		G H I g h i	4	
⑤な	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ		J K L j k l	5	
⑥は	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ		M N O m n o	6	
⑦ま	ま み む め も	マ ミ ム メ モ		P Q R S p q r s	7	
⑧や	や ゆ よ や ゅ よ	ヤ ユ ヨ ヤ ヅ ヨ		T U V t u v	8	
⑨ら	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ		W X Y Z w x y z	9	
⑩わ （空白）	わ を ん ー （スペース） 。 、	ワ ヲ ン ー （スペース） 。 、	ワ ヲ ン ー （スペース）	, : ! ? & / () [] （スペース）	0	
✖ （空白）	濁点/半濁点 ※3			無効	✖	無効
#	無効				#	無効
 	カーソル左右移動					
 	かな漢字変換	無効				
<u>変換</u>	かな漢字変換	無効				
<u>採用</u>	入力した文字の決定	無効				
<u>取消</u>	1文字消去					
<u>文字切替</u>	文字の種類の切り替え					

※1：半角英字のアルファベットは大文字のみです。

※2：区点コードについては237～238ページをご覧ください。

※3：濁点・半濁点を付けたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に
さくせん

文字入力一覧表（子機）

表示 ボタン	漢 ※1	カナ	半角カナ	英・半角英 ※2	数	半角数	区点	
1あ	あ い う え お	ア イ ウ エ オ		@ . / - _	1			
	あ い う え お	ア イ ウ エ オ						
2か	か き く け こ	カ キ ク ケ コ		A B C a b c	2			
3さ	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ		D E F d e f	3			
4た	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ		G H I g h i	4			
5な	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ		J K L j k l	5			
6は	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ		M N O m n o	6		※3	
7ま	ま み む め も	マ ミ ム メ モ		P Q R S	7			
				p q r s				
8や	や ゆ よ や ゆ よ	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ		T U V t u v	8			
9ら	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ		W X Y Z	9			
				w x y z				
0わ	わ を ん ー	ワ ヲ ン ー	ワ ヲ ン ー	, : ! ? & (0			
	(スペース) 。 、	(スペース) 。 、	(スペース)) [] (スペース)				
✖	無効					*	*	無効
#	無効					#		無効
スピーカーホン 送信/ハ	濁点/半濁点 ※4			無効				
	カーソル左右移動							
	かな漢字変換/ カーソル上下移動	カーソル上下移動						
	入力した文字の決定	決定（次へ進む）						
内線/クリア (保留)	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）							
文字切替/キャッチ	文字の種類の変更							

※1：子機が親機の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。

※2：半角英字のアルファベットは大文字のみです。

※3：区点コードについては237～238ページをご覧ください。

※4：濁点・半濁点を付けたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

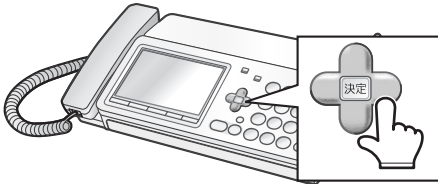
電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくことで、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。毎回ダイヤルボタンで電話番号を入力する手間が省け、大変便利です。また、相手先を選ぶと登録した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 Ⅱ 77ページ）。

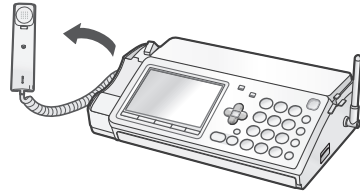
●電話帳登録 親機 Ⅱ 72～74ページ / 子機 Ⅱ 79～80ページ

親機の電話帳でかける

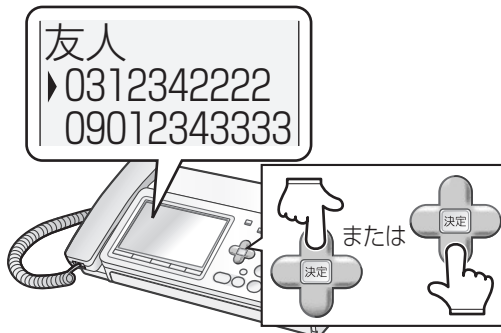
1 を押す



3 受話器を取る



2 電話をかけたい相手の方が出るまで、 または を押す






4 相手の方とお話する



・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

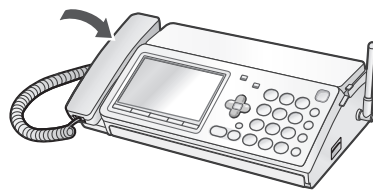
○ 第1番号にかけるとき
そのまま → **3** へ

○ 第2番号にかけるとき
 で第2番号を選択 → **3** へ

・電話帳の表示が「一覧表示」（Ⅱ 74 ページ）のときは、第2番号を使うことができません。第2番号を使用するときは、 を押して「1件表示」または「詳細表示」にしてから  を押してください。

・液晶ディスプレイに、選んだ相手の方の名前が表示されます。また、選んだ相手の方の名前を、音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 Ⅱ 77ページ）。

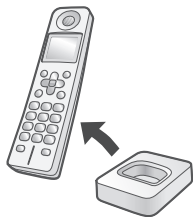
5 通話が終わったら受話器を戻す



・途中でやめるときは  を押してください。

子機の電話帳でかける

1 子機を充電器から取る



2 電話をかけたい番号が出るまで、

または を押す

(例)
友人
▶0312342222
09012343333



○ 第1番号にかけるとき

そのまま → 3へ

○ 第2番号にかけるとき

で第2番号を選択 → 3へ

3 通話 を押す



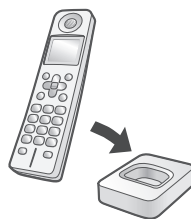
4 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら 切 を押す



6 充電器に戻す



・途中でやめるとき： 切

子機で25ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます(チェーンダイヤル機能)。

① 子機を充電器から取る

② 相手の番号が出るまで または を押す

第2番号でかけるときは を押す

③ 通話 を押す

④ 電話が発信される前に、 を押す

⑤ または で次の番号を選ぶ

第2番号でかけるときは を押す


⑥ 通話 を押す

⑦ 相手の方とお話する








⑧ 通話が終わったら 切 を押す

⑨ 充電器に戻す

子機で電話帳から名前を検索して電話をかけるときは









- ① 子機を充電器から取る
- ②  を押し、[電話帳検索] が選択されていることを確認する

▶電話帳検索
電話帳登録

- ③  を押し
- ④ ダイヤルボタンで名前を入力する
(途中まででも可能) (☎82、84ページ)
- ⑤  を押し
- ⑥ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、
または  を押しして選ぶ
第2番号でかけるときは  を押し
- ⑦  を押し
通話
- ⑧ 相手の方とお話する
- ⑨ 通話が終わったら  を押し
- ⑩ 充電器に戻す

子機で名前の頭文字から検索してかけるときは





ダイヤルボタンを使って、あ行、か行などの行単位でおおまかに検索します。

- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  のいずれかを押し
- ③ ダイヤルボタンで相手の名前の行を入力する
(例：「友人」を探すときは )
(☎82、84ページ)
- ④ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、
または  を押しして選ぶ
第2番号でかけるときは  を押し
- ⑤  を押し
通話
- ⑥ 相手の方とお話する
- ⑦ 通話が終わったら  を押し
- ⑧ 充電器に戻す










子機の電話帳で、184(非通知)や186(通知)を付けて電話をかけるときは

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

通知や非通知については、用語集 (☎248ページ) をご覧ください。

- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  を押し、相手の番号を選ぶ
第2番号でかけるときは  を押し
- ③  を押し、[特番ダイヤル] が選択されていることを確認する

▶特番ダイヤル
電話帳変更
1件消去

- ④  を押し
- ⑤ ダイヤルボタンで
非通知でかけるときは   
通知してかけるときは   
などの番号を順に押す (最大8ケタ)
- ⑥  を押し
通話
- ⑦ 相手の方とお話する
- ⑧ 通話が終わったら  を押し
- ⑨ 充電器に戻す

●お知らせ

- 電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字 (0~9) →英字 (A~Z) →カナ (50音順)
- 親機でコピー中、印刷中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

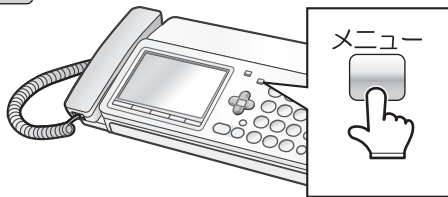
ワンタッチダイヤルを使う（親機）

よく電話をかける相手の方を、ワンタッチダイヤル（2件、親機のみ）に登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルに登録する電話番号は電話帳から選びます。あらかじめ相手の方を電話帳に登録（71～74ページ）しておいてください。



ワンタッチダイヤルに番号を登録する

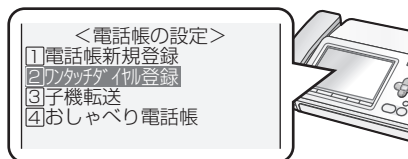
1  を押す





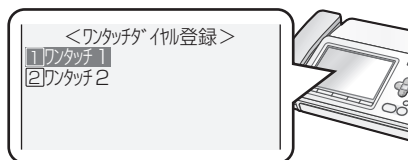
2  で [電話帳の設定] を選ぶ




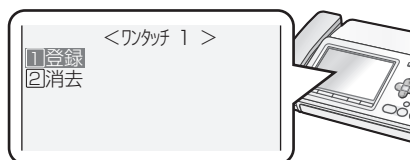
3  を押し、 で [ワンタッチダイヤル登録] を選ぶ



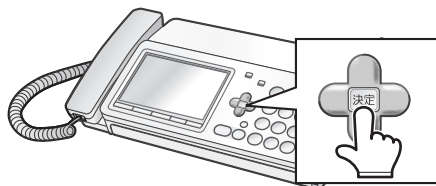
4  を押し、 で
○ [ワンタッチ1]
○ [ワンタッチ2]
を選ぶ





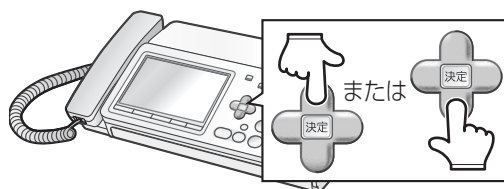
5  を押し、[登録] が選択されていることを確認する



6  を押す



7  または  で、ワンタッチダイヤルに登録したい相手先を電話帳から選ぶ



・ワンタッチダイヤルに第2番号を登録することはできません。

次ページへ

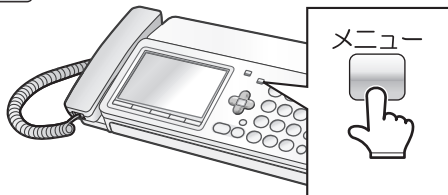
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます（転送した電話番号は消えません）。

親機から子機へ転送すると、電話帳の内容（名前と電話番号）が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると、電話帳の内容（名前と電話番号）が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

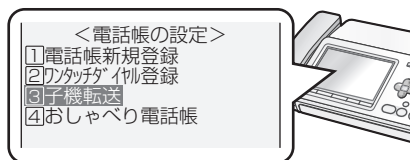
1 **メニュー** を押す



2 **+** で [電話帳の設定] を選ぶ



3 **決定** を押し、**+** で [子機転送] を選ぶ



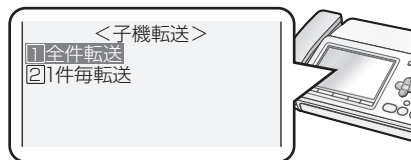
4 **決定** を押し、**+** で電話帳の転送方法を選ぶ

○ すべて転送するとき

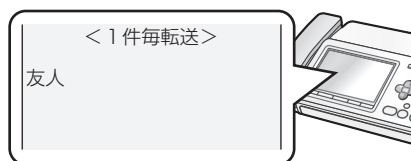
[全件転送] を選んで **決定** を押す
→ 7へ

○ 1件ずつ転送するとき

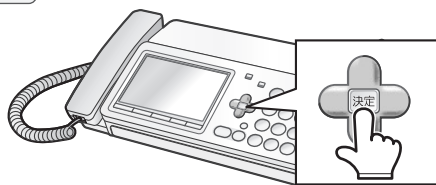
[1件毎転送] を選んで **決定** を押す
→ 5へ



5 転送したい相手先を **+** または **+** で選ぶ



6 **決定** を押す



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

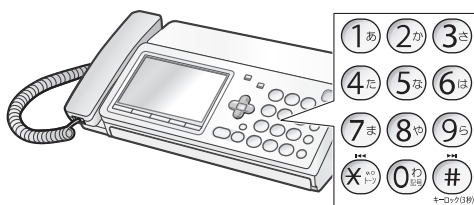
便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に
さへいん

7 転送する子機の番号 (1^あ ~ 4^た) を押す



・途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき: 戻る

[転送できないデータがあります 操作を続けますか?] と表示されたときは

この表示は親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。

決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

子機の電話帳をすべて転送する

子機から子機への電話帳の転送は、P-267SDwをお使いのとき、またはP-267SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① を押す

② で [電話帳転送] を選ぶ

着信鳴り分け
アラーム
▶電話帳転送

③ を押し、 で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

全転送
▶親機
子機2

④ を押す

- ・途中でやめるときは を押してください。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録 (☎47ページ) をしている場合は、その名前が表示されます。
- ・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

子機の電話帳を1件ずつ転送する

子機から子機への電話帳の転送は、P-267SDwをお使いのとき、またはP-267SDに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① または で転送したい相手を選ぶ

② を押す

③ で [1件転送] を選び、 を押す

電話帳変更
1件消去
▶1件転送

④ で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

⑤ を押す

- ・途中でやめるときは を押してください。
- ・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

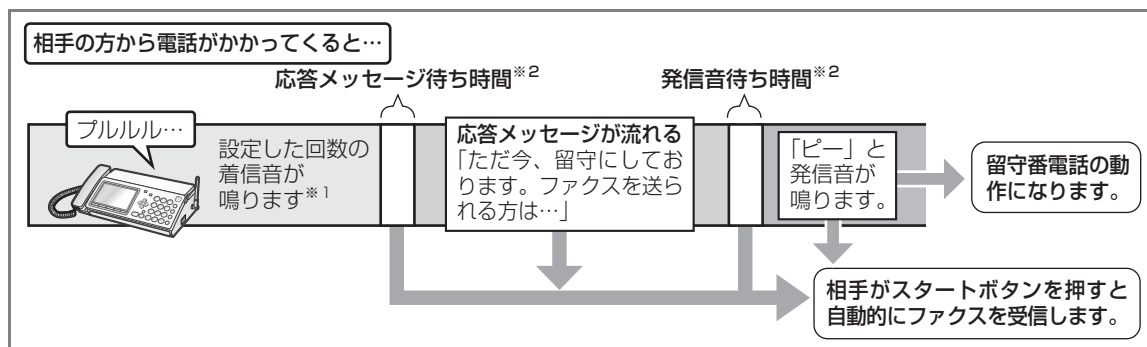
● お知らせ ●

- 子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがいない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くに束ねて置くと、転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が“()”ではじまっている電話番号(天気予報、時報)は、転送動作は完了しますが、電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 名前と電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。
- 似た名前や読みを登録する場合は、先頭部分が違う文字になるよう登録することをおすすめします。
例) [携帯電話 父] → [父 携帯電話]
[携帯電話 母] → [母 携帯電話]

留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信します。

- 相手の方の用件は、1件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」[P.231](#)ページ）。
- 本体メモリ使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。
- SDカードを本商品に取り付ける（[P.145](#)ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（[P.145](#)ページ）。そのときは、すべての録音を合わせて最大500件まで録音できます。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。



※1 着信音の回数は変更できます（[P.107](#)ページ「留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）」）。お買い求め時の回数は「4回」です。

※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（[P.231](#)ページ）。お買い求め時の設定は「4秒」です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります（応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です）。

親機で留守に設定する

1 を押す



- ・ 固定応答メッセージが流れ、親機の が点灯し、子機のディスプレイには「留守」と表示されます。
- ・ 録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り〇分、録音できます」と音声でお知らせします。残り時間が1分以下のときは、「メモリーが、もうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。残り時間がないときは、留守に設定できません。不要な録音を消去（[P.96～100](#)ページ）するか、メモリー受信したファクスを印刷／消去（[P.132, 136](#)ページ）してください。ただし、録音できる残り時間がなくても、リモート暗証番号が登録されているときは留守に設定できます。

■ 留守設定中に、相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」 [P.231](#)ページ）

● お知らせ ●

- 自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

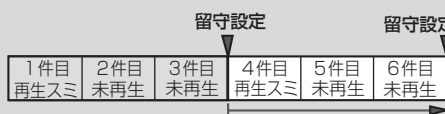
ご参考に

さへいん

親機で留守設定を解除する

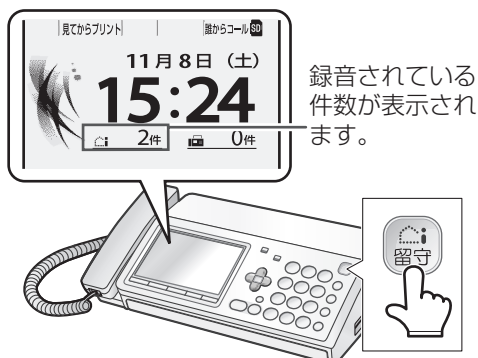
留守設定を解除すると、留守設定中に録音されたメッセージを自動的に再生します。新しい録音がない場合は、再生しません。

留守設定以後の再生について




留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

1 留守設定時に を押す



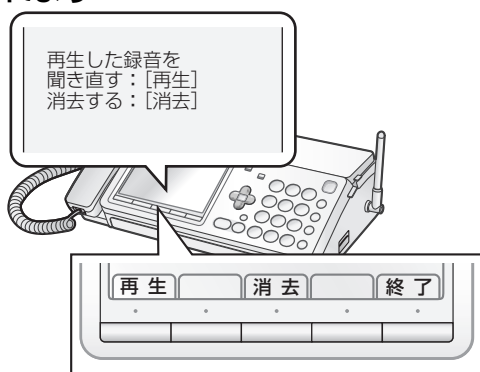
○再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。 → **2** へ

○再生を途中でやめるときは、

 を押す

- ・留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅します。留守を解除すると消灯します。
- ・親機で留守を解除すると、留守設定以後の録音内容を自動的に1回再生します(ない場合は再生しません)。
- ・本体メモリーに録音しているときは、再生中に「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(☎98、100ページ)。
- ・SDカードに録音しているときは、親機では、「10秒戻し再生」「30秒送り再生」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(☎98ページ)。子機では、「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(☎100ページ)。
- ・録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

2 再生終了後に下記の画面が表示されます



○聞き直したいときは **再生** を押す

○再生した録音をすべて消去するときは **消去** を2回押す

○終了するときには **終了** を押す

- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・録音メッセージを個別に消去したいときは、再生中に消去を行ってください(☎96ページ)。

留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に点滅(1回ずつの点滅)しているときは、新しく入れた録音があります(子機ディスプレイには[<新着:XX件>]と表示されます)。また、「今から録音」、「戻って録音」、留守録が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、点滅(2回続けての点滅)しているときは、まだ再生していない(未再生)録音(「今から録音」、「戻って録音」、留守録)があります。再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。すべて再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くとときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生/消去する」(☎96、99ページ)の操作をします。

親機のディスプレイに [受信FAXがあります] [受信FAX] を押す] と表示し、 が点滅しているときは







送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示、印刷または消去 (☎ 132、136ページ) すると、表示が消えます。


また、 の点滅が止まります。



- 留守設定を解除せずに留守録を聞くには (☎ 96、99ページ)
- 再生中にできる操作について (☎ 98、100ページ)

子機で留守設定をする／解除する

- ①  を押す
- ② [留守番電話] が選択されていることを確認する
 - ▶留守番電話
 - 優先呼出
 - 着信音量
- ③  を押し、 で [留守設定切替] を選ぶ
 - 用件再生
 - ▶留守設定切替
 - 全消去
- ④  を押し、 で [設定] または [解除] を選ぶ
 - ▶解除
 - 設定
- ⑤  を押す

- ・途中でやめるときは  を押してください。
- ・子機で留守を解除すると、留守設定をした後に録音があっても再生しません (親機の留守ボタンの点滅も消えません)。

●お知らせ●●●●●●●●●●

- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります (ファクス受信可能な場合のみ)。
- 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください (☎ 96～100ページ)。
- 未再生録音メッセージが100件以上ある場合でも、子機のディスプレイでは「99件」と表示されます。
- 留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の声がスピーカーから聞こえます (お声拝聴機能)。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「戻って録音」、「メモ録音」）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。

親機で録音内容を再生／消去する

1 再生 を押す

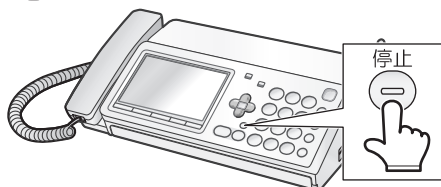


- ・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
- 留守設定にしていなときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- ・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

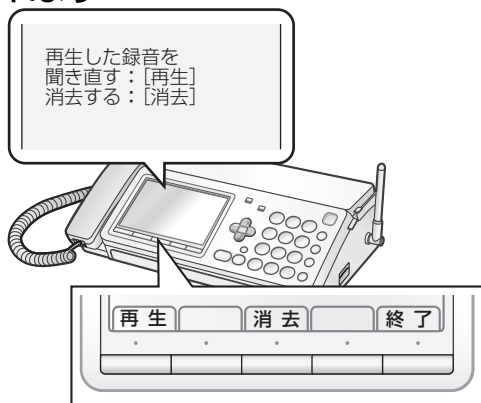
2 再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。 →3へ

- 再生中の録音を1件消去したいときは、消去 を2回押します。
→すべての再生が終わったら3へ

- 再生を途中でやめるときは、停止 を押します。



3 再生終了後に下記の画面が表示されます



- 聞き直したいときは再生 を押す
- 再生した録音をすべて消去するときは消去 を2回押す
- 終了するときには終了 を押す




- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・録音メッセージをすべて消去したいときは（☎98ページ）。

再生中に電話がかかってきたら

着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

- 通話中に録音内容を再生するには（☎175ページ）





親機の録音メモリーの残量を確認するには (FAX/録音メモリー残量表示)

- ①  を押す
- ②  を押す
- ③ 確認したら  を押す



再生する録音データのメモリーを切り替えるには

録音データを再生するときは、「FAX/録音メモリー設定」(☎ 145ページ) で設定した保存先のデータを再生します。

「本体メモリー」設定時に「SDカード」のデータを再生するときや、「SDカード」設定時に「本体メモリー」のデータを再生するときは、メモリーを切り替えてください。

- ① SDカードが取り付けられていないときは、取り付ける (☎ 145ページ)
- ②  を押す
- ③  を押す
- ④  で [本体⇄SDカード切替] を選ぶ
- ⑤  を押す

再生するメモリーが切り替わり、自動的に再生が始まります。


- ・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 
- ・保存先のデータに録音データが1件もない場合は、[録音がありません] と表示されて待受画面に戻るため、上記の操作を行うことができません。

親機で再生中にできる操作について

○再生中にできる操作

再生を途中でやめる	再生中の録音を聞き直す
再生中に 	再生中に 
次の録音にとばす	1つ前の録音に戻す
再生中に 	3秒以上再生したあと  を2回続けて押す ・聞きたい録音まで戻すときは、  をくり返し 押します（1回押すごとに1つ戻ります）。







○本体メモリーに保存している録音データを再生中にできる操作

早聞きや遅聞きをする
再生中に 
・押すたびに、再生の速さが「速い」→「遅い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。


○OSDカードに保存している録音データを再生中にできる操作

10秒戻し再生をする	30秒送り再生をする
再生中に 	再生中に 

親機で録音をすべて消去するには

- ①  を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、[用件録音] が選択されていることを確認する
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

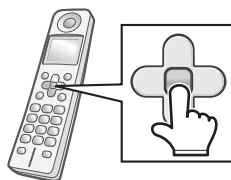
● お知らせ ●

- 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音を消去、またはメモリー受信したファクスを印刷／消去（ 132、136ページ）するなどしてください。

子機で録音内容を再生／消去する

子機で再生できる録音内容は、親機で設定しているメモリー（本体またはSDカード）に保存されているものになります。異なるメモリーの録音内容を再生したいときは、親機の設定を変更してください（▶145ページ）。

1 を押す

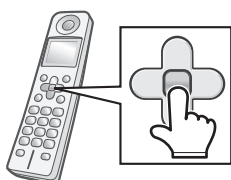


2 [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶留守番電話
優先呼出
着信音量



3 を押す

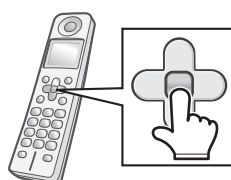


4 [用件再生] が選択されていることを確認する

▶用件再生
留守設定切替
全消去





5 を押す



- ・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。留守設定にしていないときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- ・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。
- ・SDカードに保存されている録音内容を再生する場合、録音件数が100件以上あるときでも、ディスプレイには2ケタまでしか表示することができません（99件目以降の録音はすべて「99」と表示されます）。







6 ○再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。

- 再生中の録音を1件消去したいときは  を2回押します。
- 再生を途中でやめるときは  を押します。




子機で再生中にできる操作について

○再生中にできる操作

再生を途中でやめる	再生中の録音を聞き直す
再生中に  切 (通話中に再生したときは、再生中に  通話)	再生中に 
次の録音にとばす	1つ前の録音に戻す
再生中に 	3秒以上再生したあと  を2回続けて押す ・聞きたい録音まで戻すときは、  をくり返し押します(1回押すごとに1つ戻ります)。





○本体メモリーに保存している録音データを再生中にできる操作

早聞きをする

再生中に 

・押すたびに、再生の速さが「速い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。

子機で録音をすべて消去するには

-  を押す
- [留守番電話] が選択されていることを確認する
 - ▶留守番電話
優先呼出
着信音量
-  を押し、 で [全消去] を選ぶ
 - 用件再生
留守設定切替
▶全消去
-  を2回押す

応答メッセージを選ぶ

留守設定をしているときに、相手の方に流れる応答メッセージを [固定メッセージ1]、[固定メッセージ2]、[自作メッセージ]の3種類から選ぶことができます。

固定メッセージ1

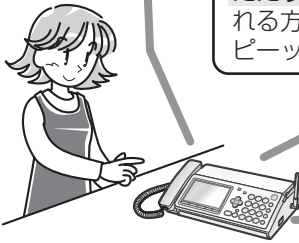
ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

固定メッセージ2

ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

自作メッセージ

自分で録音したメッセージが流れます (録音するには ☎103~104ページ)。



- 固定メッセージ1は、留守のときにお使いいただけます。最初は [固定メッセージ1] に設定されています。
- 固定メッセージ2は、在宅中に電話に出られないときなどにお使いいただけます。
- 自作メッセージは、オリジナルのメッセージを使いたいときにお使いいただけます。

ただし、用件の録音やファクス受信ができなくなったときは、メッセージが以下のように変わります。自作メッセージを設定していても、録音やファクス受信ができないときは、固定メッセージが流れます。

設定している応答メッセージ	
「固定メッセージ1」 または 「自作メッセージ」※1	「固定メッセージ2」 または 「自作メッセージ」※2

録音やファクス受信ができなくなったときは、応答メッセージは以下のように変更されます。

ファクス受信：できる 録音：できない (記録紙受信時に、メモリー不足になったときなど)	ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。	ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。
ファクス受信：できない 録音：できる (記録紙受信時に、インクリボンがないときなど)	ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。	ただ今、電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。
ファクス受信：できない 録音：できない (メモリー受信設定時に、メモリー不足になったときなど)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、電話に出ることができません。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)
● ただし、リモート操作 (☎105ページ) の暗証番号が登録されていないと応答しません。		

※1 自作メッセージを選ぶ前に、「固定メッセージ1」を選んでいた場合

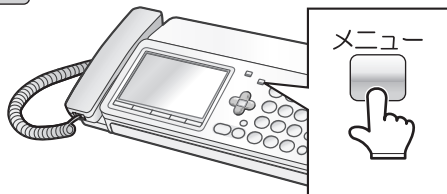
※2 自作メッセージを選ぶ前に、「固定メッセージ2」を選んでいた場合

応答メッセージを選ぶ

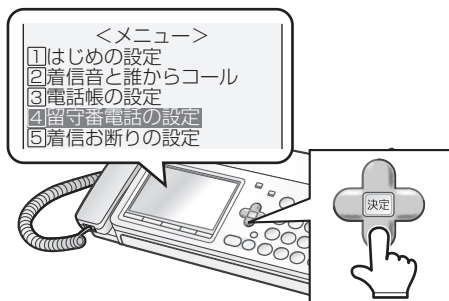
留守設定中に、相手の方に流す応答メッセージを変更できます。

●[自作メッセージ]を使用したいときは、あらかじめ自作メッセージを録音してください(☎103ページ)。

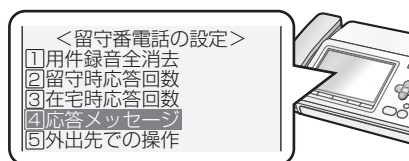
1 **メニュー** を押す



2 **+** で [留守番電話の設定] を選ぶ

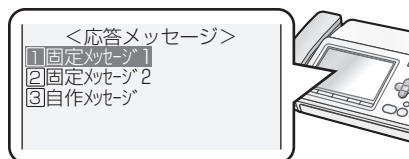


3 **決定** を押し、**+** で [応答メッセージ] を選ぶ



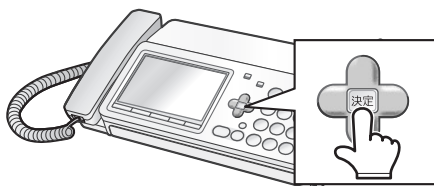
4 **決定** を押し、**+** で設定したい応答メッセージを選ぶ

- [固定メッセージ1]
- [固定メッセージ2]
- [自作メッセージ]



・応答メッセージの内容を確認したいときは、確認したいメッセージを選択し、**再生** を押してください。再生後、待受画面に戻ります。

5 **決定** を押す



・自作メッセージを録音していないときに、[自作メッセージ]を選択すると、録音画面になります(☎103ページ)。

・途中でやめるとき: **停止** / 1つ前に戻るとき: **戻る**

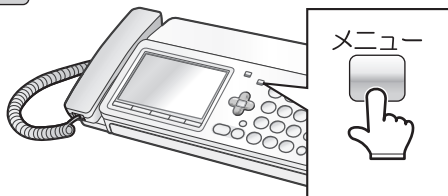
親機で自作メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます（自作メッセージ）。自作メッセージを録音すると、留守に設定したとき、自作メッセージが流れます。子機で自作メッセージを録音することはできません。

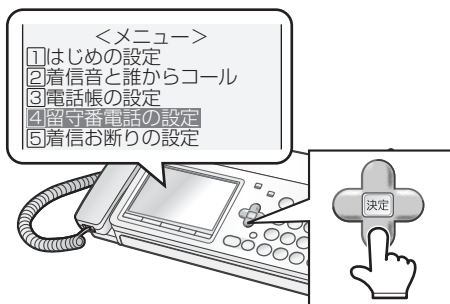
応答メッセージの例

「はい、〇〇です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話してください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

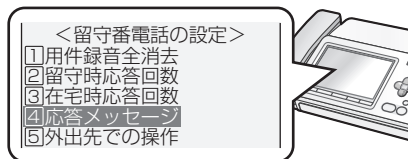
1 **メニュー** を押す



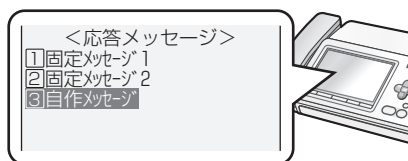
2 **決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ



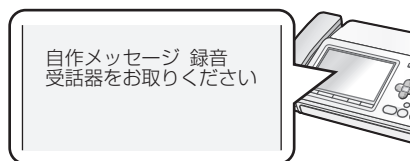
3 **決定** を押し、**決定** で [応答メッセージ] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で [自作メッセージ] を選ぶ



5 **録音** を押す

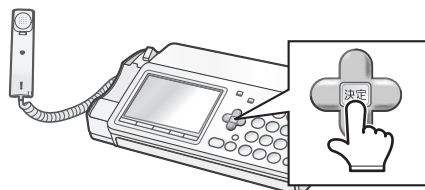


すでに自作メッセージを録音済みのときは、録音の消去画面が表示されます。消去するときは **決定** で [する] を選んで **決定** を押してください。

6 **録音** を押したら**10秒以内**に 受話器を取る



7 受話器を取ったら**10秒以内**に **決定** を押し、受話器で自作メッセージを録音する



自作メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

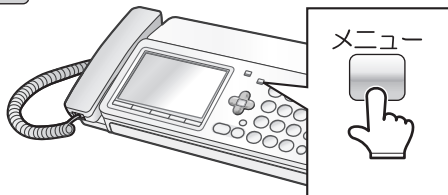
次ページへ

外出先から用件や伝言を聞く (リモート操作)

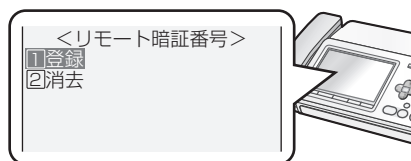
外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ次の手順で暗証番号を登録する必要があります。

暗証番号を登録する

1 **メニュー** を押す



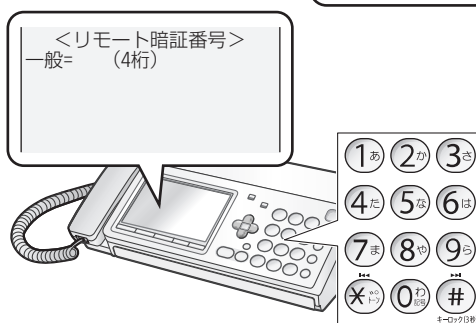
5 **決定** を押し、[登録] が選択されていることを確認する



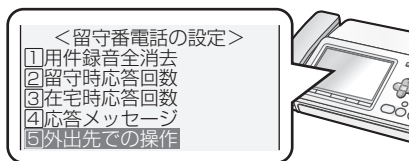
2 **+** で [留守番電話の設定] を選ぶ



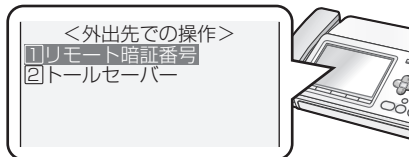
6 **決定** を押し、ダイヤルボタンで暗証番号を入力する **4ケタで入力**



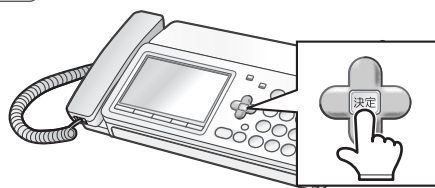
3 **決定** を押し、**+** で [外出先での操作] を選ぶ



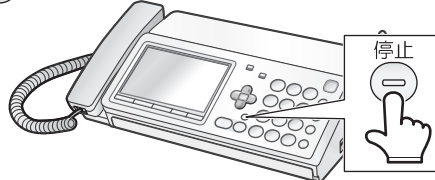
4 **決定** を押し、[リモート暗証番号] が選択されていることを確認する



7 **決定** を押す



8 **停止** を押す



途中でやめるとき: **停止** (Stop key) /

1つ前に戻るとき: **戻る** (Back key) または **取消** (Cancel key)

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー
SDカード







便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまいったときは

ご参考に
さくいん

登録した暗証番号を消去するときは

- ①  を押す
- ②     と順に押す
- ③  を押す
- ④  を押す

外出先からリモート操作する

- ① 自宅に電話をかける
- ② 応答メッセージが聞こえている間に[#]を押す
- ③ 暗証番号を入力する
- ④ [#]を押す
- ⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
- ⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

■ リモート操作表

録音内容を聞く	[1][#]
早聞きや遅聞きをする (本体メモリー設定時)	再生中に [1][#] (押すたびに「速い」→「遅い」→ 「元の速さ」→「速い」…)
録音内容を聞き直す	再生中に [3][#]
1件前の録音を聞く	再生中に [3][#][3][#]
次の録音内容を聞く	再生中に [4][#]
止める	再生中に [5][#]
10秒戻す (SDカード設定時)	再生中に [8][#]
30秒進める (SDカード設定時)	再生中に [9][#]
再生済みの録音を消す	停止中に [0][1][#]
録音内容をすべて消す	停止中に [0][2][#] 未再生の録音も消えます。 応答メッセージは消えません。
留守を設定／解除する	停止中に [6][#]

■ 暗証番号を変えるときは

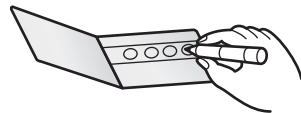
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ 暗証番号を忘れたときは

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

■ 暗証番号を登録したとき

登録した暗証番号は、忘れないように249ページのリモート操作手順カードに記入してください。



外出するときは、このカードを切り取ってお出かけください。

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。

留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ [トールセーバー] に設定しているときは(☎ 108ページ)

[トールセーバー] に設定すると、未再生録音のあり／なしで応答回数が変わります。リモート操作をしなくても未再生録音があるかがわかりますので、通話料もかからず便利です。

詳しくは、108ページをご覧ください。

● お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。1分以上あけると電話が切れます。
- 留守設定を解除している場合、親機の「在宅時応答回数」が[無制限呼出]のときはリモート操作できません。リモート操作をお使いになるときは、「ファクスの自動受信に切り替わる親機の着信音の回数を設定する」(☎ 122ページ)で着信音の回数を設定しておいてください。
- メッセージを再生中にリモート操作を行った場合に音声と操作音が重なると、正しく動作しないことがあります。そのときは、もう一度やり直してください。

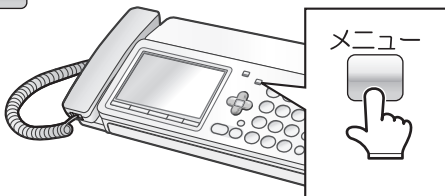
留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）

留守番電話に設定しているときに、応答メッセージが流れるまでの相手の方への応答回数を変更することができます（1回～25回まで）。最初は [4回] に設定されています。

応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、本商品が自動受信しないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

留守時応答回数を設定する

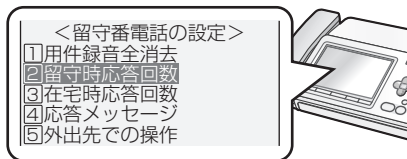
1 **メニュー** を押す



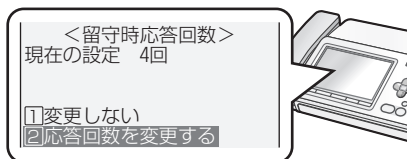
2 **+** で [留守番電話の設定] を選ぶ



3 **決定** を押し、**+** で [留守時応答回数] を選ぶ



4 **決定** を押し、**+** で [応答回数を変更する] を選ぶ

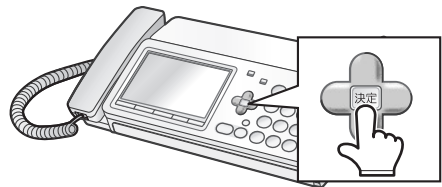


5 **決定** を押し、ダイヤルボタンで応答回数（1～25回）を入力する

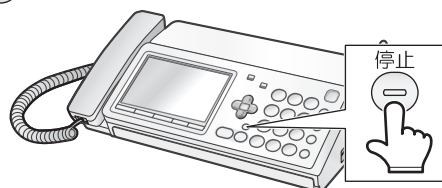


・「トールセーバー」(☎ 108ページ) を設定しているときは、「応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます」と表示されます。そのまま続けるときは **決定** を押ししてください（トールセーバーが自動的に解除されます）。

6 **決定** を押す



7 **停止** を押す



途中でやめるとき： **停止** /

1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

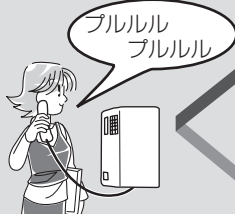
ご参考に

さくいん

[トールセーバー] に設定する

[トールセーバー] に設定すると、外出先からリモート操作（☎ 106ページ）をするときに、新しい録音があるかないかを呼出回数で確認できます。

メッセージがあるとき：呼出音2回で着信 / メッセージがないとき：呼出音5回で着信



ブルブル
ブルブル

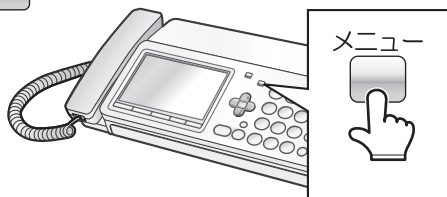
2回目の呼出音で
応答メッセージが鳴ったら
新しい録音があります。

3回目以降、呼出音が
あると、新しい録音は
ありません。

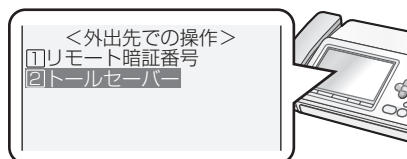
そのままリモート操作を
行ってください。

つながる前に電話を切れば、
リモート操作をする手間が
省け、電話代が節約できます。

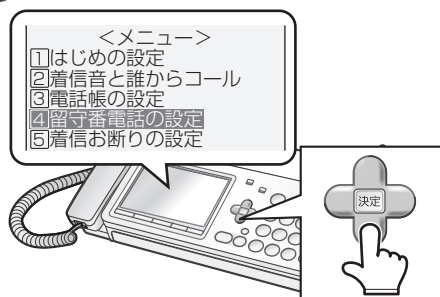
1 **メニュー** を押す



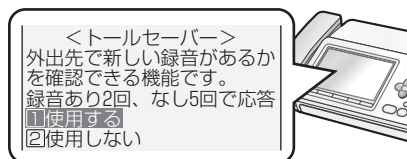
4 **決定** を押し、**+** で [トールセーバー] を選ぶ



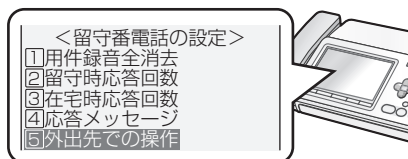
2 **+** で [留守番電話の設定] を選ぶ



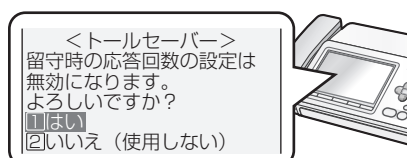
5 **決定** を押し、**+** で [使用する] を選ぶ



3 **決定** を押し、**+** で [外出先での操作] を選ぶ

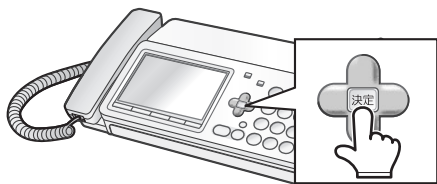


6 **決定** を押し、**+** で [はい] を選ぶ

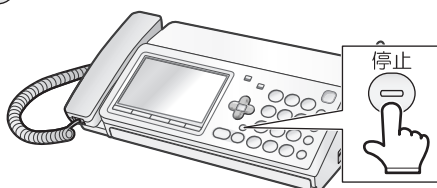


次ページへ

7 決定 を押す




8 停止 を押す



・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

■ [トールセーバー] を解除するときは

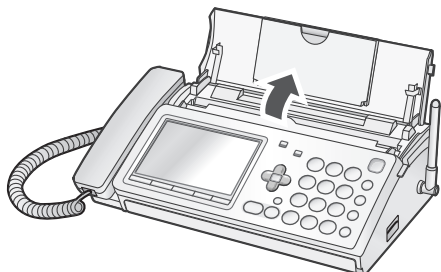
手順5で [使用しない] を選んで  を押します。

ファクスを送る

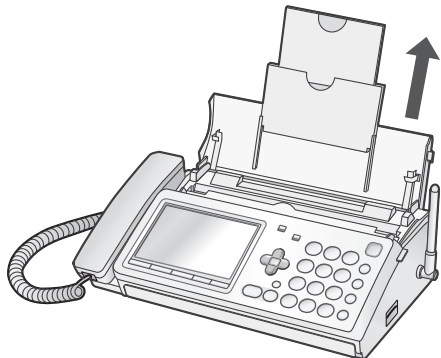
親機でお話ししてからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。

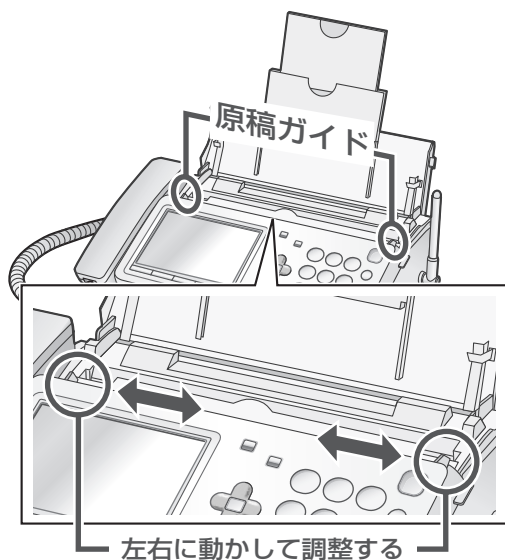
1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す



3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



4 原稿をセットする

原稿は**ウラ**向きに！

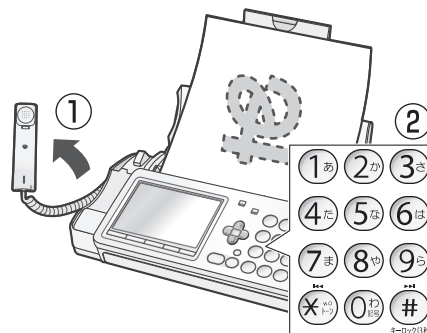
コピーや送信する面を下にしてセットする
(一度に5枚まで)

原稿をこの向きに入れると、相手の方に正しい向きで送信できます。



- ・セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については115ページをご覧ください。
- ・原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- ・原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます (☎115ページ)。

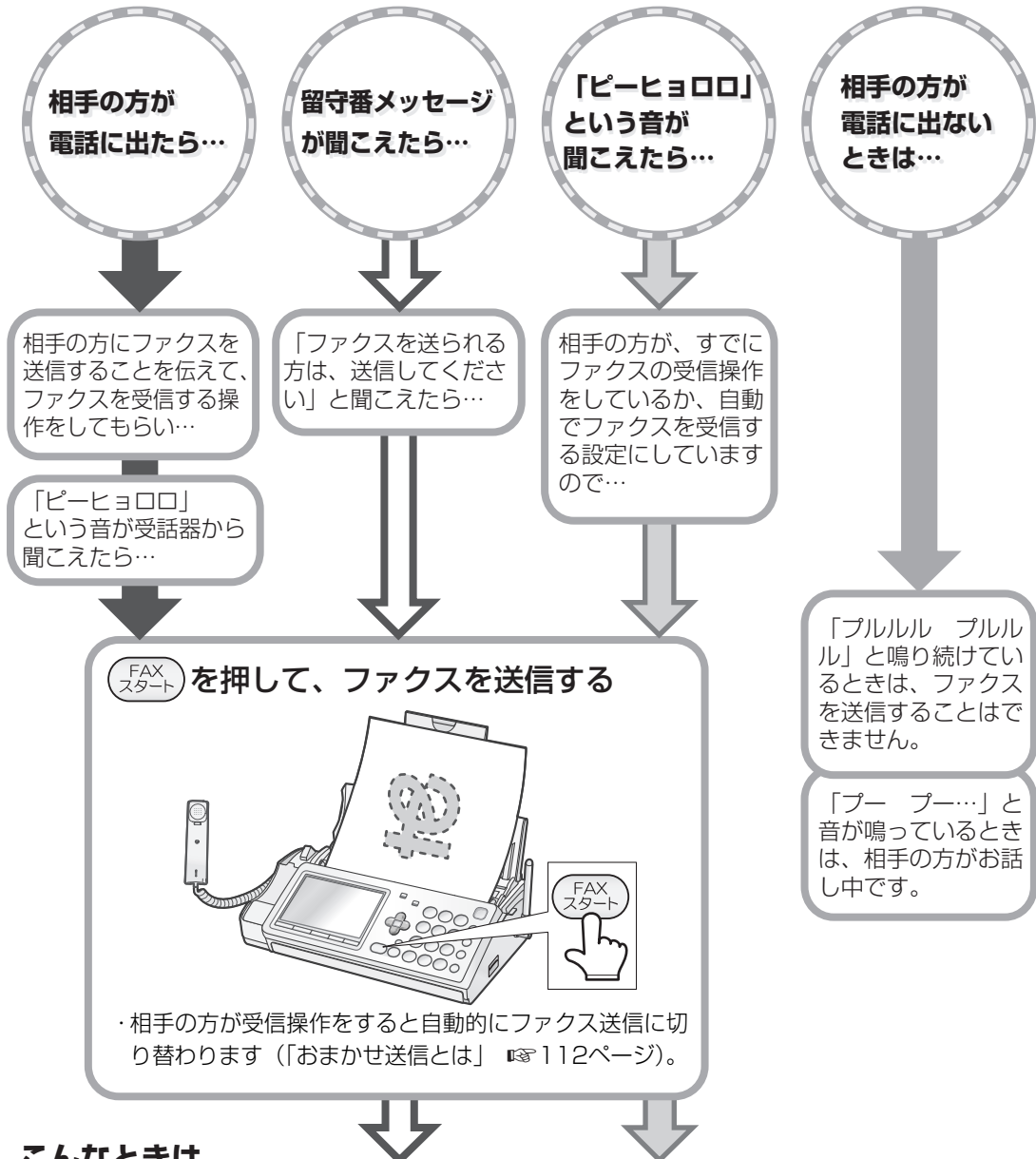
5 受話器を取ってダイヤルする



- ・先にダイヤルしてから、受話器を取って電話をかけることもできます。

次ページへ

6



こんなときは

相手の方のファクスの状態によっては、「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえないときや、こちらのファクス送信が完了していても、相手の方に送られないときがあります。

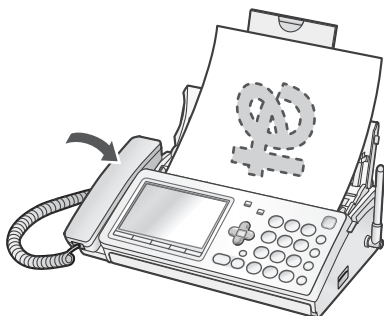
- 例) ・相手の方のファクスが用紙切れ、インクリボン切れ、受信メモリー不足になっているとき
- ・相手の方のファクスが受信できない設定になっているとき（ファクスを自動で受信できない留守番電話など）
- ・相手の方がファクス機能のない電話機などをお使いのとき


次ページへ

もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
ごまっただときは
ご参考に
さくいん



7 受話器を戻す

送信が始まります




・途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／送信中は  (原稿が詰まった状態になります)

子機でファクスを送るときは




- ① 親機に原稿をセットする
( 110ページ 手順 **1 ~ 4**)
- ② 子機で電話をかける
- ③ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ④ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押し、[FAX送信] を選択していることを確認する


▶FAX送信
FAX受信
録音再生

- ⑤  を押す
- ⑥ 子機を充電器に戻す

・上記③で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピーヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて④～⑥の操作をしてください。

原稿を取り出すときは

- ① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
- ②  を押す
- ③  で [原稿の排出] を選ぶ
- ④  を押す (原稿が排出される)



・排出されないときは、「原稿が詰まったときは」( 222～223ページ) をご覧ください。

おまかせ送信とは

親機、子機ともに動作します。

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音(ファクス受信音)が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れません。

※ お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは 、子機をお使いのときは「子機でファクスを送るときは」( 左記) の操作を行って送信してください。

■ 「通信エラーがありました」と聞こえたら (226ページ)

■ 原稿が詰まったときは (222～223ページ)

● お知らせ

- 一度にセットできる原稿は5枚までです。5枚以上の原稿を送信したいときは、読み取りが終わって排出された枚数と同じ枚数を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

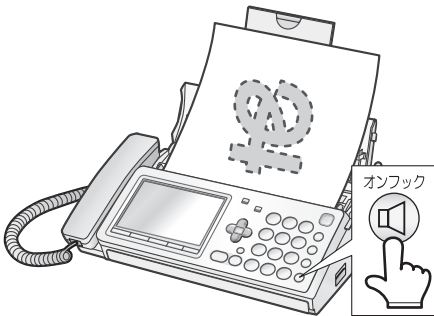
以下のようなときは、ファクスを送信することができません。

- ・相手の方が、自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- ・相手の方が、ファクス受信の操作をしていないとき
- ・相手の方が電話に出ないとき など

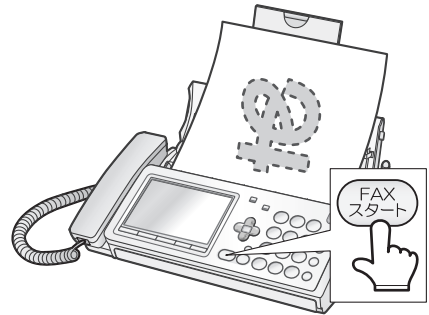
このようなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎110ページ)をご確認のうえ、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください。

1 原稿をセットする (☎110ページ 手順 1~4)



2 オンフック を押し



4 電話がつながったら **FAX スタート** を押す 送信が始まります



オンフック

- ・途中でやめるとき：送信前は  /
- 送信中は  (原稿がつまった状態になります)




3 「ツー」という音が聞こえたら、ダイヤルボタンで電話番号を入力する



■ 原稿を取り出すときは (☎112ページ)

■ 原稿がつまったときは (☎222~223ページ)







再ダイヤルでファクスを送る

- ① 原稿をセットする (☎110ページ 手順 **1~4**)
- ② 再ダイヤル  を押し、 または  で番号を選ぶ
- ③ **決定** (または **FAXスタート**) を押す
(ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは


- ① 上記の ①② の操作をする
- ② 受話器を取り、相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクス受信する操作をしてもらう
- ③ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、**FAXスタート** を押す
- ④ 受話器を戻す

電話帳でファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする (☎110ページ 手順 **1~4**)
- ② 電話帳  を押す
- ③  または  で相手の方を選ぶ
相手の方の名前の頭文字で検索して選ぶときは、名前の頭文字の行を入力 (例: [友人] を探すときは **8**) を押します。目的の相手の方が選ばれていないときは  または  で選びます)
- ④ 第2番号でかけるときは  を押して選ぶ
電話帳を「一覧表示」にしているときは、第2番号を使用できません。使用するときには、「1件表示」または「詳細表示」に変更してください。
- ⑤ 相手の方とお話ししないで送るときは **決定** (または **FAXスタート**) を押す (ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは

- ① 上記の ①~④ の操作をする
- ② 受話器を取り、相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクス受信する操作をもらう
- ③ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、**FAXスタート** を押す
- ④ 受話器を戻す

・途中でやめるとき: 

ワンタッチダイヤルでファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする (☎110ページ 手順 **1~4**)
- ② **ワンタッチ1** または **ワンタッチ2** から、ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを押す (ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは

- ① 原稿をセットする (☎110ページ 手順 **1~4**)
- ② 受話器を取る
- ③ **ワンタッチ1** または **ワンタッチ2** から、ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを押す
- ④ 相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクス受信する操作をもらう
- ⑤ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、**FAXスタート** を押す
- ⑥ 受話器を戻す

海外へファクスを送るときは

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

(ひかり電話をご利用のときは、「電話会社の識別番号」は不要です)

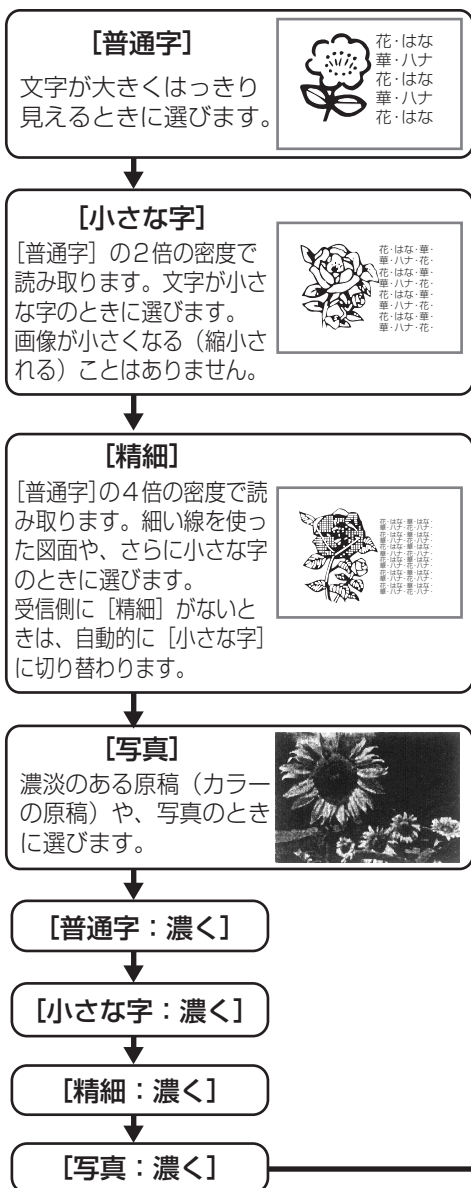
● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 国際通話や国際通信については、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 本商品では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話してからファクスを送る」(☎110~112ページ)の方法で送信してください。
- 相手の方が自動受信 (音声応答なしの場合) に設定されていると、こちら側には「ピーヒョロロ」という音が聞こえます。

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

1 原稿をセットした状態で **画質** を押す



- ・ 押すごとに画質・濃度が変わります。
- ・ 原稿の文字などが薄いときは、各画質の[：濃く]を選びます。
- ・ 画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは[普通字]、コピーのときは[小さな字]に設定されます。

使用できる原稿

セットできる原稿のサイズ

幅 148mm～210mm / 長さ 128mm～500mm / 厚さ 0.06mm～0.18mm

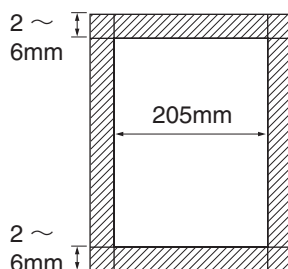
- 厚さのめやす
新聞紙：約0.05～0.06mm 上質紙：約0.10mm

原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅 205mm
- 最大読み取り長 送信原稿長(128～500mm)から上下とも2～6mmを引いた長さ



一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ 297mmを超える原稿
- 厚さ 0.12mmを超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。そのままセットすると、故障の原因になります。

- セットできる原稿のサイズより小さすぎるもの(写真など)
- フィルム状のもの、透明のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのがあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの
- 紙の上にセロハンテープや糊で別の紙を貼ったもの

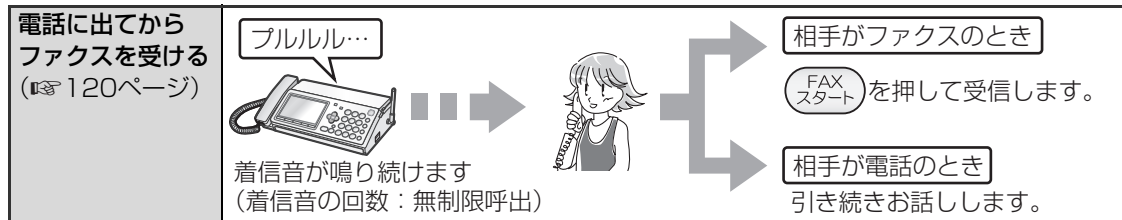
● お知らせ ●

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙つまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部(ガラス)の汚れの原因になります。汚れたときは219～221ページをご覧ください。清掃してください。

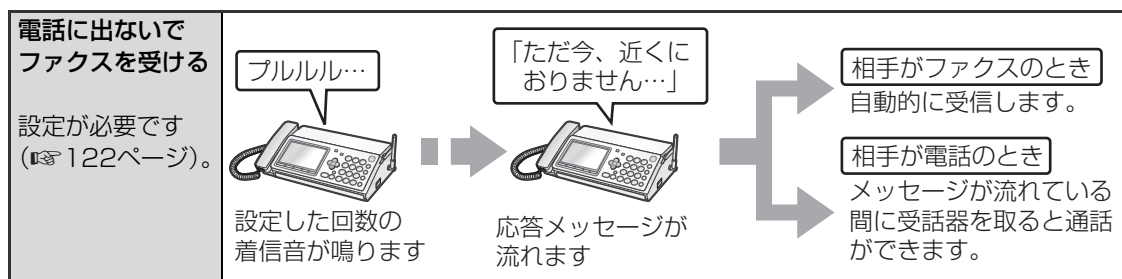
ファクスの受けかた

お使いの環境に合わせて、いろいろなファクスの受信方法を選んで設定することができます。
ファクスの受信方法がわからないときは、お使いの環境についての質問に答えて、自動的にファクス受信方法を設定することができます（着信設定ガイド 118～119ページ）。

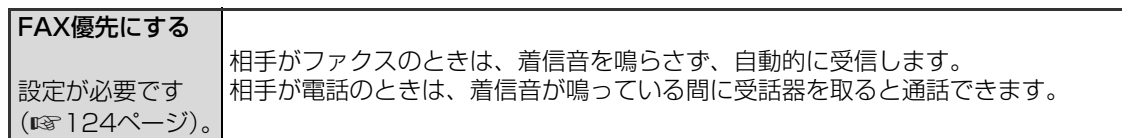
電話をおもにお使いの方には…



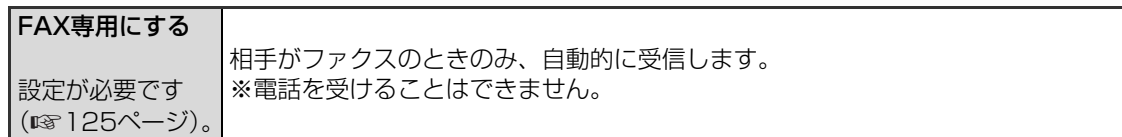
電話に出られないとき、ファクスだけ受信したい方には…



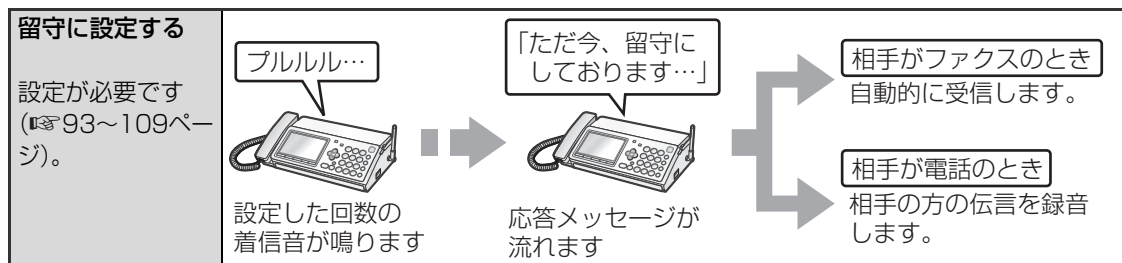
ファクスを主にお使いの方には…



ファクス専用でお使いの方には…



留守にするときは（または自宅にいても電話に出られない方には）…



ファクスを受信するときの印刷のしかた

ファクスを受信したときの印刷のしかたは、次の3通りです。お買い求め時は、**[見てからプリント]**に設定されています。
変更するときは「FAX受信方法」(☎232ページ)で設定します。

見てからプリント	受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。内容を確認してから、必要なファクスだけを印刷できるので、記録紙やインクリボンを節約できます。	受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。 また、自動的に印刷はしません。
メモリー受信	ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙に印刷します(あらかじめ記録紙をセットしている場合)。記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。	メモリーがいっぱいになると受信できません。
記録紙受信 (事前に記録紙をセットしておきます)	ファクスを自動的に記録紙へ印刷します。メモリーの残量にかかわらずファクスを受信することができます。	記録紙やインクリボンの残量がなくなったときは受信できません。

メモリー受信とは

送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

メモリー受信枚数・受信件数について

本体メモリーを使用するときは、A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度の原稿)を[普通字]で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大でも約60枚または30件までです)。

SDカードを使用するときは、1件につき最大99枚、スキャン(読み込み)した画像データと合わせて最大150件まで受信することができます(SDカードのメモリーの空き容量により異なります)。





受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります([通信エラー(1~15)がありました]と表示されます)。メモリー受信した内容を印刷または消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。

また、「FAX受信方法」(☎232ページ)の操作で[記録紙受信]に設定しておく、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

親機のFAX/録音メモリーの残量を確認するには (FAX/録音メモリー残量表示)

- ①  を押す
- ②  で [メモリー残量の表示] を選ぶ
- ③  を押す
- ④ 確認したら  を押す

●お知らせ

- ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。
縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(☎232ページ)の設定を[なし]にします。ただし、[なし]に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。また、1枚でおさまらない(2枚に分けて印刷される)場合もあります。

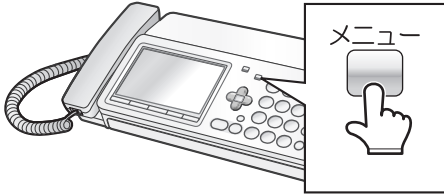
もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
ごまっただときは
ご参考ください

質問に答えて自動的にファクスの受信方法を設定する (着信設定ガイド)

お使いの状況について質問に答えるだけで、自動的にファクスの受信方法を設定することができます (着信設定ガイド)。

着信設定ガイドを利用する

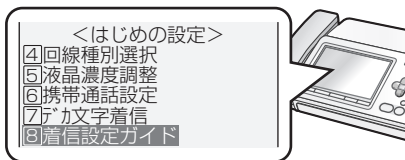
1 **メニュー** を押す



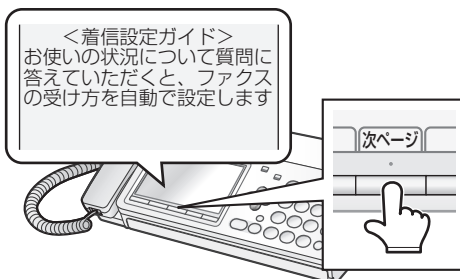
2 [はじめの設定] が選択されていることを確認する



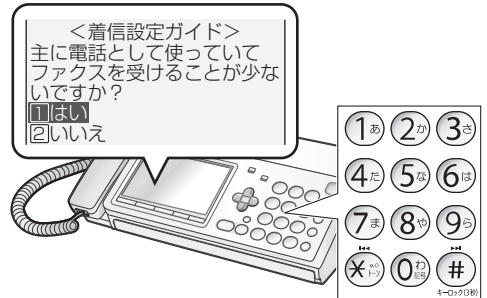
3 **決定** を押し、**+** で [着信設定ガイド] を選ぶ



4 **決定** を押し、表示される文章を読み終わったら **次ページ** を押す



5 質問が表示されたら内容を確認し、答えの番号をダイヤルボタンで選ぶ



・ **+** で番号を選び、**決定** で決定することもできます。

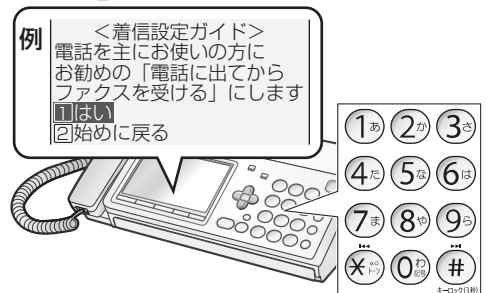
6 項目の設定が完了するまで、

○ **次ページ** を押す

または

○ 答えの番号をダイヤルボタンで選ぶをくり返す

7 設定内容を確認し、この設定でよければ **1あ** を押す



・ 設定を変更したい場合は **2か** を押して、はじめから設定し直してください。
・ 設定が完了すると、自動的に待受画面に戻ります。

・ 途中でやめるとき: **停止** (Stop) または **中止** (Cancel)

1つ前に戻るとき: **戻る** (Back) または **前ページ** (Previous Page)

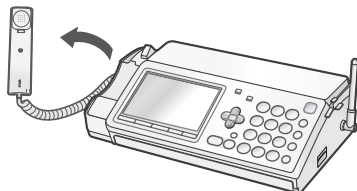
電話に出たからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えることができます。
お買い求め時、着信音の回数は「無制限呼出」になっていますので、ご不在のときは自動でファクスを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをおすすめします。

親機で電話に出たからファクスを受ける

原稿がセットされているときに **FAXスタート** を押すと送信になりますので、原稿はセットしないでください。

1 着信音が鳴ったら受話器を取る



2

受話器から
という音が聞こえたら…

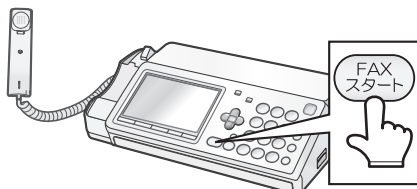
「ポー・ポー・ポー…」

相手の方がファクス送信の操作をしているので、そのまま **FAXスタート** を押す

相手の方が
と言ったら…

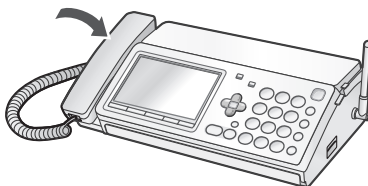
「ファクスを送りたい」

相手の方がファクス送信の操作をしたら、**FAXスタート** を押す



- ・「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」とメッセージを流して自動的にファクスを受信することができます（おまかせ受信）。解除するときは232ページをご覧ください。
- ・こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が動きません。
- ・おまかせ受信が動かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、**FAXスタート** を押してください。

3 受信が始まるので、受話器を戻す



- ・ファクスを受信すると、自動的に電話が切れます。

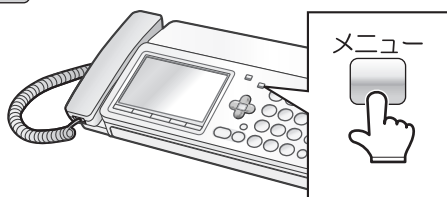
電話に出ないで自動的にファクスを受ける

着信音の回数を変更すると、変更した回数の着信音が鳴っている間に電話に出られないときは、自動的にファクスを受ける設定にすることができます。

お買い求め時は [無制限呼出] (着信音が鳴り続ける設定) になっています。

ファクスの自動受信に切り替わる親機の着信音の回数を設定する

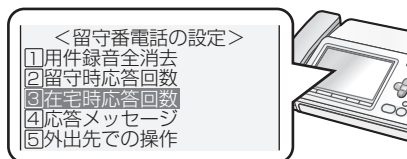
1 **メニュー** を押す



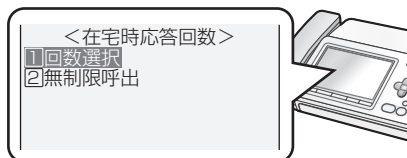
2 **+** で [留守番電話の設定] を選ぶ



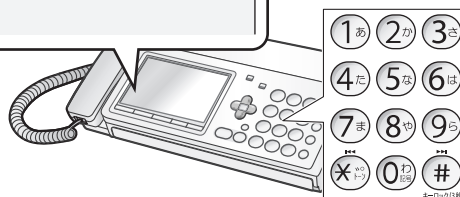
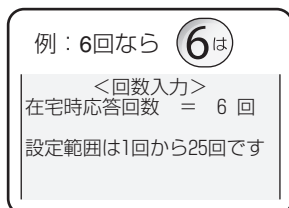
3 **決定** を押し、**+** で [在宅時応答回数] を選ぶ



4 **決定** を押し、**+** で [回数選択] を選ぶ

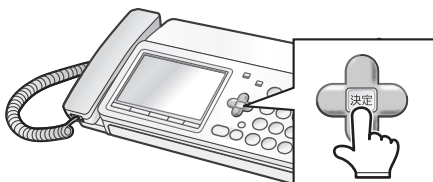


5 **決定** を押し、ダイヤルボタンで着信音の回数を入力する (1~25回)

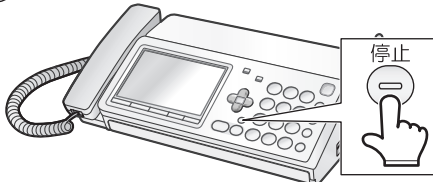


・着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、本商品が自動受信しないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。

6 **決定** を押す



7 **停止** を押す



・途中でやめるとき: **停止** /

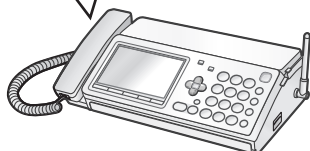
1つ前に戻るとき: **戻る** または **取消**

ファクスが届いたとき

回数を設定しておくで、下記のようにファクスを自動受信します。

- ① 着信音が鳴る
- ② 設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動的に応答メッセージが流れる

ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。



- ③ 「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信する

・着信音が鳴っている間や、応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

[無制限呼出] になっているときは

ファクスの自動受信は行いません。着信音が鳴り続けます。お買い求め時は [無制限呼出] に設定されています。

[無制限呼出] に戻すときは

- ① を押す
- ② を押して [留守番電話の設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [在宅時応答回数] を選ぶ
- ④ を押し、 で [無制限呼出] を選ぶ
- ⑤ を押す
- ⑥ を押す

■ インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは
着信音が鳴り続けます。

- **お知らせ**
- 自動的にファクスを受信する設定にしていると、相手の方の受話口に「ピー」という音が鳴ります。
- 着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、 を押して受信してください。

FAX優先またはFAX専用にする

電話よりもファクスを受けることが多い方は、FAX優先、またはFAX専用に設定してお使いください。

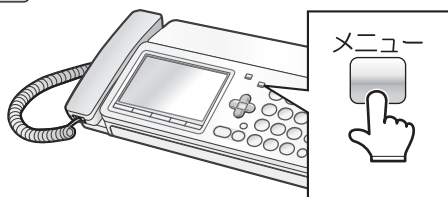
FAX優先にする

FAX優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断する機能です。

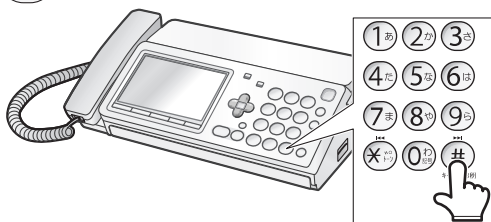
ファクスを受信することが多い方におすすめの機能ですが、電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。

FAX優先に設定すると、ディスプレイに|FAX優先|と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。

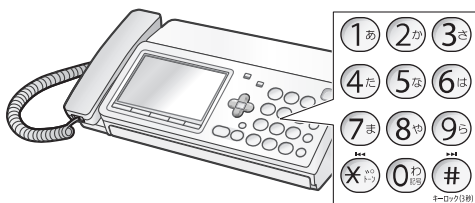
1  を押す





2  を4回押す



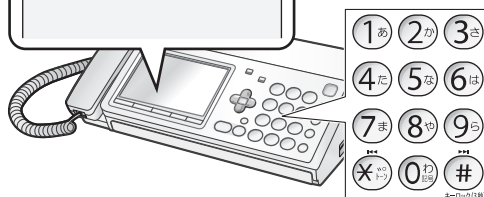
3    と順番に押す



4  で着信音の回数を入力する（4～25回）

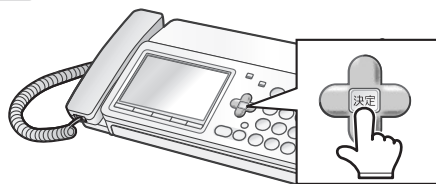
例：6回なら  は

<回数入力>
FAX優先時コール回数= 6回
設定範囲は4回から25回です

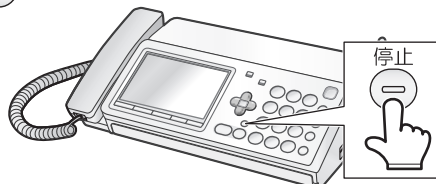


・お買い求め時は「7回」になっています。回数を多くすると、着信のタイミングによってはファクスを受信できないことがあります。

5  を押す



6  を押す



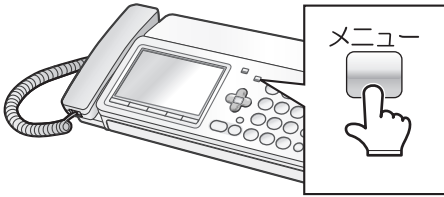
・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

FAX専用にする

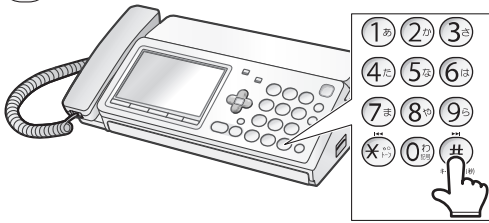
FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。

FAX専用に設定すると、ディスプレイに「FAX専用」と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。

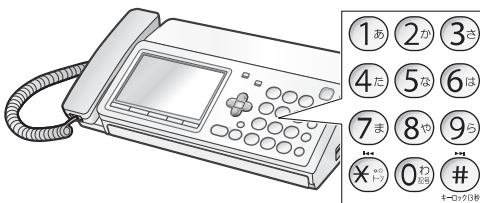
1 **メニュー** を押す



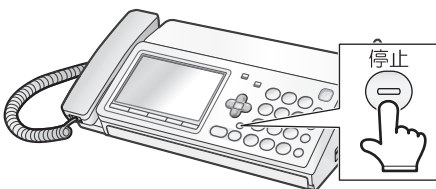
2 **#** を4回押す



3 **2** **2** **2** と順番に押す



4 **停止** を押す



途中でやめるとき: **停止** / 1つ前に戻るとき: **戻る**

FAX優先またはFAX専用を解除するときは

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **2** **2** **3** と順に押す
- ④ **停止** を押す

●お知らせ●●●●●●●●●●

- 自動的にファクスを受信する設定にしていると、相手の方の受話口に「ピー」という音が鳴ります。
- おやすみモード (P.164～167ページ) を設定しているときに、FAX優先またはFAX専用を設定すると、選んで着信番号に登録された相手の方からの電話のみ、FAX優先またはFAX専用の機能が働きます。
- 「FAX 受信方法」 (P.232 ページ) の設定によって、受信したファクスの保存や印刷の方法が変わります。
【見てからプリント】:
 記録紙をセット (P.135 ページ) していなくても、親機のメモリーに記録されます。後から印刷してください (P.136 ページ)。
【メモリー受信】:
 記録紙をセットしているときは、ファクスを印刷します。記録紙がないときは親機のメモリーに記録されます。
【記録紙受信】:
 記録紙をセットしていないとファクスを受信することができません。
- ファクス受信後の終了音は鳴ります。
- FAX専用を設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話できます。

もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
ごまったときは
ご参考に
さへん

受信したファクスをディスプレイで見る (見てからプリント)

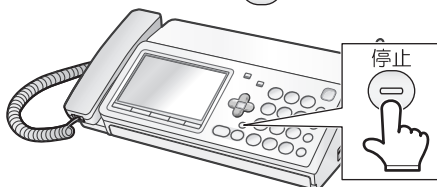
受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに[受信FAXがあります [受信FAX]を押す]と表示され、^{受信FAX} のランプが点滅します。「操作ガイド」の機能を使って、受信ファクスの確認方法を表示させることができます (☎38ページ)。

受信したファクスをディスプレイに表示する

1 受信FAX を押す

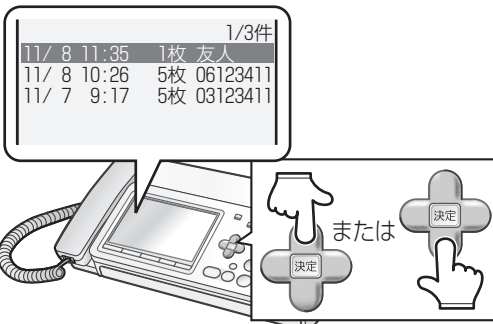


4 確認が終わったら 停止 を押す



・途中でやめるとき: 停止

2 または で表示したい受信ファクスを選ぶ



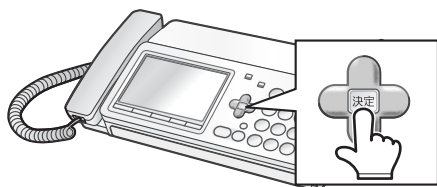
・受信ファクス一覧の見かたについては右記「受信FAX一覧について」を、受信FAX一覧でできることについては、127ページをご覧ください。

受信FAX一覧について

受信したファクスは、以下のように一覧で表示されます。一覧画面でできることについては、127ページをご覧ください。

選択されている件数/最大件数			
相手の方の番号または名前 (全角4文字、半角8文字 まで表示されます)			
受信日時	受信枚数	1/3件	
11/ 8 11:35	1枚	友人	
11/ 8 10:26	5枚	06123411	
11/ 7 9:17	5枚	03123411	
自動表示 印刷 消去 サブメニュー 戻る			

3 決定 を押す

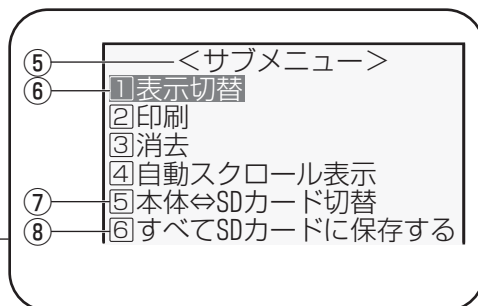
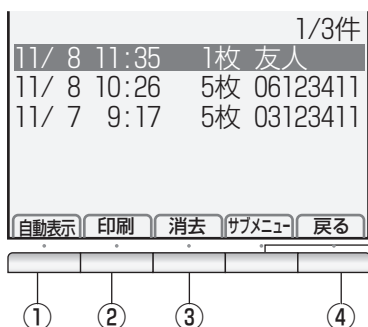


・表示した受信ファクスの見かたについては、128ページをご覧ください。

■ 受信ファクスをプリントするときは (☎136ページ)

■ 受信ファクスを消去するときは (☎132ページ)

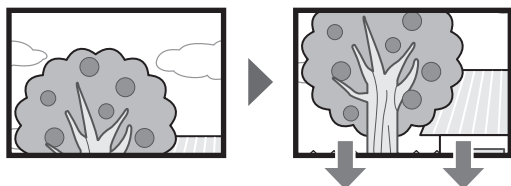
受信ファクス一覧からできること



① 自動表示 (自動スクロール)

自動表示 を押すと、選択している受信ファクスを表示したあと、下方向へ表示が自動的にスクロールします。

画面表示(例)



画面が最後まで下がると、次ページがある場合はそのまま次ページを表示して「自動的にスクロールする」をくり返します。次ページがない場合や、最後のページまで来たときは、1ページ目の先頭に戻ります (以降は自動スクロールしません)。

途中でやめたいときは **中止** を押してください。そのあと **戻る** を押すと、一覧画面に戻ります。

② 印刷

受信ファクスを印刷します (☎ 136ページ)。

サブメニュー を押して [印刷] を選んでも、同様の動作をします。

③ 消去

受信ファクスを消去します (☎ 132ページ)。

サブメニュー を押して [消去] を選んでも、同様の動作をします。

④ 戻る

戻る を押すと、待受画面に戻ります。

⑤ サブメニュー

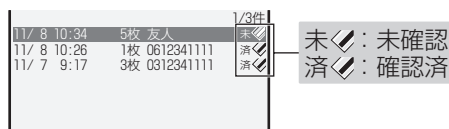
メニュー画面を表示します。 **メニュー** を押しても、同様の画面が表示されます。

決定 または **決定** で項目を選択し、 **決定** を押しで決定してください。

⑥ 表示切替

受信ファクス一覧の表示方法を変更します。切り替えるごとに、一覧表示 (文字が大きい)、一覧表示 (文字が小さい) に切り替わります。

一覧表示 (文字小さい)



表示を切り替えると、受信ファクス一覧を終了しても、設定が維持されます。

⑦ 本体⇔SDカード切替

受信ファクスを確認したいメモリー先を「本体」または「SDカード」のどちらかに選択することができます (☎ 129ページ)。

⑧ すべてSDカードに保存する

受信ファクスデータを、すべてSDカードにコピーします (☎ 129ページ)。150ページの操作をしても、同様の動作を行うことができます。

受信したファクスを表示してからできること

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。表示している部分を上下左右に動かしたり (スクロール)、拡大、縮小したりすることができます。

現在表示している 倍率を表示 (20段階)

現在表示しているページ/総ページ

メモリー受信したファクス

ボタンを押すと、押した方向へ、表示部分が移動します。端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。


表示されている画像の倍率を変更できます。
ズームIN : ズームイン (拡大)
ズームOUT : ズームアウト (縮小)
 20段階まで倍率を変更できます。

ボタンを押すと、ボタンを押すと、複数ページを受信しているときは、押すたびに次のページを表示します。最後のページで押すと、1ページ目に戻ります。

ボタンを押すと、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

マルチファンクションキーを押すと…

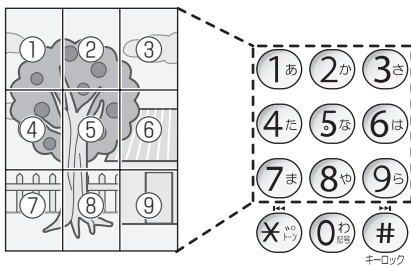
ファクスを拡大表示中にマルチファンクションキー

() を押すと、上下左右に押した方向へ

- 軽く押すと、少しづつ表示部分が移動します。
- 押し続けると、次の画面まで表示部分が移動します。


ダイヤルボタンを押すと…





ファクスを拡大表示中にダイヤルボタンを押すと、以下のように、対応した場所をダイレクトに表示します。




また、**#** を押すとズームイン (拡大)、***** を押すとズームアウト (縮小) します。

メニューボタンを押すと…


ファクスを表示中に  を押すと、メニュー画面が表示されます。表示される項目は、以下の通りです。

- ①印刷 :  136ページ
- ②FAX送信 :  130~131ページ
- ③消去 :  132~133ページ
- ④横ピタリ : 現在のファクスの横幅を画面サイズに合わせて表示
- ⑤自動スクロール :  127ページ ①

FAXスタートボタンを押すと…

ファクスを表示中に  を押すと、表示中のファクスデータを送信することができます。詳しくは、130ページをご覧ください。

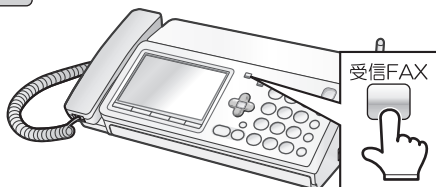
キャッチ/消去ボタンを押すと…

ファクスを表示中に  を2回押すと、表示中のファクスデータを消去することができます。確認済みのファクスをすべて消去したいときや、すべてのファクスデータを消去したいときは、132ページをご覧ください。

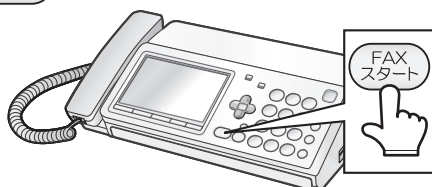
親機に保存された受信ファクスをそのままファクス送信する （ファクスそのまま転送）

親機に保存されている受信ファクスをそのままファクス送信することができます。ファクスを転送したいときなど、印刷せずに送信できるため、便利です。

1 受信FAX を押す

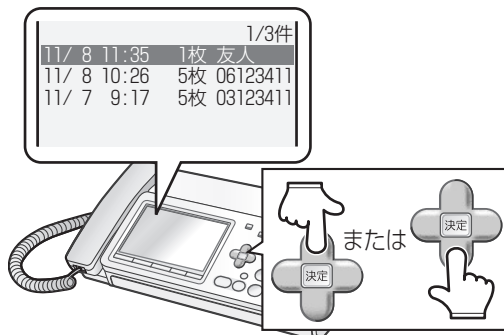


4 FAX スタート を押す

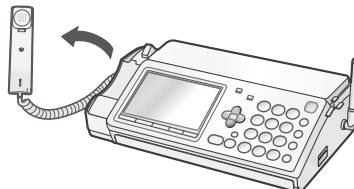


メニュー を押したあと、[FAX送信]を選び 決定 を押して、送信画面を表示することもできます。

2 + または + でファクス送信 したい受信ファクスを選ぶ

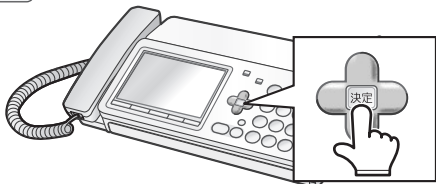


5 受話器を取る



次ページへ

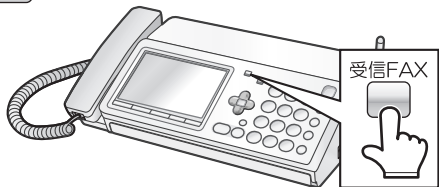
3 決定 を押す



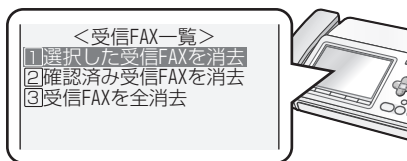
・ディスプレイに表示されている画像1枚だけ、送信できます。

保存した受信ファクスデータを選んで消去する

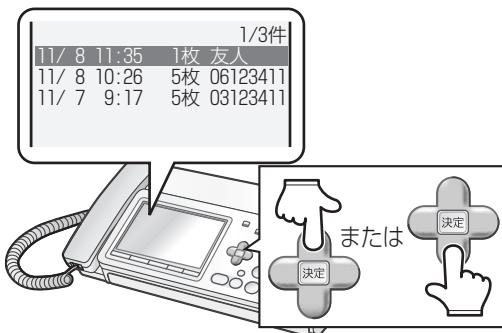
1 受信FAX を押す



4 [選択した受信FAXを消去] が選択されていることを確認する

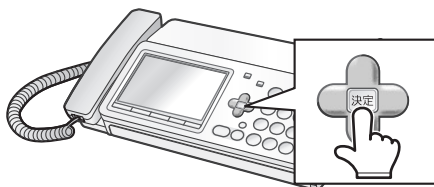


2 または で削除したいファクスを選ぶ

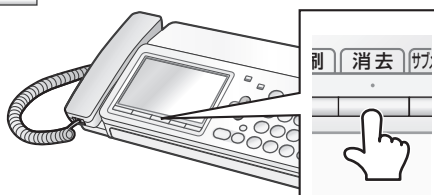


・受信ファクスデータを保存しているメモリーを変更したいときは、129ページの操作を行ってください。

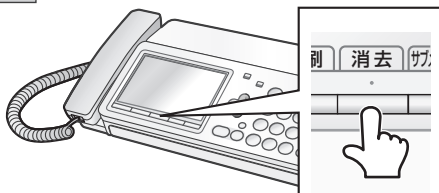
5 決定 を押す



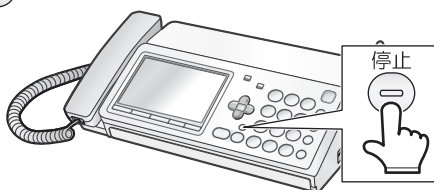
6 消去 を押す



3 消去 を押す









7 停止 を押す








・途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: 戻る








見てからプリントで確認している受信ファクスを消去するときは

- ①  を押す
- ②  または  で削除したいファクスを選ぶ
- ③  を押す
- ④ キャッチ
 を2回押す
- ⑤ 停止
 を押す

確認済みの受信ファクスを消去するときは

- ①  を押す
- ②  を押す
- ③  で [確認済み受信FAXを消去] を選ぶ
- ④  を押す
- ⑤  を押す








または

- ① メニュー
 を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [確認済受信FAX] を選ぶ
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

すべての受信ファクスを消去するとき

- ①  を押す
- ②  を押す
- ③  で [受信FAXを全消去] を選ぶ
- ④  を押す
- ⑤  を押す

または

- ① メニュー
 を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [受信FAX] を選ぶ
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

記録紙のセットのしかた

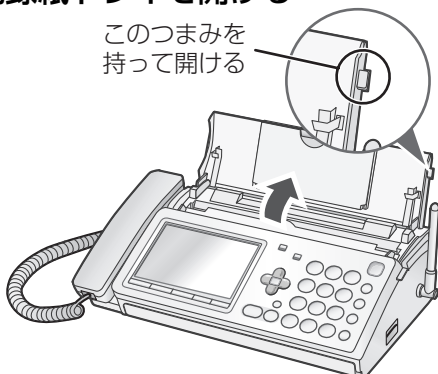
A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社指定品（☎229ページ）をお買い求めください。
指定品以外の記録紙やコピー用紙を使用すると印刷がかすれたり、濃く、または薄くなる場合があります。

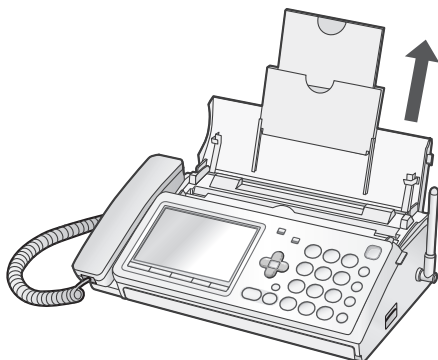
記録紙をセットする

1 記録紙トレイを開ける

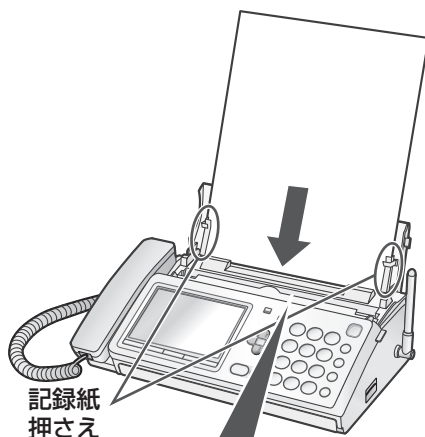
このつまみを
持って開ける



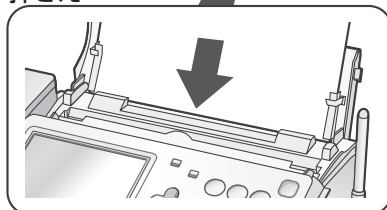
2 延長トレイを引き出す



3 記録紙押さえの間に、印刷する用紙をセットする



記録紙
押さえ



- ・ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- ・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
- ・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまる場合があります。

記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。

印刷中は、記録紙をつぎ足ししないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☎224ページ）

- **お知らせ**
- しわや折目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になる場合があります。
- 一度使用した裏紙はセットしないでください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に
さへいん

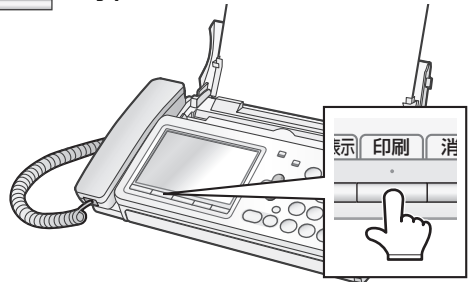
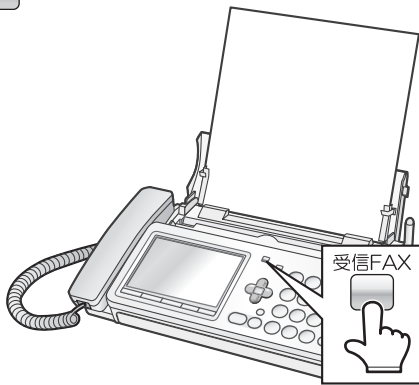
メモリー受信したファクスを印刷する

メモリー受信したファクスを、一覧から印刷する

メモリー受信したファクスを、受信FAX一覧から選んで印刷することができます。

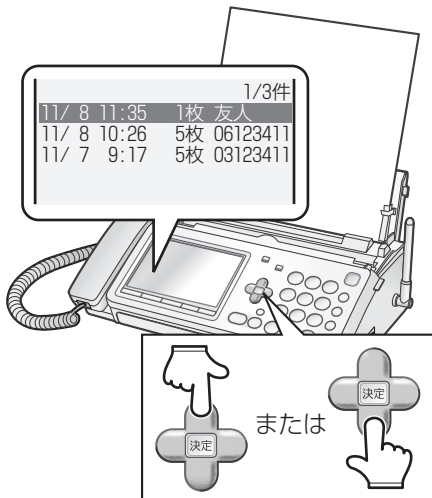
1 記録紙をセットする (☞ 135ページ) 4 **印刷** を押す

2 **受信FAX** を押す



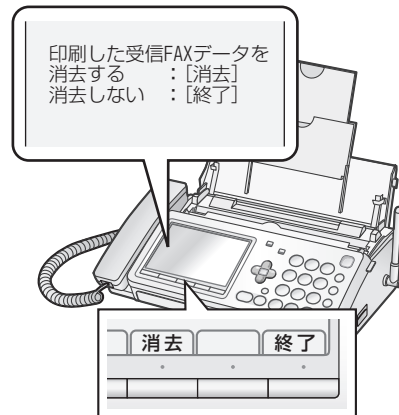
- ・印刷が始まります。
- ・**コピー印刷** を押して、印刷することもできます。

3 **+** または **+** で印刷したい受信ファクスを選ぶ



- ・受信ファクスデータを保存しているメモリーを変更したいときは、129ページの操作を行ってください。

5 印刷終了後に下記の画面が表示されます



- 印刷した受信ファクスデータをすべて消去するときは **消去** を2回押す
- 消去せずに終了するときは **終了** を押す

- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・受信ファクスデータをすべて消去したいときは (☞ 133ページ)。

・途中でやめるとき : **停止**

登録した内容を印刷する

親機に登録されているさまざまな内容を印刷して確認することができます。
印刷できる内容は以下の通りです。

メニュー設定

親機で設定した内容のリストを印刷できます。また、登録/設定早見表として利用できます。

☎ 240～246ページ

着信記録

親機に保存された着信記録のリストを印刷できます。

☎ 191ページ

電話帳

親機に登録した電話帳のリストを印刷できます。

☎ 72～74ページ

お断り番号

親機に登録した着信お断り番号のリストを印刷できます。

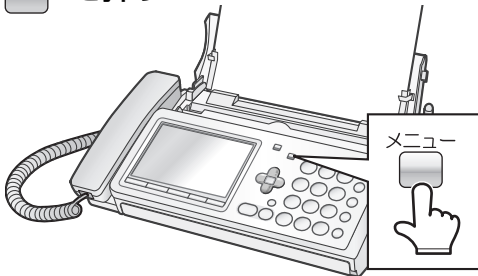
☎ 200ページ

登録内容を印刷する

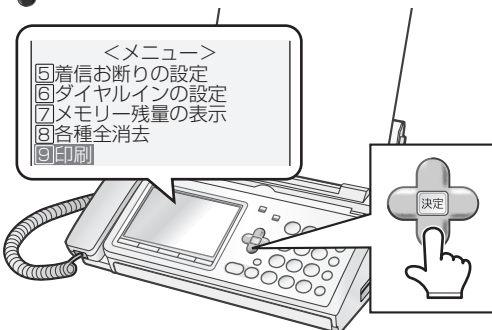
1 記録紙をセットする(☎ 135ページ)

・メニュー設定リストは、最大で6枚印刷されます。途中で記録紙がなくなるとエラーが起きて最初からの印刷になりますので、メニュー設定リストを印刷するときは、あらかじめ6枚以上の記録紙をセットしておいてください。

2 を押す



3 で [印刷] を選ぶ



4 を押し、 で印刷したい内容を、

- 1 : メニュー設定 (最大6枚)
- 2 : 着信記録
- 3 : 電話帳
- 4 : お断り番号から選ぶ



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に
さへいん

SDカードを取り付ける／取り外す

本商品では、市販のSDカードをご利用になって、録音データやファクスデータを保存したり、電話帳のバックアップを取ったり、本商品でスキャンしたデータの保存を行ったりすることができます。

使用できるSDカードについて

本商品では、以下のタイプのSDカードをご使用ください。

SDメモリーカード	最大2GBまで
miniSDカード※	最大2GBまで
microSDカード※	最大2GBまで

※ 本商品との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

当社で動作確認済みのSDメモリーカード

メーカー	型番	容量
株式会社 バッファロー	RSDC-G512C6	512MB
	RSDC-S512C4	
	RSDC-G1GC6	1GB
	RSDC-G2GC6	2GB
株式会社 アイ・オー・データ機器	SD-128M	128MB
	SD-256M	256MB
	SD-512M	512MB
	SD-F1G	1GB
	SD-F2G	2GB
株式会社 東芝 セミコンダクター社	SD-M3203R	32MB
	SD-M6403R	64MB
	SD-M1284R	128MB
	SD-FA128MT	
	SD-NA256MT	256MB
	SD-FA256MT	
	SD-NA512MT	512MB
	SD-B512MT6	
	SD-B001GT4	
SD-B002GT4	2GB	

- ・上記の情報は、すべてのケース・条件での動作を保証するものではありません。
- ・このリストにある製品でも使用環境の違いや条件によっては、本商品の動作にも違いが生じる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・弊社は、本リストの内容または本リストを使用した結果についていかなる保証・表明または約束も行っておりません。
- ・このリストに記載されている以外の最新の動作確認済みSDメモリーカードについては下記URLをご覧ください。
【NTT東日本エリア】 <http://web116.jp/shop/goods/267sd/sd.html>
【NTT西日本エリア】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/consumer/home/267sd/sd.html>

●お知らせ●

- 本書では、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードの3種類をまとめた総称として「SDカード」と呼んでいます。
- SDカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
- SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDはSDアソシエーションの商標です。
- microSDはSDアソシエーションの商標です。
- SDHCカード、miniSDHCカード、microSDHCカード、マルチメディアカードは、本商品では使用できません。
- SD規格に準拠したFAT12、FAT16でフォーマットされたSDカードが使用できます。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考にしてください

SDカードの取り扱いについて

■ SDカードは大切にお使いください

SDカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。

なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ miniSD カードや microSD カードを本商品に接続するには

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。また、アダプターによって規格が異なりますので、アダプターの取扱説明書をお確かめのうえ、規格に合ったスロットに接続してください。

■ 書き込み禁止スイッチについて

SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。「LOCK」側になると、データの消去や登録ができなくなります。

SDメモリーカード：

スイッチを下へずらすとロックされます。



SDカードを使ってできること

SDカードを使用すると、以下の機能がご使用になれます。

スキャン（原稿保存）機能

○スキャンデータの保存：

原稿をスキャンしてSDカードに保存することができます（TIFF形式とJPEG形式の2点、保存されます）。1件あたり最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大150件まで保存できます（SDカードの空き容量によります）。

録音データの保存

○録音データの保存：

留守録音などの音声録音データの保存場所をSDカードに指定することができます。録音時間は1件あたり最大60分、件数は最大500件まで録音できます（SDカードの空き容量によります）。

○録音データのバックアップ：

本商品に録音されている留守録音などの音声録音データをSDカードに保存することができます（録音データはwave形式で保存されます）。保存した録音データは、本商品やパソコンなどで再生することができます。

ファクス機能

○受信ファクスデータの保存：

受信ファクスのデータの保存場所をSDカードに指定することができます。1件あたり最大99枚、スキャンデータと合わせて最大150件まで保存できます（SDカードの空き容量によります）。

○受信ファクスデータのバックアップ：

本商品に保存されている受信ファクスデータをSDカードに保存することができます。保存した受信ファクスデータは、本商品やパソコンなどで確認したり、印刷したりすることができます（ファクスデータはTIFF形式とJPEG形式の2点保存されます）。

電話帳

○電話帳データのバックアップ：

本商品で登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。保存した電話帳のデータは、後で本商品に戻すことができます。

●お知らせ●

- デジタルカメラで撮影してSDカードに保存した画像など、本商品以外の機器で作成したデータを本商品で扱うことはできません。

SDカードの容量と保存データのめやす

SDカードの容量	音声 最大録音時間	原稿・ファクス 最大保存枚数
2GB	約72時間	約10,000枚
1GB	約36時間	約5,000枚
512MB	約18時間	約2,500枚
256MB	約9時間	約1,250枚
128MB	約4時間30分	約625枚

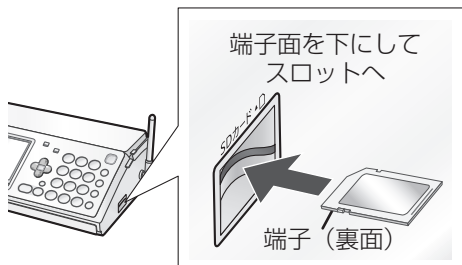
- ・ 録音と、原稿や受信ファクスのデータが同時に保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・ 他のデータが保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・ 原稿や受信ファクスの内容によって、保存枚数は変わります。

● お知らせ

- SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

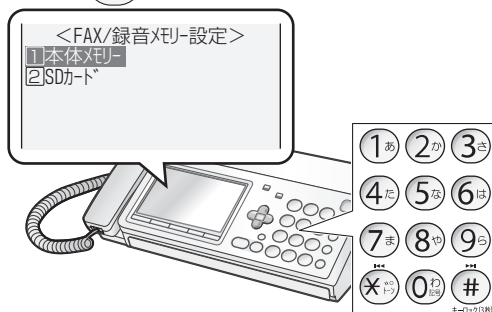
SDカードを取り付ける

- 1** 裏表を間違わないようにして、
SDカードが止まるまで
SDカードスロットへ挿入する



- 2** SDカードを挿入すると、「ファクス／録音データの保存先」の設定画面が表示されるので、

- 本体メモリのままでよいときは
→ **1あ** を押す
- SDカードに変更したいときは
→ **2か** を押す



・ **戻る** を押すと、設定を変更せずに待受画面に戻ります。

ファクス／録音データの保存先を後から変更するには (FAX／録音メモリー設定)

- ① **メニュー** を押す
- ② **S.D** を押す
- ③ **+** を押して [FAX/録音メモリー設定] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、**+** で [本体メモリー] または [SDカード] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ **停止** を押す

SDカードを取り付けると

ファクス／録音データの保存先を [本体メモリー] にしたとき



ファクス／録音データの保存先を [SDカード] にしたとき



本商品からSDカードにアクセス中は、SDカードアイコンが点滅します。そのときは、SDカードを取り出さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損するおそれがあります。

- **お知らせ**
- SD カード以外のものを挿入すると、破損するおそれがあります。
 - SDカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
 - 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。
 - 電源を入れた直後は、SD カードを挿入しても、しばらくの間、読み込みができません。

画像データを読み込んでSDカードに保存する(スキャン機能)

親機で読み込んだ画像データを、本商品やパソコンなどで確認できるファイル形式(TIFF形式とJPEG形式)にしてSDカードに保存することができます。保存できる画像データは、SDカード1枚に、1件につき最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大150件です。

最大保存枚数、最大保存件数はSDカードの空き容量により異なります。

保存した画像データは、本商品の「見てからプリント」(☎ 126~128ページ)で確認することができます。


親機で画像データを読み込みSDカードに保存する

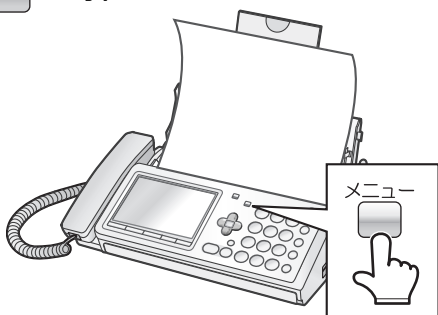
読み込んだ画像データは以下のように保存されます。

- 保存ファイル形式：TIFF形式とJPEG形式
 - ・スキャンすると、TIFF形式のデータとJPEG形式のデータの2点がSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。
- 保存先：
PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yymddkkk\
 - ・yymddlには、日付が入ります。yyは西暦(下2ケタ)、mは月(1~C)、ddlは日です。
 - ・kkkには、保存した順に001~150の数字が連番で入ります(件数)。
- 保存ファイル名：
hhmmsspp.TIF、hhmmsspp.JPG
 - ・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。
 - ・ppには、保存した順に01~99の数字が連番で入ります(原稿の枚数)。

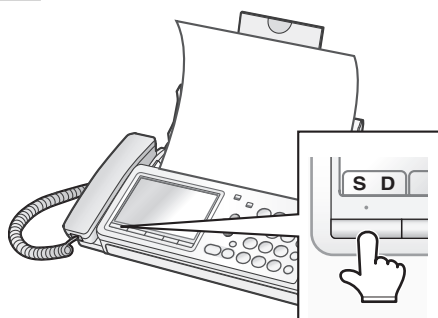
1 SDカードを取り付ける
(☎ 145ページ 手順 1~2)

2 原稿をセットする
(☎ 110ページ 手順 1~4)

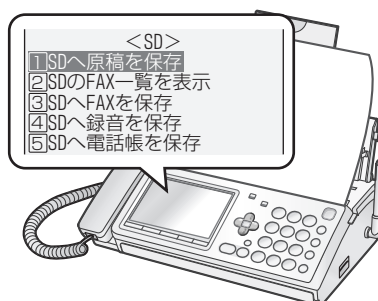
3  を押す



4  を押す



5 [SDへ原稿を保存] が選択されていることを確認する



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

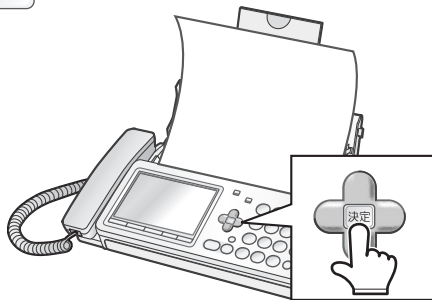
SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

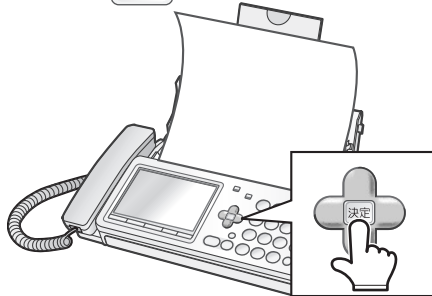
ご参考に
さへいん

6 決定 を押す

- ・原稿をセットしていないときは、ディスプレイに [原稿をセットください] と表示されます。原稿をセットすると表示が消えます。
- ・画質を変更したいときは、画質 を押してください (☞ 115ページ)。変更しないときは、[小さな字] で保存されます。

保存した画像データを本商品のディスプレイに表示するには

- メニュー
- ① を押す
 - ② SD を押す
 - ③ を押して [SDのFAX一覧を表示] を選ぶ
 - ④ 決定 を押す
- SDカードに保存されている画像データ、受信ファクスデータが表示されます。表示された一覧の見かたについては、127ページをご覧ください (画像データは、枚数の横に「読込原稿」と表示されます)。
- ⑤ 停止 を押す

7 もう一度 決定 を押す

- ・読み込みが開始されます。

- ・途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: 戻る

● お知らせ ●

- SDカードに150件の画像データのファイルが保存されている場合は、「SDカードにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。

SDカードに録音／ファクスデータを保存する

親機に保存されている録音データやファクスデータをSDカードに保存することができます。
保存したデータは、本商品の「録音再生」(☎96～100ページ)や「見てからプリント」(☎126～128ページ)で確認することができます。

SDカードに録音データを保存する

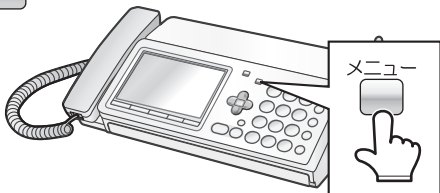
録音データは以下のように保存されます。

- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 最大保存時間：1件につき最大60分
- 最大保存件数：500件（60分×500件保存することはできません）
- 保存ファイル形式：wav形式
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\REC\yymddkkk\
・yymddlには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mlは月（1～C）、ddlは日です。
・kkkには、保存した順に001～500の数字が連番で入ります（件数）。
- 保存ファイル名：hhmmss01.wav
・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。

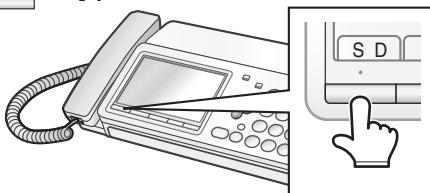
1 SDカードを取り付ける (☎145ページ 手順1～2)

・SDカード挿入時に表示される [FAX/録音メモリー設定] は [本体メモリー] に設定してください。SDカードに設定されていると、保存できません。

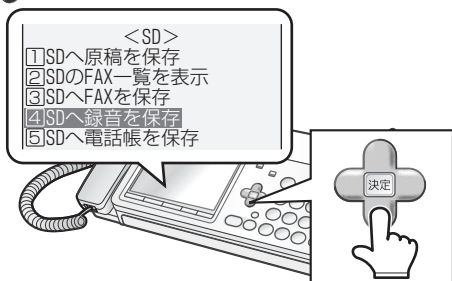
2 を押す



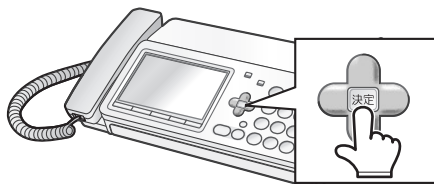
3 を押す



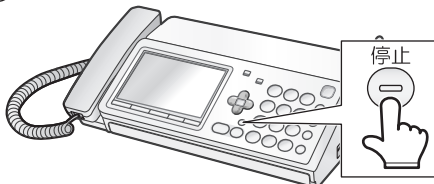
4 で [SDへ録音を保存] を選ぶ





5 を押す



6 を押す



・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：

■ 保存した録音データを本商品で聞きたいときは (☎96～100ページ)

■ ファクス / 録音データの保存先を変更したいときは (☎145ページ)

● お知らせ ●

- 録音データの保存中は、SDカードを取り外さないでください。本商品やSDカードが破損することがあります。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こま当たときは

ご参考にしてください

SDカードに受信ファクスデータを保存する

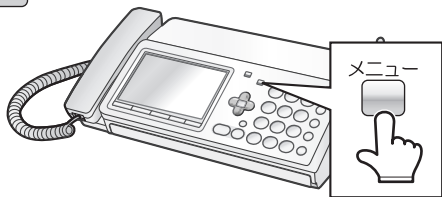
受信ファクスデータは以下のように保存されます。

- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 最大保存枚数：1件につき最大99枚
- 最大保存件数：150件
- 保存ファイル形式：TIFF形式とJPEG形式
 - ・保存すると、TIFF形式とJPEG形式のデータの2点がSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yymddkkk\
 - ・yymddには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mは月（1～C）、ddは日です。
 - ・kkkには、保存した順に001～150の数字が連番で入ります（件数）。
- 保存ファイル名：hhmmsspp.TIF
 - ・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。
 - ・ppには、保存した順に01～99の数字が連番で入ります（ファクスの枚数）。

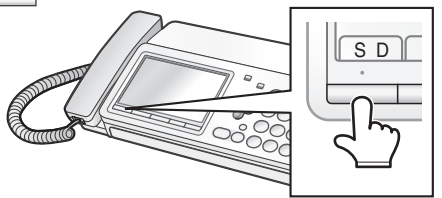
1 SDカードを取り付ける (☞ 145ページ 手順 1～2)

- ・SDカード挿入時に表示される [FAX/録音メモリー設定] は「本体メモリー」に設定してください。SDカードに設定されていると、保存できません。

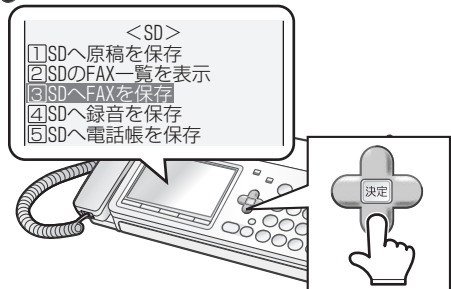
2 を押す



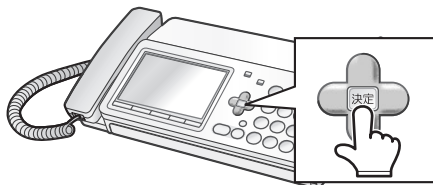
3 を押す



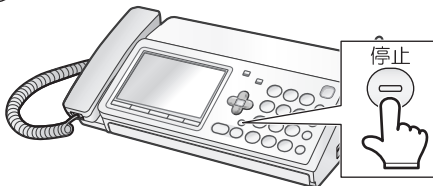
4 で [SDへFAXを保存] を選ぶ



5 を押す



6 を押す



・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

- 保存した受信ファクスデータを後から確認したいときは (☞ 126～128ページ)
- ファクス / 録音データの保存先を変更したいときは (☞ 145ページ)

● お知らせ ●

- 受信ファクスデータの保存中は、SDカードを取り外さないでください。本商品やSDカードが破損することがあります。

SDカードに電話帳のデータを保存する


親機に登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。
保存した電話帳のデータは、本商品を初期化したときなどに読み込むことができます。

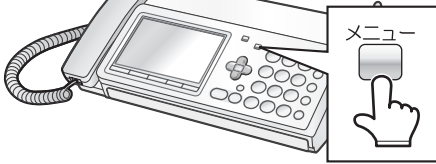
SDカードに電話帳データを保存する

電話帳データは以下のように保存されます。

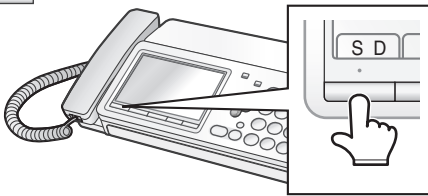
- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\BACKUP\
● 保存ファイル名：FAXADDR.DAT

1 SDカードを取り付ける
(☞ 145ページ 手順 1 ~ 2)

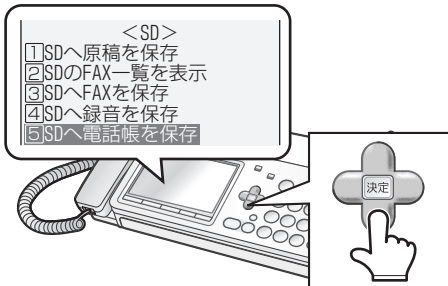
2  を押す



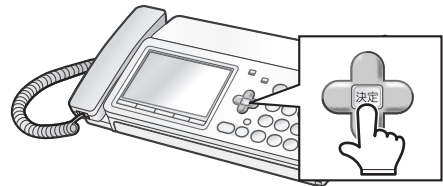
3  を押す



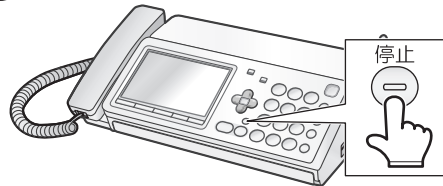
4  で [SDへ電話帳を保存] を選ぶ



5  を押す



6  を押す

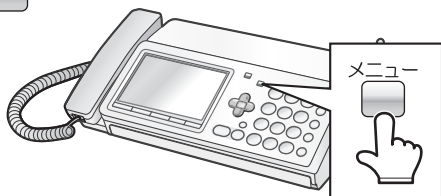


途中でやめるとき：  / 1つ前に戻るとき： 

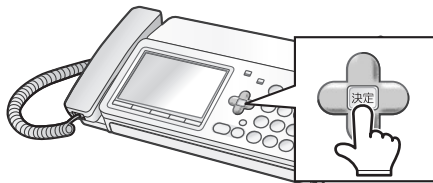
SDカードに保存した電話帳データを本商品に読み込んで電話帳を復元したいときは

1 SDカードを取り付ける
(☞ 145ページ 手順 **1** ~ **2**)

2 **メニュー** を押す

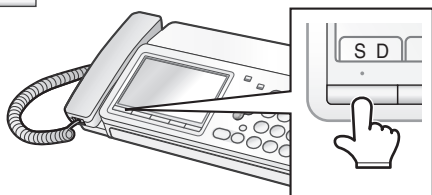


5 **決定** を押す

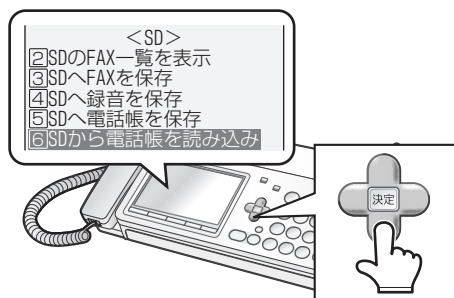


・途中でやめるとき: **停止** / 1つ前に戻るとき: **戻る**

3 **S.D** を押す



4 **+** で [SDから電話帳を読み込み] を選ぶ



- **お知らせ**
- 電話帳データの保存中、電話帳データの取り込み中は、SDカードを取り外さないでください。本商品やSDカードが破損することがあります。

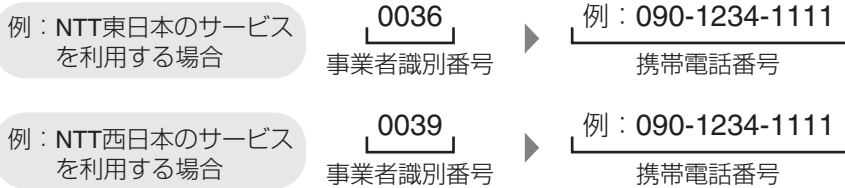
固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

固定電話から携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです（お申し込み手続きは不要です）。

利用方法

携帯電話番号の前に、事業者識別番号をつけてダイヤルしてください。

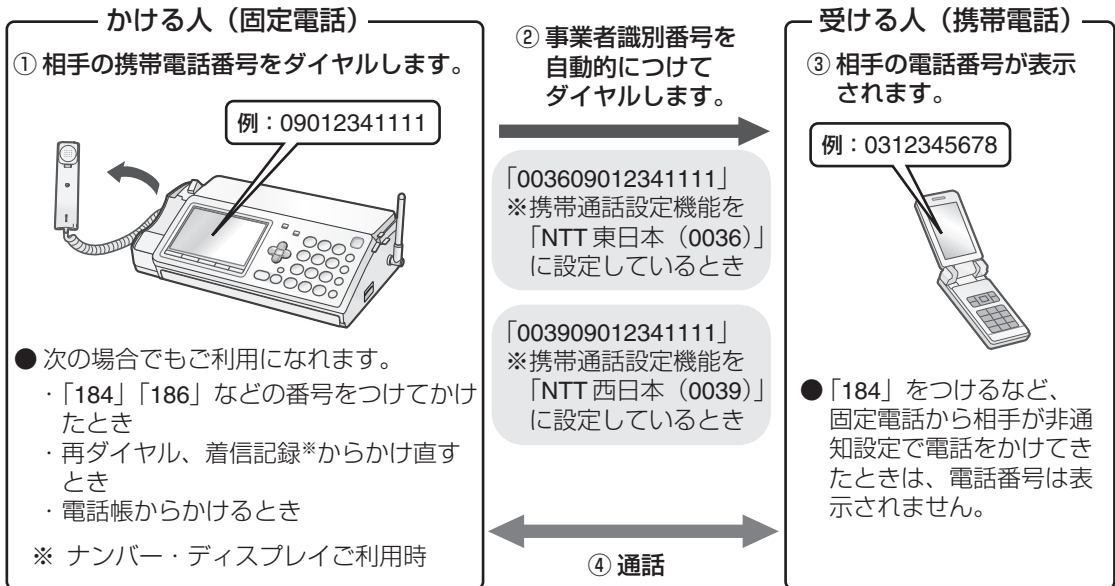


- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、料金が異なります。各固定電話事業者へお問い合わせください。
- PHSへの通話をご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけません番号があります。
- 事業者識別番号をダイヤルしなかった場合は、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

携帯通話設定機能とは

本商品の「携帯通話設定機能」（☎ 154～155ページ）を設定すると、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。IP電話サービス（ひかり電話を除く）をご利用の方も本機能を利用できます（ひかり電話をご利用のときは、本機能はご利用になれません）。

※本機能を正しく働かせるために、設定を正しく行ってください。



● お知らせ

- 携帯通話設定機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に、事業者識別番号や加入電話選択番号（☎ 155ページ）などをダイヤルしないでください。携帯通話設定機能を設定すると、自動的に事業者識別番号や加入電話選択番号がダイヤルされますので、電話がかかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまときは

ご参考にしてください

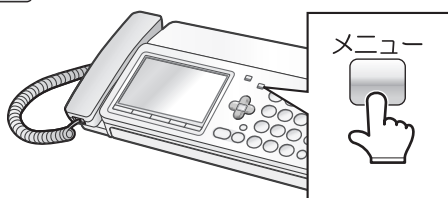
携帯通話設定機能を利用する

携帯通話設定機能を「NTT東日本0036」、「NTT西日本0039」または「その他事業者」に設定しておくことで、本商品から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定機能を利用する場合は、必ず設定してください。お買い求め時は「使用しない」に設定されています（お申し込み手続きは不要です）。親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定機能を利用することができます。

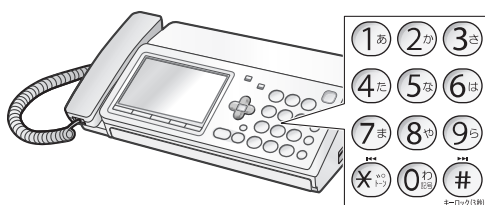
携帯通話設定機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 **メニュー** を押す



2 **1あ** **6は** と順に押す



3 **ダイヤルボタン**で利用したい携帯通話設定を選ぶ

NTT東日本の場合

- [NTT東日本0036] を選ぶときは
 - ① **1あ** を押す → **6** へ
- [その他事業者] を選ぶときは
 - ② **2か** を押す → **4** へ
- [使用しない] を選ぶときは
 - ③ **3さ** を押す → **9** へ

NTT西日本の場合

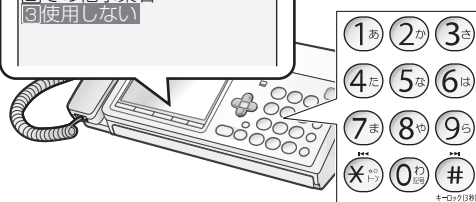
- [NTT西日本0039] を選ぶときは
 - ① **1あ** を押す → **6** へ
- [その他事業者] を選ぶときは
 - ② **2か** を押す → **4** へ
- [使用しない] を選ぶときは
 - ③ **3さ** を押す → **9** へ

NTT東日本の場合

<携帯通話設定>
① NTT東日本0036
② その他事業者
③ 使用しない

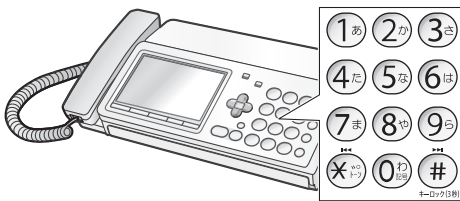
NTT西日本の場合

<携帯通話設定>
① NTT西日本0039
② その他事業者
③ 使用しない



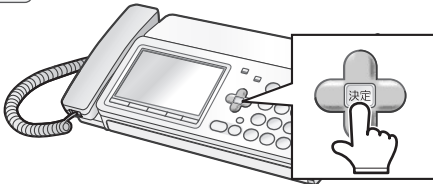
次ページへ

4 事業者識別番号を入力（最大6ケタ）する



・「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

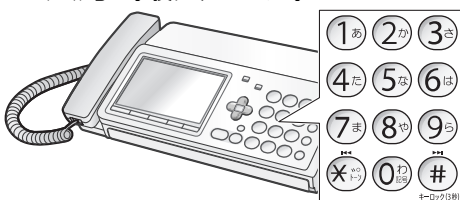
5 **決定** を押す



6 ダイヤルボタンで [IP電話利用] の項目を選ぶ

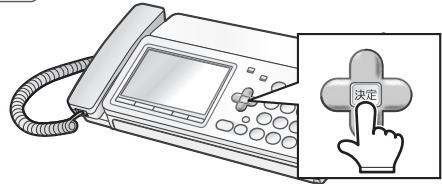
- IP電話を利用するときは
① **あ** を押し **7** へ
- IP電話を利用しないときは
② **か** を押し **9** へ

7 加入電話選択番号をダイヤルボタンで入力（最大6ケタ）する



・「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。この番号については、IP電話の契約電話会社にお問い合わせください。

8 **決定** を押す



9 **停止** を押す

・途中でやめるとき：**停止** /

1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

携帯通話設定機能を設定すると



携帯通話設定マークが液晶ディスプレイに表示されます。

一時的に携帯通話設定機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

当社サービスエリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

携帯通話設定機能の対象番号を追加するときは（「携帯通話設定機能で利用する携帯番号帯登録」）

携帯通話設定機能の利用対象となる携帯電話の番号頭4ケタとしてあらかじめ登録されているのは「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加して登録することができます。（☎236ページ）

■ 携帯通話設定機能の設定を確認するときは（携帯通話設定機能の設定内容表示 ☎236ページ）

● お知らせ

- ひかり電話をご利用のときは、携帯通話設定機能はご利用できません。
- 停電時、携帯通話設定機能は利用できません。
- 携帯通話設定機能を「NTT東日本（0036）」に設定して通話できる回線の種類は、NTT東日本サービス提供エリア内（北海道、東北、関東、甲信越地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット64、INSネット64・ライト、INSネット1500となります。
携帯通話設定機能を「NTT西日本（0039）」に設定して通話できる回線の種類は、NTT西日本サービス提供エリア内（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット64、INSネット64・ライト、INSネット1500となります。
- 携帯通話設定機能を設定した場合でも、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定機能を利用せずに電話をかけることができます。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用いただけない番号があります。この場合は、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルしてください。
- IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器（ルータなど）の状態によっては、携帯通話設定機能が正しく動作しない場合があります。
- 携帯通話設定機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本商品が事業者識別番号の付与判定を行っているためであり、故障ではありません。
- 携帯通話設定機能は、電話をかけるときに有効な機能ですが、お話し中にキャッチ/消去ボタンを押して電話をかけるとき（3者通話ご利用時など）には、携帯通話設定機能は動作しません。
- PHSへの通話をご利用いただけません。
- マイラインプラス（または、マイライン）の対象にはなりません（2008年10月現在）。
- IP 電話サービス（ひかり電話などを除く）を契約している場合は、携帯通話設定画面で、設定する事業者を選択した際に、必ずIP電話利用有無設定で「あり」を選択してください。
- IP電話サービスを契約していない場合は、IP電話利用有無設定で「なし」を選択してください。
- IP電話利用有無設定で「あり」を選択した場合、必ず加入電話選択番号を登録してください。
- ご契約のIP 電話サービス（ひかり電話などを除く）によって加入電話選択番号は異なりますので、加入電話選択番号が不明な場合は、契約しているIP電話サービス事業者へご確認ください。
- NTT 東日本／NTT 西日本が提供しているVoIP 機器（ルータなど）を利用されている場合は、加入電話選択番号は「0000」（工場出荷時設定）を登録してください。
- 携帯通話設定画面で「NTT東日本」を選択した場合、東日本サービス提供エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）以外では利用できません。また、「NTT西日本」を選択した場合、西日本サービス提供エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）以外では利用できません。当社サービス提供エリア以外の地域で利用される場合は、[その他事業者]を選択し、ご利用になる事業者識別番号を設定してください。
- 事業者識別番号設定に、存在しない事業者識別番号や、市外局番などを設定すると、相手につながりません。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合は、携帯通話設定を「使用しない」に設定してください。
- 携帯通話設定機能を利用していても、再ダイヤルに事業者識別番号や加入電話選択番号は記録されません。
- その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- 設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。
- 携帯通話設定機能は、携帯電話への発信のみに動作します。携帯電話以外の通話をご利用できません。
- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部お安くならない場合があります。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

●[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]



必ずサービスの開始後に行ってください。



モデムダイヤルインサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

TEL：局番なしの **116** (通話料金無料)

受付時間
午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
(年末・年始は除く)

モデムダイヤルインサービスを設定する

必ずサービスの開始後に行ってください。

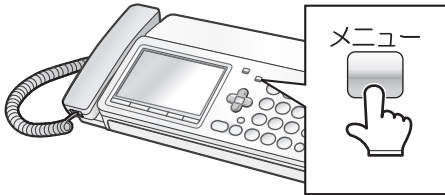
- ①  を押す
- ② **6**は **3**と順に押す
- ③ [使用する] を選ぶときは **1**あ を、
[使用しない] を選ぶときは **2**か を押す
- ④  を押す

・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

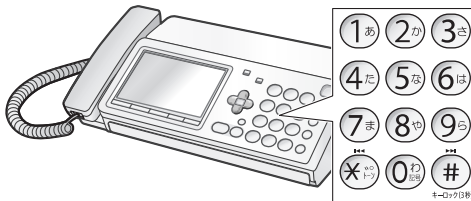
モデムダイヤルインサービスで使用するダイヤルイン番号を登録する

必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください (158ページ)。

1 **メニュー** を押す



2 **6は** **1あ** を押す

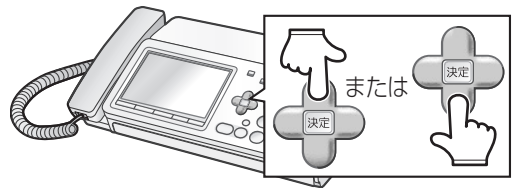


3 ○ TEL1~5 (電話番号) を選ぶときは **1あ** ~ **5な** を押す

○ FAX (ファクス専用番号) を選ぶときは **6は** を押し **6** へ

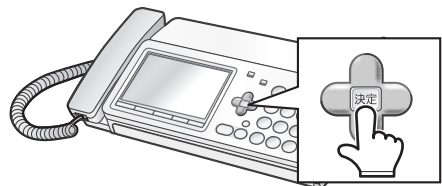


4 登録したい親機、または子機の組み合わせを **+** または **+** で選ぶ

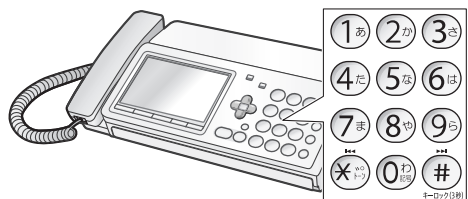


01	親機	07	子機1~4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、子機1~4		

5 **決定** を押す



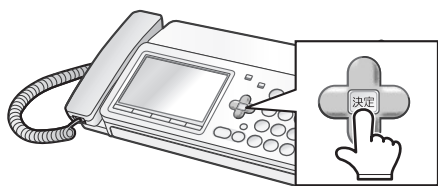
6 ダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力する (最大20ケタ)



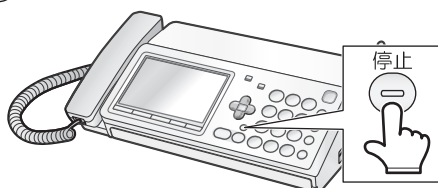
・ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。


次ページへ

7 決定を押す





8 停止を押す






途中でやめるとき：  /

1つ前に戻るとき：  または 

設定内容を消去するには

- ①  を押す
- ② **6**は **2**か と順に押す
- ③ **1**あ ~ **6**は の消去したい番号を押す
- ④ **2**か を押す
- ⑤  を押す




設定した内容を表示するには


- ①  を押す
- ② **6**は **6**は と順に押す
- ③  を押して確認する
- ④ 確認が終わったら  を押す

FAX時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、本商品が自動受信するまでの呼出回数を設定します。

必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください(☎ 158ページ)。

- ①  を押す
- ② **6**は **4**だ と順に押す
- ③ **0**わ初期、**2**か ~ **6**は で回数を選ぶ
- ④  を押す
- ⑤  を押す

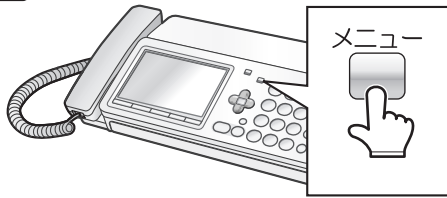
途中でやめるとき：  /

1つ前に戻るとき：  または 

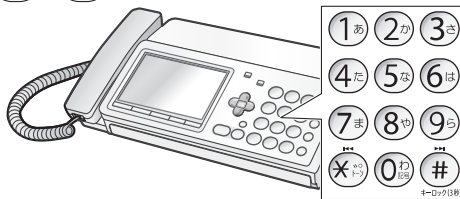
親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎186~189ページ)との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を「使用しない」にしてください(☎187ページ)。

1 を押す

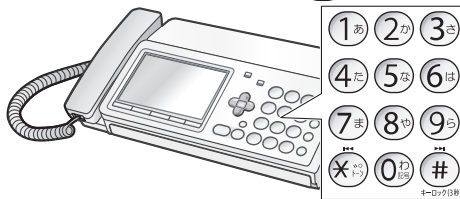


2 を押す



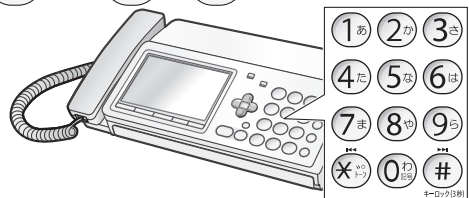
3 ○TEL2~5を選ぶときは ~ を押す

○FAXを選ぶときは を押す




・[TEL1]に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください(☎49ページ)。

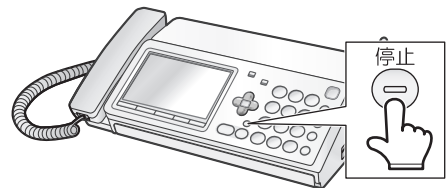
4 ~ 、 を押して選ぶ



・鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☎49ページ)。

・鳴り分けをやめるときは、 を押してください。

5 を押す



・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号(TEL1~5)に着信しているのかが表示されます。ただし、[FAX]にかかってきたときや、「デカ文字着信」(☎176ページ)を「使用する」に設定しているときは表示されません。

親機

(「デカ文字着信」を「使用しない」に設定しているとき)

0612341111 TEL2

子機

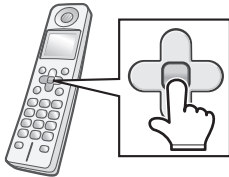
0612341111
(((TEL2)))

子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

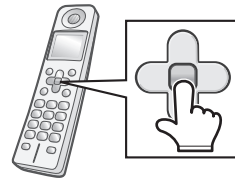
ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2~5]の番号専用の着信音を設定することができます。

ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎186~189ページ)との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を[使用しない]にしてください(☎187ページ)。

1  を押す



5  を押す



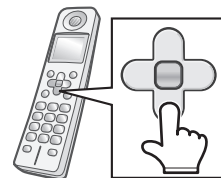
2  で [着信鳴り分け] を選ぶ



6  で 着信音を設定する電話番号を

- [TEL 2 鳴り分け]
- [TEL 3 鳴り分け]
- [TEL 4 鳴り分け]
- [TEL 5 鳴り分け]

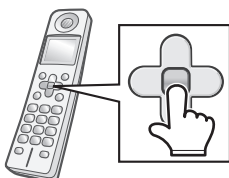
から選ぶ




・[TEL 1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください(☎53ページ)。

次ページへ

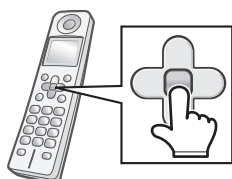
3  を押す



4  で [ダイヤルイン] を選ぶ





7 を押す

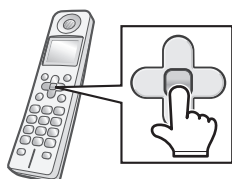



8 または で着音を選ぶ



- ・鳴り分けできる着音は、電話がかかってきたときに鳴る着音と同じです(☎53ページ)。
- ・鳴り分けを解除するときは、「ピピッ」と鳴るまで  または  で選ぶ

9 を押す



・途中でやめるとき:  切

●お知らせ

- TEL1～5に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。ただし、電話のとりつき(☎66～70ページ)を行ったときは、通話することができます。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「FAX専用」ではなく、ダイヤルインの「FAX」を設定することをおすすめします。
- ダイヤルイン番号を設定した子機を優先呼出(☎177ページ)にすると、設定したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、優先呼出が働きます。
- ナンバー・ディスプレイ(☎181ページ)を契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け(☎196～198ページ)を設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- 親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合、内線通話中の親機と子機の着音が鳴り、登録した子機からは着音は鳴りません。登録した子機に着音を鳴らしたいときは、内線通話を終了してください。
- TEL1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着音は鳴りません。
- 親機でコピーや印刷をしているときに、子機に設定されているダイヤルイン番号に着信があった場合、親機で着音が鳴り、登録した子機からは着音が鳴りません。コピーや印刷が終了すると、登録した子機からも着音が鳴ります。

着信音や動作音を鳴らさないようにする (おやすみモード)

就寝中や電話/ファクスの動作音が気になるときなど、着信音などを鳴らさないように設定ができます (おやすみモード)。

- ・毎日、あらかじめ設定した特定の時間帯に、おやすみモードにタイマー設定することもできます。
- ・特定の番号からの電話 / ファクスのみ、着信音を鳴らすことができるので、例えばお子様がひとりでお留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使いかたができます (選んで着信 166~167ページ)。

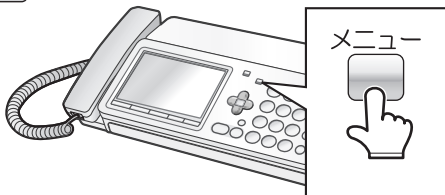
特定の番号からの電話/ファクスのみ、着信音を鳴らすためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

おやすみモードに設定したときは

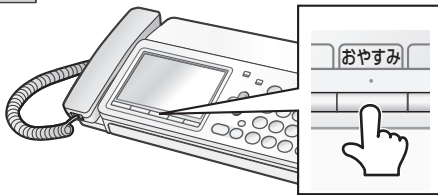
- ・親機・子機・ドアホンの着信音が鳴りません (内線の着信音は鳴ります)。
- ・特定の番号以外からの着信に留守応答します。
- ・キータッチ音やFAX/コピー終了音は鳴りません。
- ・メモリー受信の場合、記録紙がセットされていても、受信したファクスは自動で印刷されません (おやすみモードを解除すると、自動で印刷します)。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動で印刷します。

手動で、おやすみモードに設定する

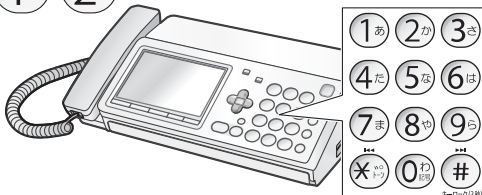
1 **メニュー** を押す






2 **おやすみ** を押す



3 ①あ ②か と順に押す



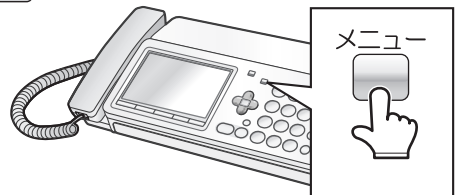
・途中でやめるとき: 

・設定すると、ディスプレイに  と表示され、 が表示されます。

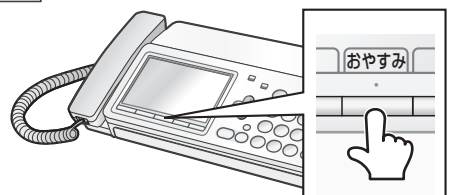
特定の時間だけ自動で、おやすみモードに設定する

毎日、特定の時間だけおやすみモードが働くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

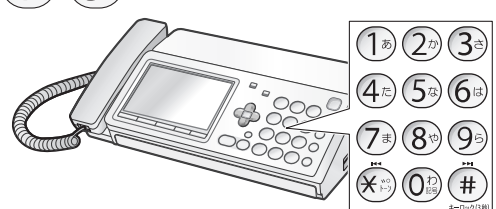
1 **メニュー** を押す



2 **おやすみ** を押す



3 ①あ ③さ と順番に押す



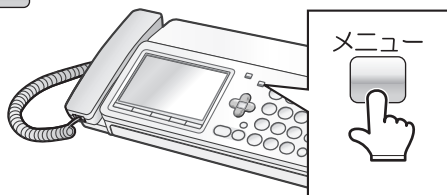
次ページへ

着信させる番号を登録する（選んで着信）

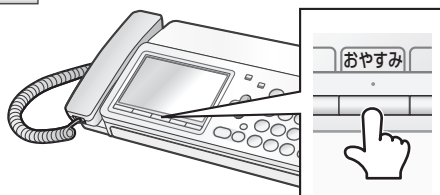
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

電話番号を登録しておく、おやすみモードが設定されているときでも、登録した番号からの電話／ファクスだけ着信音を鳴らすことができます。登録できる番号は、最大30件です。

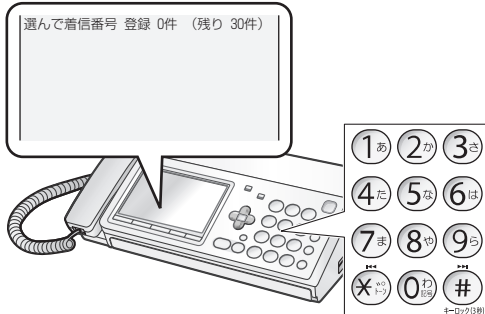
1 **メニュー** を押す



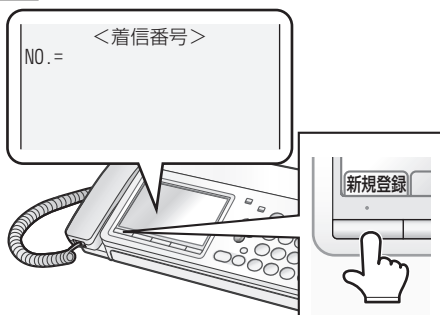
2 **おやすみ** を押す



3 **2か** を押す



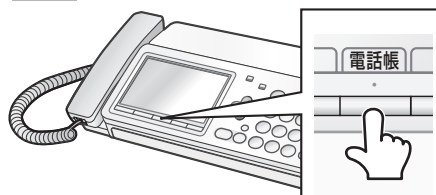
4 **新規登録** を押す



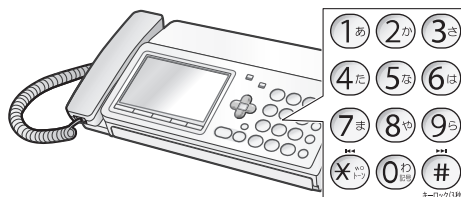
・登録できる番号は最大30件です。

5 **電話帳** から登録するときは

電話帳 を押して**6**へ

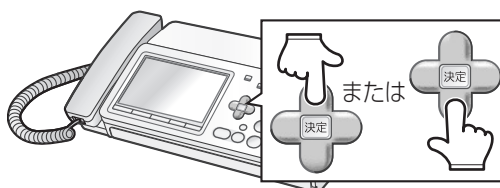


○ 直接番号を入力して登録するときは、ダイヤルボタンで電話番号を入力し**7**へ



- ・着信させる番号は、市外局番から登録してください。
- ・電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
- ・電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。
- ・電話帳から登録できる番号は、第1番号のみです。第2番号を登録することはできません。

6 **+** または **+** で登録したい相手を選ぶ



次ページへ

子機を増やす

増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
P-267SDwlはあと2台まで、P-267SDはあと3台まで増設できます。
- 増設できる子機は2.4Gデジタルコードレス電話機「S2」です（☎ 229ページ）。
他の子機は増設できませんのでご注意ください（2008年10月現在）。
- 2.4Gデジタルコードレス電話機「S2」の機能は付属の子機と同等です。
- ご購入の際は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。
- 子機の増設については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

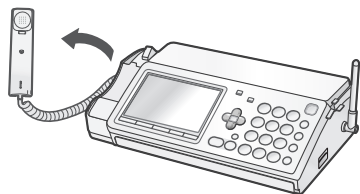
伝言メモを録音する（メモ録音）

親機でメモ録音することができます。

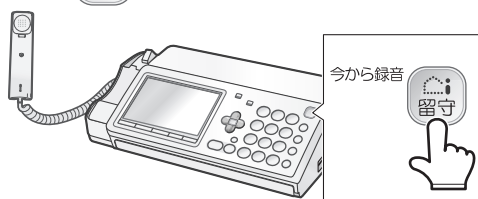
本体メモリーを使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または最大30件まで録音できます。SDカードを本商品に取り付ける（P.145ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（P.145ページ）。SDカードに録音できるメモは1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大500件です（60分×500件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

親機でメモ録音をする

1 受話器を取る

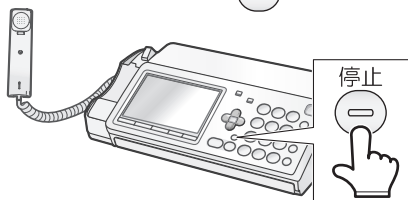


2 今から録音 留守を押す

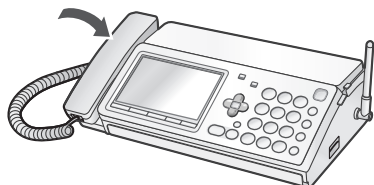



・録音が始まります。

3 録音が終わったら 停止を押す



4 受話器を戻す



- ・メモを録音すると、 が点滅します。
- ・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

録音したメモを再生するときは

録音されたメモは、留守録メッセージと同じように未再生の録音として登録されます。他の録音と同じ操作で再生してください。


再生
親機： を押す

子機：

①  を押す

② [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶留守番電話
優先呼出
着信音量

③  を押し、[用件再生] が選択されていることを確認する

▶用件再生
留守設定切替
全消去

④  を押す

メモ録音をしているときに電話がかかってきたときは

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

- **お知らせ**
- メモを録音しているときは、子機で電話をかけたり、内線通話を行ったりすることはできません。

通話内容を録音する（今から録音）


通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモの代わりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができます。

本体メモリーを使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または最大30件まで録音できます。SDカードを本商品に取り付ける（[P.145](#)ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（[P.145](#)ページ）。SDカードに保存できる「今から録音」は1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大500件です（60分×500件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

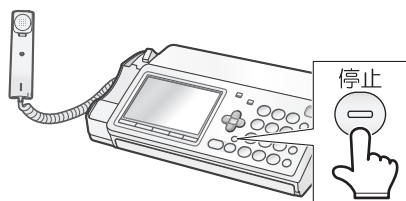
親機で「今から録音」する

1 通話中に 今から録音 を押す



・通話中に **迷惑電話** を押し、 で [今から録音] を選んで **決定** を押ししても、同様の操作を行えます。

2 録音が終わったら 停止 を押す (録音時間を過ぎると、自動的に終了します)



・日時と件数が自動的に録音されます(日時スタンプ機能)。

子機で「今から録音」する

1 通話中に 迷惑電話 を押す

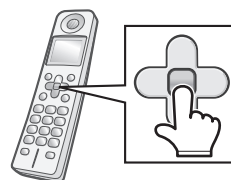


・キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

2 で [今から録音] を選ぶ



3 を押す



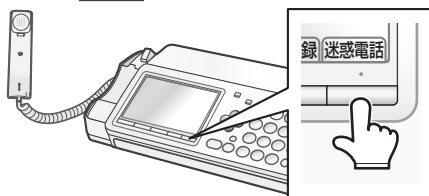
次ページへ

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、通話が始まってから、「戻って録音」の操作をするまでの通話内容を、さかのぼって録音します。録音時間は、最大約15分間です（メモリー残量が100%の場合）。録音時間を変更することもできます（☎174ページ）。録音できる件数は1回の通話につき1件です。しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。通話が終わったあとで再生することもできます。

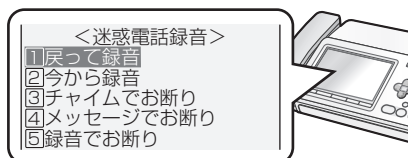
親機で「戻って録音」をする

1 通話中に を押す

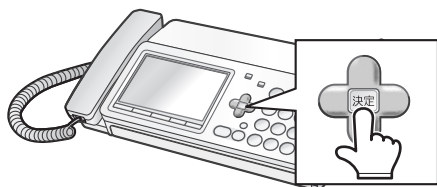


・キータッチ音を [あり] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

2 [戻って録音] が選択されていることを確認する

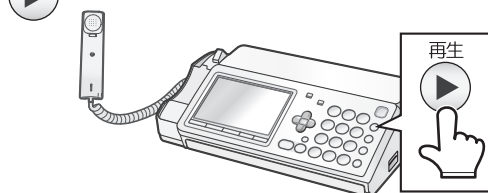



3 を押す



親機で通話中に「戻って録音」を再生する

1 通話中、「戻って録音」したあと、 を押す



・再生を途中でやめるとき：

- お知らせ
- ファクス／録音データの保存先をSDカードにしている場合でも、「戻って録音」の録音時間は最大15分までです（本体メモリー残量が100%の場合）。

子機で「戻って録音」をする

1 通話中に  を押す

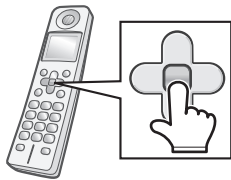



・キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音を始めたことがわかりません。

2 「戻って録音」が選択されていることを確認する




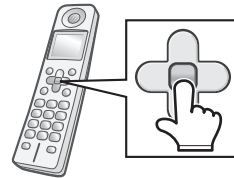
3  を押す



・操作を途中でやめるとき：

子機で通話中に「戻って録音」を再生する

1 通話中、「戻って録音」したあと、 を押す

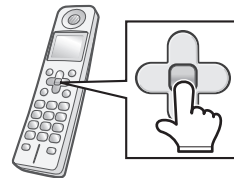



2  で [録音再生] を選ぶ



3  を押す

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声流れ、再生が開始されます）



・再生を途中でやめるとき： 通話

●お知らせ●●●●●●●●●●

- 子機で「戻って録音」をしたあと、その通話中に「戻って録音」を再生するとき、「早聞き再生」「10秒戻し再生」「30秒送り再生」は動きません。


通話終了後、「戻って録音」を再生するとき

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されます。

親機：再生  を押す

子機：
①  を押す

② [留守番電話] が選択されていることを確認する


③  を押し、[件再生] が選択されていることを確認する

④  を押す

※再生中にできる操作について（☎98、100ページ）



「戻って録音」で録音できる時間を変更するとき

はじめは [15 分] に設定されています。

① メニュー
 を押す

②  を4回押す

③ [留守番電話の設定] が選択されていることを確認する

④  を押し、 で [戻って録音時間] を選ぶ

⑤  を押し、 で録音時間を [1 分]、[3 分]、[15 分] から選ぶ

⑥  を押す

⑦ 停止
 を押す

「戻って録音」の仕組みについて

本商品では、常に通話内容を、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。

一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、メモリーに保存するので消えません。

通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りするとき

「録音でお断り」をお使いください（☎61～62ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

● お知らせ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

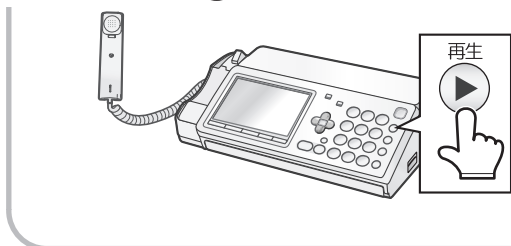
● 内線通話（☎64～65ページ）やオンフック（☎56ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。


録音した内容を通話中に再生する

留守番電話の内容や通話録音した内容を通話中に再生することができます。

親機で通話中に再生する

1 通話中に  を押す



・途中でやめるとき: 

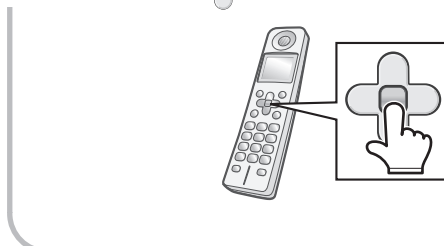
録音再生中の通話について

親機で通話中に録音した内容を再生しているときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。

子機で通話中に録音した内容を再生しているときや、親機、子機ともに「戻って録音」(☎ 172~173ページ) を再生しているときは、こちらの声は相手に聞こえず、相手の声もこちらに聞こえません。

子機で通話中に再生する

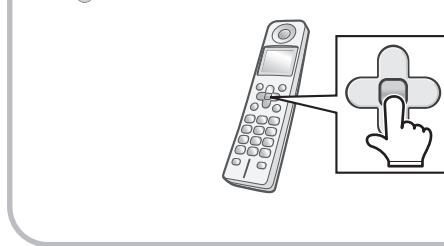
1 通話中に  を押す




2  で [録音再生] を選ぶ



3  を押す



- ・途中でやめるとき: 
- ・録音内容を再生するときは、未再生の録音以降から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ 再生中にできる操作について (☎ 98、100ページ)

親機をもっと便利に使う

キーロック

本商品のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。本商品のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどによる誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

- ① 待受画面で **#** を [キーロックを設定しました] と表示されるまで押し続ける

- ・キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
- ・キーロック中はディスプレイに **🔒** と表示されます。
- ・キーロックは親機^{のみ}の操作です。キーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

- ① ディスプレイに **🔒** と表示されているときに、**#** を [キーロックを解除しました] と表示されるまで押し続ける

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

- ① **メニュー** を押す
 - ② **1あ** **5な** と順に押す
 - ③ **+** または **-** で濃度を調整する
- <液晶濃度調整>
薄い ■■ 濃い
- ④ **決定** を押す
 - ⑤ **停止** を押す

- ・途中でやめるとき： **停止**
- ／1つ前に戻るとき： **戻る**

デカ文字着信

電話を受けるときに、ディスプレイの文字を大きくすることができます。最初は [使用する] に設定されています。

発信時に表示する番号や名前も大きく表示されます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **1あ** **7ま** と順に押す
- ③ [使用する] を選ぶときは **1あ** を押す
[使用しない] を選ぶときは **2か** を押す
- ④ **停止** を押す

子機をもっと便利に使う

優先呼出

電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着音を鳴らす機能の設定ができます。設定後、9時間経過すると自動的に解除されます。工場出荷時の設定は [解除] です。

- ① を押す
 - ② で [優先呼出] を選ぶ

留守番電話
▶優先呼出
着信音量
 - ③ を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ
 - ④ を押す
- ・「FAX優先」(☎ 124ページ) を設定しているときは、優先呼出は働きません。

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。工場出荷時の設定は [解除] です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ

電話帳転送
電池残量
▶システム設定
- ③ を押し、 で [クイック通話] を選ぶ

日時登録
キータッチ音出力
▶クイック通話
- ④ を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

液晶画面 (LCD) コントラストの調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [LCDコントラスト] を選ぶ

クイック通話
使用者表示
▶LCDコントラスト
- ④ または で調整して を押す

キータッチ音

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音 (キータッチトーン) の有無を設定できます。工場出荷時の設定は [設定] です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [キータッチ音出力] を選ぶ

日時登録
▶キータッチ音出力
クイック通話
- ④ を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。ただし、連続通話時間が約6時間から以下になります。

- [自動] : 約4~6時間
- [解除] : 約6時間
- [設定] : 約4時間

工場出荷時の設定は [自動] (電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定) です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [電波サポート] を選ぶ

使用者表示
LCDコントラスト
▶電波サポート
- ④ を押し、 で [自動]、[解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

・途中でやめるとき: 切

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考にしてください

ドアホンと話す（ドアホン通話）

ドアホンボックスやドアホンを取り付けると、親機や子機でドアホン通話することができます。

ドアホンは最大2台まで接続することができます。

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話することができます。

ドアホンの取り付け工事について、詳しくはお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

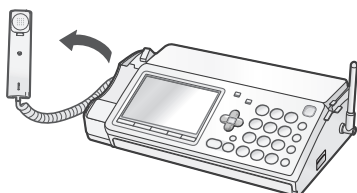
ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴り方が違います。

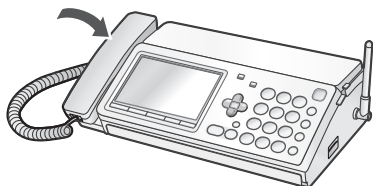
親機	ドアホン1	ピン ポン
	ドアホン2	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン1	ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ
	ドアホン2	ピロロロ ピロロロ

親機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら受話器を取る



2 通話が終わったら受話器を戻す



着信音が鳴ったあと、30秒以内に出ないと

着信音が鳴ったあと、そのままにしておくと、30秒後にドアホンは切れます。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

- ① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
ドアホン通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは **1あ** を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは **2か** を押す
- ② **1あ** または **2か** (または **キャッチ** 消去) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に

内線 **保留** を押す

電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。

- ② 電話に戻るときは、もう一度 **内線 保留** を押す
ドアホン通話は切れます。

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に受話器を戻す
内線通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

子機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら を押す





2 通話が終わったら を押す



子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。


- ① 「ピピ」と聞こえたら、 を押す
ドアホン通話は切れます。
- ②  を押す

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは **1あ** を、

「ピロリロ ピロリロ」と聞こえたときは **2か** を押す



1あ または **2か** (または ) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

着信音が鳴ったあと、30秒以内に出ないと

着信音が鳴ったあと、そのままにしておくと、30秒後にドアホンは切れます。



子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に  を押す
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、 を2回押す
ドアホン通話は切れます。

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に  を押す
内線通話は切れます。
- ②  を押す

● お知らせ ●

- 親機または子機からドアホンから呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約30秒以内に応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- 3者通話中は、ドアホンとの通話はできません。

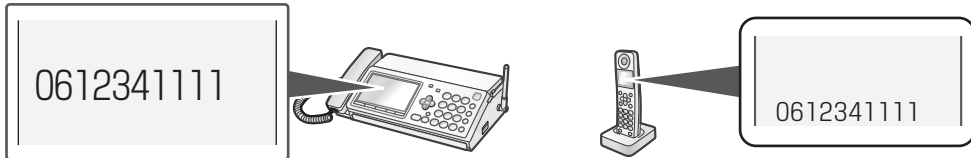
ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示部に表示させるサービスです。ご利用には、当社のご契約が必要です（有料）。ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本商品の「誰からコール」や「着信鳴り分け」機能などをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイを契約すると…

- 電話がかかってくると、相手の方の電話番号をディスプレイに表示します。




電話帳に登録している相手の方からの電話のときは、登録した名前と番号を表示します。

名前を表示させたいときは、親機と子機、それぞれの電話帳に登録してください（☎72～80ページ）。また、電話番号は、市外局番から登録してください。市外局番を省略すると、電話帳の名前が表示されないことがあります。

例）親機と子機の両方に「友人」の名前で電話帳に登録した相手の方からの電話

親 機		子 機
友人 0312342222	友人	友人 0312342222
デカ文字着信（☎176ページ）設定時		

- 相手の方の電話番号がわからないときは、以下のように表示します。

	親 機	子 機
非通知 相手の方が自分の電話番号を通知しないでかけてきた場合	非通知	-非通知-
公衆電話から 	公衆電話	-公衆電話-
表示圏外から 相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけてきた場合 （例：国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）	表示圏外	-表示圏外-
情報が受信できない 	外線着信	(((着 信)))

ナンバー・ディスプレイを活用する

本商品では、ナンバー・ディスプレイサービスを使って、以下の機能をご利用できます。

着信記録



後から、相手の番号を確認できます (☎191～194ページ)。

名前の表示

電話帳に登録している方から電話がかかってきたとき、登録している名前を表示します。

友人

迷惑電話お断り

登録した番号や、非通知の電話などを受けないように設定できます (☎199～200ページ)。

相手側

この電話はお受けすることはできません…



着信鳴り分け

「電話帳に登録した相手」「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の着信音を鳴り分けできます (☎196～198ページ)。



同時に使用できません

ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号を活用して…



選んで着信

登録した番号からの電話だけ受ける設定にすることができます (☎164～167ページ)。



例：

「お母さんの携帯電話」を登録しておく、お母さんからの電話のときだけ、着信音が鳴ります。

誰からコール

相手の方の情報を、音声でお知らせできます (☎186～189ページ)。

〇〇さんからです…



その他のサービス

キャッチホン・ディスプレイ (☎185ページ) やネーム・ディスプレイ (☎184ページ) のサービスを受けることができます。

キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイのご契約が必要になります (有料)。

着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）

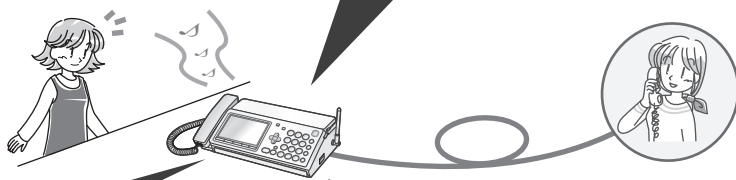
電話がかかってきたとき、相手の電話番号から自動的に判断し、親機の電話帳に登録した相手の名前や電話が誰からなのか/誰あてなのかや、どこからかかってきているのかなどの情報を、音声でお知らせします。最初は [使用する] に設定されています。

ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、お買い求め時は「どこからコール」を使用する設定になっています（電話がかかってくると、地名や電話の種類をお知らせします）。[使用しない] にするときは、189ページをご覧ください。

誰からコール／誰あてコール

電話帳に登録している相手の方からの電話

	「読み」が発声できる	「読み」が発声できない
「誰あてコール」 に登録している (例：お姉さん)	「お姉さんあてに〇〇（登録している 名前）さんからです」 または 「お姉さんあてに〇〇からです」※1、※2、※3	「お姉さんあてにお電話です」※3
「誰あてコール」 に登録していない	「〇〇さんからです」 または 「〇〇からです」※1、※2	「お電話です」



どこからコール

電話帳に登録されていない相手の方からの電話

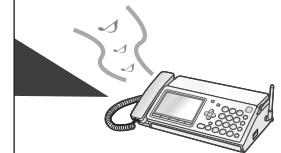
市外局番から都道府県 を判断できる電話	「△△（都道府県名） からです」※4
携帯電話	「携帯電話からです」
PHS	「PHSからです」

その他

自分の番号を通知して いない相手からの電話	「非通知です」
公衆電話	「公衆です」
番号通知できない地域 や回線からの電話	「圏外です」

音声お知らせなし

- ・ ナンバー・ディスプレイを設定していないときの電話
- ・ 誰からコールを [使用しない] に設定しているときの電話
- ・ 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、地域番号帯登録（☎189ページ）で [発声しない] に登録されている地域からの電話
- ・ 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、市外局番から地名を判断できない場所からかけている電話 ※4

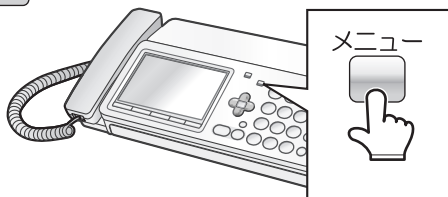


- ※1 親機の電話帳に登録されている名前を音声でお知らせします。子機の電話帳にのみ登録されている名前はお知らせしません。
- ※2 「誰からコール」での発声のしかたは、おしゃべり電話帳と同じです。アクセントの位置を変更したいときは、78ページをご覧ください。
- ※3 「誰あてコール」でお知らせする名前は、相手の方の電話番号を親機に登録、修正するときに選んだ名前です。名前を変更したいときは、「誰あてコール設定」で変更してください（☎188ページ）。
- ※4 同じ市外局番で複数の都道府県にまたがっているときも、あらかじめ割り振られている電話番号であると認識すると、正しい都道府県名を発声します。ただし、新しい市外局番が増えたときなど、正しい都道府県名を発声しない場合があります。地名の発声のしかたを変更したり、発声しないようにしたいときは、地域番号帯登録（☎189ページ）を変更してください。

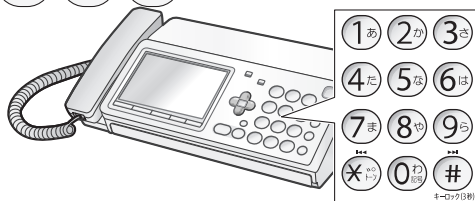
誰からコールを使用する／使用しないを設定する

誰からコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は [使用する] に設定されています。

1 **メニュー** を押す



2 **2か** **2か** **1あ** と順に押す

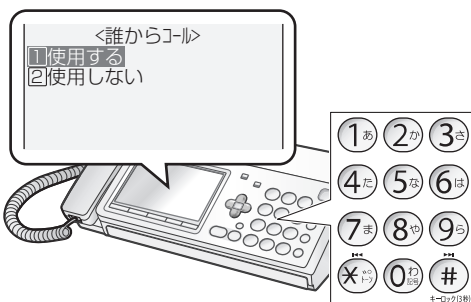


3 ○ [使用する] を選ぶときは

1あ を押す → **4** へ

○ [使用しない] を選ぶときは

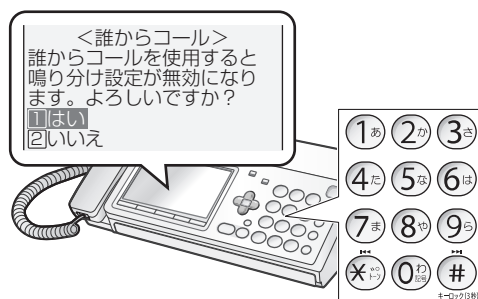
2か を押す → **5** へ



・誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。誰からコールのみを解除することはできません。どこからコールのみを解除する場合は、189ページをご覧ください。

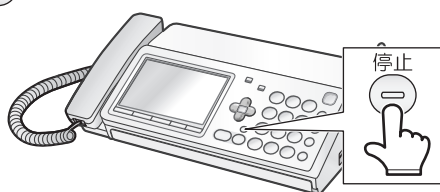
4 「着信鳴り分け」を設定しているときは、誰からコールは使用できません。着信鳴り分けを設定していると、下記の画面が表示されます。

[誰からコールを使用すると鳴り分け設定が無効になります。よろしいですか?] と表示されたら、**1あ** を押す（着信鳴り分けが解除されます）



表示されないときは、そのまま→**5** へ

5 **停止** を押す



誰あてコールでお知らせする名前を登録するとき（誰あてコール設定）

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。最初は①～⑥の6つはすでに登録されています（変更することもできます）。⑦～⑨に追加で登録できます。

工場出荷時に登録されている誰あてコールの名前	
①	オトウサン
②	オカアサン
③	オニイサン
④	オネエサン
⑤	オジイサン
⑥	オバアサン
⑦	(空白)
⑧	(空白)
⑨	(空白)

- ① を押す
- ② と順に押す
- ③ または で名前を登録する場所を選ぶ
- ④ を押す
- ⑤ ダイヤルボタンで名前を入力する（最大半角20文字）
- ⑥ を押す
- ⑦ を押す

- 途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： または
- 名前を変更したいときは手順3で変更したい名前を選び、新しい名前を入力してください。
- 登録している名前を変更すると、その名前で誰あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変わります。

誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するとき

- ① を押す
- ② と順に押す
- ③ または でアクセントを変えたい名前を選ぶ
- ④ を押す
- ⑤ 名前を発声してから3分以内に、 ～ 、 でアクセントを調整する
- ⑥ を押す

・1文字目にアクセントを付けたいときは 、2文字目に付けたいときは を押します。

・ を押すと、アクセントが自動的に設定されます。

・ を押すと、平坦なアクセントになります。

途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：

誰あてコールを使用するには

電話帳の登録、または修正時に、音声でお知らせする名前を選んでください（☎73ページ）。また、誰からコールを [使用する] に設定してください（☎187ページ）。

- 誰あてコールを鳴らさないように設定するには登録されている電話帳を個別に修正して、誰あての着信か選ぶ画面で [特定しない] に設定してください（☎73ページ）。一括ですべて鳴らさないように設定することはできません。

どこからコールを使用する／使用しないを設定する

どこからコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は「使用する」に設定されています。

どこからコールを使用するときは、誰からコールを「使用する」に設定しておいてください（P.187ページ）。

- ① を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3** **6** **1** と順に押す
- ④ 「使用する」を選ぶときは **1** を押す
「使用しない」を選ぶときは **2** を押す
- ⑤ を押す
・途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更する（地域番号帯登録）

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名が合っていないときなどに変更してください。また、「携帯電話」、「PHS」や「発声しない」に設定することもできます。登録できる番号は、最大30件です。

- ① を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3** **6** **2** と順に押す
- ④ を押す
- ⑤ 発声のしかたを変更したい市外局番をダイヤルボタンで入力する
- ⑥ を押す
- ⑦ または で発声のしかたを下から選ぶ
[00：発声しない] [1～47：47都道府県名]
[48：携帯電話] [49：PHS]
- ⑧ を押す
- ⑨ を押す
・途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

登録した地域番号を消去する

- ① を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3** **6** **2** と順に押す
- ④ または で消去したい地域番号を選ぶ
- ⑤ を2回押す
- ⑥ を押す
・途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

登録した地域番号を確認する

- ① を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3** **6** **2** と順に押す
- ④ または で確認する
- ⑤ を押す
・途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

■ 登録した地域番号を修正するには
消去してから、登録し直してください。

着信記録（着信履歴）を見る

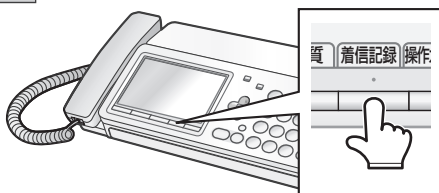
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録として保存された番号を確認することができます。

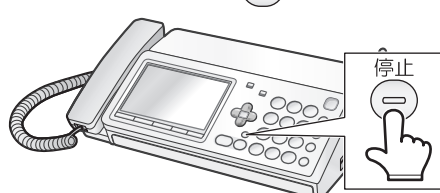
保存できる着信記録は最大20件までです。20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

親機の着信記録を見る

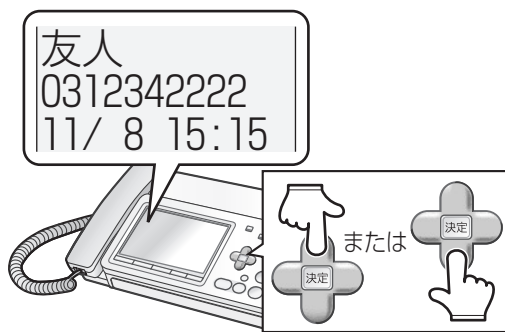
1 **着信記録** を押す



3 確認が終わったら **停止** を押す



2 **+** または **-** で確認したい番号を選ぶ



・ **表示切替** を押すと、1件表示、一覧表示（文字大きい）、一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。



・ 変更した表示方法は記憶され、次に着信記録を見るときも同じ表示になります。

・ 途中でやめるときは **停止** を押す。
・ 相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

親機の着信記録を消すときは

1件だけ消す：

- 1 **着信記録** を押す
- 2 **+** または **-** で消去したい番号を選ぶ
- 3 **消去** を押す
- 4 **+** で [消去する] を選ぶ
- 5 **決定** を押す
- 6 **停止** を押す

すべて消す：

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **+** で [各種全消去] を選ぶ
- 3 **決定** を押し、**+** で [着信記録] を選ぶ
- 4 **決定** を押し、**+** で [消去する] を選ぶ
- 5 **決定** を押す

- 親機の着信記録を使って電話をかけるには（☞ 193ページ）
- 親機の着信記録を電話帳に登録するには（☞ 76ページ）
- 親機の着信記録のリストを印刷するには（☞ 139ページ）

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

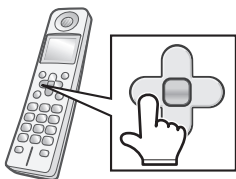
ナンバーディスプレイ


ごまっただときは

ご参考にしてください

子機の着信記録を見る

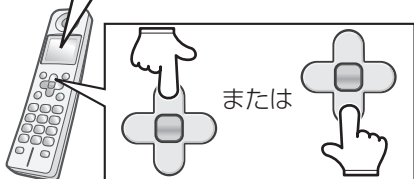
1 を2回押す



・再ダイヤルのデータがないときは  を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 または で確認したい番号を選ぶ

〈着信記録01〉
友人
0312342222
11月 8日 15:49








3 確認が終わったら を押す




- ・途中でやめるとき : 
- ・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

子機の着信記録を消すときは





1件だけ消す :

- ①  を2回押す
- ②  または  で消去したい番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [1件消去] を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳へ登録
▶1件消去

- ④  を2回押す

すべて消す :

- ①  を押す
- ②  で [全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [着信記録] を選ぶ

電池残量
システム設定
▶全消去

- ④  を2回押す

■ 子機の着信記録を使って電話をかけるには (☎ 194ページ)

■ 子機の着信記録を電話帳に登録するには (☎ 81ページ)

● お知らせ ●

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [お断り番号] を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

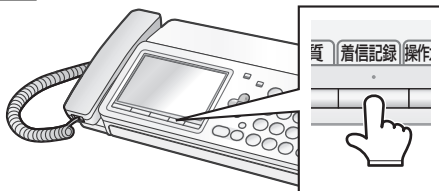
着信記録（着信履歴）を使って電話をかける

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

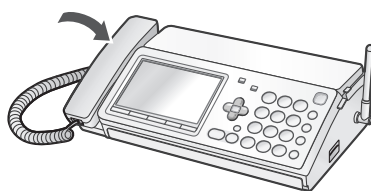
着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。

親機で着信記録を使って電話をかける

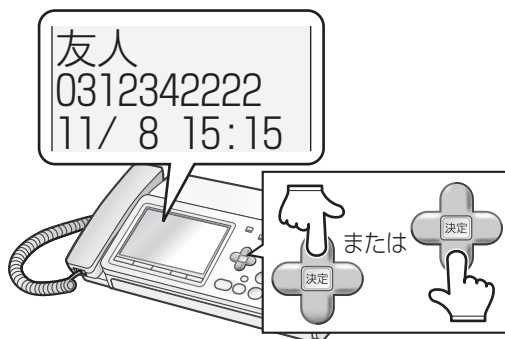
1 着信記録を押す



4 通話が終わったら受話器を戻す

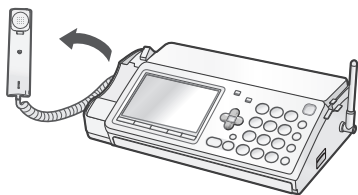


2 + または + で番号を選ぶ



- ・ **表示切替** を押すと、1件表示、一覧表示（文字大きい）と一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。
- ・ 変更した表示方法は記憶され、次に着信記録を見るときの表示になります。

3 受話器を取る



・途中でやめるとき： **停止** (⏹)

・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

親機で着信記録を使ってファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする
(☞ 110ページ 手順 **1 ~ 4**)
- ② **着信記録** を押す
- ③ **+** または **+** でファクスを送りたい番号を選ぶ
- ④ **FAX スタート** を押す
- ⑤ 相手の方につながったら、送信が始まる

・「通信エラーがありました」と聞こえたら (☞ 226ページ)

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

■ 親機の着信記録を電話帳に登録するとき (☞ 76ページ)

■ 親機の着信記録を消去するとき (☞ 191ページ)

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

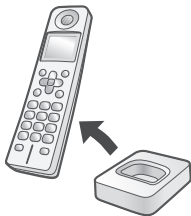
ナンバー・ディスプレイ

こまごまときは

ご参考にしてください

子機で着信記録を使って電話をかける

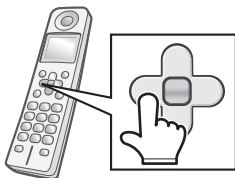
1 子機を充電器から取る




4 を押す



2 を2回押す



・再ダイヤルのデータがないときは  を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

5 通話が終わったら を押す

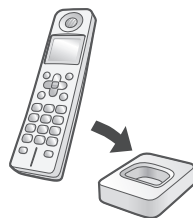


3 または で番号を選ぶ

〈着信記録01〉
友人
0312342222
11月 8日 15:49



6 充電器に戻す



・途中でやめるとき: 
・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

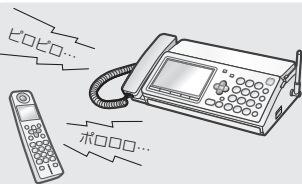
着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。

親機、子機が別々に「電話帳に登録している方」、「非通知」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 181ページ）、「公衆電話」、「表示圏外」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 181ページ）の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機・子機とも設定されていません。

着信鳴り分けは、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（186～189ページ）との併用はできません。

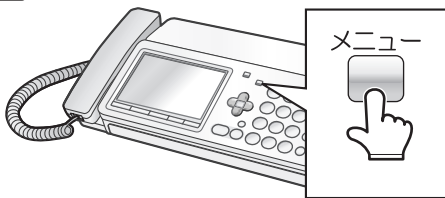


着信鳴り分けを設定したとき

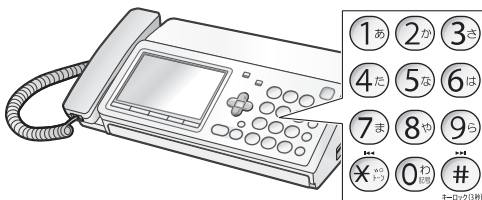
着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（49、53ページ）、またはダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音（161～163ページ）が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

1 **メニュー** を押す



2 **2か** **3さ** と順に押す

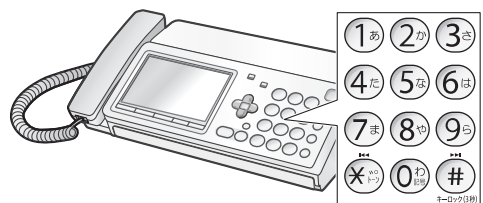


3 1: [電話帳]を選ぶときは **1あ** を押す

2: [非通知]を選ぶときは **2か** を押す

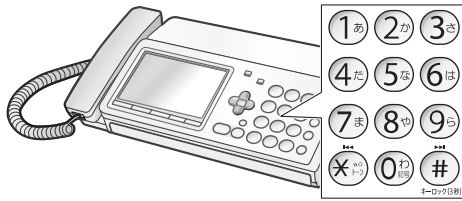
3: [公衆電話]を選ぶときは **3さ** を押す

4: [表示圏外]を選ぶときは **4た** を押す



次ページへ

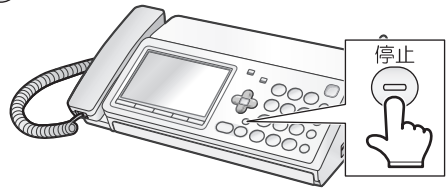
4 ①あ ~ ⑨ら、⑦わで、着信音を選ぶ



・鳴り分け用として設定できる着信音は、「親機の着信音の種類を変える」（☎49ページ）で設定できるものと同じです。

・着信鳴り分けを解除するときは ⑦わ を押してください。

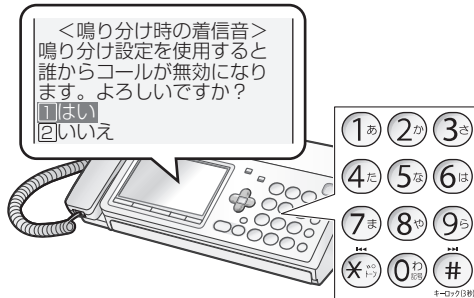
6 停止 を押す



・途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: 戻る

5 「誰からコール」を設定しているときは、着信鳴り分けは使用できません。誰からコールを設定していると、下記の画面が表示されます。

[鳴り分け設定を使用すると誰からコールが無効になります。よろしいですか?] と表示されたら、①あ を押す（誰からコールが解除されます）



表示されないときは、そのまま→6へ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは

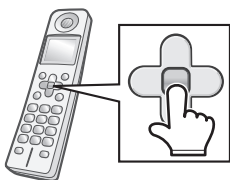
ご参考に

さくいな

子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

親機で「誰からコール」（☎ 186～189ページ）を設定しているときは、着信鳴り分けは働きません。ご使用になりたいときは、親機の操作で「誰からコール」を「使用しない」に設定してください（☎ 187ページ）。

1 を押す

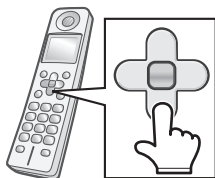


2 で [着信鳴り分け] を選ぶ



3 を押し、 で 着信音を設定する着信の種類を選ぶ



- [電話帳]
- [非通知]
- [公衆電話]
- [表示圏外]



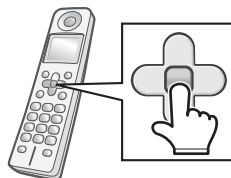
・[ダイヤルイン] については、162～163ページをご覧ください。


4 を押し、 または で 着信音を聞きながら選ぶ



- ・鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」（☎ 53ページ）で設定できるものと同じです。
- ・着信鳴り分けを解除するときは、「ピピッ」と鳴るまで  または  で選んでください。

5 を押す



・途中でやめるとき：  切

● お知らせ ●

- かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
- ダイヤルイン鳴り分け（☎ 161～163ページ）と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）

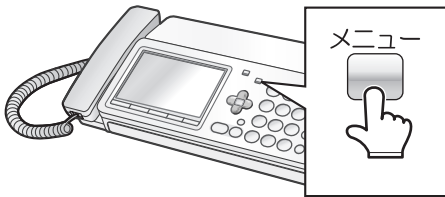
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 181ページ）「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 181ページ）に対して着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。

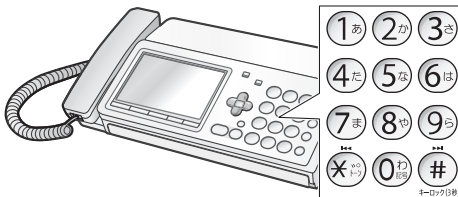
お買い求め時は設定されていません。

非通知／公衆電話／表示圏外お断り


1  を押す




2  を押したあと、




1: [非通知お断り]を選ぶときは、

 を押す


2: [公衆電話お断り]を選ぶときは、

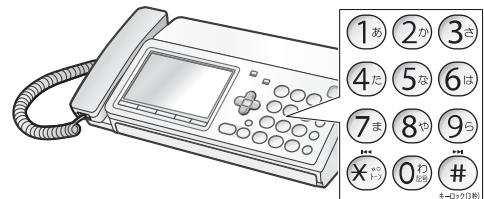
 を押す

3: [表示圏外お断り]を選ぶときは、

 を押す

3 ○ [なし]を選ぶときは  を押す

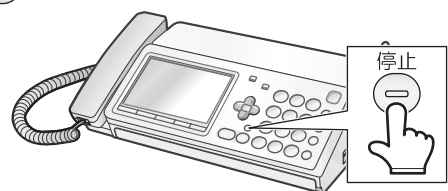
○ [お断り]を選ぶときは  を押す




・[非通知お断り]に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流れて電話が切れます。

・[公衆電話お断り]、[表示圏外お断り]に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

4  を押す



・設定すると、ディスプレイに  お断り と表示されます。

● お知らせ

- お断りの設定をしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音は鳴りません（親機のディスプレイが点灯します）。

途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

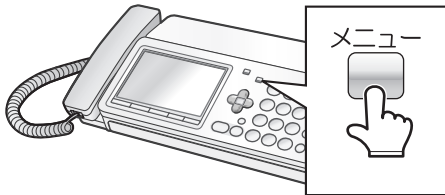
特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

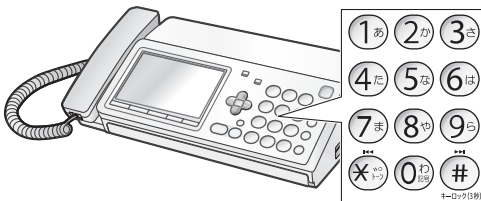
電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

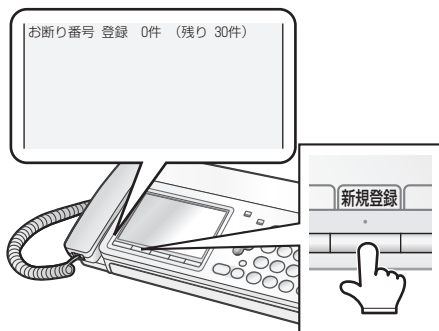
1 **メニュー** を押す



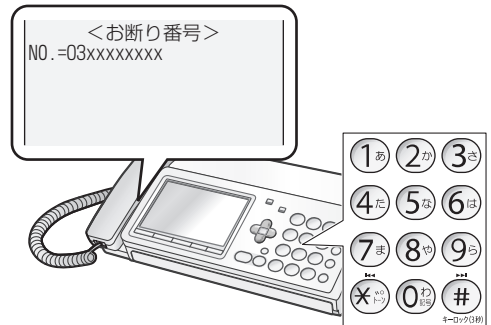
2 **5** **4** と順番に押す



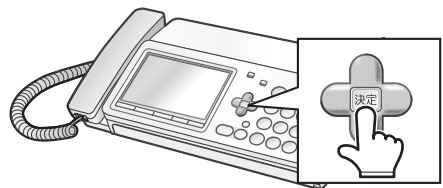
3 **新規登録** を押す



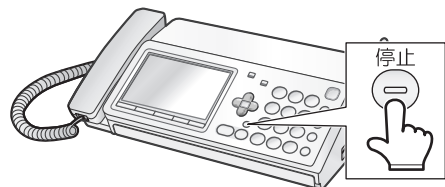
4 **ダイヤルボタン**で電話番号を入力する（最大20ケタ）



5 **決定** を押す



6 **停止** を押す



- ・設定すると、ディスプレイに **お断り** と表示されます。
- ・お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

・途中でやめるとき： **停止** /

1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

こまったときは

電話でこまった！

- かけられない (☎ 204ページ)
- 話しているとき、相手の方の声が聞こえにくい (☎ 208ページ)
- 着信音が鳴らない (☎ 207ページ)



ファクスでこまった！

- 送れない (☎ 206ページ)
- 受けられない (☎ 207ページ)



コピーや印刷でこまった！

- 印刷できない (☎ 209ページ)
- 印刷した画像が汚い (☎ 210ページ)
- 記録紙に白や黒の線が入るときは (☎ 219ページ)
- 原稿や記録紙がつまったときは (☎ 222ページ)
- インクリボンがなくなったときは (☎ 36ページ)



子機でこまった！

- 使えない (☎ 211ページ)



留守番電話でこまった!

- 留守モードが正しく働かない (☞ 212ページ)



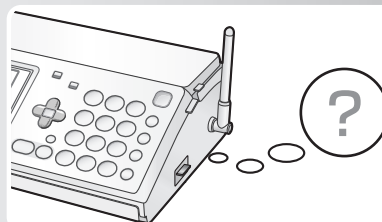
ナンバー・ディスプレイでこまった!

- 使えない (☞ 214ページ)



SDカードでこまった!

- 使えない (☞ 213ページ)



エラー表示でこまった!

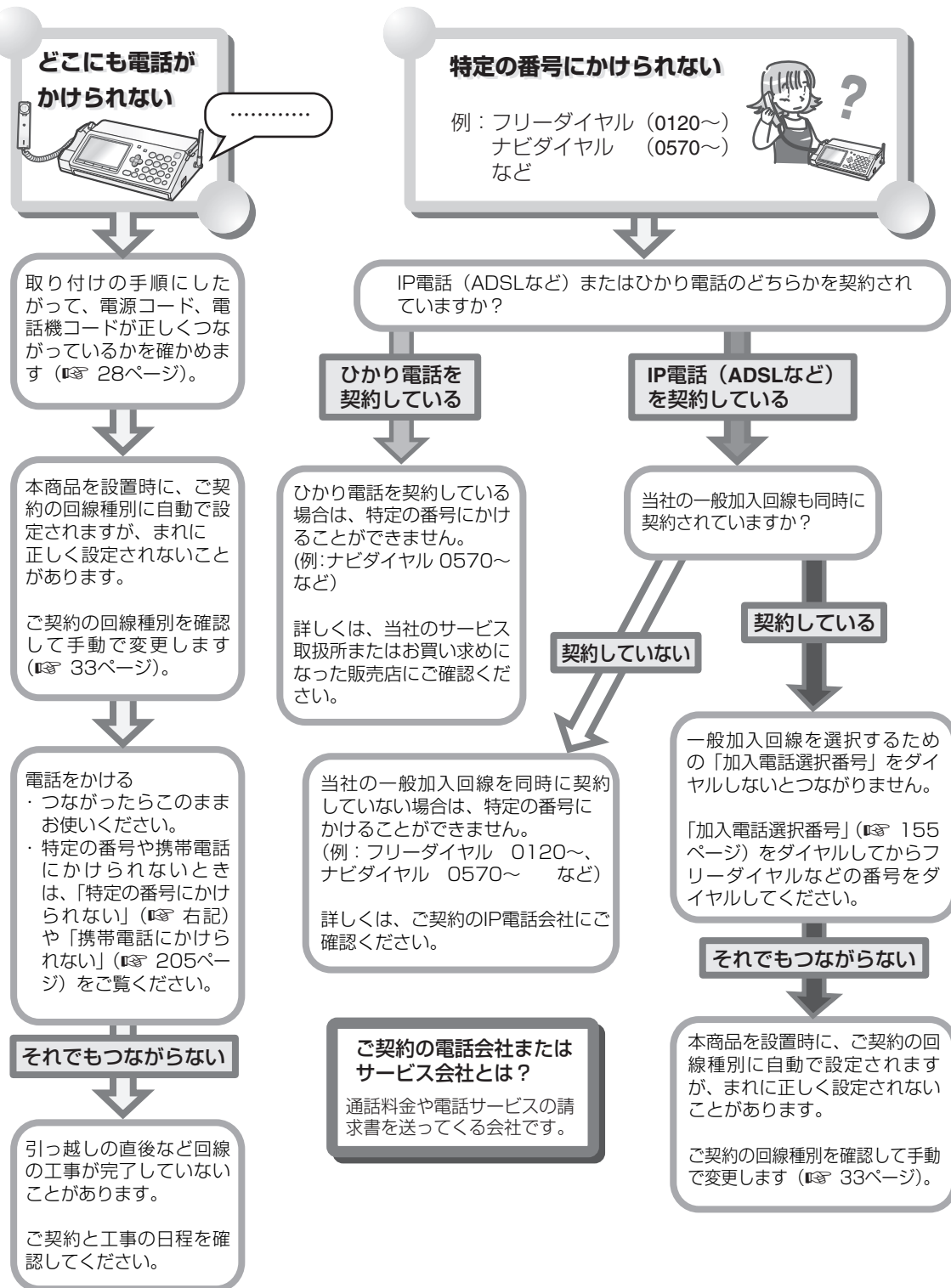
- エラー表示やエラー音が出たときは (☞ 225ページ)



その他の機能でこまった!

- ADSLやひかり電話などをご利用の方へ (☞ 216ページ)
- 停電になったときは (☞ 218ページ)
- その他 こまったときは (☞ 217ページ)
(キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイなど)

電話がかけられない



携帯電話にかけられない



IP電話（ADSLなど）やひかり電話を契約されていますか？

契約していない

ひかり電話を契約している

IP電話（ADSLなど）を契約している

「携帯通話設定機能」の設定で電話会社（通信事業者）が合っていないとつながりません。
正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☎ 154～155ページ）。



事業者識別番号をもう一度チェック

ひかり電話をご契約の場合「携帯通話設定機能」はご利用になれません。

設定を「使用しない」に設定します。（☎ 154～155ページ）

当社の一般加入回線も同時に契約している

契約している

契約していない

「携帯通話設定機能」の電話会社（通信事業者）や「加入電話選択番号」が合っていないとつながりません。
正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☎ 154～155ページ）。

「携帯通話設定機能」はご利用になれません。
設定を「使用しない」に設定します（☎ 154～155ページ）。

携帯電話にかけます（通話料は有料）。つながったら、設定は完了です。

●それでもつながらない場合

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

■ 回線種別とは…

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本商品の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかげられないことがあります。

■ 回線種別の自動設定について

本商品では、電話機コードを回線につなぐと、回線種別が自動的に設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。

電話がかげられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていない場合は手動で変更してください（☎ 33ページ）。

■ IP電話とは

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol（インターネットプロトコル）の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。

ただし、フリーダイヤル（0120）などの番号にかけるときは当社の一般加入電話回線を使うため、回線種別設定がご契約の種別と合わないにつながりません（ひかり電話を除く）。

フリーダイヤルの他にも、一部の電話番号にかけられない場合があります。かけられない電話番号は、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

ファクスを送れない

ファクスを送れない



まず、ここを確認してください

- 原稿は正しくセットされていますか？
☎ 110ページ
- 相手の方が非通知着信を拒否に設定していませんか？
⇒ 相手の方の番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

それでもファクスを送れないときは

- 相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。
⇒ 相手の方に確認してください。

ファクスを送ったが…

ファクス送信



相手の方の記録紙に
印刷されない



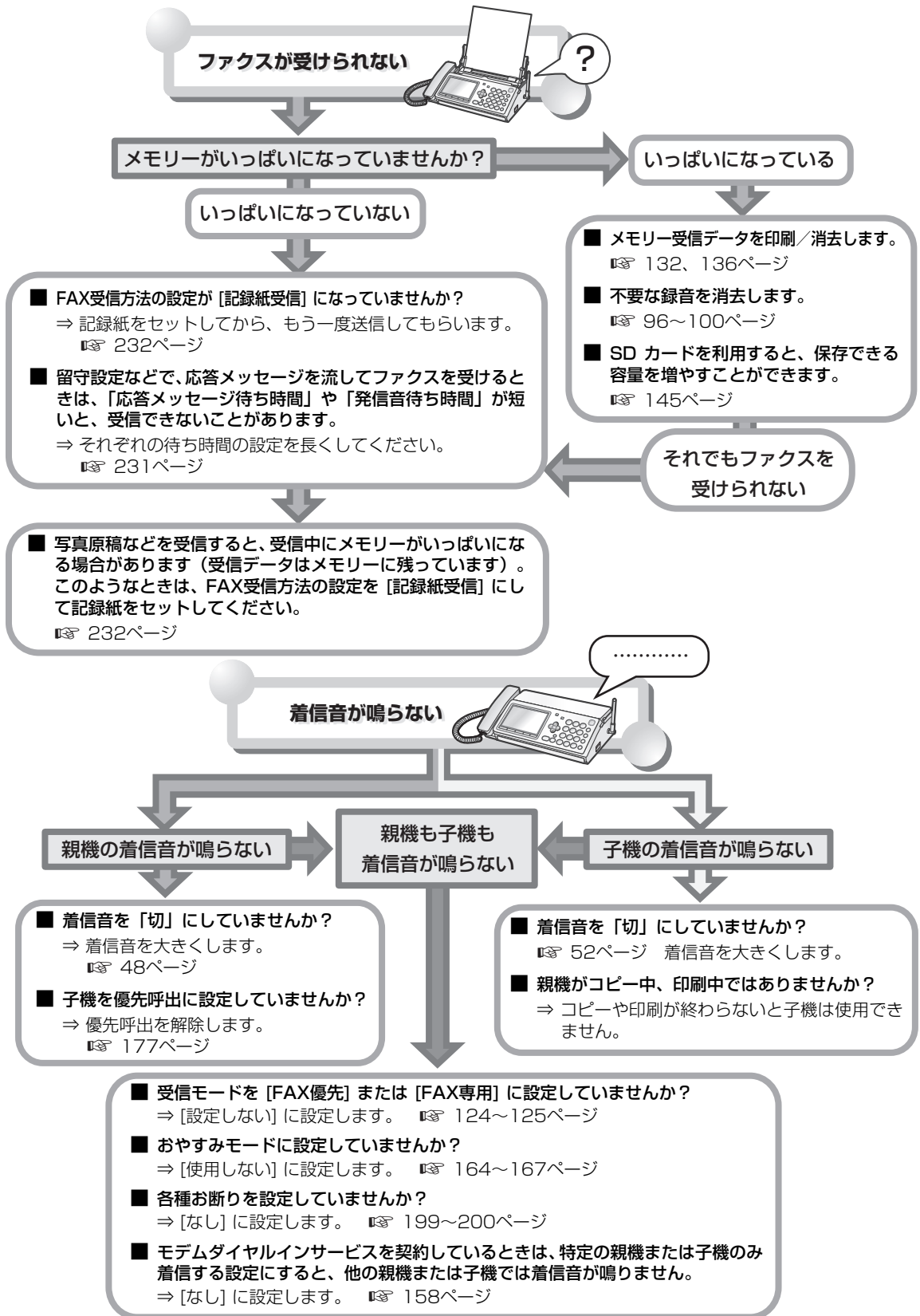
- 原稿は正しくセットされていますか？
⇒ 送る面を裏向きにセットします。
☎ 110ページ

相手の方に届いた
画像が悪い



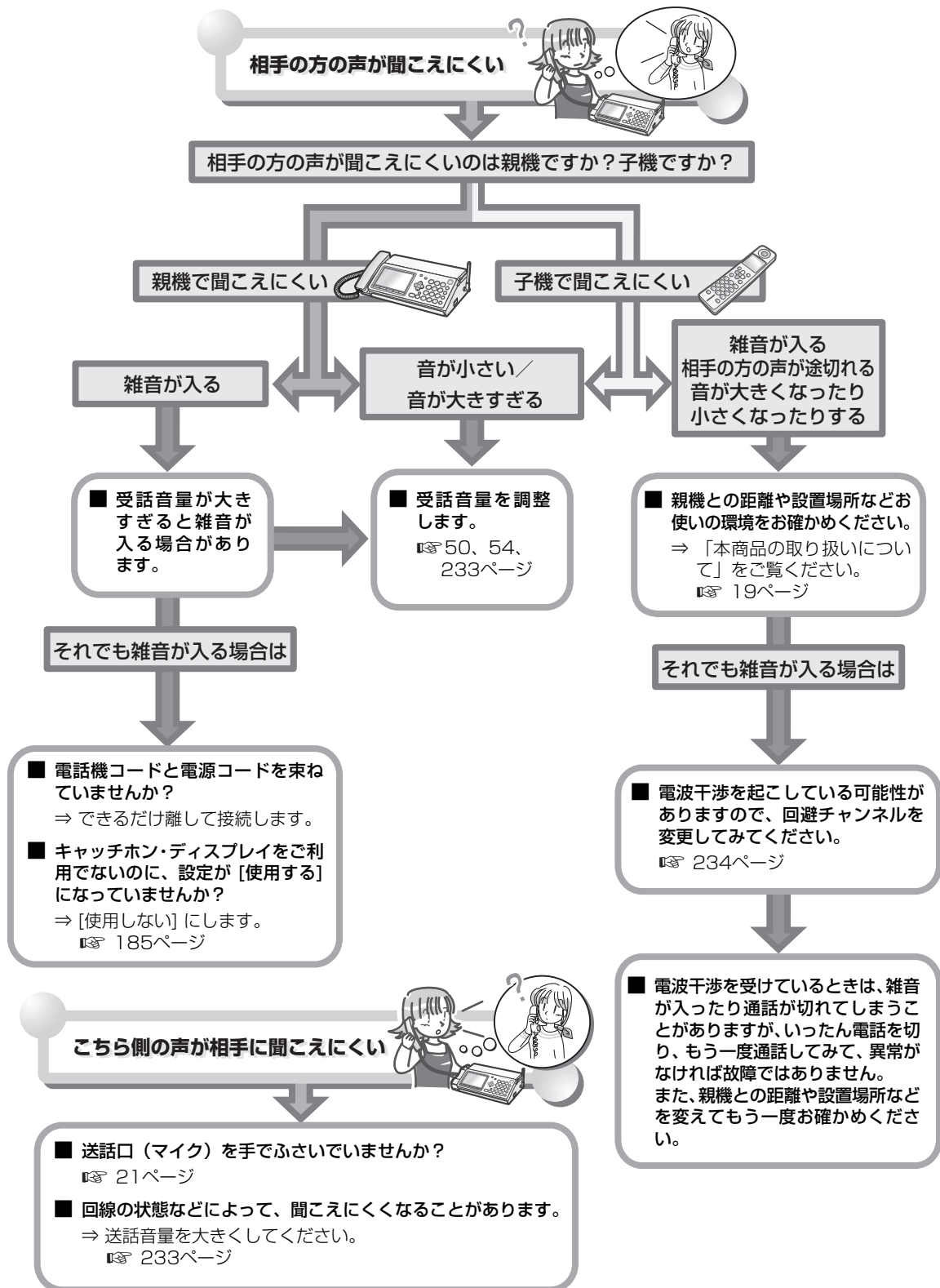
- 原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）
が汚れていませんか？
⇒ 汚れをふき取ります。
☎ 219～220ページ

ファクスを受けられない / 着信音が鳴らない

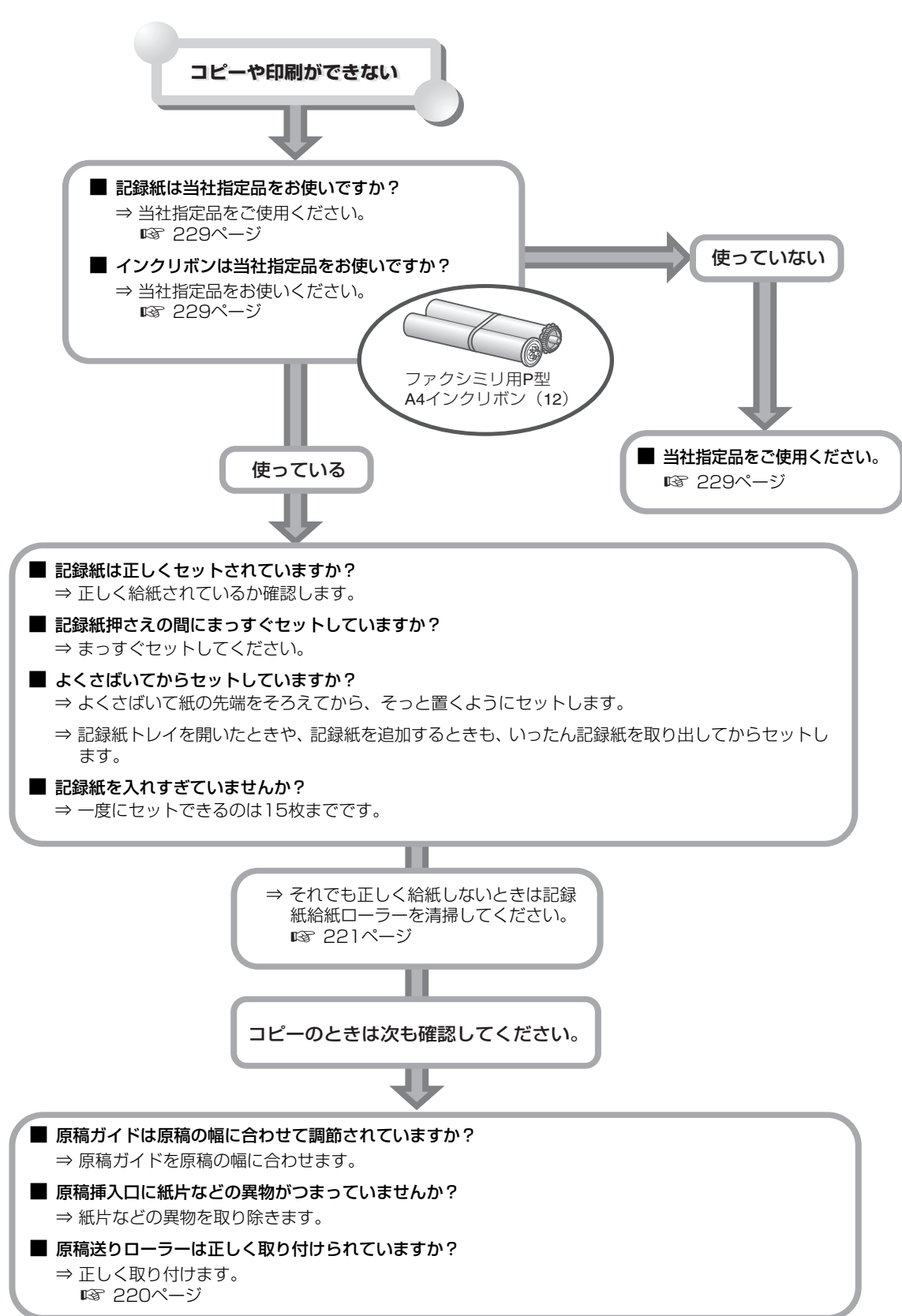


もくじ
ご使用前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
ごまっただときは
ご参考に
さくせん

相手の声が聞こえにくい



コピーや印刷ができない



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

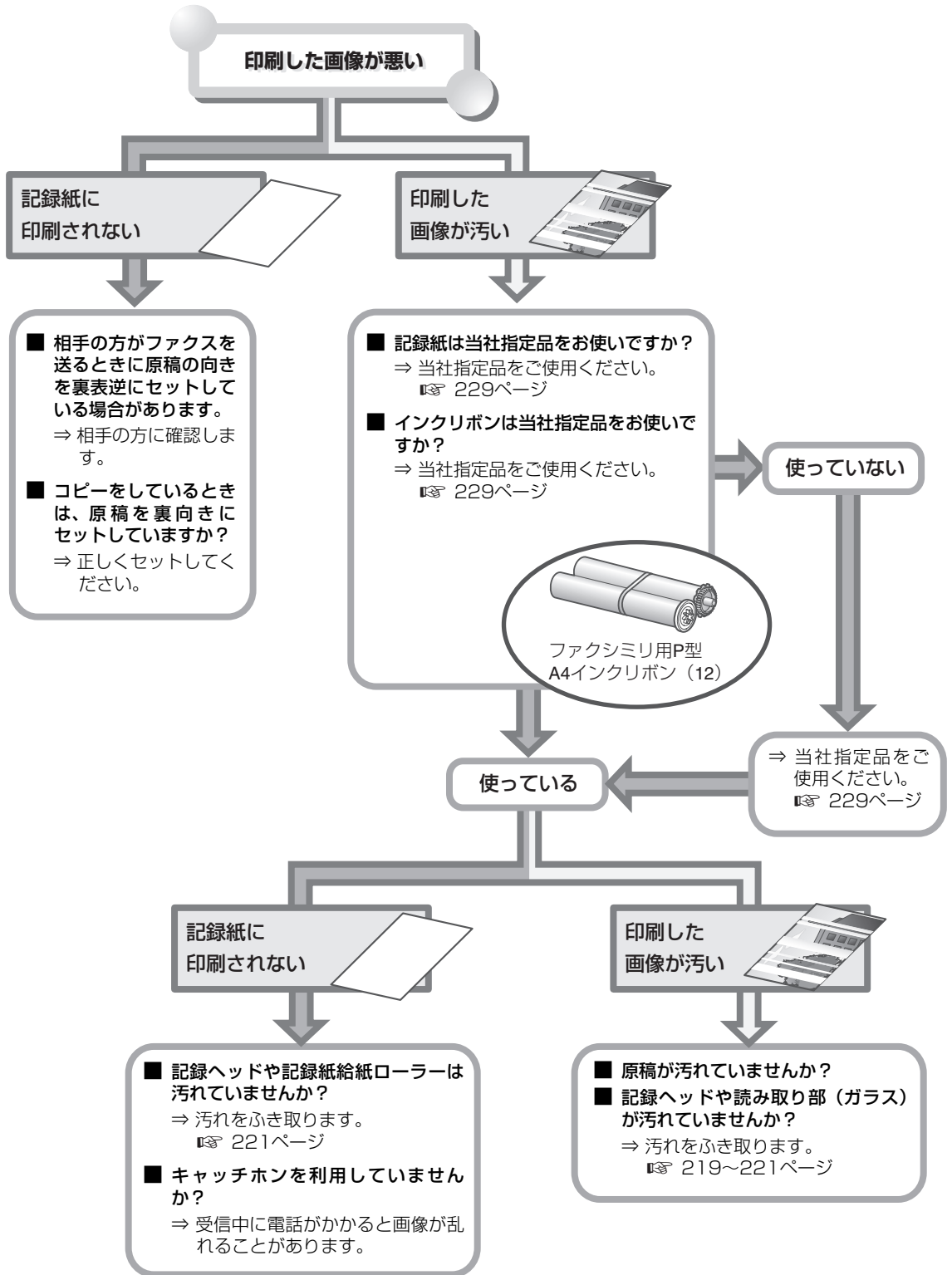
ナンバーディスプレイ

こまったときは

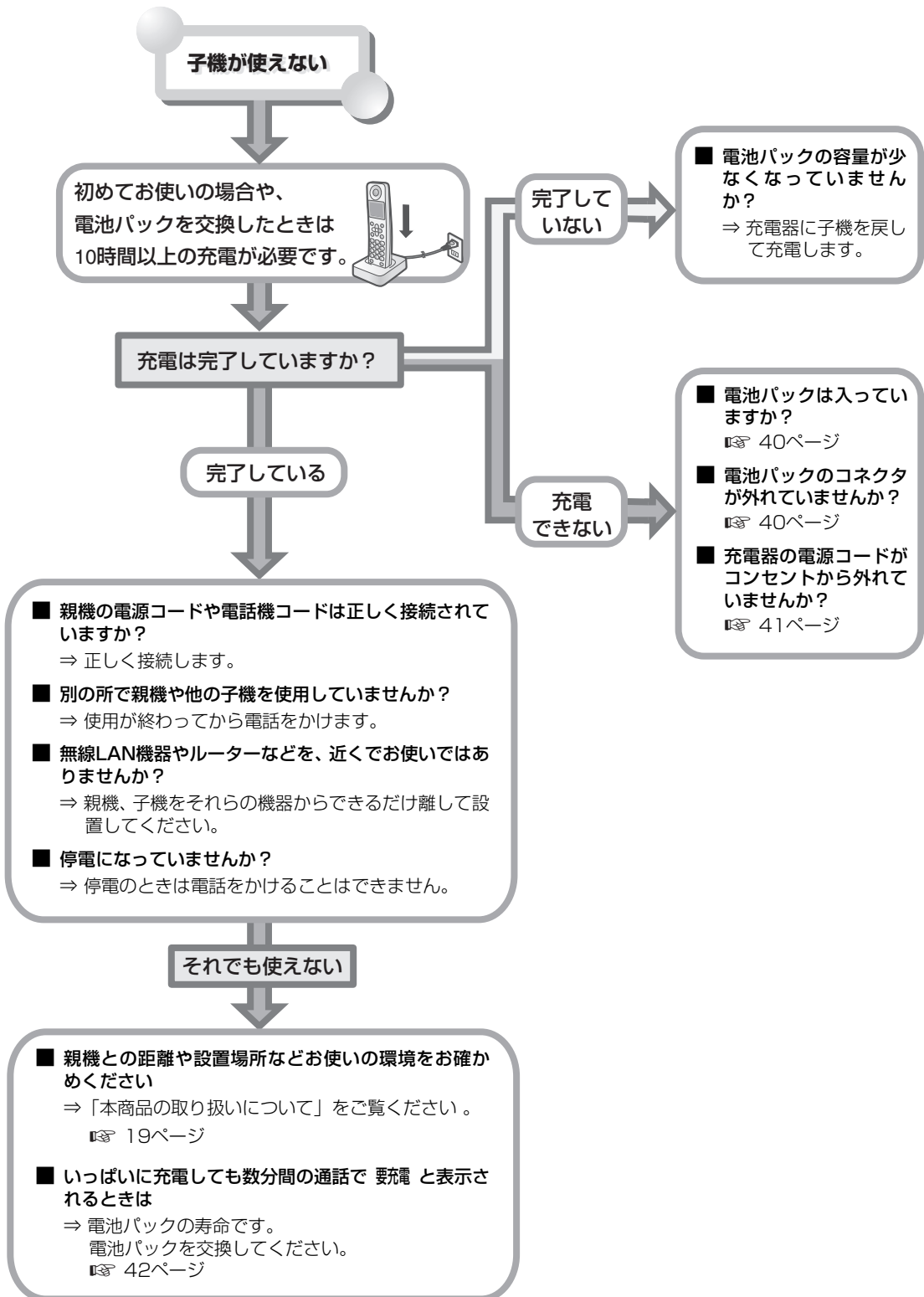
ご参考に

さくいん

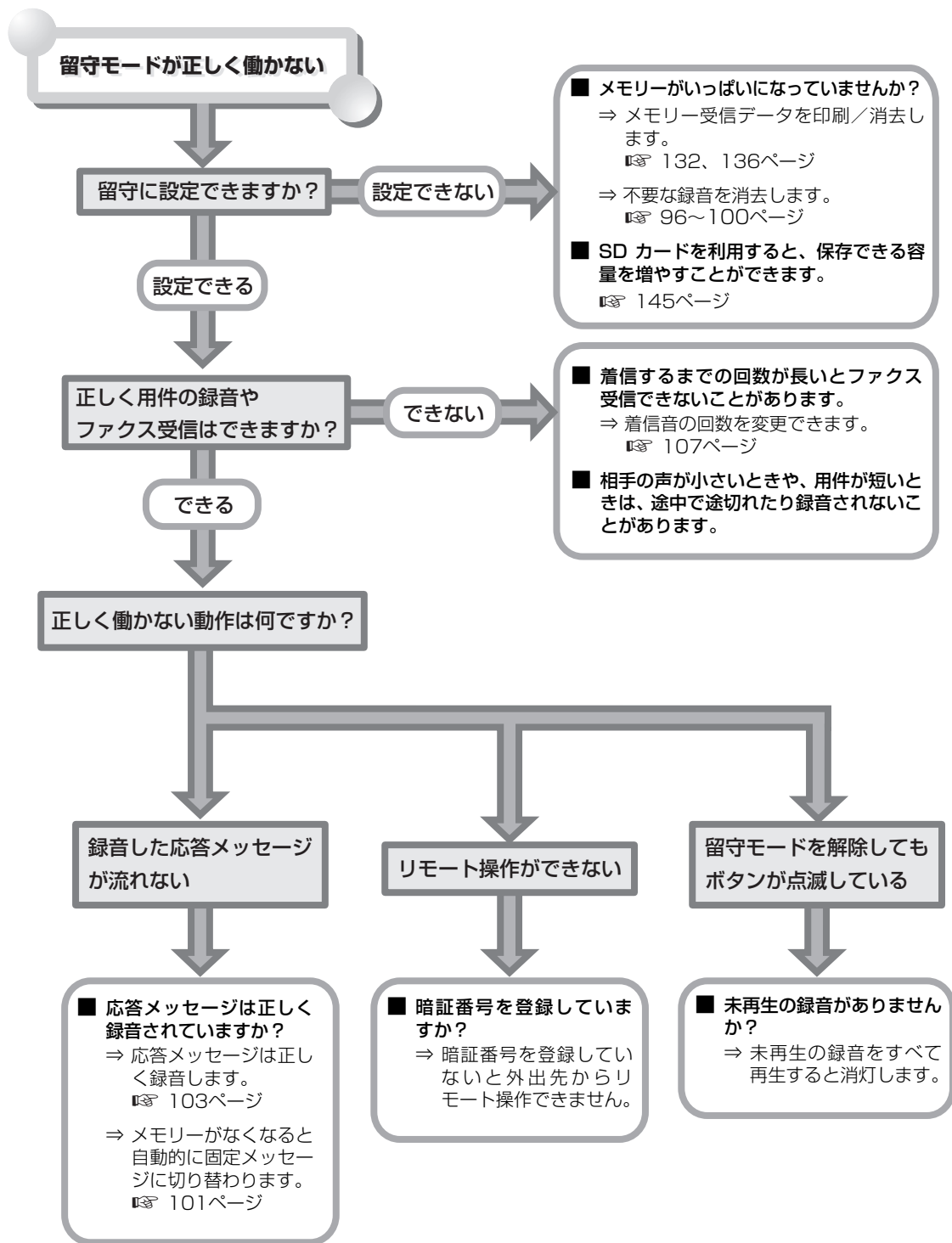
印刷した画像が汚い



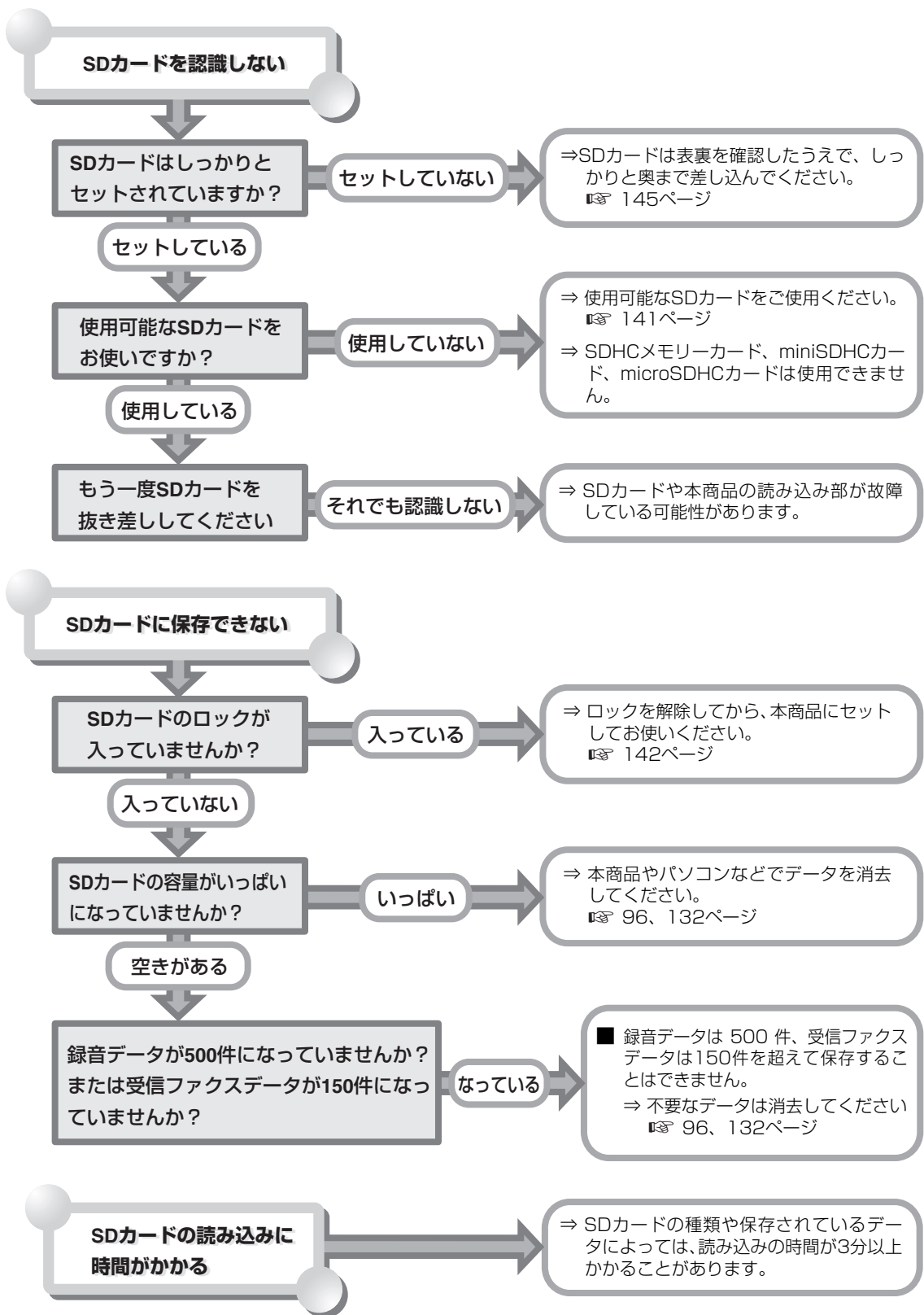
子機が使えない



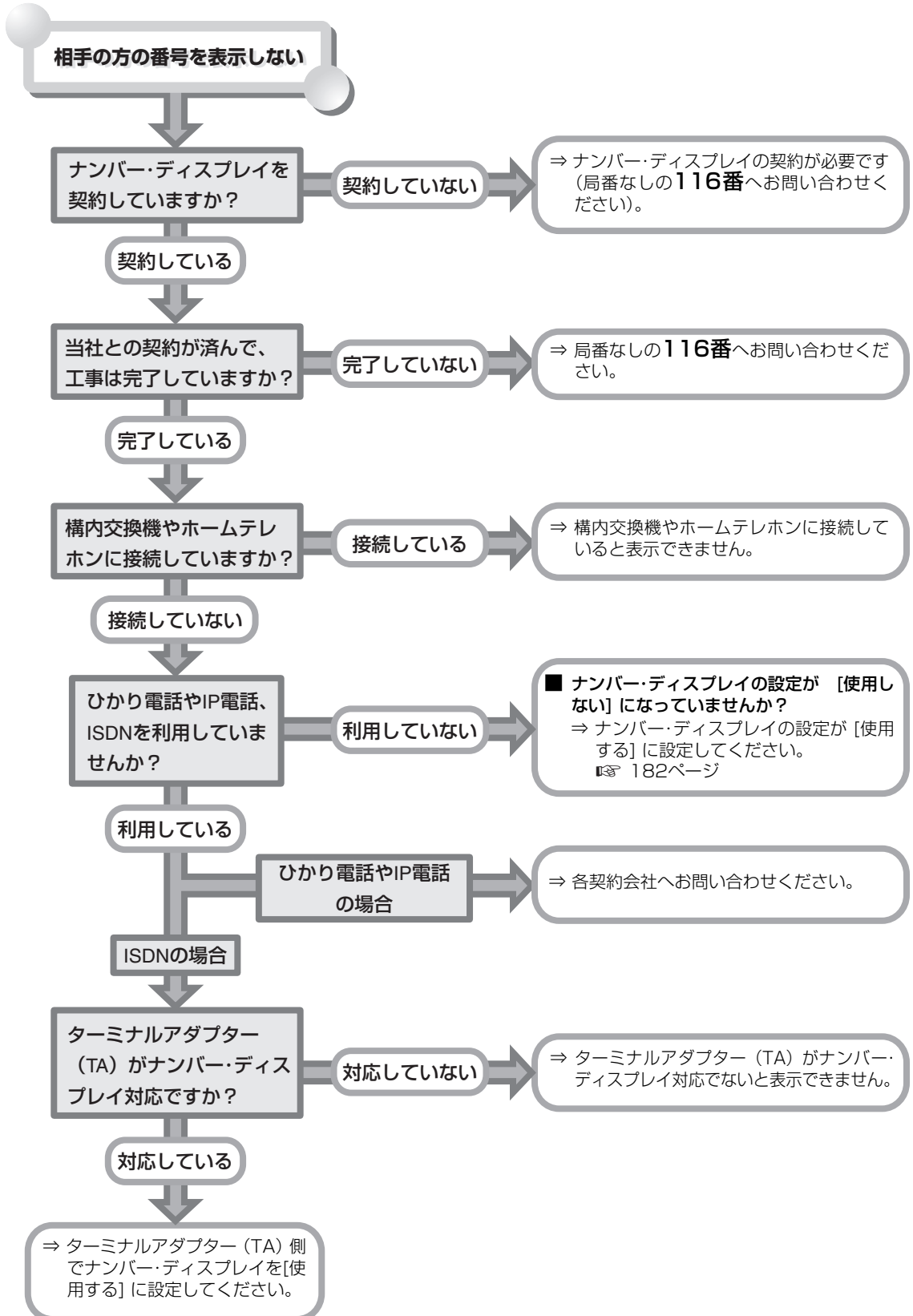
留守モードが正しく働かない

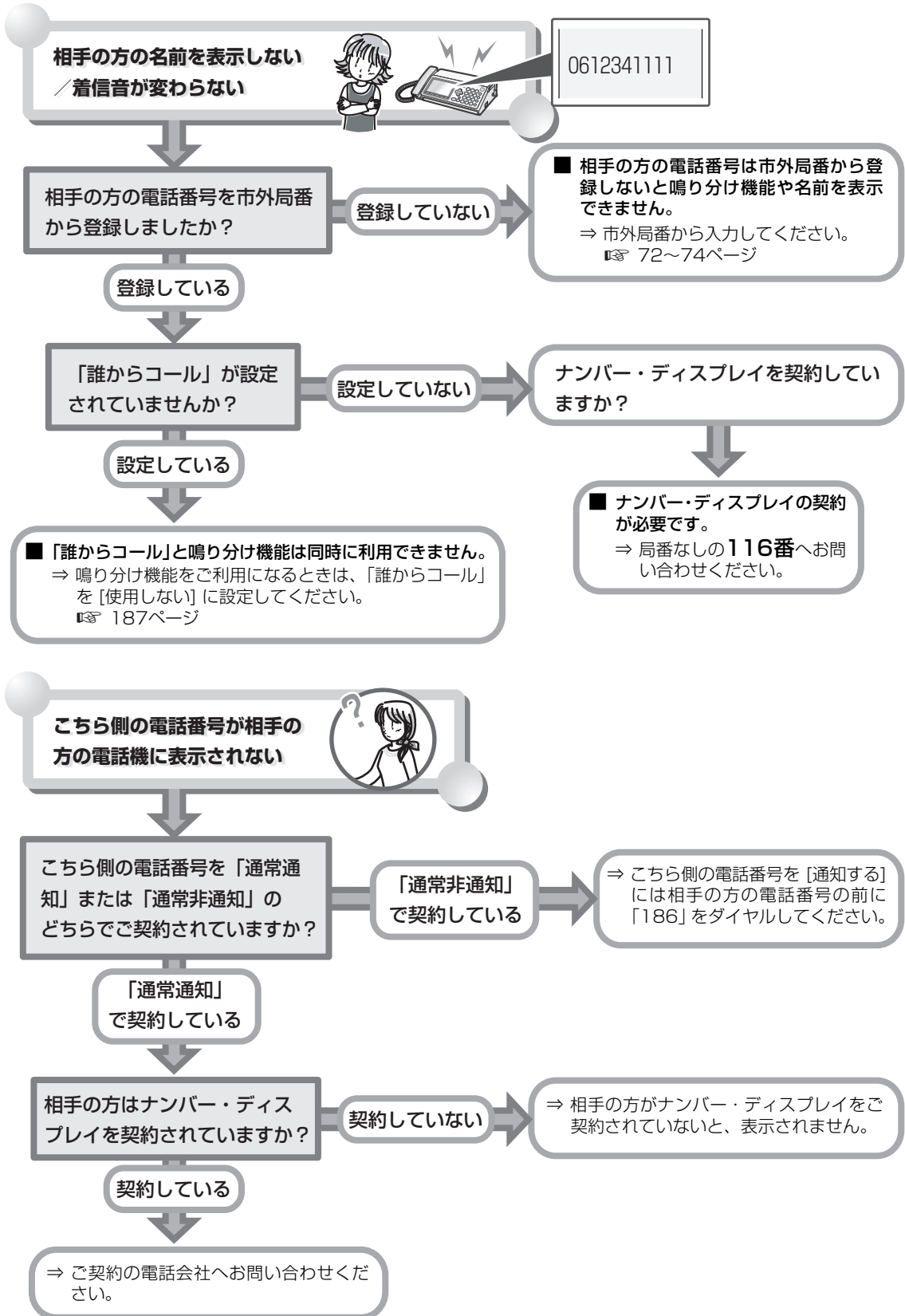


SDカードが使えない



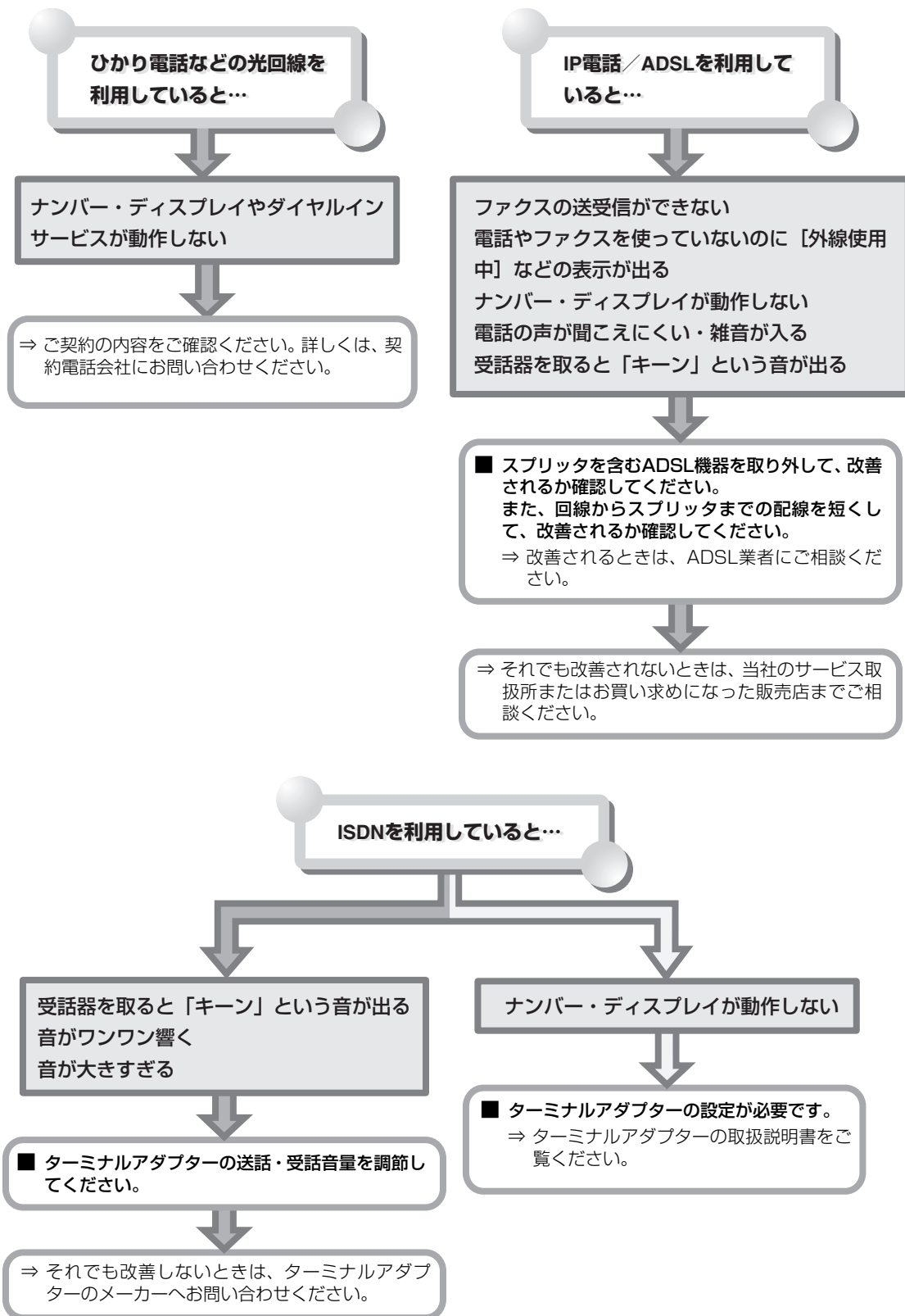
ナンバー・ディスプレイが使えない





もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバー・ディスプレイ
こまったときは
ご参考に
さくせん

ADSLやひかり電話をご契約の方へ



その他 こまったときは

正しく操作しても動かない
／動作がおかしい

■ 電話機コードや電源コードが外れて
いませんか？
⇒ 電話機コード、電源コードをしっか
りと接続します。

■ 電源を入れ直したり、「強制リセット」
すると正常に動作することがあります。
☎ 228ページ

⇒ それでも改善されないときは、当社の
サービス取扱所またはお買い求めに
なった販売店までご相談ください。

通話中などで、突然
ファクス受信する

■ 声などに反応して、まれにお
まかせ受信が働くことがあります。
⇒ 何度も続けて起こるとき
は、おまかせ受信を [なし]
に設定します。
☎ 232ページ

インクリボンがなくなった

■ 印刷やコピーができません
⇒ インクリボンをお買い求めください。

■ インクリボン（ギヤ付きタイプ）は、必ず当社指
定品をお使いください。
⇒ ファクシミリ用P型A4インクリボン（12）
☎ 229ページ

各種サービスを受け
られない

■ ひかり電話やIP電話では、受
けられないサービスがあり
ます。
⇒ 各契約会社にお問い合わせ
ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

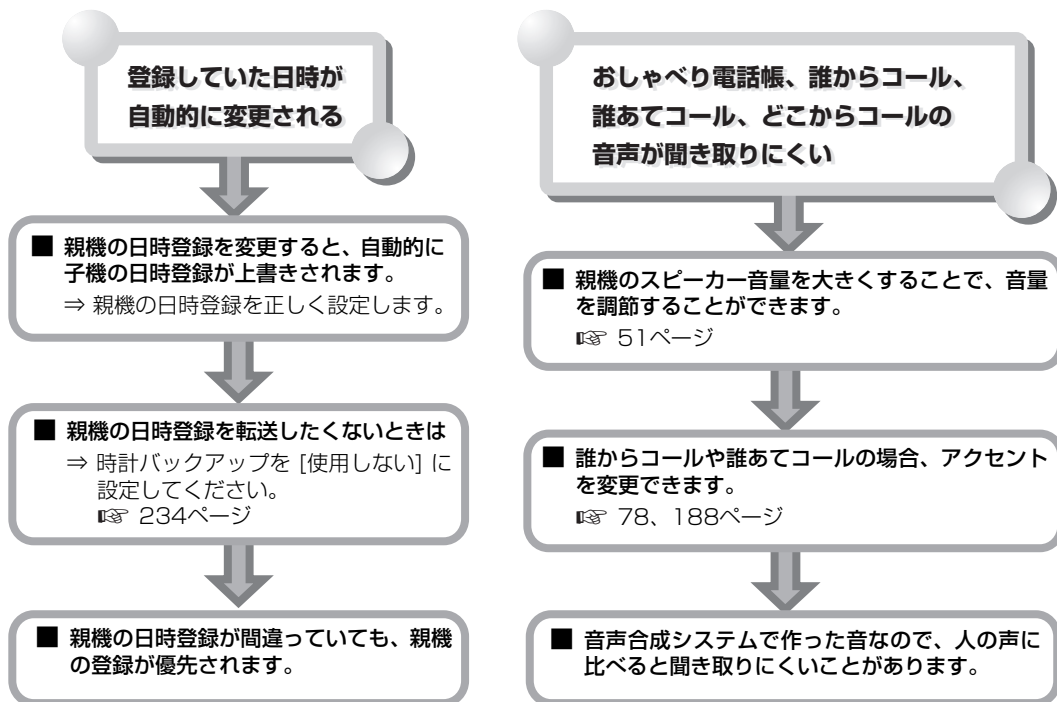
便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん



停電になったときは

停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

電話機	<ul style="list-style-type: none"> ●親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ●子機を使用することはできません。 ●各種サービスは働きません。 ●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ●通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	<ul style="list-style-type: none"> ●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ●停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	<ul style="list-style-type: none"> ●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ●メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。 ●紙がつまった場合は、222～224ページを参照し、用紙を取り除いてから再度操作してください。
コピー	<ul style="list-style-type: none"> ●停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	<ul style="list-style-type: none"> ●電話帳などに登録されている内容は消えません。 ●日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

記録紙に白や黒の線が入るときは

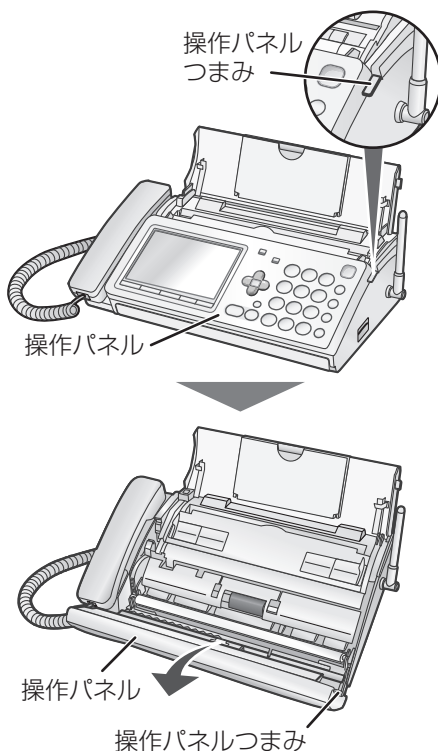
コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。
こんなときは、読み取り部を清掃してください。

読み取り部を清掃する

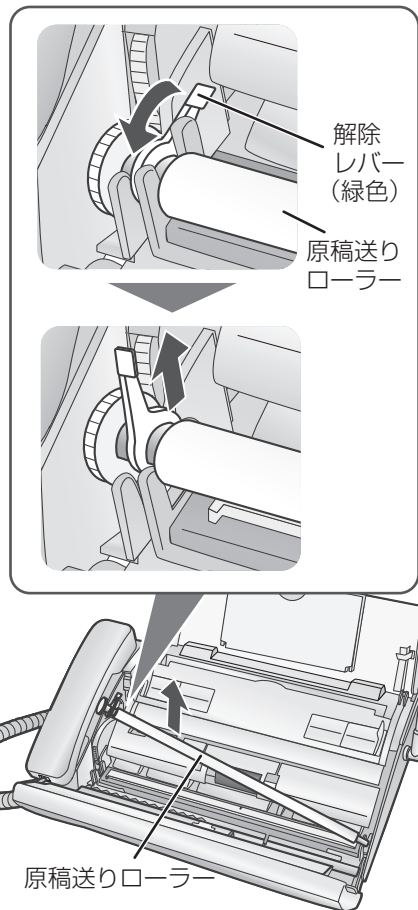
- 1** 記録紙トレイつまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす



- 2** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす



- 3** 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げて、はずす



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

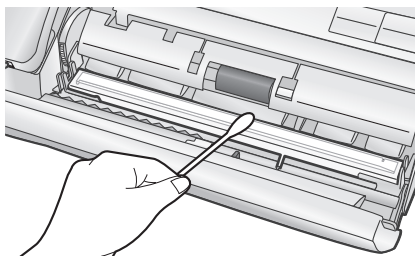
便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

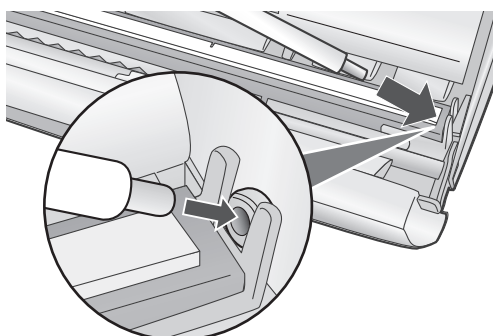
ご参考に
さくいん

4 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



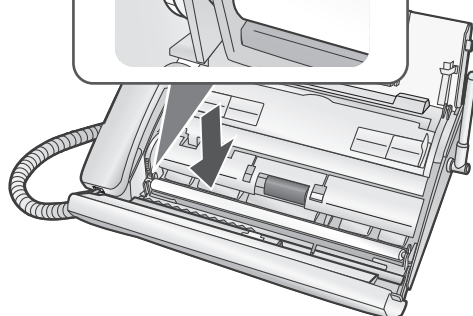
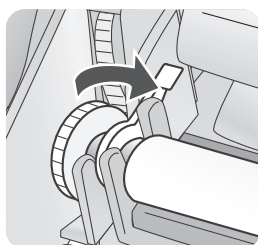
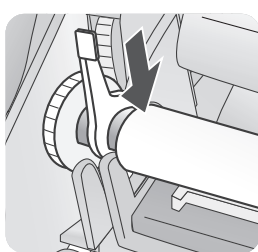
- ・ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

5 原稿送りローラーの右端を穴にさしこむ

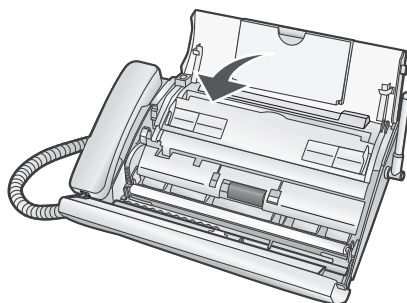


- ・ローラーが正しい位置にセットされていることを確認してください。

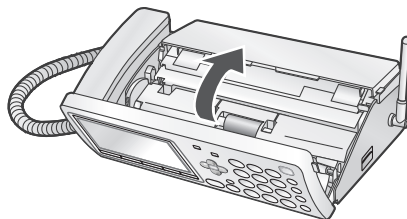
6 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



7 記録紙トレイを閉める





8 操作パネルを閉める

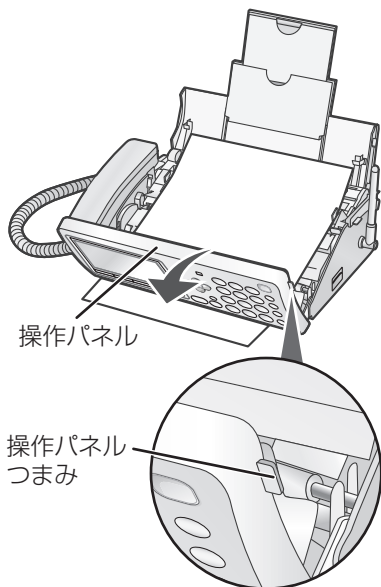


原稿や記録紙が詰まったときは

原稿が詰まったときは

原稿が詰まったときは、まず「原稿を取り出す」(☞112ページ)の操作( ▶ )をしてください。
排出されないときは、次の手順で取り除いてください。
記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネルつまみを持って、 操作パネルを起こす

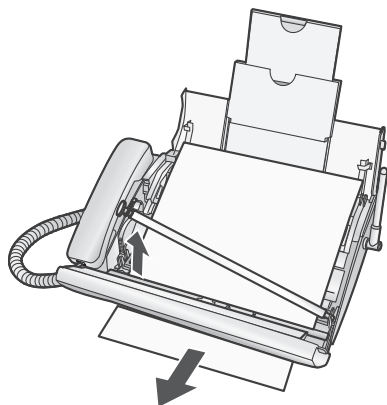


2 原稿送りローラーの左側の 解除レバーを前に倒し、 原稿送りローラーを引き上げる



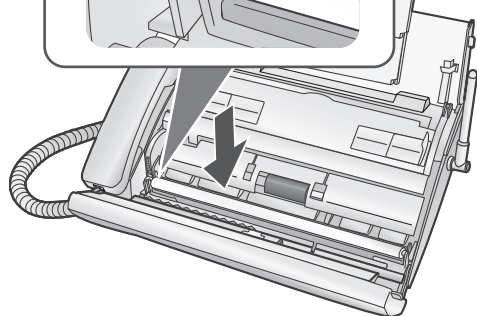
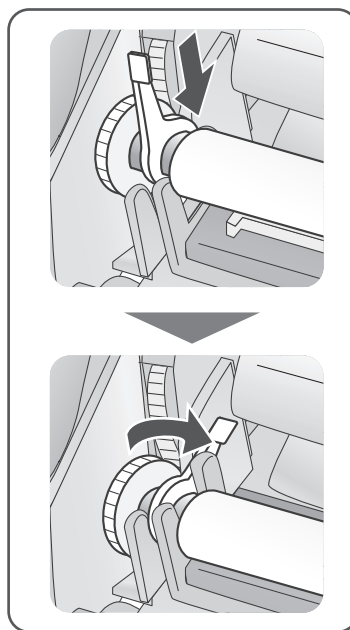
次ページへ

3 つまった原稿を取り除く



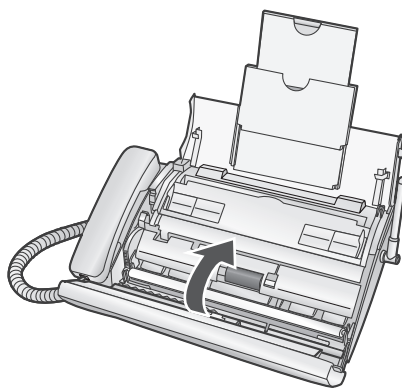
- ・ つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っばると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
- ・ 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

4 原稿送りローラーを戻し、解除レバーを後ろに戻す



- ・ 原稿送りローラーがうまく元に戻らないときは、ローラーの右端を穴にさしこんでから、左端（解除レバーの側）を戻してください。

5 操作パネルを閉める



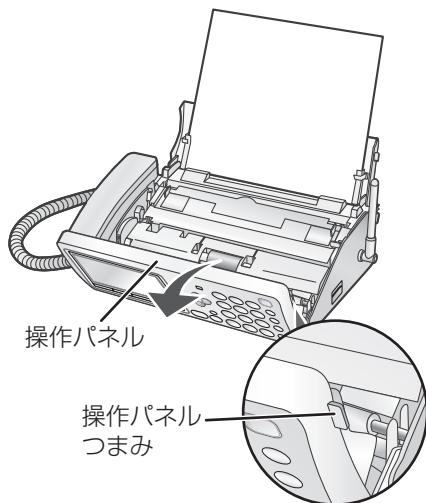
- ・ 記録紙や原稿を再セットしてください（[P.110](#)、[P.135](#)ページ）。

記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。

印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☎36～37ページ）。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす

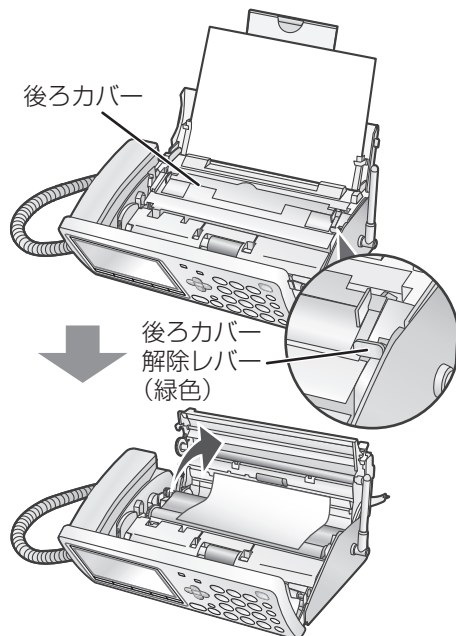


操作パネル

操作パネル
つまみ

- ・記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

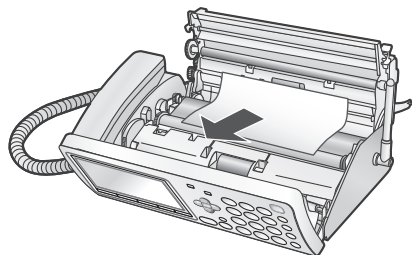
2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



後ろカバー

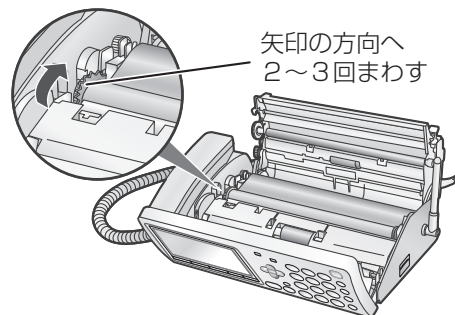
後ろカバー
解除レバー
(緑色)

3 つまった記録紙を取り除く

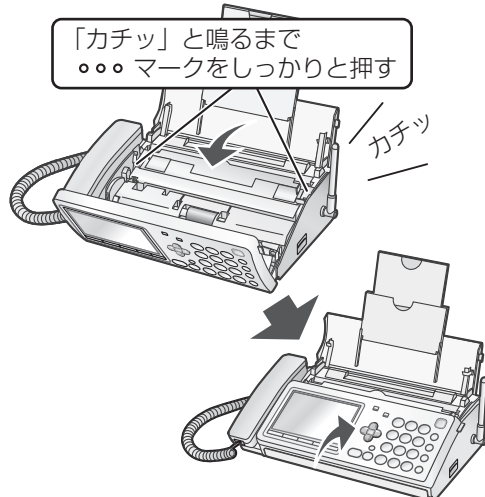


- ・操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- ・記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に引き抜いてください。

4 インクリボンのたるみを取る

矢印の方向へ
2～3回まわす

5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める



「カチッ」と鳴るまで
○○○マークをしっかりと押す

カチッ

- ・記録紙を再セットしてください（☎135ページ）。

エラー表示／エラー音について

この部分に、お知らせやエラーメッセージを表示します。



- ・エラーメッセージに「操作ガイド」の表示がある場合は、**操作ガイド** を押して、対応を表示させることができます。
- ・お知らせやエラーメッセージが1行を超えるときは、1行ずつ交互に表示されます。

お知らせ／エラー表示

	表示／エラー音	対応	参照ページ
あ 行	インクリボン切れのため FAXを中断しました 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ●インクリボンを交換します。 ●緑色のギャをまわして、インクリボンのたるみをとります。 	36～37
	インクリボンがありません 交換してください 操作ガイド		35～36
	後ろカバーが開いています 閉めてください 操作ガイド	●後ろカバーを閉め直します。	36
	応答がありません 操作ガイド	●「親機でお話ししてからファクスを送る」の方法で送信してください。	110～112
か 行	外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。	—
	外線使用中（1～4） また、「ツーツー」という音が聞こえる	●子機を使用中です（1～4は子機番号）。子機の使用が終わるまでお待ちください。	—
	記録紙切れのため FAXを中断しました 操作ガイド	●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください。	135
	記録紙がつまりました 取り除いてください 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ●つまった記録紙を取り除きます。 ●記録紙が正しくセットされているかを確認してください。 	224
	記録紙づまりのため FAXを中断しました 操作ガイド		135
	原稿がつまっています 取り除いてください 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ●  と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。 ●それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。 	112
	子機を確認ください	●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。	222～223
		—	

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまとときは

ご参考に

さくいん

	表示／エラー音	対応	参照ページ
か行	子機を増設します	●親機が子機増設登録モードになっています。「停止ボタン」を押して終了してください。子機を増設は担当者が実施いたします。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	—
		●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。	—
さ行	受信 FAX があります [受信 FAX] を押す 操作ガイド	●メモリー受信したデータを、プリントしてください。	136
		●「見てからプリント」で確認して、不要なら消去してください。	132
た行	通信エラー（1～15） 操作ガイド また、「通信エラーがありました。」と聞こえる	●相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービス担当が通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、局番なしの113番までご連絡ください）。	—
は行	FAX 受信メモリー一杯です 不要なファクスを消去 操作ガイド	●メモリー受信した内容を印刷または消去します。 ●不要な録音メッセージを消去します。	132、136 96～100
	プリンタエラー	●印刷中にエラーが起きました。電源コードを電源コンセントから抜いて、もう一度差し込んでみてください。 ●それでも改善しないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	—
	プリンタエラーのため FAX を中断しました		—
	プリンタが異常です	●記録部がエラーを起こしています。電源コードを電源コンセントから抜いて、もう一度差し込んでみてください。 ●それでも改善しないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	—
	プリンタが異常のため FAX を中断しました		—
	プリンタが高温です	●長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が動いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。	—
プリンタが高温のため FAX を中断しました	—		
ま行	未再生録音があります [留守] を押す 操作ガイド	●未再生の留守録音があります。再生してください。	94、96、99
ら行	録音があります [再生] を押す 操作ガイド	●未再生の録音があります。再生してください。	96、99

表示／エラー音	対応	参照ページ
ら行 録音メモリーが一杯です 不要な録音を消去 操作ガイド	●不要な録音メッセージを消去します。	96～100

SDカードを使用しているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
SDカードが入って いません	●SDカードが入っていません。 ●SDカードが正しく取り付けられていません。	— 145
SDカードを読み できません	●SDカード内に読み込むデータがありません。	—
SDカードが書き込み 禁止になっています	●SDカードの書き込み禁止スイッチがロックされてい ます。	142
メモリーフルです	●SDカードの容量がいっぱいです。	—

子機を使っているとき

エラー音	対応	参照ページ
「ピーピー」	●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の電源コードを接続してください。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉 の発生しやすい所では使用しないでください。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。	— 28 19 —
「ピピピピ」	●名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超え ています。	—
「ピピッ……ピピッ……」	●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話 は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい 電池パックと交換してください。	40～42
子機で通話中に 「ピーピー」と2回 鳴ってすぐに切れる	●雑音の少ないところでご使用ください。 ●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器 よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャ ンネル設定」を変更してお使いください。	— 234

故障かな?と思ったときは(修理依頼される前に)

- ・ディスプレイ表示が化けている(意味不明の文字列や画像が表示されている)。
- ・ボタンが全く効かない。
- ・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
- ・コピーなど、印刷ができない状態が続く。
- ・その他、正しく動作しない。



上記のような症状の多くは、一般に、マイコン(IC)を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。


修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試しく下さい。

また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります(電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 230ページ)。

親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

- ①  を約10秒以上押したままにする
- ② ディスプレイに [しばらくお待ちください] と表示されたら  から指を離す

- ・自動的に再起動が行われます。
- ・親機の日付・時刻の設定は消えてしまいます。子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを[使用する]に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手で設定し直してください。
- ・再起動しても、登録した内容は消えません。
- ・  を約10秒以上押したままにしても再起動しない場合は、本商品の電源を入れ直してください(下記)。

再起動しても症状が改善されないときは…

電源を入れ直してみる

親機を再起動しても改善されないときは、電源コードを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。





- ・親機の日付・時刻の設定は消えます。子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを[使用する]に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手で設定し直してください。

左の操作をしても症状が改善されないときは次の操作(強制リセット)を行ってみてください。

【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

- ・この操作を行う前に、必要な録音データやファクスデータ、電話帳のデータなどをSDカードに保存しておくことをおすすめします(149~151ページ)。

親機を強制リセットする

- ① 電源コードを電源コンセントから抜く
- ②  と  を同時に押したまま、電源コードを電源コンセントに差し込む
- ③ ディスプレイに [メモリークリア中] と表示されたら、 と  から指を離す

- ・強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。
- ・電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください(30~31ページ)。
- ・強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。電話などをかけられるときは、回線種別の設定(約20秒)が終わってからにしてください。

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店へお申し付けください。

別売品／消耗品

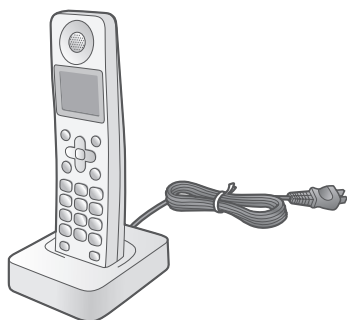
別売品／消耗品として、次のものを用意しています。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。本商品を長い間安心してお使いいただくためにも、当社指定品をお使いください。指定品以外の記録紙やインクリボンを使用されると印刷がかすれたり、薄く印刷されたりすることがあります。

別売品

■ 増設用コードレス電話機

2.4Gデジタルコードレス電話機「S2」

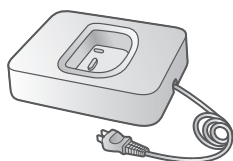
コードレス電話機は、P-267SDwにはもう2台加えて最大4台まで、P-267SDにはもう3台加えて最大4台まで使うことができます。増設用のコードレス電話機には、充電器と電池パックなどがセットされています。



■ 充電器

● 充電器

2.4G デジタルコードレス電話機「S2」充電器



■ ドアホン

ドアホンは2台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンが使用できます。

■ ドアホンボックス

U-ドアホンボックス

消耗品

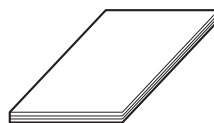
消耗品については、**パーツサービスセンター**

(☎ 0120-86-8289) またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ 記録紙

ファクシミリ用P形A4記録紙 (2)

A4サイズ (100枚1組)



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAXP-267SDw / P-267SD用記録紙以外はご使用にならないでください。

シャープ製ファクシミリ用普通紙 A4サイズ (250枚1組) もお使いになれます。

型番：PP110MA4

■ インクリボン

ファクシミリ用P型A4インクリボン (12) (約33m)

シャープ製インクリボン (約33m) もお使いになれます。

型番：UX-NR8G (1本)

：UX-NR8GW (2本1組)

■ 2.4Gデジタルコードレス電話機用電池パック

電池パック-098



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さへいん









特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。

応答メッセージ待ち時間

留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます。










工場出荷時の設定は [4 秒] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③  を2回押す
- ④ [1 秒] を選ぶときは  を押す
[2 秒] を選ぶときは  を押す
[4 秒] を選ぶときは  を押す
[8 秒] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

発信音待ち時間

応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間の設定ができます。








工場出荷時の設定は [4 秒] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [1 秒] を選ぶときは  を押す
[2 秒] を選ぶときは  を押す
[4 秒] を選ぶときは  を押す
[8 秒] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

お声拝聴

留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。









工場出荷時の設定は [あり] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは  を押す
[なし] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

録音時間

留守録の録音時間を設定することができます。

工場出荷時の設定は [30 秒] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [30 秒] を選ぶときは  を押す
[1 分] を選ぶときは  を押す
[2 分] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に
さくいん

FAX受信方法

ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。

[見てからプリント]：

受信した内容をメモリーに記録し、印刷する前にディスプレイで確認することができます。









[メモリー受信]：

受信した内容をメモリーに記録してから、自動的に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

[記録紙受信]：








受信した内容を、直接記録紙に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。

工場出荷時の設定は [見てからプリント] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [見てからプリント] を選ぶときは  を押す
[メモリー受信] を選ぶときは  を押す
[記録紙受信] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

おまかせ受信

相手の方が自動送信の場合（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。工場出荷時の設定は [あり] です。








- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは  を押す
[なし] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

縮小受信

ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小して印刷する機能の設定ができます。

工場出荷時の設定は [あり] です。

[なし] に設定した場合、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは  を押す
[なし] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：

発信音検出

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本商品が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。

自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。工場出荷時の設定は [あり] です。

- メニュー
- ① を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **2**_か **5**_な と順に押す
 - ④ [あり]を選ぶときは **1**_あ を押す
[なし]を選ぶときは **2**_か を押す
 - ⑤ 停止 を押す

親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- メニュー
- ① を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3**_さ **1**_あ と順に押す
 - ④ [小]を選ぶときは **1**_あ
[標準]を選ぶときは **2**_か
[大]を選ぶときは **3**_さ を押す
 - ⑤ 停止 を押す

子機送話音量を調整する

子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- メニュー
- ① を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3**_さ **2**_か と順に押す
 - ④ [小]を選ぶときは **1**_あ
[標準]を選ぶときは **2**_か
[大]を選ぶときは **3**_さ を押す
 - ⑤ 停止 を押す

子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。子機で通話中に受話音量を変えることもできます (☎ 54ページ)。

親機で操作します。






- メニュー
- ① を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3**_さ **3**_さ と順に押す
 - ④ [小]を選ぶときは **1**_あ
[標準]を選ぶときは **2**_か
[大]を選ぶときは **3**_さ を押す
 - ⑤ 停止 を押す


途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:


子機受話音質を調整する

すべての子機の受話音質を調整できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(P.54ページ)をご覧ください。

親機で操作します。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [低い] を選ぶときは 






[標準] を選ぶときは 



[高い] を選ぶときは  を押す

キータッチ音

親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音(キータッチトーン)の有無を設定できます。

工場出荷時の設定は [あり] です。





- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは  を押す


[なし] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す



回避チャンネル設定

他の電化製品(無線LANなど)の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。

工場出荷時の設定は [チャンネル6] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③  を押す
- ④ [チャンネル1] を選ぶときは  を押す

[チャンネル6] を選ぶときは  を押す






[チャンネル11] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す



・無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

時計バックアップ

停電などで親機の日時登録が消えたときに、子機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったり、子機の日時登録が消えたときに、親機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったりする機能の設定ができます。親機や子機の日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは、日時を転送できません。

工場出荷時の設定は [使用する] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す
- ④ [使用する] を選ぶときは  を押す





[使用しない] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

・途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

親機に登録されている日付や時刻を子機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す

- ・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。
- ・時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

子機の日時が登録されていないときは、転送できません。







- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順に押す

- ・親機に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ機能の利用設定ができます。ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、[使用する] に設定します。









構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは [使用しない] に設定します。工場出荷時の設定は [使用する] です。



- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③  を押す
- ④ [使用する] を選ぶときは  を押す
- ⑤ [使用しない] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す

キャッチホン切替時間

キャッチ/消去ボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。

交換機の種類などによっては、キャッチ/消去ボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。工場出荷時の設定は [0.8秒] です。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ [0.4秒] を選ぶときは  を押す
- ⑤ [0.6秒] を選ぶときは  を押す
- ⑥ [0.8秒] を選ぶときは  を押す
- ⑤  を押す




途中でやめるとき:  / 1つ前に戻るとき: 

携帯通話設定機能で利用する携帯番号 帯登録





携帯通話設定機能の利用対象となる携帯電話番号の頭4ケタとして、あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、あらたに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す

登録するときは






- ④  を押す
- ⑤ 番号を入力する（4ケタ）
- ⑥  を押す
- ⑦  を押す


消去するときは

- ④  または  で番号を選ぶ
- ⑤  を2回押す
- ⑥  を押す

携帯通話設定機能の設定内容表示

携帯通話設定機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

- ①  を押す
- ②  を4回押す
- ③   と順番に押す
- ④ 設定の内容を確認する
- ⑤  を押す

・途中でやめるとき： /

1つ前に戻るとき： または 

区点コード一覧表

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点 1~3 桁目	区点4桁目 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 1 2 3 4 5 6 7 8 9
010		178	於汚甥	024	歳敬敵削核	354	暖槽段男談	429	抱捲放方朋
011		179		025	哉火藤輝梓	355		430	抱捲放方朋
012		180	於汚甥	026	哉火藤輝梓	356		431	抱捲放方朋
013		181	於汚甥	027	哉火藤輝梓	357		432	抱捲放方朋
014		182	於汚甥	028	哉火藤輝梓	358		433	抱捲放方朋
015				029	哉火藤輝梓	359		434	抱捲放方朋
016				030	哉火藤輝梓	360		435	抱捲放方朋
017		182	下嫁	031	哉火藤輝梓	361		436	抱捲放方朋
018		183	下嫁	032	哉火藤輝梓	362		437	抱捲放方朋
019		184	下嫁	033	哉火藤輝梓	363		438	抱捲放方朋
020		185	下嫁	034	哉火藤輝梓	364		439	抱捲放方朋
021		186	下嫁	035	哉火藤輝梓	365		440	抱捲放方朋
022		187	下嫁	036	哉火藤輝梓	366		441	抱捲放方朋
023		188	下嫁	037	哉火藤輝梓	367		442	抱捲放方朋
024		189	下嫁	038	哉火藤輝梓	368		443	抱捲放方朋
025		190	下嫁	039	哉火藤輝梓	369		444	抱捲放方朋
026		191	下嫁	040	哉火藤輝梓	370		445	抱捲放方朋
027		192	下嫁	041	哉火藤輝梓	371		446	抱捲放方朋
028		193	下嫁	042	哉火藤輝梓	372		447	抱捲放方朋
029		194	下嫁	043	哉火藤輝梓	373		448	抱捲放方朋
030		195	下嫁	044	哉火藤輝梓	374		449	抱捲放方朋
031		196	下嫁	045	哉火藤輝梓	375		450	抱捲放方朋
032	4 5 6 7 8 9	197	下嫁	046	哉火藤輝梓	376		451	抱捲放方朋
033	ABCDEF	198	下嫁	047	哉火藤輝梓	377		452	抱捲放方朋
034	H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z	199	下嫁	048	哉火藤輝梓	378		453	抱捲放方朋
035	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	200	下嫁	049	哉火藤輝梓	379		454	抱捲放方朋
036	fg hijklmno	201	下嫁	050	哉火藤輝梓	380		455	抱捲放方朋
037	pqrstuvwxy	202	下嫁	051	哉火藤輝梓	381		456	抱捲放方朋
038	z	203	下嫁	052	哉火藤輝梓	382		457	抱捲放方朋
039		204	下嫁	053	哉火藤輝梓	383		458	抱捲放方朋
040		205	下嫁	054	哉火藤輝梓	384		459	抱捲放方朋
041		206	下嫁	055	哉火藤輝梓	385		460	抱捲放方朋
042		207	下嫁	056	哉火藤輝梓	386		461	抱捲放方朋
043		207	下嫁	057	哉火藤輝梓	387		462	抱捲放方朋
044		208	下嫁	058	哉火藤輝梓	388		463	抱捲放方朋
045		209	下嫁	059	哉火藤輝梓	389		464	抱捲放方朋
046		209	下嫁	060	哉火藤輝梓	390		465	抱捲放方朋
047		210	下嫁	061	哉火藤輝梓	391		466	抱捲放方朋
048		211	下嫁	062	哉火藤輝梓	392		467	抱捲放方朋
049		212	下嫁	063	哉火藤輝梓	393		468	抱捲放方朋
050		213	下嫁	064	哉火藤輝梓	394		469	抱捲放方朋
051		214	下嫁	065	哉火藤輝梓	395		470	抱捲放方朋
052		215	下嫁	066	哉火藤輝梓	396		471	抱捲放方朋
053		216	下嫁	067	哉火藤輝梓	397		472	抱捲放方朋
054		217	下嫁	068	哉火藤輝梓	398		473	抱捲放方朋
055		218	下嫁	069	哉火藤輝梓	399		474	抱捲放方朋
056		219	下嫁	070	哉火藤輝梓	400		475	抱捲放方朋
057		220	下嫁	071	哉火藤輝梓	401		476	抱捲放方朋
058		221	下嫁	072	哉火藤輝梓	402		477	抱捲放方朋
059		222	下嫁	073	哉火藤輝梓	403		478	抱捲放方朋
060		223	下嫁	074	哉火藤輝梓	404		479	抱捲放方朋
061		224	下嫁	075	哉火藤輝梓	405		480	抱捲放方朋
062		225	下嫁	076	哉火藤輝梓	406		481	抱捲放方朋
063		226	下嫁	077	哉火藤輝梓	407		482	抱捲放方朋
064		227	下嫁	078	哉火藤輝梓	408		483	抱捲放方朋
065		228	下嫁	079	哉火藤輝梓	409		484	抱捲放方朋
070	ABCDEF	229	下嫁	080	哉火藤輝梓	410		485	抱捲放方朋
071	GHIJKLMNOP	230	下嫁	081	哉火藤輝梓	411		486	抱捲放方朋
072	QRSTUVWXYZ	231	下嫁	082	哉火藤輝梓	412		487	抱捲放方朋
073	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	232	下嫁	083	哉火藤輝梓	413		488	抱捲放方朋
074		233	下嫁	084	哉火藤輝梓	414		489	抱捲放方朋
075		234	下嫁	085	哉火藤輝梓	415		490	抱捲放方朋
076		235	下嫁	086	哉火藤輝梓	416		491	抱捲放方朋
077		236	下嫁	087	哉火藤輝梓	417		492	抱捲放方朋
078		237	下嫁	088	哉火藤輝梓	418		493	抱捲放方朋
079		238	下嫁	089	哉火藤輝梓	419		494	抱捲放方朋
080		239	下嫁	090	哉火藤輝梓	420		495	抱捲放方朋
081		240	下嫁	091	哉火藤輝梓	421		496	抱捲放方朋
082		241	下嫁	092	哉火藤輝梓	422		497	抱捲放方朋
083		242	下嫁	093	哉火藤輝梓	423		498	抱捲放方朋
160		243	下嫁	094	哉火藤輝梓	424		499	抱捲放方朋
161		244	下嫁	095	哉火藤輝梓	425		500	抱捲放方朋
162		245	下嫁	096	哉火藤輝梓	426		501	抱捲放方朋
163		246	下嫁	097	哉火藤輝梓	427			
164		247	下嫁	098	哉火藤輝梓	428			
165		248	下嫁	099	哉火藤輝梓	429			
166		249	下嫁	100	哉火藤輝梓	430			
167		250	下嫁						
168		251	下嫁						
169		252	下嫁						
170		253	下嫁						
171		254	下嫁						
172		255	下嫁						
173		256	下嫁						
174		257	下嫁						
175		258	下嫁						
176		259	下嫁						
177		260	下嫁						
178		261	下嫁						

もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファックス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
こまごまときは
ご参考ください

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	P-267SDw/P-267SD 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM * 1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm（普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本/mm（普通字） 7.7本/mm（小さな字、写真） 15.4本/mm（精細）* 2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	4.7型モノクロHVGA液晶ディスプレイ （バックライト付）漢字表記
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒 * 3
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙サイズ	A4サイズ
最大記録有効幅	205mm
最大送信原稿幅	210mm
読み取り有効幅	205mm
受信メモリー	A4標準原稿 約52枚（普通字モード時）* 4

■ 留守録部

オリジナル 応答メッセージ	1件
用件録音時間	約15分（応答メッセージ1件、メモリー受信データ含む）（本体メモリー設定時） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	約296（幅）×184（奥行）×86（高さ）mm 受話器、突起部、アンテナを除く 約296（幅）×247（奥行）×253（高さ）mm 記録紙トレイ伸長時 突起部、アンテナを除く	約44（幅）×35（奥行）× 169（高さ）mm	約75（幅）×93（奥行）× 27（高さ）mm
質量	約2.3kg 受話器、インクリボンを含む	約150g 電池パック含む	約130g
電源	AC100V±10V 50/60Hz	DC3.6V、600mAh （ニッケル水素電池）* 8	入力：AC100V±10V 50/60Hz
消費電力 （100VAC）	約0.6W（ディスプレイ非表示の待機時） 約90W（動作時最大）	約0.9W（急速充電中） 約0.7W（待機時）	
直流抵抗	179Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30%～85%RH		

- * 1 本商品で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
- * 2 ITU-T（国際規格）準拠
- * 3 A4判 700 字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本/mm）で高速モード（14400 bit/s）、ECM モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
- * 4 受信原稿によっては、1枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
- * 5 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
- * 6 「電波サポート」を「設定」にした場合は、子機の連続通話時間が約4時間になります。また、「自動」にした場合は、約4～6時間になります。
- * 7 本商品で使用するときは、SD カードアダプターが必要です。
- * 8 電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

■ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時：約200時間 * 5 通話時：約6時間 * 6
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字4行+ピクト
増設可能子機	2.4Gデジタルコードレス電話機「S2」

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS/20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	トーンリンガー（着信音）呼び出し ／（音量切替式）	
電話番号の 記憶容量	電話帳：100人分 （32桁以内）×2番号 再ダイヤル：20局	電話帳：100人分 （24桁以内）×2番号 再ダイヤル：10局

■ SDカード

対応カード 種類	SDメモリーカード、 miniSDカード * 7、 microSDカード * 7（最大2GB）
-------------	---

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

メニュー（または待受画面で **決定**）を押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。選択内容で **[XXXX]** と表記されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

はじめの設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
①あ ①あ	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	—	43
①あ ②か	発信元番号 ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	—	45
①あ ③さ	発信元名 ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	—	46
①あ ④た	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	・ [20PPS] ・ トーン ・ 10PPS	33
①あ ⑤な	液晶濃度調整 液晶ディスプレイの濃度を調整できます。	4段階 [2段階]	176
①あ ⑥は	携帯通話設定 携帯通話設定機能の設定ができます。	・ NTT東日本0036 ・ NTT西日本0039 ・ その他の事業者 ・ [使用しない]	154
①あ ⑦ま	デカ文字着信 着信時または発信時の文字の大きさを変更できます。	・ [使用する] ・ 使用しない	176
①あ ⑧や	着信設定ガイド 着信時の設定を自動的にを行うガイドを利用できます。	—	118

着信音と誰からコール

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
②か ①あ	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	・ [電話ベル音] ・ 鳥の声 ・ 電子音 ・ パツハのインベンション ・ ジュ・ト・ブ ・ シンフォニー 40番 ・ はにゅうの宿 ・ メヌエット ・ セレナーデ	49
②か ②か ①あ	誰からコール → 誰からコール 着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	187
②か ②か ②か	誰からコール → 誰あてコール設定 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	—	188

着信音と誰からコール

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
②か ③さ ①あ	鳴り分け時の着信音 → 電話帳 電話帳に登録している方からの着信音の設定ができます。	・電話ベル音 ・鳥の声 ・電子音	196
②か ③さ ②か	鳴り分け時の着信音 → 非通知 非通知からの着信音の設定ができます。	・バッハのインベンション ・ジュ・ト・ブ	196
②か ③さ ③さ	鳴り分け時の着信音 → 公衆電話 公衆電話からの着信音の設定ができます。	・シンフォニー 40番 ・はにゅうの宿 ・メヌエット	196
②か ③さ ④た	鳴り分け時の着信音 → 表示圏外 表示圏外からの着信音の設定ができます。	・セレナーデ ・[なし]	196

電話帳の設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
③さ ①あ	電話帳新規登録 親機の電話帳に登録できます。	—	72
③さ ②か	ワンタッチダイヤル登録 親機のワンタッチダイヤルを登録／消去できます。	—	89
③さ ③さ	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	—	91
③さ ④た	おしゃべり電話帳 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	・[使用する] ・使用しない	77

留守番電話の設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
④た ①あ	用件録音全消去 録音している用件をすべて消去できます。	—	98
④た ②か	留守時応答回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	—	107
④た ③さ	在宅時応答回数 留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。	・1～25回 ・[無制限呼出]	122
④た ④た	応答メッセージ 応答メッセージの種類を選択できます。	・[固定メッセージ1] ・固定メッセージ2 ・自作メッセージ	102
④た ⑤な ①あ	外出先での操作 リモート暗証番号 リモート操作に必要な暗証番号を登録／消去できます。	—	105
④た ⑤な ②か	外出先での操作 トールセーバー トールセーバーを使用する／使用しないの設定ができます。	・使用する ・[使用しない]	108

着信お断りの設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑤ _な ① _あ	非通知お断り 「非通知お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	199
⑤ _な ② _か	公衆電話お断り 「公衆電話お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	199
⑤ _な ③ _さ	表示圏外お断り 「表示圏外お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	199
⑤ _な ④ _た	お断り番号登録 「お断り番号」を登録できます。	—	200
⑤ _な ⑤ _な	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする・しないの設定ができます。	・ しない ・ [する]	63

ダイヤルインの設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑥ _は ① _あ	番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	—	159
⑥ _は ② _か	番号消去 ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	—	160
⑥ _は ③ _さ	ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	・ 使用する ・ [使用しない]	158
⑥ _は ④ _た	FAX時応答回数 ダイヤルインのFAX切替までの着信音の回数を設定できます。	・ [0] ・ 2— 6回	160
⑥ _は ⑤ _な	ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。	・ 電話ベル音 ・ 鳥の声 ・ 電子音 ・ パツハのインベンション ・ ジュ・ト・ブ ・ シンフォニー 40番 ・ はにゅうの宿 ・ メヌエット ・ セレナーデ ・ [なし]	161
⑥ _は ⑥ _は	設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	—	160

メモリー残量の表示

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑦ _ま	メモリー残量の表示 FAX受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	[メモリー残量 100%] [FAX 残り 30件] [録音 残り 30件]	117

各種全消去

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
8 ^や 1 ^あ	用件録音 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	—	98
8 ^や 2 ^か	再ダイヤル 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	—	60
8 ^や 3 ^さ	着信記録 着信記録をすべて消去できます。	—	191
8 ^や 4 ^た	受信FAX メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	133
8 ^や 5 ^な	確認済受信FAX 確認済みのメモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	133
8 ^や 6 ^は	お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去できます。	—	201
8 ^や 7 ^ま	選んで着信番号 選んで着信番号をすべて消去できます。	—	167
8 ^や 8 ^や	電話帳 登録した電話帳をすべて消去できます。	—	230

印刷

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
9 ^ら 1 ^あ	メニュー設定 (最大6枚) 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	—	139
9 ^ら 2 ^か	着信記録 着信記録の一覧を印刷できます。	—	139
9 ^ら 3 ^さ	電話帳 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	—	139
9 ^ら 4 ^た	お断り番号 お断りに登録されている番号の一覧を印刷できます。	—	139

原稿の排出

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
0 ^わ 1 ^あ	原稿の排出 セットしている原稿を排出できます。	—	112

特別設定項目一覧表（親機）

メニュー



を4回押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。

選択内容で [XXXX] と表記されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

留守番電話の設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
①あ ①あ	応答メッセージ待ち時間 応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	231
①あ ②か	発信音待ち時間 応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	231
①あ ③さ	お声拝聴 留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	231
①あ ④た	録音時間 留守録の録音時間を設定できます。	・ [30 秒] ・ 1 分 ・ 2 分	231
①あ ⑤な	戻って録音時間 戻って録音の録音時間を設定できます。	・ 1 分 ・ 3 分 ・ [15 分]	174

FAX

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
②か ①あ	FAX受信方法 ファクスの受信方法を設定できます。	・ [見てからプリント] ・ メモリー受信 ・ 記録紙受信	232
②か ②か	受信モード お使いの状況に合わせて、ファクスの受信モードを設定できます。	・ FAX優先 ・ FAX専用 ・ [設定しない]	124 ～ 125
②か ③さ	おまかせ受信 相手の方がファクスを送信したときの音が聞こえると、自動でファクス受信に切り替える設定ができます。	・ [あり] ・ なし	232
②か ④た	縮小受信 ファクスを印刷するときに、日時を印刷するために自動でファクスを縮小して印刷する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	232
②か ⑤な	発信音検出 ファクスを自動送信するときに、「ツー」という発信音を検出してから送信する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	233

音関連設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
③さ ①あ	親機送話音量切替 親機の送話音量を変更できます。	・小 ・ [標準] ・大	233
③さ ②か	子機送話音量切替 子機の送話音量を変更できます。	・小 ・ [標準] ・大	233
③さ ③さ	子機受話音量切替 子機の受話音量を変更できます。	・小 ・ [標準] ・大	233
③さ ④た	子機受話音質切替 子機の受話音質を変更できます。	・低い ・ [標準] ・高い	234
③さ ⑤な	キータッチ音 キータッチ音のあり／なしを設定できます。	・ [あり] ・ なし	234
③さ ⑥は ①あ	どこからコール → どこからコール どこからコールの設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	189
③さ ⑥は ②か	どこからコール → 地域番号帯登録 地域番号の登録や消去ができます。	—	189

回避チャンネル設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
④た	回避チャンネル設定 通話品質の改善のために、使用するチャンネルを変更できます。	・ チャンネル1 ・ [チャンネル6] ・ チャンネル11	234

時計機能

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑤な ①あ	時計バックアップ 時計転送を使用する／しないの設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	234
⑤な ②か	子機へ時計送信 親機の日時設定を子機へ送信（転送）できます。	—	235
⑤な ③さ	子機から時計受信 子機の日時設定を受信（転送）できます。	—	235

ナンバー・ディスプレイ

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑥は	ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する／しないの設定ができます。	・ [使用する] ・ 使用しない	182

キャッチホン

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑦ _ま ① _あ	キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する／しないの 設定ができます。	・使用する ・【使用しない】	185
⑦ _ま ② _か	キャッチホン切替時間 キャッチホンの操作で電話が切れてしまうときなど、 キャッチホンの切替時間を変更できます。	・0.4秒 ・0.6秒 ・【0.8秒】	235

携帯通話設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑧ _や ① _あ	携帯番号帯登録 携帯通話設定機能の利用対象となる電話番号の頭 4ケタを登録／消去できます。	—	236
⑧ _や ② _か	設定内容表示 携帯通話設定機能の設定内容を表示できます。	—	236

電話帳以外初期化

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑨ _ら	電話帳以外初期化 電話帳を除くすべての設定を工場出荷状態に戻す ことができます。	・【しない】 ・する	230

機能項目一覧表（子機）

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	99
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	95
	全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	100
優先呼出		優先呼出の設定ができます。	177
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	52
着信音色		着信音の種類を変更できます。	53
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	162、 198
アラーム		アラームを鳴らす時刻の設定ができます。	178
電話帳転送		電話帳を親機や別の子機に転送できます。	92
電池残量		電池パックの電池残量が確認できます。	40
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	44
	キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	177
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	177
	使用者表示	子機の使用ユーザー名を登録できます。	47
	LCD コントラスト	ディスプレイのコントラストを調整できます。	177
	電波サポート	電波サポートの設定ができます。	177
	登録初期化	登録・設定した内容をすべて工場出荷時に戻すことができます。	230
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	60
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	192
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	81

用語集

本商品を使ううえで、知っておいた方がよい用語を説明しています。

回線種別

一般回線（加入電話回線）の種類を表します。「10PPS」「20PPS」のダイヤル回線と、プッシュ回線（「トーン」）があります。本商品の設定と回線種別が合っていないと、電話をかけることができません。わからない場合は、ご利用の電話会社にご確認ください。

【補足】

IP電話などをお使いの場合でも、フリーダイヤル（0120～）にかけるときなど、一時的に一般回線を使うことがあります。そのとき、本商品の設定が合っていないと電話がかけられません。

携帯通話設定機能

ご家庭の電話から携帯電話にかけるとき、おトクな料金でかけられる機能です。電話会社の固定電話発・携帯電話着の割引サービスを利用します。携帯通話設定機能を利用する設定にすると、携帯電話に電話をかけるとき、NTT東日本の「0036」、NTT西日本の「0039」など、各電話会社の事業者識別番号を携帯電話番号の前に自動的に付けて発信します。

【ご注意】

「ひかり電話」をご利用のときは、サービスを利用することができません。

事業者識別番号

電話をかけるときに利用する電話会社（通信事業者）を選ぶために、電話番号の前に付ける番号です。携帯通話設定機能を利用する設定にすると、通話のときに携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信します。事業者識別番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

加入電話選択番号

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、一時的に一般回線（加入電話回線）で電話をかけたいときに、電話番号の前に付ける番号です。携帯通話設定機能を使うとき設定します。加入電話選択番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

キャッチホン

通話中に他の方から電話がかかってきたとき、かけてきた方とお話しできる当社の有料サービスです。先にお話ししていた方との通話は保留状態になります。ご利用には当社との契約が必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイ

電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号が表示される当社の有料サービスです。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。本商品はナンバー・ディスプレイに対応していますので、当社と契約した後でご利用できます（有料）。本商品には、ナンバー・ディスプレイのサービスを使う「着信鳴り分け」、「誰からコール」などの機能があります。

【補足】

他の電話会社でも、同様のサービスを提供している場合があります。詳しくはご契約の電話会社にご確認ください。

通知／非通知

ナンバー・ディスプレイで使われる言葉です。電話をかけるとき、相手の電話やファクスに電話番号を表示させることを「通知」、表示させないことを「非通知」と呼んでいます。当社とのご契約によって、電話番号を「常に通知する」か「常に非通知」か選べます。また、1通話だけ「通知」または「非通知」にすることができます。（☎️ 下記 184／186）

184 / 186

電話の通知／非通知を1通話だけ変えたいときに使う番号です。電話番号を「常に通知する」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「184」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「非通知」になります。逆に、電話番号を「常に非通知」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「通知」になります。

キャッチホン・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。通話中に電話がかかってきたとき、ディスプレイに「新しくかけてきた方の電話番号」が表示されます。キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。電話中に他の方から着信があった場合、電話番号を確認してから、通話を切り替えるかどうかの判断をすることができます。ご利用には、当社とのナンバー・ディスプレイとキャッチホンなどの契約が必要です（有料）。

ネーム・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話をかけてきた相手の方の発信者名（「会社名」や「名前」）がディスプレイに表示されます。^{※1}ご利用には、当社とのナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約が必要です（有料）。

※1 相手の方が当社の契約者回線から発信し、かつ相手の方が発信電話番号と発信者名を通知する通話のみ、発信者名が表示されます。

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 106ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお持ちになってお使いください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○ ○ ○ ○

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
(ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○ ○ ○ ○

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
(ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

✂

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	① ① #
	録音内容をすべて消す	① ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○ ○ ○ ○

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
(ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまとときは

ご参考に
さくいん

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)だけを自動再生します。

新しい用件が録音されていない場合、自動再生はしません。一度聞いた用件をもう一度聞きたいときは、**③** **Ⓜ**を押してください。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)だけを自動再生します。

新しい用件が録音されていない場合、自動再生はしません。一度聞いた用件をもう一度聞きたいときは、**③** **Ⓜ**を押してください。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→○○○○
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)だけを自動再生します。

新しい用件が録音されていない場合、自動再生はしません。一度聞いた用件をもう一度聞きたいときは、**③** **Ⓜ**を押してください。



再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時 早聞きや遅聞きをする (押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

さくいん

【アルファベット・数字】

ADSL (エーディーエスエル)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	216
FAX 受信方法	232
記録紙受信	232
メモリー受信	232
FAX 専用	125
FAX 優先	124
F ネット (ファクシミリ通信網サービス)	134
IP 電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	216
IP 電話利用	155
携帯通話設定機能の設定	154 ~ 155
ISDN (アイエスディーエヌ)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	216
LCD コントラスト	177
PBX (構内交換機)	29
SD カード	
SD カードが使えない	213
SD カードにデータを保存する	149 ~ 151
使用できる SD カード	141
取り付けかた	145
Q&A (ごまっただときは)	202 ~ 228
10PPS	33
20PPS	33
3 者通話	66 ~ 69

【あ】

アース端子	23、29
アクセントを変更する	
おしゃべり電話帳	78
誰あてコール	188
アドレス帳  電話帳	
アフターサービス	259
アラーム	178
今から録音	170 ~ 171
インクリボン	
インクリボンのご購入は	229
インクリボンを交換する	36 ~ 37
使用済みのインクリボンを捨てる時は	37
印刷	
お断り番号	139
着信記録	139
電話帳	139
メニュー設定 (最大 6 枚)	139
メモリー受信したファクスを印刷する	136
液晶ディスプレイ	26 ~ 27
液晶濃度調整	176 ~ 177
エラー表示	225 ~ 227
選んで着信	166 ~ 167
応答メッセージ	
応答メッセージの内容を確認する	104
自分で応答メッセージを録音する	103 ~ 104
自分で録音した応答メッセージを消去する	104
応答メッセージ待ち時間	231
お声拝聴 (留守設定)	231
お断り  着信お断り	
お断り番号登録	200

おしゃべり電話帳	77
お手入れ	221
おまかせ受信	120、232
おまかせ送信	112
お待たせ (保留)	56
親機から子機へとりつぐ	66 ~ 67
親機から子機を呼び出してお話しする	64
親機送話音量切替	233
親機着信音選択	49 ~ 50
おやすみモード	164 ~ 167
オリジナルメッセージ (自作メッセージ)	103 ~ 104
音質	54、234
音声お知らせ機能	
おしゃべり電話帳	77
操作ガイド	39
誰あてコール	188
誰からコール	187
どこからコール	189
オンフックダイヤル	56
音量	
親機を受話音量を変える	50
親機のスピーカー音量を変える	51
子機を受話音量を変える	54、233
子機のスピーカー音量を変える	54
こちらの声*相手に聞こえにくいときは	233
着信音の音量	48、52

【か】

回線種別	
回線を自動で設定する	33
回線を手動で設定する	33
電話がつかないときは	204 ~ 205
用語集	248
回避チャンネル設定	234
外部メモリーファクス受信	145
外部メモリー録音対応	145
加入電話選択番号 (携帯通話設定機能)	155、248
各種全消去	
選んで着信番号	167
お断り番号	201
確認済受信 FAX	133
再ダイヤル	60
受信 FAX	133
着信記録	191
電話帳	230
用件録音	98
画質を選ぶ	115
紙づまり	222 ~ 224
画面	26 ~ 27
キータッチ音 (キータッチトーン)	177、234
キーロック	176
キャッチホン	185、248
キャッチホン・ディスプレイ	185、248
キャッチホン切替時間	235
強制リセット	228
記録紙	
記録紙がつかまったときは	224
記録紙に白や黒の線が入るときは	219 ~ 220
記録紙をセットする	135

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード


便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さくいん

記録紙受信 117、232
 クイック通話 177
 区点コード 237 ~ 238
 クリア
 強制リセット 228
 電話帳以外初期化 230
 電話帳消去 230
 登録初期化 230
携帯通話設定機能
 IP 電話利用 155
 携帯番号帯登録 236
 設定する 154 ~ 155
 設定内容表示 236
 用語集 248
携帯番号帯登録 (携帯通話設定機能) 236
消す  消去する
原稿
 原稿がつかまったときは 222 ~ 223
 原稿の排出 112
 原稿をセットする 110
 セットできる原稿のサイズ 115
公衆電話お断り 199
構内交換機 (PBX) 29
子機から親機へとりつぐ 68 ~ 69
子機から親機を呼び出してお話しする 65
子機から時計受信 235
子機受話音質切替 234
子機受話音量切替 233
子機送話音量切替 233
子機転送 91
子機へ時計送信 235
故障かな?と思ったときは 228
コピー 138
こまったときは (こんなときは)
 ADSL やひかり電話をご契約の方へ 216
 SD カードが使えない 213
 相手の声が聞こえにくい 208
 印刷した画像が汚い 210
 エラー表示/エラー音について 225 ~ 227
 お手入れのしかた 221
 記録紙に白や黒の線が入るときは 219 ~ 220
 原稿や記録紙がつかまったときは 222 ~ 224
 子機が使えない 211
 故障かな?と思ったときは 228
 コピーや印刷ができない 209
 その他 こまったときは 217 ~ 218
 着信音が鳴らない 207
 電話がかかけられない 204 ~ 205
 ナンバーディスプレイが使えない 214 ~ 215
 ファクスを受けられない 207
 ファクスを送れない 206
 留守モードが正しく働かない 212

【さ】

再生
 10 秒戻し再生 98
 30 秒送り再生 98
 遅聞き再生をする 98
 今から録音を再生する 96、99、175

伝言メモを再生する 169
 早聞き再生をする 98、100
 戻って録音を再生する 96、99、172
 留守設定を解除して再生する (親機) 94
 録音内容を再生する (親機・子機) 96、99
 録音を通話中に再生する 175
再ダイヤル
 再ダイヤルの記憶を消去する 60
 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する 75、81
 電話をかけ直す 58 ~ 59
 ファクスを送る 114
在宅時応答回数 122
事業者識別番号 (携帯通話設定機能) 155、248
時刻設定 43 ~ 44
自作メッセージ 103 ~ 104
自動受信 (ファクス)
 着信音を鳴らさずに受ける 125、164 ~ 167
 電話に出ないで自動的にファクスを受ける 122
 留守設定にする 93
自分の電話番号と名前を登録する (親機) 45 ~ 46
自分の名前を登録する (子機) 47
修正
 電話帳 (親機) 75
 電話帳 (子機) 80
充電
 子機の電池パック交換 42
 充電時間 40
 電池パックの寿命 42
 電池パックのリサイクル 42
修理 259
縮小受信 117、232
受信する (ファクス) 116 ~ 125
受信モード
 FAX 専用 125
 FAX 優先 124
受話音量 50、54
受話通話 (スピーカーホン通話) 56
仕様 239
消去する
 お断り番号を消去する 201
 応答メッセージを消去する 104
 着信記録を消去する 191 ~ 192
 電話帳登録データを消去する 75、81、230
 メモリー受信したファクスを消去する 132
 留守録用件を消去する 96 ~ 100
 録音内容を消去する (今から録音・戻って録音・メモ録音・留守録音) 96 ~ 100
 ワンタッチダイヤルの登録を消去する 90
譲渡するときは 230
消耗品 229
初期化する 230
スキャン 147
スピーカー 23、25
スピーカー受話 (受話通話) 56
スピーカーホン通話 57
清掃する 219 ~ 221
セキュリティ機能
 今から録音 170
 おやすみモード (選んで着信) 166 ~ 167
 迷惑電話拒否機能 (お断り) 199 ~ 200

戻って録音 172
 設置スペース 29
 操作ガイド 38
 掃除 (清掃) する 219 ~ 221
 送信する (ファクス) 110 ~ 115
 増設子機 168
 増設する 168
 相談窓口 259
 送話音量 233

[た]

第 1 番号、第 2 番号 (電話帳) ... 73、80、85、87
ダイヤルインの設定
 FAX 時応答回数 160
 設定内容表示 160
 ダイヤルイン機能 158
 ダイヤルイン着信音 161
 番号消去 160
 番号登録 159 ~ 160
誰あてコール 188
誰あてコール設定 188
誰からコール 186 ~ 187
地域番号帯設定 (どこからコール) 189
チャイム後自動設定 63
チャイムでお断り 62 ~ 63
着信お断り
 公衆電話からの電話をお断り 199
 特定の相手の方からの電話をお断り 200
 非通知からの電話をお断り 199
 表示圏外からの電話をお断り 199
着信音
 着信音の音量を調整する 48、52
 着信音の回数を変える 107、122
 着信音の種類を変える 49 ~ 50、53
 着信音を確認する 50
 着信鳴り分け時の着信音を変える 196 ~ 198
着信拒否 ☞ **着信お断り**
着信記録
 着信記録を確認する 191 ~ 192
 電話帳に登録する 76、81
 電話をかける 193 ~ 195
 ファクスを送る 193、195
着信設定ガイド 118 ~ 119
着信鳴り分け 196 ~ 198
着信メロディ (着信音) 49 ~ 50、53
着信履歴 ☞ **着信記録**
通知 248
通話音質 54
通話時間 (子機) 40
通話中のお待たせ 56
通話中再生 175
使いかたガイド 38
ディスプレイ (液晶ディスプレイ) 26 ~ 27
停電時の動作 218
デカ文字着信 176
伝言メモ 169
電波サポート 56、177
転送
 電話帳の転送 91 ~ 92

電話をとりつぐ 66 ~ 70
点滅
 受信 FAX ボタン 136
 留守ボタン 93
電話がかかけられないときは 204 ~ 205
電話帳
 SD カードにバックアップを取る 151
 相手先を検索する 86、88
 親機の電話帳を子機に転送する 91
 子機の電話帳を親機に転送する 92
 再ダイヤルを登録する 75、81
 修正する 75、80
 消去する 75、81、230
 電話帳新規登録 72 ~ 74
 電話帳で電話をかける 85 ~ 87
 電話帳でファクスを送る 114
 電話帳に登録する 72 ~ 74、79 ~ 80
 電話帳の一覧を印刷する 139
 登録した内容を確認する 74
電話帳以外初期化 230
電話を受ける 57
電話をかける
 再ダイヤルで電話をかける 58 ~ 59
 着信記録で電話をかける 193 ~ 195
 電話帳で電話をかける 85 ~ 87
電話をとりつぐ 66 ~ 70
トールセーバー 108 ~ 109
ドアホン通話 179 ~ 180
登録
 親機の電話帳 72 ~ 74
 子機の電話帳 79 ~ 80
登録 / 設定早見表 240 ~ 247
トーン (プッシュホン) 33
トーン信号 (プッシュ信号) 56
特定の番号をお断りする
 お断りする番号を登録 200
 登録したお断り番号を消す 201
特別設定 231 ~ 236
時計 43 ~ 44
時計バックアップ (時計転送) 234 ~ 235
どこからコール 186 ~ 190
とりつぎ転送 66 ~ 69

[な]

内線通話 64 ~ 65
鳴り分け時の着信音
 公衆電話鳴り分け 196 ~ 198
 ダイヤルイン鳴り分け 161 ~ 163
 電話帳鳴り分け 196 ~ 198
 非通知鳴り分け 196 ~ 198
 表示圏外鳴り分け 196 ~ 198
ナンバー・ディスプレイ 181、248
日時設定 43 ~ 44
ニッケル水素電池 42
入力 (文字) 82 ~ 84
ネーム・ディスプレイ 184、248
濃度を選ぶ 176 ~ 177

【は】

廃棄するときは	230
バックアップ	
受信 FAX データ	150
電話帳	151
録音データ	149
発信音検出	233
発信音待ち時間	231
発信元番号	45
発信元名	46
ひかり電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	216
ビジネスホン	29
非通知	181、199、248
非通知お断り	199
日付・時刻設定	43～44
ひとり転送	70
表示	26～27
表示圏外お断り	199
ファクス専用 (FAX 専用)	125
ファクスそのまま転送	130
ファクス優先 (FAX 優先)	124
ファクスを受信する	116～125
ファクスを送信する	110～114
付属品	18
普通紙	229
プッシュ信号 (トーン信号)	56
プッシュホン (トーン)	33
ブランチ接続 (並列接続)	29
ふりがな (読み)	73
プリント  印刷	
並列接続	29
別売品	229
変更	
電話帳 (親機)	75
電話帳 (子機)	80
傍受 (ぼうじゅ)	20
ポーズ (待ち時間)	74
ホームテレホン	29
保証	259
ボタンの名前	24、25
保留	56

【ま】

見てからプリント	
自動スクロール表示	127
消去する	132
ダイレクトジャンプ	128
表示する	126
迷惑電話拒否機能 (迷惑電話お断り)	61～63
メッセージでお断り	61～63
メニュー設定リスト	139
メモリー残量表示	97
メモリー受信	232
メモリー受信したファクスを印刷する	136
メモリー受信枚数	117
メモリーの残量を確認する	97

メモ録音	169
モーニングコール (アラーム)	178
文字入力	82～84
モデムダイヤルインサービス	157～163
戻って録音	172～174
戻って録音時間	174

【や】

優先呼出	177
読み	73
読み取り範囲	115
用件録音全消去	98、100
用語集	248

【ら】

リサイクル (ニッケル水素電池)	42
リスト	
お断り番号のリストを印刷する	139
着信記録のリストを印刷する	139
電話帳のリストを印刷する	139
メニュー設定のリストを印刷する	139
リセット (強制的に初期状態にする)	228
リダイヤル (再ダイヤル)	58～59
リモート操作	
リモート暗証番号	105
リモート操作を行う	106
留守時応答回数	107～109
留守番電話	93～94
録音時間	231
録音する	
通話中の会話を録音する	170～171
伝言メモを録音する	169
留守録設定時の応答メッセージを録音する	103～104
録音でお断り	62
録音を聞く	96、99
録音を消去する	96～100

【わ】

ワンタッチダイヤル	
ワンタッチダイヤルで電話をかける	90
ワンタッチダイヤル登録	89～90

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは


お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ


- NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 0120-970413 (03-5667-7100 ※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

- NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 0120-248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間 9:00～21:00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。


当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ


■ **NTT 東日本エリア**（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 **0120-970413 (03-5667-7100 ※)**

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

■ **NTT 西日本エリア**（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 **0120-248995**

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間 9:00～21:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

© 2008 NTTEAST・NTTWEST



本 2980-1(2008.10)
G3-〈P-267SDw/P-267SD〉-FAX トリセツ
Printed in Malaysia
TINSJ4633XHTZ

NTG SDD P-267SDW/P-267SDW FAX P-267SDW

取扱説明書